

# スマイル新潟へルスプラン

~ みんなが主役!生涯健康でいきいきと ~



#### はじめに



我が国は、世界有数の長寿国である一方、急速な高齢化の進展に伴う、疾病構造の変化により、疾病全体に占める生活習慣病の割合は増加しております。これに伴い、壮年期死亡や寝たきり等の介護を要する人々の増加も深刻な社会問題となっています。

国では、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会とするため、「健康日本21」を策定し、21世紀における国民健康づくり運動を進めています。

本市においても、「健康でいきいきとした長寿社会」の実現を目指し、平成13年度に「保健医療福祉計画」を策定し、健康づくりを推進してきましたが、平成18年度で計画期間が終了し、また、平成17年の14市町村の合併により本市の健康を取り巻く状況が大きく変化しました。

このような状況を踏まえて、新市の現状を把握、分析し、社会全体が一体となった健康づくり運動をさらに推進するため、新潟市健康づくり推進基本計画「スマイル新潟へルスプラン」を策定しました。

この計画は、健康を保持・増進し、疾病の発症を予防する「一次予防」に重点を置き、市民一人ひとりが健康的な生活習慣を確立することにより、平均寿命・健康寿命を延伸し、生活の質の向上を図ることを目的とし、栄養・食生活など6分野において具体的な目標を設定しています。

健康は自分から主体的につくっていくもので、その主役は市民の皆さま一人ひとりです。

今後は、この新たな計画に基づき、地域や学校、行政、関係機関・団体が一丸となって健康づくりに取り組み、「生涯健康でいきいき暮らせるまち にいがた」を目指していきたいと考えています。

最後に、この計画の策定にあたり、アンケート調査にご協力いただきました多くの皆さまをはじめ、ご尽力いただきました健康づくり推進委員会の委員の皆さまに心から感謝申し上げるとともに、計画実現に向けて、皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

平成19年3月

新潟市長 篠田 昭

## 目 次

<u>第1</u>	草 基本的な考え万	1
1	計画の策定の背景と趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	(1) 国及び新潟県の健康づくりの動き	
	(2) 本市の健康づくりの現状と策定の趣旨	
2	計画の基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3	計画の目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
4	計画の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	(1) 一次予防の重視	
	(2) 市民主役の健康づくり	
	(3) 具体的な目標の設定と評価	
	(4) 市民の健康づくりを支える環境づくり	
5	新潟市の視点~地域に密着した健康づくりの推進~ ・・・・・・・・・	4
	(1) 地域の力を活用した健康づくり	
	(2) 新潟の豊かな自然を活用した健康づくり	
	(3) 地域の状況に即した健康づくり	
6	計画の性格と位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
7	計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
<u>第 2</u>	章 新潟市の現状	7
1	人口	8
2	平均寿命・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
3	人口動態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
4	介護保険・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
5	雇用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
6	医療費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 🧷	20
7	医療機関・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
8	健康意識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
<u>第3</u>	章 対象分野の設定と分野別の健康づくり目標 2	7
1	対象分野の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
2	目標値の設定の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2	29
3		29
4	分野別の健康づくり目標 ・・・・・・・・・・・・・・・ 2	29

	栄養・食気	主活														•	•		30
	重点目標	~	豊かな	食生	活を	実現し	しよう	~	•										
2	身体活動	• 運動	ի														•		38
	重点目標	~	体を重	カかす	: ح ت	を楽し	しむE	常生	活	を実	現	しょ	こう		~				
3	休養・ここ	ころ													•	•	-	•	44
	重点目標	~	こころ	らも体	もリ	ラック	ウスし	よう	)	~									
4	たばこ・こ	アルコ	ール								•		-		-	•	-		52
	重点目標	~	たばこ	は吸	わなり	ハよう	うにし	よう	<b>-</b>	吸わ	せる	なし	、よ	う	1=1	し。	ょ	う	
			アル	/ <b>コー</b> ,	ルと」	上手に	つき	あお	う	~									
5	歯の健康										•		-		-	•	-		60
	重点目標	~	いつま	きでも	自分	の歯で	でおじ	いしく	食	べよ	う	~	•						
6	健康管理										•						•	•	70
	重点目標	~	生活習	冒慣の	通信	篿													
			健原	<b>長診断</b>	で自治	分の個	建康を	チェ	: ツ	クし	ょ	う	~						
<u>第4章</u>	計画の	推進																	<u>8 1</u>
1 枲	所潟市の健原	東づく	り推進	<b>集体制</b>												_			82
. 1																•			
·	十画の進行	き理と	:評価																85
·	十画の進行領	き理と	:評価		• •				•		•		•	•	•		•	•	
2 1	†画の進行† <b>データ</b>		:評価		• •				•		•		•	•	•		•	•	
2 1			:評価						•	• •	•		•	•	•	-	•	•	85
2 1			:評価					• •	•		•		•	•	-	-	•	•	85
2 第 <b>5章</b>			: 評価		• •				-		•		•	-	-	•	•	2	85
2 第 <b>5章</b> 第 <b>6章</b>	データ								-		•								85 <b>8 7</b>
第 <b>5章</b> 第 <b>6章</b> 健康	データ紅	<b>編</b> 直目標	一覧						•		•		-	•		-	·	•	85 <b>8 7</b> <b>5 9</b>
第 <b>5章</b> 第 <b>6章</b> 健康	<b>データ</b> 新 <b>資料編</b> 東づくり数(	<b>編</b> 直目様 くり推	一覧	会		。。 。。 。。			•		•			•		·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		85 <b>8 7 5 9</b> 260

第1章

基本的な考え方

Chapter

# 第1章 基本的な考え方

#### 計画の策定の背景と趣旨

我が国の平均寿命は、生活環境や食生活の改善、医療の進歩により伸び続け、世界有数の長寿国となりました。その一方で、急速な高齢化の進展に伴う、疾病構造の変化により、疾病全体に占めるがんや虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加しています。これらの疾病は、壮年期死亡や寝たきり等の介護を要する人々を増加させ、社会に大きな影響を与えております。

少子高齢社会を迎える中,すべての人が健やかで心豊かに生活できる,活力 ある社会が望まれています。そのためには、壮年期死亡の減少及び寝たきりや 認知症にならない状態で生活できる期間(健康寿命)の延伸を図ることが重要 になります。

#### (1) 国及び新潟県の健康づくりの動き

国では、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現にむけて、「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)」を平成12年3月に策定し、国民自身はもちろん、様々な実施主体の連携により、社会全体が個人の主体的な健康づくりを支援する取組が始まりました。また、「健康日本21」を支える法的基盤として、平成15年5月に「健康増進法」が施行されました。さらに、平成17年に生活習慣病対策を充実強化していくために、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の概念を導入し、健康づくりの国民運動を進めています。

また,新潟県においても「健康日本21」の基本理念を踏まえ、県民の健康づくり指針である「健康にいがた21」を平成13年3月に策定し、県民の壮年期の死亡の減少や健康寿命の延伸、生活の質の向上を目指した21世紀における健康づくり運動を推進しています。

#### (2) 本市の健康づくりの現状と策定の趣旨

本市では、国、県の取組を受け、「健康日本21」の地方計画として、平成13年6月に「健康でいきいきとした長寿社会」の実現を目指し、「保健医療福祉計画」を策定し、健康づくりに取り組んできました。さらに、平成15年6月策定の同計画「第2次実施計画」では、健康づくり7分野で「基本的方向性」

と「数値目標」に加え、「市民の行動目標」を設定し、健康づくりを推進してきましたが、平成18年度で計画期間が終了します。

また、本市は、平成17年に14市町村が合併し、多様な歴史と文化を持った地域が一つになり、人口が81万人、市域面積が726.1k㎡の新しい新潟市が誕生しました。これにより、広大な田園や多くの水辺など豊かな自然環境の中に、都市部と田園部が共存する都市となり、本市の健康を取り巻く状況が大きく変化しました。

さらに、平成21年に開催されるトキめき新潟国体に向け、施設整備や人材 の育成が進むにつれ、市民のスポーツに対する関心や理解も高まってきており、 運動を取り巻く環境が整備されてきています。

このような状況のもと、社会全体が一体となった健康づくり運動をさらに推進し、生涯健康でいきいき暮らせるまちを目指し、新市の現状を把握、分析し、新たに「新潟市健康づくり推進基本計画」を策定します。

#### 2 計画の基本理念

「生涯健康でいきいき暮らす」ことは、多くの市民の願いであり、それを実現させることは市の責務でもあります。

健康づくりは、市民一人ひとりが主体的に取り組み、自らの生活習慣を見直 すことであり、健康づくりの主役は市民であると言えます。

しかし、個人の努力のみに委ねるのではなく、健康づくりに取り組もうとする市民を社会全体が支援していく環境を整備することも重要です。

家庭や地域,学校,企業,行政,関係機関・団体が一丸となって健康づくりに取り組み,「生涯健康でいきいき暮らせるまち にいがた」を目指します。

#### 3 計画の目的

本計画の目的は、健康を保持・増進し、疾病の発症を予防する「一次予防」の観点から、市民一人ひとりが健康的な生活習慣を確立することにより、平均寿命・健康寿命を延伸し、生活の質(QOL)の向上を図ることです。

#### 4 計画の基本方針

#### (1) 一次予防の重視

市民一人ひとりが生活習慣を見直し、健康的な生活習慣を確立することにより、生活習慣病の発症や進行が予防できます。運動、栄養、休養などの分野で普段から健康の増進に努め、疾病の発症を予防する「一次予防」に重点を置いた対策を推進します。

#### (2) 市民主役の健康づくり

生活習慣の改善を目指す一次予防の推進には、市民一人ひとりが日頃から主体的に健康づくりに取り組み、自らの健康を実現することが重要です。そのためには、行政をはじめ、地域、関係機関は、それぞれの役割を明確にし、市民の目指す健康づくりを支援します。

#### (3) 具体的な目標の設定と評価

健康づくりを効果的に推進するために,健康づくりに関する情報や本市の健康の現状と課題について共通の認識をもつことが大切です。

その上で取り組むべき課題を選択し、具体的な目標を設定します。

また, その目標に到達するための具体的な諸活動の成果を調査などにより評価していきます。

#### (4) 市民の健康づくりを支える環境づくり

健康に関心のない人や生活習慣病の予備群でありながら自覚していない人を 含むすべての市民が主体的に健康づくりに取り組むためには、健康に関する情報の提供や社会全体で支援していく環境を整えることが重要です。

このため、行政をはじめ、家庭や学校、地域、職域、民間事業者、マスメディア等がそれぞれの特性を生かしつつ連携することにより、市民の健康づくりを支える環境づくりをすすめます。

#### 5 新潟市の視点 ~地域に密着した健康づくりの推進~

#### (1) 地域の力を活用した健康づくり

都市化の進展や人間関係の希薄化などにより地域におけるコミュニティが衰退しつつあると言われていますが、本市では自治会加入率が96.6%である

ほか、様々な地域活動を解決するために地域が一体となり、自治会・町内会を中心に様々な団体が参加する地域コミュニティ協議会が、小学校区または中学校区に設立されています。さらに、日本経済を支えてきた団塊の世代が定年退職を迎えています。この世代が持つ豊富な知識と経験が地域における活動の担い手としての役割が大いに期待されます。

また、平成17年の市民意識調査によれば、「ボランティア活動に参加している」「参加したことがある」「参加したいが活動したことはない」とボランティア活動に関心があると回答した人が6割を超えており、市民の地域活動への参加意欲が伺えます。

このように、本市には、地域コミュニティ協議会、高齢者といった地域の力があることから、これらの地域の力と連携し、活用するとともに、地域における健康づくりの核となる人材の育成や活動への支援を行うことにより、地域とともに育ち、地域に根ざした市民主体の健康づくりを推進します。

#### (2) 新潟の豊かな自然を活用した健康づくり

本市は、日本海に面し、広大で美しい田園や里山、信濃川など多くの河川、 また、疲れを癒す温泉など豊かな自然に恵まれています。

これらの自然環境は、きれいな空気や水をもたらすとともに、恵まれた大地で米をはじめ多種多様な食料の生産が行われるなど市民の生活基盤を支えています。また、起伏の少ない平野部でのウォーキングやサイクリング、多様な自然生態に恵まれた里山での自然散策、きれいな海での海水浴等を楽しむこともできます。

さらに、自然の中でゆったりと余暇を過ごすことは心身の疲労回復に有益であり、また、土にふれ、花や緑に親しむことは、生活に潤いと安らぎを与えるなど、豊かな自然環境が市民の心身の健康づくりに大変役立っています。

市民一人ひとりが豊かな自然を大切にし、自然に触れながら健康づくりに取り組めるよう推進します。

#### (3) 地域の状況に即した健康づくり

本市は、平成17年に14の市町村が合併し、都市と田園が共存する都市となり、さらに、平成19年4月に政令市となり、8つの区に分かれます。

各区は、それぞれ独自の伝統、歴史、文化、コミュニティ、生活様式を持っております。

このような地域からなる本市が「生涯健康でいきいき暮らせるまち」を実現するためには、それぞれの地域の特徴を活かした取組が必要となります。

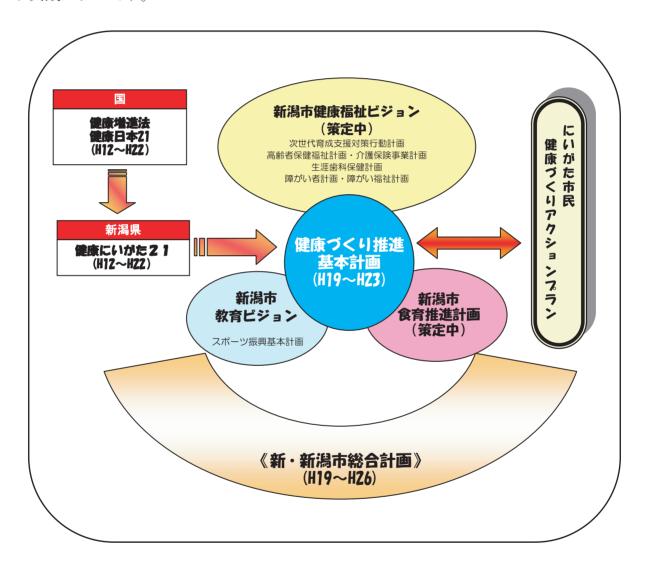
各区は、地域の特性を踏まえ、地域の健康づくりの拠点である保健福祉センターや健康センターを核に、地域住民とともに地域に根ざした健康づくりを推進します。

#### 6 計画の性格と位置づけ

本計画は、まちづくりの基本的指針等を示した「新・新潟市総合計画」の健康づくりに関する分野別計画であり、健康増進法に基づく市町村健康増進計画です。

本計画では、健康的な生活習慣の形成や生活習慣改善による疾病の発生予防(一次 予防)と疾病や疾病リスクの早期発見、早期治療による疾病予防(二次予防)を対象 としています。

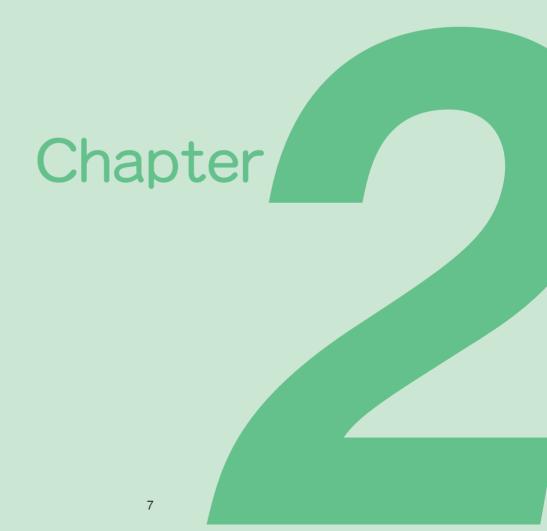
また, 「にいがた市民健康づくりアクションプラン」は, 本計画の市民の健康づくり実践プランです。



#### 7 計画期間

計画期間は、平成19年度から平成23年度までの5年間とします。 ただし、社会・経済情勢等の変化に合わせるために、必要に応じて見直すものとします。

# 第2章 新潟市の現状





# 第2章 新潟市の現状

- ・ 新潟市の数値は平均寿命を除いて合併市町村を含む平成19年4月1日現在 の市域の数値です。
- ・ "政令市"とは、平成19年4月1日現在の政令指定都市である17市であり、 "政令市平均"とは、17政令市平均値であり、"政令市の中"とは、"17政令市 の中"を表しています。

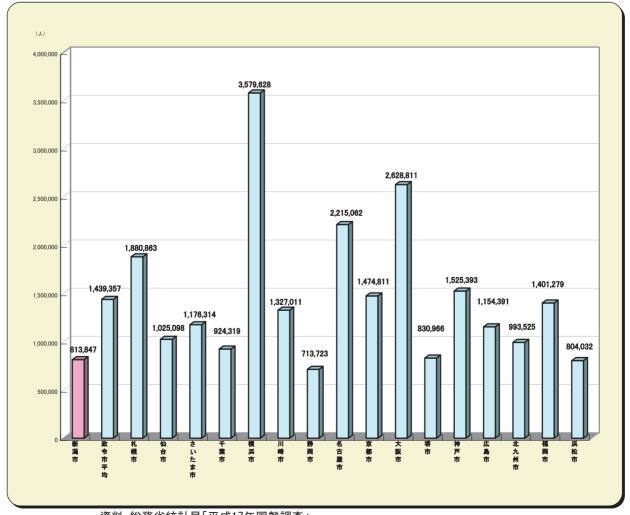
#### 1 人口

本市の人口は、大正9年の約33万人から2.4倍に、全国、新潟県を上回るペースで人口が増加し、平成17年10月1日現在で813、847人、新潟県人口の約33%となっています。(図2、3、4)

また、政令市の中では、15番目となっています。(図1)

年齢階層割合でみると、平成12年に初めて65歳以上の高齢者人口が15歳未満の年少人口を上回り、高齢化率も昭和60年から平成17年までの20年間で約10%から20%へと2倍に増加しています。(図5)

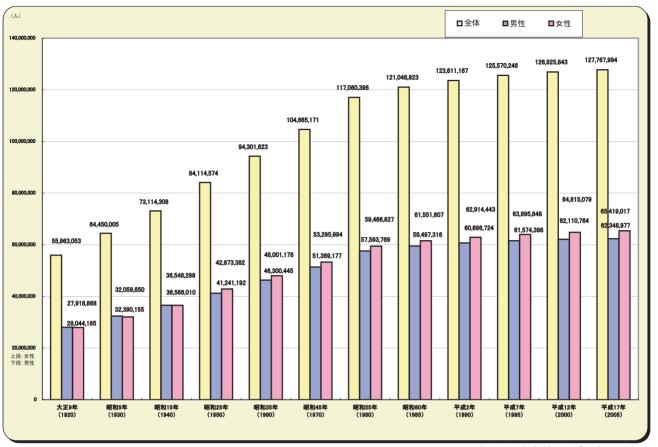
#### 図1 政令市との国勢調査人口の比較



資料:総務省統計局「平成17年国勢調査」

<sup>※</sup> 新潟市及び静岡市の数値は合併市町村を含む平成19年4月1日現在の市域の数値

#### 図2 全国の国勢調査人口の推移



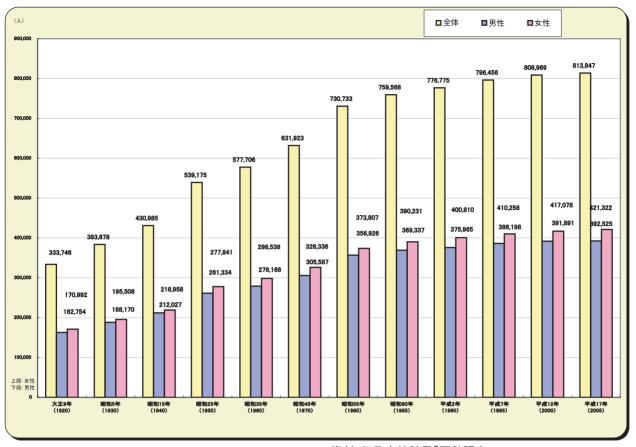
資料:総務省統計局「国勢調査」

#### 図3 新潟県の国勢調査人口の推移



資料:総務省統計局「国勢調査」

#### 図4 新潟市の国勢調査人口の推移



資料:総務省統計局「国勢調査」

※ 新潟市の数値は合併市町村を含む平成19年4月1日 現在の市域の数値

#### 図5 新潟市の年齢階層別国勢調査人口の推移



資料:総務省統計局「国勢調査」

※ 新潟市の数値は合併市町村を含む平成19年4月1日 現在の市域の数値

平成12年の平均寿命は、本市(旧新潟市)は男性が78.3歳、女性が85. 4歳で、男女とも全国、新潟県、政令市平均を上回っており、政令市の中では、男 性が7番目、女性が札幌市に次いで2番目に高くなっています。

また, 新潟県の男性の平均寿命は, ぼぼ全国並みであるが, 女性の平均寿命は, 全 国の中でも高くなっています。(表1)

#### 表1 政令市との平均寿命の比較

(単位·年)

	男 性	
順位	市町村名	平均寿命
1	浜松市	79. 0
2	さいたま市	78. 8
2	千葉市	78. 8
4	札幌市	78. 5
4	仙台市	78. 5
4	横浜市	78. 5
7	新潟市	78. 3
7	静岡市	78. 3
9	京都市	78. 1
10	広島市	78. 0
11	福岡市	77. 7
12	川崎市	77. 6
12	名古屋市	77. 6
14	神戸市	77. 5
15	堺市	77. 1
16	北九州市	77. 0
17	大阪市	75. 7
	政令市平均	77. 9
	全国	77. 7
	新潟県	77. 7

		(单位:牛/
	女 性	
順位	市町村名	平均寿命
1	札幌市	85. 6
2	新潟市	85. 4
3	仙台市	85. 3
3	浜松市	85. 3
5	広島市	85. 2
6	静岡市	84. 9
7	横浜市	84. 8
7	福岡市	84. 8
9	さいたま市	84. 7
10	千葉市	84. 6
10	京都市	84. 6
12	川崎市	84. 4
12	堺市	84. 4
14	神戸市	84. 3
15	北九州市	84. 2
16	名古屋市	84. 1
17	大阪市	83. 4
	政令市平均	84. 7
	全国	84. 6
	新潟県	85. 2
次小	<b>上兴县少[亚武10左士区</b> 町	

資料:厚生労働省「平成12年市区町村別生命表」

#### 表2 現新潟市の平均寿命

H d	H-
	生
市町村名	平均寿命
新津市	78. 6
新潟市	78. 3
潟東村	78. 1
月潟村	77.7
横越町	77. 5
岩室村	77. 3
小須戸町	77. 2
亀田町	77. 2
味方村	77. 2
巻町	77. 1
豊栄市	77. 0
西川町	77. 0
中之口村	76.8
白根市	76. 6

(単位:年)

	(+ 12 · + /
女性	
市町村名	平均寿命
新津市	86. 5
潟東村	85. 9
亀田町	85. 7
岩室村	85. 7
味方村	85. 5
新潟市	85. 4
白根市	85. 3
横越町	85. 3
中之口村	85. 2
豊栄市	85. 1
西川町	85. 1
小須戸町	85. 0
巻町	84. 8
月潟村	84. 4

資料:厚生労働省「平成12年市区町村別生命表」

#### 3 人口動態

本市の人口千対の出生率は、新潟県、全国と同様に年々減少しています。特に新潟県の減少が、大きくなっています。(図 6)

合計特殊出生率(注1) は、平成9年の1.37から、平成17年には1.23に低下しています。全国、新潟県と比較しても低いレベルで推移しています。(図7)

死亡の状況を平成7年と平成17年の年齢調整死亡率(注2)で比較すると、男性の自殺が大幅に増加しており、男性の気管・気管支及び肺がん、心疾患や女性の大腸がんは微増、それ以外の疾患は減少しています。(表4,図8)

平成17年の主な死因の年齢調整死亡率を全国,新潟県と比較すると,男性では悪性新生物,中でも気管・気管支及び肺がんと大腸がんは全国,新潟県より高くなっています。また,胃がん,脳血管疾患,自殺は新潟県よりは低いですが,全国と比較すると高くなっています。(表5)

女性は、悪性新生物、中でも大腸がん、乳がんが全国や新潟県より高くなっています。虚 血性心疾患は男女とも国や県より低くなっています。

また,市民の死因の約6割が悪性新生物,心疾患,脳血管疾患等の生活習慣病です。(図9) 平成17年の死因順位を見ると,本市,新潟県とも全国と同様で,悪性新生物,心疾患, 脳血管疾患の順となっています。(表6)

全国では、昭和60年代から概ね現在の順位が続いていますが、本市は平成13年に脳血管疾患を抜いて心疾患が2位となり、新潟県は平成16年まで

脳血管疾患が2位,心疾患が3位となっていました。

(注1)合計特殊出生率・・・15歳から49歳の女性の年齢別出生率から算出しており、1人の女性が一生のうちに平均何人の子供を産むかを示す数値である。

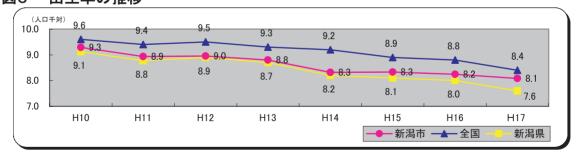
(注2)年齢調整死亡率・・・ 高齢化など年齢構成の偏りを補正した死亡率。人口構造が異なる年代間、年齢構成の違う地域間での比較がより正確にできる。

#### 表3 出生数の年次推移

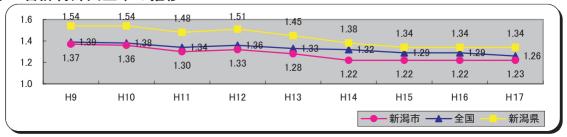
(単位:人)

	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
新潟市	7,491	7,216	7,245	7,130	6,747	6,762	6,695	6,577
全国	1,203,147	1,177,669	1,190,547	1,170,662	1,153,855	1,123,610	1,110,721	1,062,530
新潟県	22,661	21,812	21,886	21,301	20,221	19,719	19,531	18,505

#### 図6 出生率の推移



#### 図7 合計特殊出生率の推移



資料:厚生労働省「人口動態統計」,新潟県「福祉保健年報」

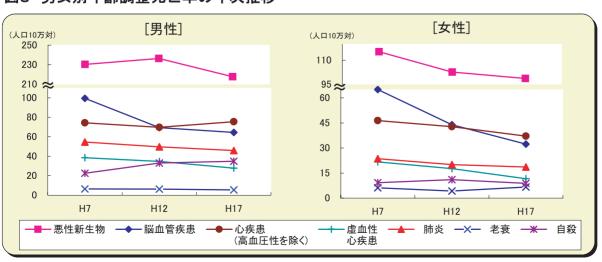
#### 表4 新潟市の主な死因の年齢調整死亡率と死亡率

(単位:人口10万対)

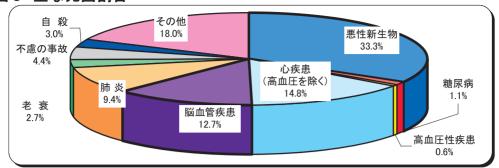
				性	女	性	全	体
			死亡率	年齢調整 死亡率	死亡率	年齢調整 死亡率	死亡率	年齢調整 死亡率
		H 7	767. 0	663. 7	625. 7	356. 1	694. 2	483.3
	全死因	H12	823. 8	602. 6	646. 1	295. 0	732. 1	426. 7
		H17	953. 6	587. 9	740. 4	268. 9	843. 1	406. 2
		H 7	269. 6	230. 4	178. 4	115. 3	222. 6	162. 5
悪	性新生物	H12	323. 5	236. 3	185.6	102. 7	252. 4	159.7
		H17	355. 0	217. 6	212. 1	98. 7	280. 9	148.6
		H 7	56. 2	48. 3	38. 5	25. 1	47. 1	34. 7
	胃	H12	66.9	49. 1	27. 7	14. 4	46. 7	29. 6
		H17	60. 7	37. 1	30. 1	12. 8	44. 9	23. 2
再	気管・気管	H 7	61.6	52. 5	20. 0	12. 4	40. 2	29. 1
掲	支及び肺	H12	75. 9	54. 8	22. 4	11. 9	48. 3	29.9
]16)	2,000,000	H17	88.8	53. 6	24. 4	10. 6	55. 4	28. 8
	大腸	H 7	33.9	28. 5	21. 9	12. 9	27. 7	19.8
		H12	34. 2	25. 1	30. 4	14. 7	32. 2	19.3
		H17	40. 1	24. 8	35. 6	14. 6	37. 8	19. 2
		H 7	115. 5	99. 5	127. 2	65. 0	121.5	79. 0
脳	í血管疾患	H12	98.8	69. 4	112. 1	43. 9	105 6	54.7
		H17	109. 8	64. 5	104. 7	32. 3	107. 2	46. 4
	心性中	H 7	86. 7	74. 3	90. 2	46. 4	88. 5	59. 1
(京	心疾患	H12	95.4	69. 7	109.0	42.8	102. 4	55. 5
(10)	血圧圧を除く	H17	124. 3	75. 4	125. 0	37. 1	124. 7	54. 5
再	虚血性	H 7	45. 1	38. 5	41. 4	21. 6	43. 2	28.8
掲掲	湿血性   心疾患	H12	47. 6	34. 7	41.9	17. 6	44. 7	25.3
, 50	10/10/103	H17	46.0	27. 8	37. 5	11. 6	41.6	18. 8
		H 7	63.7	54. 6	50. 9	23. 6	57. 1	35. 4
	肺炎	H12	73.3	49. 7	59. 5	20.0	66. 2	31.0
		H17	86. 2	45. 9	73. 2	18.6	79. 4	28. 7
		H 7	7. 5	6.4	15. 1	6. 1	11. 4	6.2
	老衰	H12	9.8	6.2	15. 7	4. 2	12.8	4. 9
		H17	11.3	5. 4	34. 2	6. 6	23. 2	6. 3
		H 7	24. 1	22. 6	11. 2	9. 2	17. 5	15. 4
	自殺	H12	37. 6	33. 1	14. 2	11. 1	25. 5	21.8
		H17	40. 4	34. 9	10. 5	8.8	24. 9	21.5

資料: H7, H12の年齢調整死亡率は, 新潟県福祉保健部より新市域の年齢別死因別死亡数の資料提供を受け 算出した。

#### 図8 男女別年齢調整死亡率の年次推移



#### 図9 主な死因割合



資料:新潟市「平成17年人口動態統計」

表5 主な死因の年齢調整死亡率 全国・新潟県との比較 (単位:人口10万対)

			男性			女性			全体	
		新潟市	全国	新潟県	新潟市	全国	新潟県	新潟市	全国	新潟県
	全死因	587.9	593.2	593.5	268.9	298.6	277.5	406.2	426.5	413.7
	悪性新生物	217.6	197.7	205.8	98.7	97.3	94.9	148.6	140.2	141.5
	胃	37.1	32.7	39.3	12.8	12.5	14.6	23.2	21.2	25.1
再	気管•気管支 及び肺	53.6	44.6	46.3	10.6	11.7	8.9	28.8	25.8	24.6
掲	大腸	24.8	22.4	23.0	14.6	13.2	14.1	19.2	17.2	18.0
	乳房				12.3	11.4	11.2			
	脳血管疾患	64.5	61.9	70.0	32.3	36.1	37.3	46.4	47.3	51.5
	心疾患	75.4	83.7	79.6	37.1	45.3	39.7	54.5	62.7	57.6
再掲	虚血性心疾患	27.8	42.2	35.4	11.6	18.6	13.9	18.8	29.2	23.4
	肺炎	45.9	51.8	46.6	18.6	21.6	17.3	28.7	33.0	28.0
	老衰	5.4	5.6	5.9	6.6	6.6	7.1	6.3	6.3	6.8
	自殺	34.9	31.6	37.4	8.8	10.7	9.4	21.5	21.0	23.3

資料:新潟市「平成17年人口動態統計」 厚生労働省「平成17年人口動態統計」 新潟県「平成18年福祉保健年報」

表 6 死因順位の比較

(単位・人口10万対)

<b>衣 り 九凶順位の比较</b> (幸盛: 八									
	新潟	市	全国		新潟県				
	死因 死亡率		死因	死亡率	死因	死亡率			
1位	悪性新生物	280. 9	悪性新生物	258. 3	悪性新生物	307.0			
2位	心疾患	124. 7	心疾患	137. 2	心疾患	155. 9			
3位	脳血管疾患	107. 2	脳血管疾患	105. 3	脳血管疾患	144. 8			
4 位	肺炎	79. 4	肺炎	85. 0	肺炎	92. 4			
5位	不慮の事故	36. 8	不慮の事故	31.6	不慮の事故	44. 7			
		'AZ JULI → C 163 → F	亚出 17年1日制制	3.44-51 . FE 4L 3	WELDSET THE				

資料: 新潟市「平成17年人口動態統計」,厚生労働省「平成17年人口動態統計」

#### 4 介護保険

本市の要介護(要支援)認定者は、平成13年度の17, 902人から平成17年度の25, 058人と約1. 4倍に増加、介護認定率も11. 8%から15. 0%と高くなっていますが、全国の16. 1%、新潟県の15. 6%よりも低く、政令市の中では5番目に低くなっています。(表7, 図10)

また、本市の65歳以上の高齢者の割合は20.5%で、全国の20.1%、新潟県の23.9%に対し、新潟県よりも低く、ほぼ全国並みで、市民の5人に1人が65歳以上になっています。

政令市との比較では、政令市平均は18.2%で、政令市の中では3番目に高くなっています。(図10)

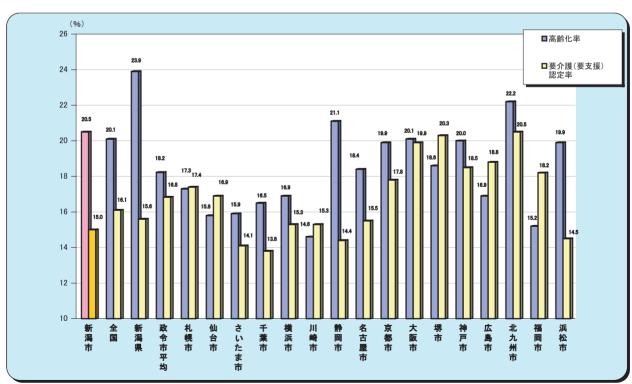
#### 表7 要介護(要支援)認定者率の推移(第1号被保険者)

(単位:人)

		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
	要支援	1,579	2,171	2,213	2,278	2,221
認	要介護1	4,682	5,504	6,103	6,766	7,580
定	要介護2	3,592	3,867	3,607	3,748	3,945
者	要介護3	2,530	2,694	3,264	3,638	3,804
数	要介護4	2,738	2,960	3,369	3,538	4,125
× ×	要介護5	2,781	2,921	3,212	3,348	3,383
	合計	17,902	20,117	21,768	23,316	25,058
	第1号被保険者数	151,225	156,104	159,608	163,222	167,545
介護認定率		11.8%	12.9%	13.6%	14.3%	15.0%

※各年度末現在(新潟市の数値は合併市町村を含む平成19年4月1日現在の市域の数値) 資料:厚生労働省「介護保険事業状況報告」

#### 図10 政令市との高齢化率と要介護(要支援)認定率の比較(第1号被保険者)



※ 高齢化率については平成17年10月1日現在国勢調査人口,要介護(要支援)認定率については 平成18年3月末現在要介護(要支援)認定者数を用い,平成19年4月1日現在の市域で算出した数値 資料:厚生労働省「平成17年度介護保険事業状況報告」 総務省統計局「平成17年国勢調査」

#### 5 雇用

本市の平成17年の就業率は男性で68.5%,女性で48.1%,また,高齢者で18.2%であり、平成12年に比較して全国、新潟県と同様、男性、女性、高齢者のすべてで低下しています。(図11)

政令市との比較では、本市の女性の就業率は政令市の中で6番目に高く、また新潟 県も48.5%と高くなっています。(図12)

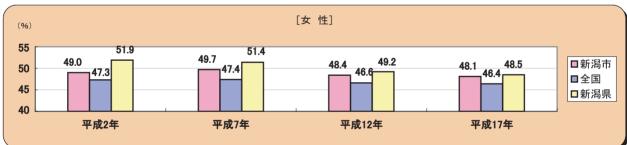
また、本市の平成17年の完全失業率は男性で6.3%、女性で4.8%であり、男女とも上昇しており、また、ニート比率は平成12年に急増しましたが、平成17年には減少しており、この傾向は全国、新潟県と同様となっています。

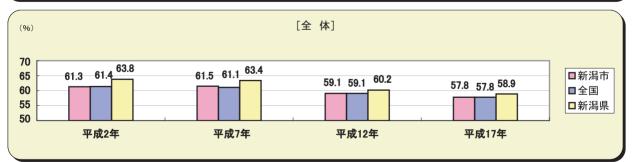
 $(\boxtimes 13, 14)$ 

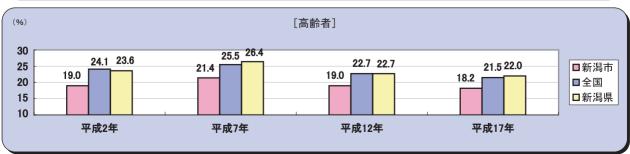
#### ① 就業率

#### 図11 就業率の推移





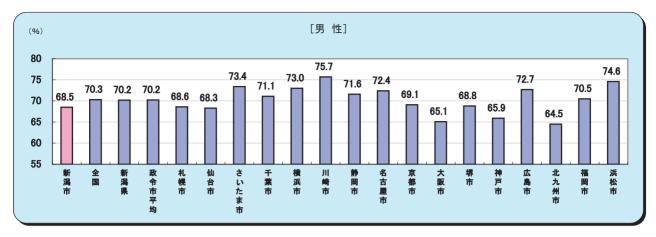


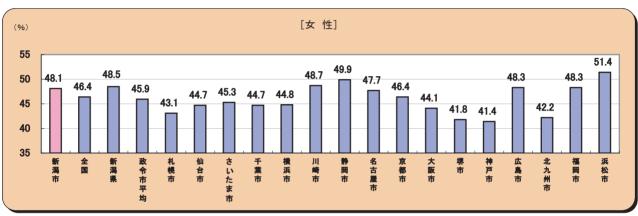


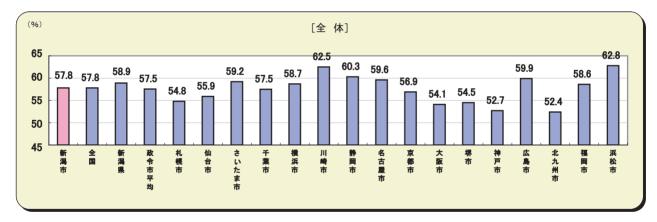
資料:総務省統計局「国勢調査」

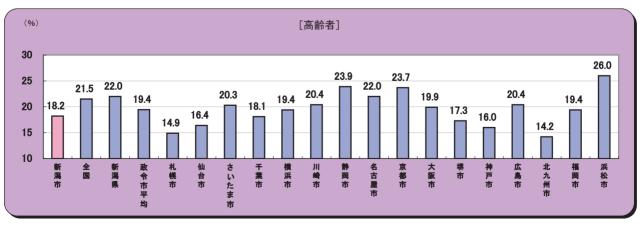
※新潟市の数値は合併市町村を含む平成19年4月1日現在の市域の数値 (以下雇用の数値について同じ)

#### 図12 政令市との就業率の比較





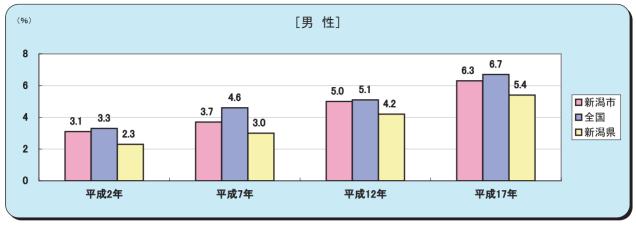


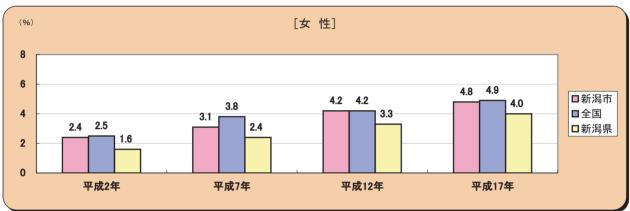


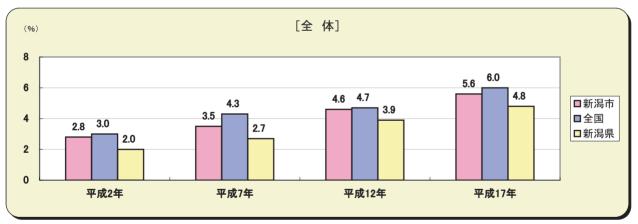
資料:総務省統計局「平成17年国勢調査」

#### ② 完全失業率

#### 図13 完全失業率の推移







資料:総務省統計局「国勢調査」

#### ③ =−ト

#### 表8 二一ト数及び二一ト比率の推移

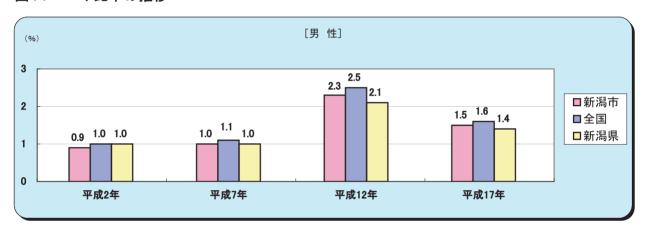
(単位:人)

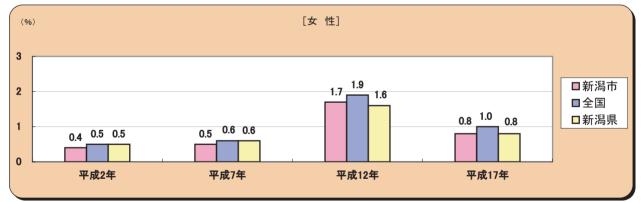
		平成2年				平成7年			平成12年		平成17年		
		ニート数	15歳~34歳 人口	ニート比率	ニート数	15歳~34歳 人口	ニート比率	ニート数	15歳~34歳 人口	ニート比率	ニート数	15歳~34歳 人口	ニート比率
	新潟市	955	102,708	0.9%	1,084	108,183	1.0%	2,462	107,574	2.3%	1,458	99,757	1.5%
男性	全国	171,509	17,478,885	1.0%	192,489	17,852,396	1.1%	427,879	17,062,779	2.5%	245,868	15,278,810	1.6%
1,1	新潟県	2,982	298,608	1.0%	3,188	305,201	1.0%	6,377	297,925	2.1%	3,762	272,647	1.4%
+													
+	新潟市	416	105,240	0.4%	530	108,468	0.5%	1,805	106,954	1.7%	765	100,323	0.8%
女性	<b>新潟市</b> 全国	<b>416</b> 84,722	<b>105,240</b> 17,009,653		<b>530</b> 101,127	<b>108,468</b> 17,299,501	<b>0.5%</b> 0.6%	<b>1,805</b> 322,905	<b>106,954</b> 16,703,800	<b>1.7%</b> 1.9%			<b>0.8%</b> 1.0%
女性			,			17,299,501	0.6%		16,703,800				
性	全国	84,722	17,009,653	0.5%	101,127 1,799	17,299,501	0.6%	322,905	16,703,800	1.9%	144,138	15,135,154	1.0%
	全国 新潟県	84,722 1,612	17,009,653 294,261	0.5% 0.5% <b>0.7%</b>	101,127 1,799 <b>1,614</b>	17,299,501 295,409	0.6% 0.6%	322,905 4,706 <b>4,267</b>	16,703,800 286,248	1.9% 1.6%	144,138 2,211	15,135,154 263,156 <b>200,080</b>	1.0% 0.8%

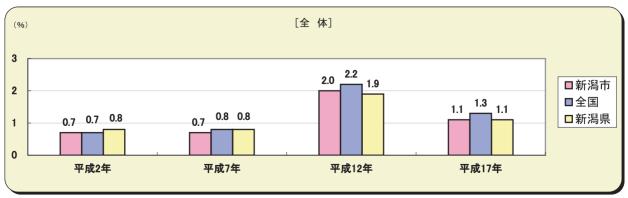
注:15歳~34歳人口には労働力状態「不詳」を除く。

資料:総務省統計局「国勢調査」

#### 図14 二一ト比率の推移







資料:総務省統計局「国勢調査」

<sup>※</sup> 国勢調査のデータから、労働経済白書において「ニート」に近い概念として定義している「年齢15~34歳の非労働力人口のうち家事も通学もしていない者(若年無業者)」を集計した。

#### 6 医療費

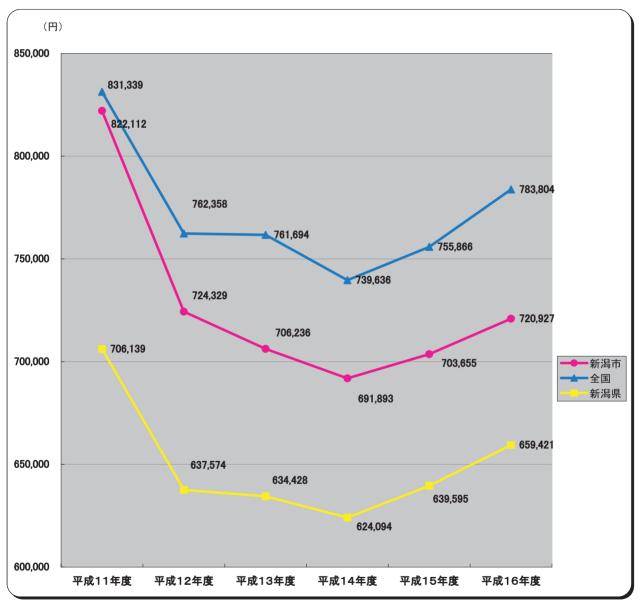
本市の平成16年度の国民健康保険1人当たり老人医療費は720,927円です。 医療費の推移では、本市、全国、新潟県ともに、介護保険導入後の平成12年度より減少し始め、平成15年度より増加傾向にあります。(図15)

政令市との比較では、本市の国民健康保険1人当たり老人医療費は政令市平均85 1、168円で、政令市の中では3番目に低くなっています。

また、都道府県別の比較では、新潟県の国民健康保険1人当たり老人医療費は65

9,421円で、長野県に次いで2番目に低くなっています。(表9)

#### 図15 国民健康保険1人当たり老人医療費の推移



資料:国民健康保険中央会発行「国民健康保険の実態」 ※新潟市の数値は合併市町村を含む平成19年4月1日現在の市域の数値

表9 都道府県・県庁所在市・政令市別1人当たり老人医療費の比較

都道府県別			県庁所在市別			政令市別			
国民健康保険			国民健康保険			国民健康保険			
	1人当たり老人医療費 平成16年度			1 人当たり老人医療費 平成16年度			1 人当た	り老人医療費	
都道府	∓但夕		(10年度 実額	 県庁所在市名		(10年度 実額	政令市名		平成16年度 実 額
扣炉加	1 77 17	順位	大 (円) (円)	朱八八任中石	順位	大 (円) (円)	以口山石	順位	
	全国	計	783,804	全 国	計	783,804	全国	計	783,804
長新	野	1	639,106	長野市	1	653,458		1	687,003
	潟	2	659,421	水戸市	2	690,311		2 <b>3</b>	697,890
山静	形岡	3 4	666,110 673,168	静岡市 鳥取市	3 4	697,890 713,171		4	<b>720,927</b> 722,107
析	木	5	682,308		5	713,171		5	734,999
茨	城	6	682,699	新潟市	6		さいたま市	6	754,414
茨千三岩群	葉	7	683,373	横浜市	7	722,107		7	772,456
ΙĖ	重	8	684,000	津市	8	726,519		8	784,991
岩	手	9	686,511	千葉市	9	734,999	名古屋市	9	851,305
群	馬	10	687,318	福島市	10	736,707		10	854,412
山	梨	11	688,912	山形市	11	737,184		11	903,758
青	森	12	711,605	甲府市	12	744,132		12	949,922
神系	がに	13		宇都宮市	13	753,679		13	976,275
宮岐	城	14		さいたま市		754,414	北九州市	14	984,825
島	阜根	15	726,103 727,504		15 16	777,916 784,991	│ 広島市 │ 福岡市	15	
福	島	16 17	727,30 <del>4</del> 728,177		17	793,057	札幌市	16 17	1,063,691
秋	田田	18	732,175	富山市	18	795,652		'/	1,000,001
鳥	取	19	735,739		19	799,239		平均	851,168
埼	玉	20		東京都区部	20	813,022			301,100
滋	賀	21	745,819		21	815,212			
富	山	22	751,374	宮崎市	22	824,043			
滋富宮奈	崎	23	756,513		23	828,020			
奈	良	24	760,538		24	841,132			
福	. 井	25	767,214		25	841,763			
┃和尚	次点	26	769,627	高松市	26	844,944			
愛	媛 島	27 28	776,307 776,663	徳島市 名古屋市	27 28	846,847 851,305			
徳愛東	知	20 29	770,003	岐阜市	29	852,535			
事	京	30	780,386	秋田市	30	853,215			
兵	庫	31	796,462		31	854,412			
岡岡	Щ	32	808,207		32	869,917			
香	ĴЩ	33	814,630	和歌山市	33	891,554			
山		34	822,285		34	898,875			
太	_ 分	35	838,409		35	899,890			
	見島	36	843,863		36	920,141			
熊	本	37	845,618		37	922,229			
皇	J∐ ≠17	38	849,927		38	933,191			
	都網	39 40	857,663 860,034		39 40	949,922 952,387			
石京沖佐広高長	縄賀島	40 41	864,237	成元島市     大阪市	40 41	952,387			
一片	阜	42	895,878	那覇市	42	977,881			
當	知	43	903,145	広島市	43	993,418			
長	崎	44	903,365	福岡市	44	1,017,467			
人	阪	45	915,176		45	1,042,072			
北海	事道	46	951,343	札幌市	46	1,063,691			
福	畄	47	962,566	長崎市	47	1,077,841			

資料:国民健康保険中央会発行「国民健康保険の実態」

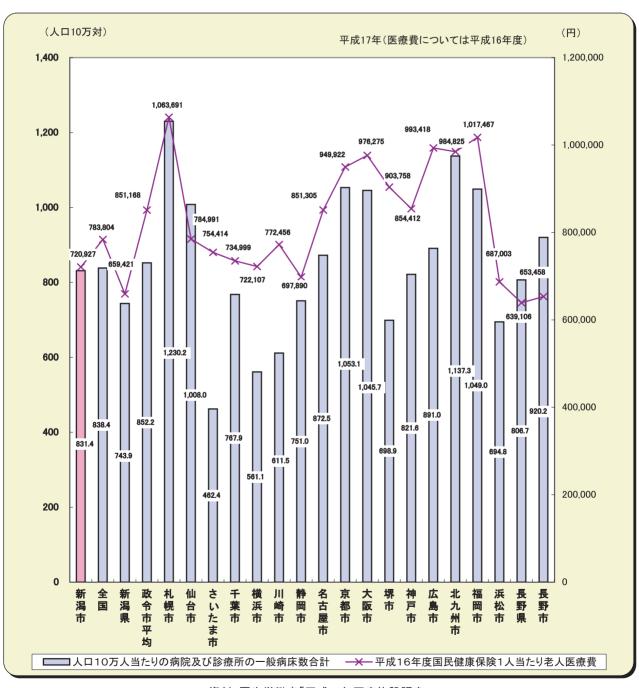
<sup>※</sup>新潟市の数値は合併市町村を含む平成19年4月1日現在の市域の数値 その他政令市等の数値は平成16年度末現在の市域の数値

#### 7 医療機関

本市の人口10万人当たりの病院及び診療所の一般病床数の合計は,831.4で,全国,政令市平均よりは少ないものの,新潟県よりは多くなっています。(図16) 医師・歯科医師・薬剤師調査によると,本市の医師,歯科医師は,人口10万対で比較すると,全国,新潟県,政令市平均より多くなっています。

また、本市に勤務する保健師数は、人口10万対で比較すると、新潟県よりは低くなっているが、全国、政令市平均より多くなっています。(図17)

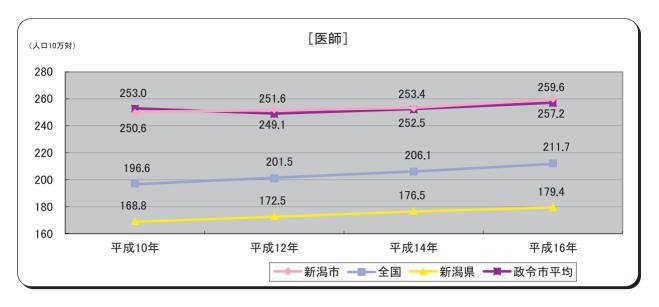
#### 図16 人口10万人当たりの病床数及び1人当たり老人医療費との比較

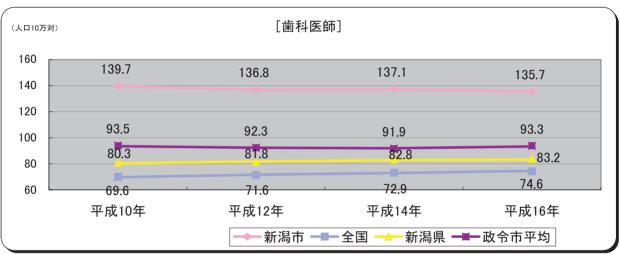


資料:厚生労働省「平成17年医療施設調査」 国民健康保険中央会発行「国民健康保険の実態」

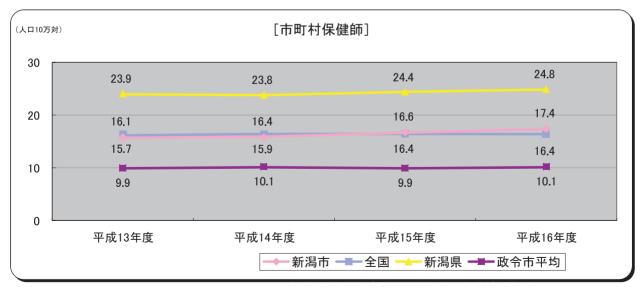
※新潟市及び静岡市の数値は合併市町村を含む平成19年4月1日現在の市域の数値 平成16年度の1人当たり医療費の政令市の数値は平成16年度末現在の市域の数値

#### 図17 保健医療従事者等数





資料:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」 ※ 各市とも平成19年4月1日現在の市域にて算出



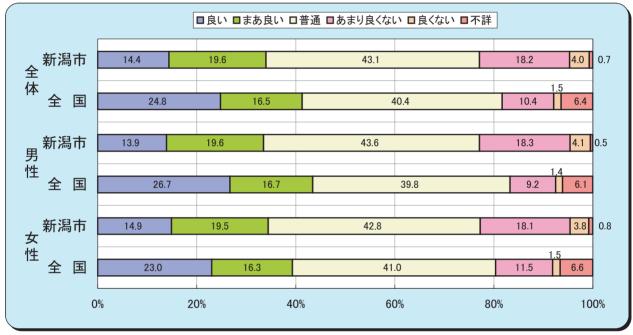
資料:厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」 ※ 各市の市域は各年10月1日現在の市域,人口10万対は各年 10月1日現在の推計人口にて算出

#### 8 健康意識

本市の健康意識は、「良い」、「まあ良い」、「普通」と感じている人の割合が77.1%となっていますが、「良い」と感じている人の割合は、本市は14.4%で、全国の24.8%よりも低くなっている一方、「あまり良くない」と感じている人の割合は、本市は18.2%で、全国の10.4%よりも高くなっており、健康と意識している人の割合が低くなっています。(図18)

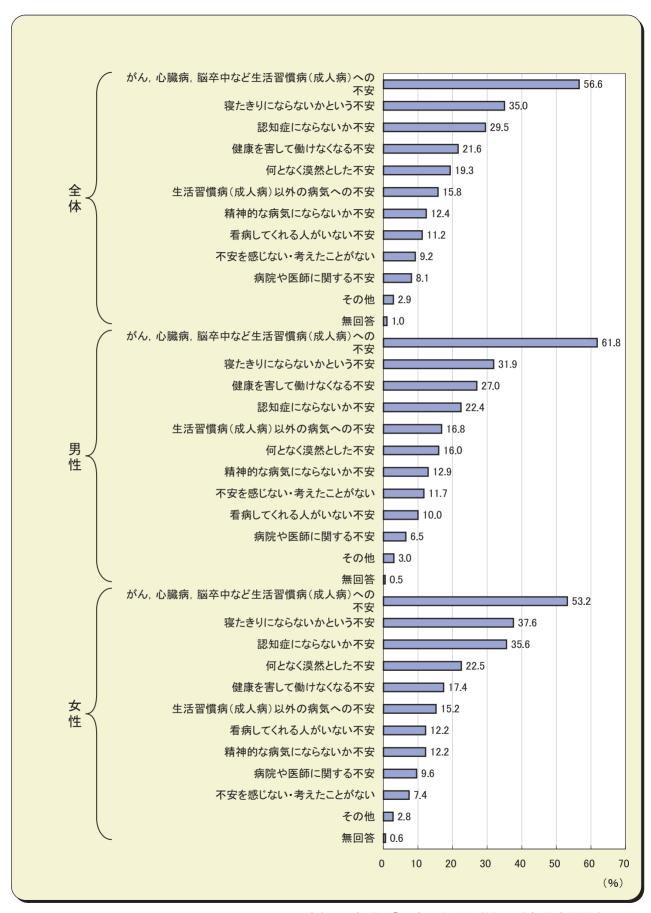
また、将来の健康についての不安は、生活習慣病に対してが一番多く、56.6%、次に寝たきりになるが35.0%、認知症が29.5%であり、男性は生活習慣病に、女性は認知症への不安が多くなっています。(図19)

#### 図18 健康意識



資料:新潟市「平成18年度食育・健康づくりに関する市民アンケート調査」 厚生労働省「平成16年国民生活基礎調査」

#### 図19 将来の健康についての不安



資料 : 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

第3章

対象分野の設定と 分野別の健康づくり目標



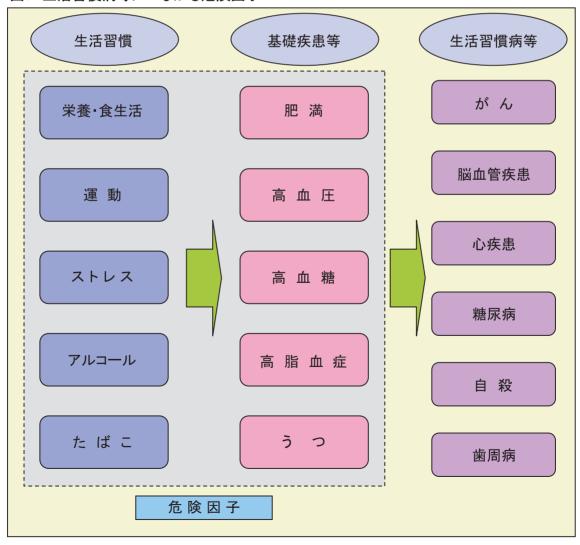
# 第3章 対象分野の設定と分野別の健康づくり目標

#### 1 対象分野の設定

新潟市民の死因の約6割が、がん、心疾患、脳血管疾患等の生活習慣病です。 その発症や進行には、栄養、運動、飲酒、喫煙、ストレス等の生活習慣が深く 関わっていることが明らかになっています。生活習慣を改善することで、危険因 子を減らし、最終的には生活習慣病の発症や進行を予防します。

そこで、生活習慣の改善によって疾病の危険因子を減少させるため、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「休養・こころ」「たばこ・アルコール」「歯の健康」の5分野、また、日頃から自分自身の健康状態を把握するとともに、健診等による疾病の早期発見、早期治療を促すため、「健康管理」を対象分野として設定しています。

#### 図1 生活習慣病等につながる危険因子



#### 2 目標値の設定の考え方

目標値については、国が「健康日本21」において示した目標値をおおむねベースとして、統計や市民意識調査等により、市民の健康状態や健康づくりに対する意識・行動の実態を分析した上で、設定しています。

市民と地域や関係団体、行政がそれぞれの役割を自覚し、実践して、目標値 に近づけること又は目標値の達成を目指していきます。

#### 3 健康づくり施策の方向性

本計画では、目標を実現するための市の取組についての方向性について示すこととし、具体的な施策・事業については、平成19年度に策定する実施計画において検討していく予定です。

#### 4 分野別の健康づくり目標

本市の現状と課題を把握し、昨年度策定した「にいがた市民健康づくりアクションプラン」を踏まえて、具体的な目標を設定しています。

#### ①「栄養・食生活」

重点目標・・・豊かな食生活を実現しよう

#### ②「身体活動・運動」

重点目標・・・体を動かすことを楽しむ日常生活を実現しよう

#### ③ 「休養・こころ」

重点目標・・・こころも体もリラックスしよう

#### ④「たばこ・アルコール」

重点目標・・・たばこは吸わないようにしよう・吸わせないようにしよう アルコールと上手につきあおう

#### ⑤「歯の健康」

重点目標・・・いつまでも自分の歯でおいしく食べよう

#### ⑥「健康管理」

重点目標・・・生活習慣の通信簿 健康診断で自分の健康をチェックしよう

# ① 栄養・食生活 トトト

## ◆◆◆●現状◆◆◆◆

個人のライフスタイルの多様化が進み,食べ残しや食品の廃棄が当たり前のようにされている現代社会において,食卓を中心とした家族の団らんの機会が減り,孤食や朝食の欠食,不規則な食生活が問題となっています。

また、マスメディア等を通じて、食品の安全性など食に関する情報が氾濫し、 食に関する正しい情報を適切に選別し活用することができない状況も見受けら れます。

一方,中高年の「肥満」や若い女性の過度なダイエット等による「やせ」からくる栄養不足が近年指摘されています。

さらに、インスタント食品、冷凍食品、レトルト食品等が豊富に揃い、ファーストフード、コンビニエンスストアや外食産業の増加により、私たちを取り巻く食環境は大きく変化しています。



### 豊かな食生活を実現しよう

栄養・食生活は、健やかな成長や健康で活力ある生活を送るために大切です。 この食生活に偏りがあると、心身に不調が生じたり、肥満や生活習慣病の原 因となります。

市民一人ひとりが生涯にわたって健康で豊かな人間性を育むため、食に関する知識と食を選択する力を習得し、バランスのよい食事を心がけるとともに、健全な食生活を実践しましょう。





- ●毎日、朝食を食べよう
- ●量・質を考えた食事をしよう
- ●自分の適正体重を維持しよう
- ●食を通して環境にやさしい生活を実践しよう



#### 朝食を欠食する人の割合の減少(子ども)



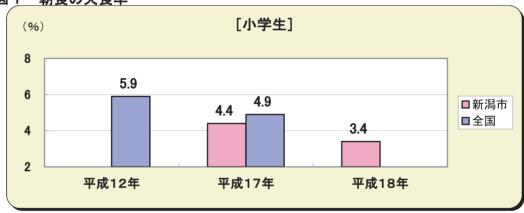
平成18年の生活実態調査によると、本市の朝食を欠食する小・中学生の割合は小学生で3.4%、中学生で5.7%となっています。(図1)

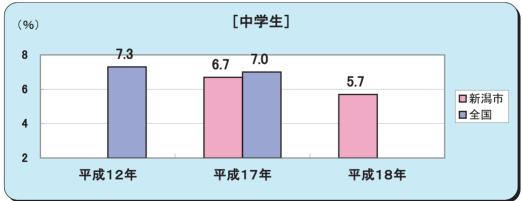
朝食を食べると体温や血糖値が上がり、からだや脳の活動が活発になります。また、朝食を食べないと集中力が落ちイライラしがちとなったり、1回の食事の摂取量が多くなり栄養素にも偏りが生じてしまうことから、成長期のからだづくりにも影響を及ぼします。

朝食を欠食する小・中学生をなくし、子どもの頃からの健全な食生活を実現することを目標とします。

指標		現状値	平成23年度の目標値
朝食を欠食する人の割合	小学生	3. 4%	Ο%
(子ども)	中学生	5. 7%	Ο%

#### 図1 朝食の欠食率







資料: 新潟市教育委員会「学力・生活実態総合調査」 (小学校5,6年生,中学校2,3年生) 独立行政法人日本スポーツ振興センター 「児童生徒の食生活等実態調査」 (小学校5年生,中学校2年生)

#### 朝食を欠食する人の割合の減少(成人)

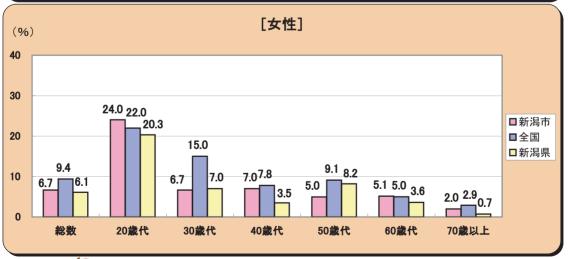
平成17年の市民意識調査では、朝食を欠食する成人の割合は30歳代男性で28.6%、また20歳代女性で24.0%など、男性についてはほとんどの年代で、また女性については20歳代において全国、新潟県よりも高くなっており、男女とも年代が低くなるにつれて欠食する割合が高くなる傾向があります。(図2)

生活習慣病の予防には規則正しい食生活を実践することが大切です。各年代とも 朝食を欠食する人の割合の減少を目標とします。

指標		現状値	平成23年度の目標値
	20歳代男性	31. 2%	
朝食を欠食する人の割合 (成人)	30歳代男性	28. 6%	15%以下
	20歳代女性	24. 0%	

#### 図2 朝食を欠食する人の年代別割合







資料: 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成16年国民健康•栄養調査」 新潟県「平成16年県民健康•栄養実態調査」

#### 主食・主菜・副菜のそろった食事をしている人の割合の増加, 脂肪エネルギー比率の減少

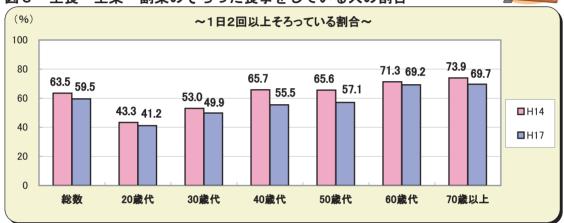
平成17年の市民意識調査では、主食・主菜・副菜のそろった食事をしている 人の割合は59.5%となっています。(図3)

また、食品の摂取頻度でほとんど毎日食べると回答した人の割合は、男女とも緑黄色野菜が2人に1人以上に対して、魚介類は約3人に1人、肉類は約5人に1人となっています。(図4)

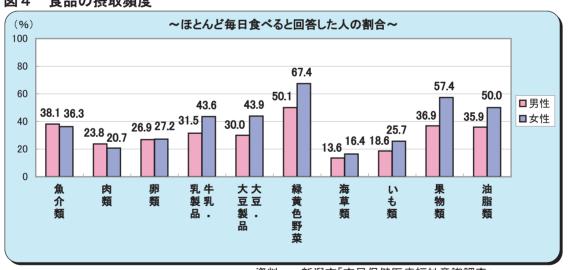
市民一人ひとりが、健康を意識したバランスのよい食事をすることが重要です。 主食・主菜・副菜のそろった食事をしている人の割合の増加と脂肪エネルギー比率の減少を目標とします。

指標	現状値	平成23年度の目標値
主食・主菜・副菜のそろった食事を している人の割合	59. 5%	70%以上

#### 図3 主食・主菜・副菜のそろった食事をしている人の割合



#### 図4 食品の摂取頻度



資料 : 新潟市「市民保健医療福祉意識調査」

指標	現状値	平成23年度の目標値
脂肪エネルギー比率 (20~40歳代)	未把握 (参考 全国: 26.7%)	25%以下

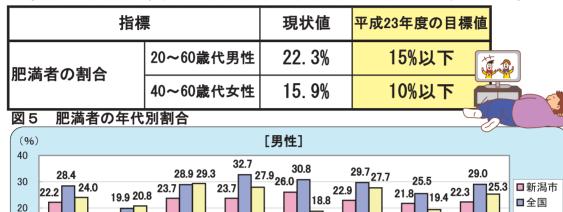


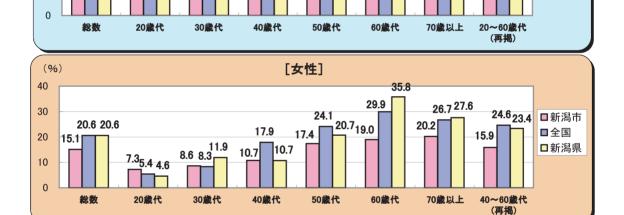
資料 : 厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」

#### 肥満・低体重(やせ)者の割合の減少

平成17年の市民意識調査では、成人の肥満者の割合は、20~60歳代男性で22.3%、40~60歳代女性で15.9%と、男女とも全国、新潟県よりも低く(図5)、低体重(やせ)の者の割合は、20歳代の女性で23.4%と全国よりも高くなっています。(図6)

適正体重を維持することは、さまざまな疾病の発症を予防することにつながります。成人の肥満者と、女性の低体重(やせ)者の割合の減少を目標とします。





指標	現状値	平成23年度の目標値	
低体重(やせ)者の割合	20歳代女性	23. 4%	15%以下

#### 図6 低体重(やせ)者の年代別割合

8.3

10



※ 日本肥満学会判定基準(2000年)

判定	低体重(やせ)	普通	肥満	
ВМІ	18. 5未満	18. 5以上25. 0未満	25. 0以上	

BMI (Body Mass Index)=体重 kg / (身長 m)<sup>2</sup>

資料: 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」 新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」

■新潟県

#### 肥満傾向児の割合の減少

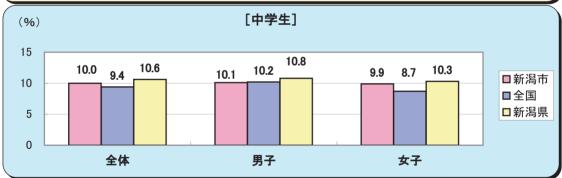
平成17年度の学校保健統計によると、本市の児童生徒の肥満傾向児の割合は、小学生は9.3%、中学生は10.0%と、小・中学生ともに全国よりは高く、新潟県よりは低い傾向があります。(表1)

子どもの時期から適切な食生活や運動習慣を身に付け、生活習慣病につながるお それのある肥満を防止することが大切です。肥満傾向児の割合の減少を目標としま す。

指標		現状値	平成23年度の目標値
	幼児	5. 6%	5%以下
肥満傾向児の割合	小学生	9. 3%	7%以下
	中学生	10. 0%	7%以下

#### 図7 肥満傾向児の割合 (小・中学生)[平成17年度]





#### 表 1 肥満傾向児の割合の推移 (小・中学生) (単位:%)

· (10/1/2011) 1/10/14   1/								
		H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
	新潟市	10.9	9.7	10.4	10.8	10.5	9.6	9.3
小学生	全国	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	7.8	7.7
	新潟県	11.7	10.4	11.2	11.5	11.4	10.6	10.3
	新潟市	8.6	10.1	10.2	10.8	10.9	9.7	10.0
中学生	全国	9.5	9.6	9.9	10.0	9.7	9.6	9.4
	新潟県	9.6	10.1	10.7	11.1	11.2	10.8	10.6

#### 表2 肥満傾向児の割合の推移(幼児)

	(単位:%)			
5	H16	H17		

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
新潟市	3.7	3.2	5.1	5.5	5.2	5.6	4.7	5.6

※肥満度(%)=[実測体重(kg)-標準体重(kg)]÷標準体重(kg)×100

幼児:肥満度15%以上、小・中学生:肥満度20%以上を肥満と判定

資料 : 幼児 新潟市「保育園児肥満やせ出現状況調査」

小•中学生 文部科学省「学校保健統計調査」

新潟県教育庁「定期健康診断に基づく疾病状況調査」

注: 全国の数値は、各学年の値を本市で単純平均したものである。



指標		現状値	平成23年度 (2011年) の目標値	
朝食を欠食する人の割合	小学生	3. 4%	0%	
(子ども)	中学生	5. 7%	0%	
	20歳代男性	31. 2%	15%以下	
朝食を欠食する人の割合 (成人)	30歳代男性	28. 6%	15%以下	
	20歳代女性	24. 0%	15%以下	
主食・主菜・副菜のそろった 食事をしてい	る人の割合	59. 5%	70%以上	
脂肪エネルギー比率	20~40歳代	未把握 (参考 全国: 26.7%)	25%以下	
肥満者の割合	20~60歳代男性	22. 3%	15%以下	
	40~60歳代女性	15. 9%	10%以下	
低体重(やせ)者の割合	20歳代女性	23. 4%	15%以下	
	幼児	5. 6%	5%以下	
  肥満傾向児の割合 	小学生	9. 3%	7%以下	
	中学生	10. 0%	7%以下	



### ◆◆◆ 目標を実現するための市の取組 <



#### ❖ 情報の発信・普及啓発

- □ 栄養・食生活に関する情報をホームページや市報等で継続的に提供 します。
- □ 地域の産物や旬の食材を使った料理の普及に努めます。
- □ 安全な食品選択のための表示などの情報提供を図ります。
- □ 食品の生産・消費・再利用など、循環型フードシステムの大切さを 普及・啓発します。

#### ❖ 学ぶ場や相談の場の充実

- □ 食に関わる健康教室・健康相談や栄養指導の充実に努めます。
- □ 学校,職域,地域,関係団体との連携を図り,市民が参加しやすい 事業展開に努めます。
- □ 学校、幼稚園、保育園等での、地域の特色を生かした学校給食等の 活用に努めます。

#### ♦ 自主グループへの支援

□ 食生活改善推進委員などの地域の自主グループの育成と活動の支援 に努めます。

#### ❖ 環境づくりへの支援

- □ 関係機関と連携し、飲食店等での栄養成分表示とヘルシーメニュー の定着・促進に努めます。
- □ 地域における食生活改善のための取り組みを推進します。
- □ 食文化の継承のための活動を支援します。
- □ 農林漁業者等、食品関連業者等が行う食育推進のための活動を支援 します。



# 2 身体活動·運動 >>>

## ◆◆◆●現状◆◆◆

近年,家事や仕事の質の変化や交通手段等の発達により,日常生活の中で体を動かす機会が減少していることや,運動を意識的に行う機会を持ちにくいなど, 実際に運動を定期的に行っている人は、少ない状況です。

また、身近で遊べる場所の減少や、余暇をテレビの視聴やテレビゲーム等で過ごす時間の増加などにより、外で遊ぶことが少なくなっていることから、基本動作がうまくできない子どもや、加齢に伴う身体機能の低下により転倒する高齢者が増えています。

## ◆◆◆重点目標◆◆◆◆

### 体を動かすことを楽しむ日常生活を実現しよう

身体活動や運動は、生活リズムの調整、ストレス解消等だけでなく、生活習 慣病予防や高齢者の寝たきり予防にも効果があります。

健康づくりのためには、自分の体の状態を把握し、一人ひとりの体力や健康 状態に応じた無理のない運動を楽しく続けていくことが重要です。

楽しく体を動かし、健康的な生活を送りましょう。

## ◆◆◆ 市民の行動目標 ◆◆◆



- ●日常生活で体を動かそう
- ●基本動作を身につけよう
- ●体を動かす楽しさを知ろう
- ●自分の体の状態を知ろう



#### ▶課題と数値目標 ◆◆《



#### 意識的に体を動かす人の割合の増加



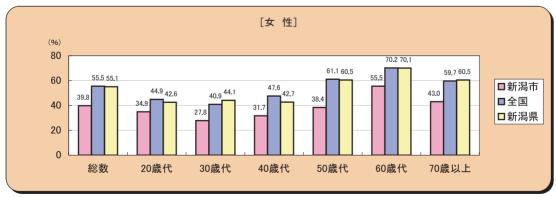
平成17年の市民意識調査では、本市の意識的に体を動かす人の割合は、男性が42.1%、女性が39.8%であり、全国、新潟県に比べて男女とも低くなっています。また、本市を年代別にみると、男女とも60歳以上で高くなっていますが、30歳代で低くなっています。(図1)

平成21年に新潟で開催される国体への取組により、スポーツに対する機運が醸成されつつあります。生活習慣病予防のために、日常生活の中で体を動かす工夫を多く取り入れることが大切であるため、実際に運動を実践してもらえるよう、意識的に体を動かす人の割合の増加を目標とします。

指標		現状値	平成23年度の目標値
意識的に体を動かす人の割	男性	42.1%	63%以上
合	女性	39.8%	63%以上

#### 図1 意識的に体を動かす人の割合





資料: 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成15年国民健康・栄養調査」 新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」

#### 運動習慣を身につけている人の割合の増加

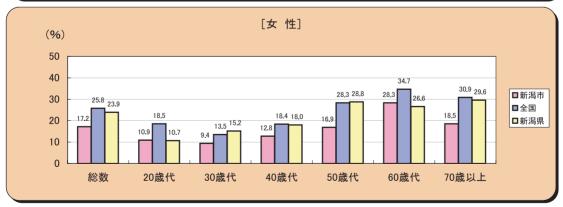
(1日30分以上, 週2回以上, 1年以上継続している人)

平成17年の市民意識調査では、本市の運動習慣を身につけている人の割合は、男性が21.6%、女性が17.2%であり、全国、新潟県に比べて男女とも低くなっています。また、本市を年代別にみると、男女ともに60歳以上で高くなっていますが、男性は40歳代、女性は30歳代で低くなっています。(図2)家事、自転車、階段昇降、通勤のための歩行などの日常生活活動や運動は、生活習慣病を予防し、活動的な生活を送る基礎となる体力を維持・増進することから、無理をせずに続けることが大切です。運動習慣を身につけている人の割合の増加を目標とします。

指標		現状値	平成23年度の目標値
運動習慣を身につけている人	男性	21.6%	39%以上
の割合	女性	17.2%	39%以上

#### 図2 運動習慣を身につけている人の割合





資料: 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」 新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」

#### 体力テスト項目で, 市内の児童生徒が前年度平均を上回った項目 の割合の増加

本市の児童生徒の体力テスト平均数値が平成17年度までは全国平均値を上回っている項目が少ないという結果でした。各学校では、平成17年度から、児童生徒の体力実態に応じて体力向上を図る取組を強化していましたが、平成18年度の結果では、小学生では61.5%の項目で、中学生では64.8%の項目で全国平均を上回り、前年度と比べて多くの項目で上回りました。(図3)

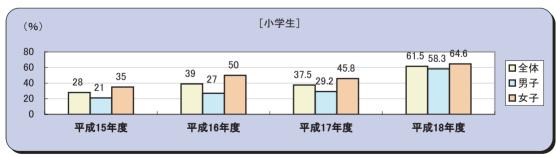
学齢期において、体を動かすことは心身の健全な発育のために重要です。子どもの頃から、体を動かすことに親しみ、体の様々な機能をまんべんなく使うことが大切です。

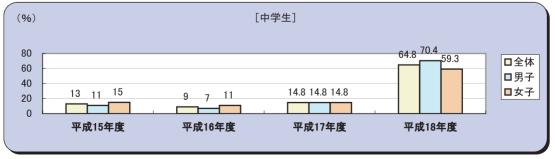
児童生徒の体力や運動能力は全国的に依然低下傾向が続いていることから,本 市の児童生徒の体力を経年的にみることとし,体力テスト項目で,市内の児童生 徒が前年度平均を上回った項目の割合の増加を目標とします。

指標	現状値	平成23年度の目標値	
体力テスト項目で, 市内の児童生徒が	小学生	77.1%	70%
前年度平均を上回った項目の割合	中学生	100%	70%

- ※ この指標は,前年度平均を上回った項目の割合を毎年70%増加させ,5年後には全国平均並みの 体力になることを目標としている。
- ※ 現状値は、体力テスト項目を平成17年度と平成18年度で比較した数値となっている。
- ・ 小学生:8項目×6学年=48項目 男女計96項目 ・・・ 目標値70%:68項目で前年度平均を上回る
- ・ 中学生:9項目×3学年=27項目 男女計54項目 ・・・ 目標値70%:38項目で前年度平均を上回る
- 体力テスト項目:握力, 上体起こし, 長座体前屈, 反復横跳び, 持久走(小学生除く), シャトルラン 50m走, 立ち幅跳び, ボール投げ

#### 《参考》 図3 体力テスト項目で全国平均を上回った項目の割合





資料 : 新潟市「小・中学校体力テスト結果」 文部科学省「体力・運動能力調査」

#### 日常生活における身体活動量の増加

身体活動量を増加させるためには、家事、自転車、階段昇降、通勤のための歩行などの日常生活活動や運動を行うなど体を動かすことを日常生活に取り入れることが大切です。

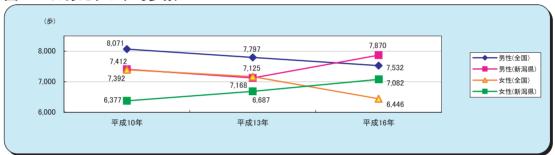
身体活動量の増加を評価する指標がなく、また歩行は歩数計を用いて数値を 把握できることから、1日あたりの平均歩数を指標とし、その増加を目標とし ます。

なお、本市では調査を実施していないため現状の把握ができていませんが、 平成16年の新潟県の調査によると、1日あたりの平均歩数は男性は7、870歩、女性は7、082歩となっています。(図4)

指標		現状値	平成23年度の目標値
1日あたりの平均歩数	男性	未把握 (参考 新潟県:7,870歩)	8,400歩以上
「口のたりの十均少数	女性	未把握 (参考 新潟県:7,082歩)	7,400歩以上

資料 : 新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」

#### 図4 1日あたりの平均歩数



資料 : 厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」,新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」

## ◆◆◆ 数値目標一覧 ◆◆◆

指標		現状値	<b>平成23年度</b> (2011年)の目標値
意識的に体を動かす人の割合	男性	42. 1%	63%以上
息畝的に体を動かり入の割合	女性	39. 8%	63%以上
運動習慣を身につけている人 の割合	男性	21. 6%	39%以上
【1日30分以上,週2回以上, 1年以上継続】	女性	17. 2%	39%以上
体力テスト項目で, 市内の児童 生徒が前年度平均を上回った項	小学生	77. 1%	70%
目の割合	中学生	100%	70%
1日あたりの平均歩数	男性	未把握 (参考 新潟県: 7,870歩)	8, 400歩以上
「ロめたりの干や少奴	女性	未把握 (参考 新潟県: 7,082歩)	7, 400歩以上



#### ❖ 情報の発信・普及啓発



- □ 運動に関する情報を広報紙,ホームページ,リーフレット等で 継続的に提供します。
- □ 平成21年に開催される国体を契機として、スポーツに興味や関心をもった人が、生涯にわたって運動を実践するよう働きかけます。

#### ❖ 学ぶ場や相談の場の充実

- □ 健康や運動に関する教室・相談の充実に努めます。
- □ 健やかな成長を促すために、体力づくりの取組の一層の推進を図ります。

#### ❖ 自主グループへの支援

- □ 運動普及推進委員などの地域の自主グループの育成や活動を支援します。
- □ 体育指導委員を活用した地域のグループの活動の促進を図ります。

#### ❖ 環境づくりへの支援

- □ 公民館等を活用し、高齢者等の社会活動と趣味の仲間づくりを促進します。
- □ 運動クラブ、ボランティア組織、サークル活動等の拡充に努めます。
- □ 地域におけるスポーツ活動の促進や運動できる機会の提供ができるよう支援します。
- □ ウォーキングマップの作成やウォーキングロードの整備に努めます。
- □ 身近なところに体力測定ができる場の提供に努めます。

#### ※【1日1万歩の根拠】

身体活動量と死亡率などの関連をみた疫学研究の結果から、1日あたり約300 Kcal以上のエネルギーを消費するような身体活動が推奨されています。300Kcal のエネルギー消費は、歩数に換算すると、約1万歩に相当します。

資料:厚生労働省「健康日本21」

# 3 休養・こころ トトト



最近は生活様式や価値観などが多様化・複雑化し、またそれらの変化のスピードが速くなっているため、ストレスを抱える市民が増えている状況にあります。

ストレスは,過度に続くと精神的にも身体的にも深刻な影響を与え,睡眠障害 や気分障害などを引き起こし,こころの健康を損なってしまいます。

また、ストレスは神経症やうつ病など精神的な疾患を引き起こす原因となることも知られています。うつ病は早期に相談や治療を受ける事で容易に回復する病気ですが、悪化によって自殺の要因となることもあります。



## こころも体もリラックスしよう

ストレスに対応し、こころの健康を保持増進していくためには、上手に休養を とり、こころも体もリラックスできることが重要です。

一人ひとりが休養の必要性を認識し,「十分睡眠をとる」「余暇を楽しむ」など自分自身にあった休養のとり方を見つけましょう。

また、気軽に相談できる場所や人をつくり一人で悩まずに気軽に相談しましょう。





- ●豊かなコミュニケーションを築こう
- ●ストレスを上手にコントロールしよう
- ●十分に休養をとろう
- ●こころの活力を養おう



#### 🕨 課題と数値目標 🍑 🏈







平成17年の市民意識調査において、「大いにある」「多少ある」の割合は、全体で65.9%、男性で61.9%、女性が69.2%となっており、全国に比べ男女ともストレスを強く感じている人の割合が高いと言えます。(図1)

ストレスが「大いにある」「多少ある」と答えた人のうち、ストレスの処理については、過半数の人が「何とかできている」と答えている一方、「あまりできていない」「まったくできていない」が33.0%であり、3人に1人はストレスを解消できていない現状にあります。(図2)

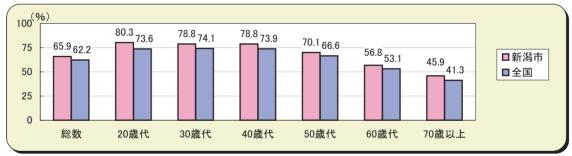
ストレスの解消方法として、「人としゃべったり話を聞いてもらう」が女性は全ての年代で最も多く、男性では、40歳代から60歳代に「酒を飲む」が多くなっています。(データ編197ページ参照)

ストレスを解消し、ストレスと上手に付き合っていくためには、個々に応じたストレスの対処方法を身につけ、また十分な休養をとることが重要です。

こころの健康の保持増進のためにはストレスを解消することが大切であり、ストレスを強く感じた人の割合を減少させることを目標とします。

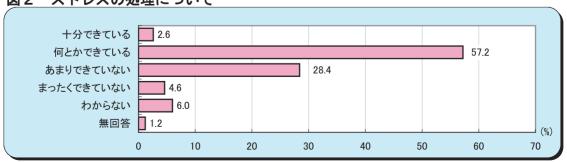
指標	現状値	平成23年度の目標値
最近1ヶ月間にストレスを感じた人の割合	65. 9%	49%以下

#### 図1 最近1ヶ月間にストレスを感じた人の割合



資料: 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成15年国民健康•栄養調査」

#### 図2 ストレスの処理について



資料:新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

#### 睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少

平成17年の市民意識調査において、「まったくとれていない」「あまりとれていない」の割合は、全体で17.7%、男性18.6%、女性17.3%となっています。

年代別では、20歳代から40歳代が高くなっています。(図3)

「睡眠がまったくとれていない」「あまりとれていない」と答える人の約9割は、ストレスが「大いにある」「多少ある」と答えており(図4)、ストレスが多い人は睡眠による休養が十分にとれていないことがわかります。

睡眠は、身体的・精神的な疲労回復には重要不可欠であり、 睡眠による休養を取れていない人の割合の減少を目標とします。

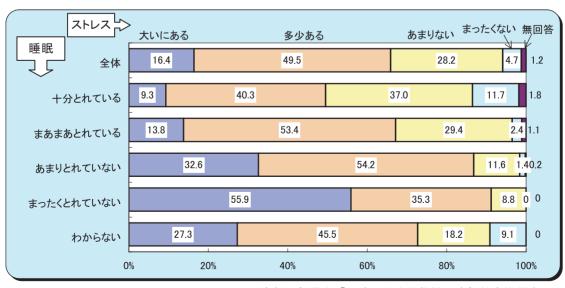
指標	現状値	平成23年度の目標値
睡眠による休養を十分にとれていない人 の割合	17. 7%	10%以下

#### 図3 睡眠による休養を十分にとれていない人の割合



資料:新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

#### 図4 ストレスと睡眠の関係



資料:新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

#### 精神的な病気・認知症に不安を感じている人の割合の減少

平成14年と平成17年の市民意識調査を比較すると,「精神的な病気に不安を感じている人の割合」は、男女それぞれ増加しています。(図5)

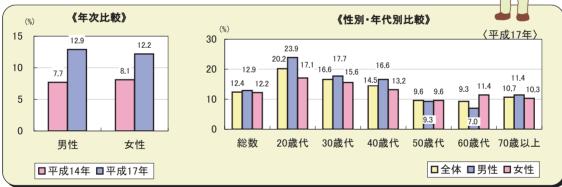
年齢別には、男女とも20歳代がもっとも高く、年齢が進むに連れて不安を感じる割合が減少していきます。

「認知症に不安を感じている人の割合」も平成14年に比べ平成17年では増加していますが、年代別に見ると、「精神的な病気に不安を感じている人の割合」とは逆に、年齢が高くなるにつれて増えていきます。特に女性にその傾向が強く見られます。(図6)

これらの不安は、社会の中での精神的な病気や認知症についての認識不足や、情報の氾濫などから増大すると考えられます。市民一人ひとりが正しい理解を深め、不安を解消していくことが重要であり、精神的な病気や認知症に不安を感じている人の割合の減少を目標とします。

指標		現状値	平成23年度の目標値	
精神的な病気・認知	精神的な 病気	全体	12. 4%	8%以下
症に不安を感じてい	認知症	男性	22. 4%	20%以下
る人の割合	認知症	女性	35. 6%	34%以下

#### 図5 精神的な病気に不安を感じている人の割合



#### 図6 認知症に不安を感じている人の割合



資料:新潟市「市民保健医療福祉意識調査」

#### 自殺による死亡率の減少

平成17年の本市の自殺による死亡者は、男性157人、女性44人と男性が女性の約3倍となっており、年代別に見ると男性では50歳代、女性では20歳代が最も高くなっています。(図7、表1)

経年的に見ると、平成13年まで上昇していますが、その後減少しています。 (図8) 失業率が高くなると自殺率も遅れて高くなる傾向があるようです。 (データ編213ページ参照)

自ら命を絶った人の多くは、うつを始めとした何らかのこころの病気を持っていたと言われていますが、本市の精神疾患患者数は、新潟県福祉保健年報によれば、新潟県とともに増加しており、平成8年から約1.2倍に増加しています。(図9)また、うつ症状の認知度については、25歳から64歳までの市民を対象に実施したアンケート調査によれば、「抑うつ気分」「やる気が出ない」「自信の喪失」は約8割、「自殺願望」「眠れない」は約7割の市民がうつの症状として認識していましたが、うつの特徴として重要な「朝気分が悪く夕方良くなる」「朝早く目が覚めてしまう」はいずれも2割前後と低くなっていました。(図10)

自殺は本人にとって大変つらく悲しい選択であるとともに、残された家族にとっても悲しい出来事であるため、自殺による死亡率が減少することを目指します。

指標	現状値	平成23年度の目標値
自殺による死亡率(人口10万対)	24. 9	20以下

#### 図7 性別・年代別自殺死亡率



資料: 新潟市「平成17年人口動態統計」, 厚生労働省「平成17年人口動態統計」, 新潟県「平成18年福祉保健年報」

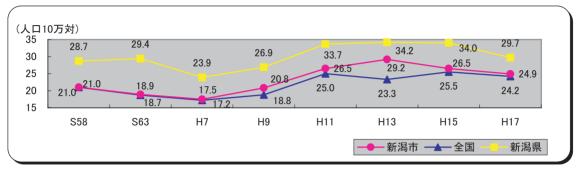
表1 平成17年の自殺死亡者数と死亡率

	実数(人)			実数(人) 死亡率(人口10万対)		
	総数	男性 女性		総数	男性	女性
新潟市	201	157	44	24.9	40.4	10.5
全国	30,553	22,236	8,317	24.2	36.1	12.9
新潟県	718	528	190	29.7	45.0	15.2

資料:新潟市「平成17年人口動態統計」

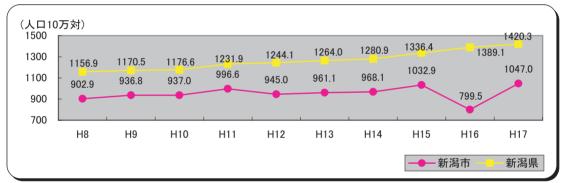
厚生労働省「平成17年人口動態統計」,新潟県「平成18年福祉保健年報」

#### 図8 自殺死亡率の経年変化



資料:厚生労働省「人口動態統計」,新潟県「福祉保健年報」

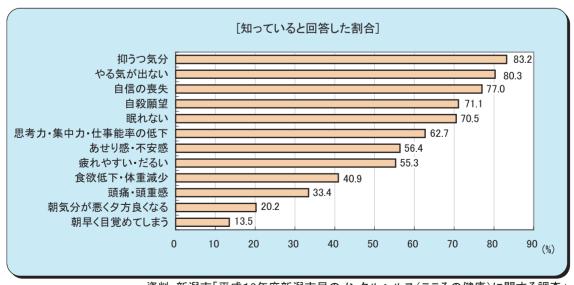
#### 図9 精神疾患患者数の推移



資料:新潟県「福祉保健年報」

※各年度末現在の保健所管轄別の報告であるが、平成17年3月21日に合併したため、H16の数値は、合併市町村の患者の一部が合併前の管轄保健所に計上されていると考えられる。

#### 図10 うつの症状としてどのような症状を知っていますか(複数回答)



資料:新潟市「平成18年度新潟市民のメンタルヘルス(こころの健康)に関する調査」



指植	現状値	平成23年度 (2011年) の目標値		
最近1ヶ月間にストレスを原	65. 9%	49%以下		
睡眠による休養を十分にと	17. 7%	10%以下		
	精神的な病気	の不安	12. 4%	8%以下
精神的な病気・認知症に 不安を感じている人 の割合	認知症の	男性	22. 4%	20%以下
	不安	女性	35. 6%	34%以下
自殺による死亡率(人口107	24. 9	20以下		





#### ❖ 情報の発信・普及啓発

- □ 市民講座などを通して、休養やこころの健康に関する正しい知識を 普及・啓発します。
- □ メンタルヘルス対策や、うつなどの情報についてホームページや市報 等で継続的に提供します。

#### ❖ 学ぶ場や相談の場の充実

- □ 学校や職場においてコミュニケーションスキルトレーニングの充実に 努めるよう支援します。
- □ こころの健康センターを中心とした相談体制の充実・強化を図ります。
- □ 生涯学習やスポーツの普及・推進を図ります。

#### ❖ 自主グループへの支援

□ 育児不安や育児ストレスを解消するため、子育てサークルや子育て 支援グループの育成・援助をします。

#### ❖ 環境づくりへの支援

- □ 地域でコミュニティサロンを作るなど、交流が深まるように 努めます。
- □ 職域と連携し、働く人のメンタルヘルス対策を支援します。



# 4 たばこ・アルコール

## ◆◆◆●現状◆◆◆◆

近年,成人の喫煙率のうち,男性は減少傾向にある一方,女性は横ばい状況 となっています。

たばこはがん,心臓病,呼吸器疾患,歯周病など多くの病気と関わりがある ほか,流産や早産など妊婦への影響も指摘されています。さらに,吸う人本人 だけでなく,周囲の人への健康にも影響を及ぼします。

また、お酒は古来から、祝祭や会食など、生活・文化の一部として親しまれてきた一方、飲みすぎは肝臓病、脳卒中、がん等の生活習慣病を引き起こす要因となるほか、アルコール依存傾向を生み、健康を損なうばかりでなく、社会への適応能力が低下していく可能性もあります。

## ◆◆◆ 重点目標◆◆◆

たばこは吸わないようにしよう・吸わせないようにしよう アルコールと上手につきあおう

たばこやアルコールについての健康への影響を認識し、喫煙者はマナーを守り、アルコールについては「節度ある適度な飲酒」を心がけるとともに、未成年者の喫煙、飲酒の防止を社会全体で目指しましょう。







- ●卒煙(禁煙)にチャレンジしよう
- ●受動喫煙を防止しよう
- ●節度ある適度な飲酒を心がけよう



#### 課題と数値目標 🍑 🍑



#### 喫煙者の割合の減少

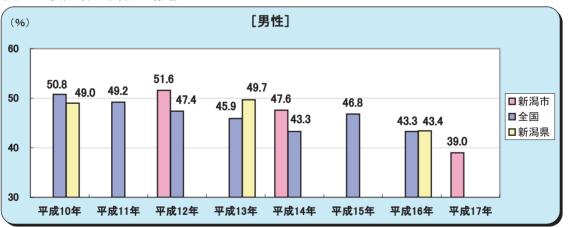
平成17年の市民意識調査では、喫煙者の割合は男性で39.0%、女性で 10.3%となっており、男性については全国、新潟県よりも低く減少傾向であ りますが、女性については全国よりは低いものの、新潟県よりは高く横ばい状況 となっています。(図1)

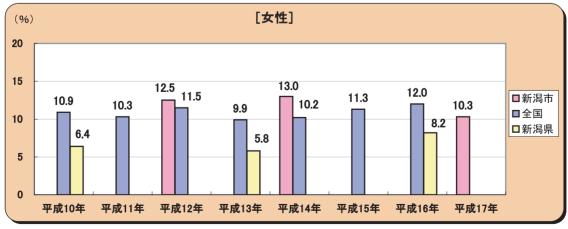
また、一番喫煙者割合の高い年代は、男性は全国が30歳代、新潟県は20歳 代に対し,本市は40歳代が51.0%と一番高く,女性は全国が20歳及び 30歳代,新潟県は20歳代に対し,本市は30歳代が16.7%と一番高くな っています。(図2)

たばこには、依存性のあるニコチンだけでなく、タール、一酸化炭素、アンモ ニアなどさまざまな有害物質が含まれており、肺がん、心筋梗塞、脳卒中などの 生活習慣病の発症を引き起こす危険性を高めると言われています。男女ともに喫 煙者の割合の減少を目標とします。

指標		現状値	平成23年度の目標値
喫煙者の割合	男性	39. 0%	30%以下
大性省の引口	女性	10. 3%	5%以下

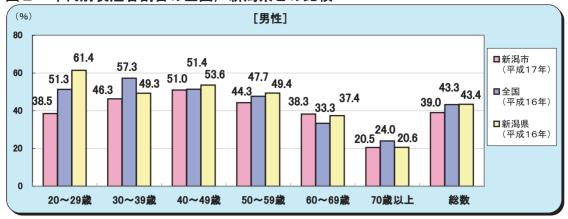
#### 喫煙者の割合の推移 図 1

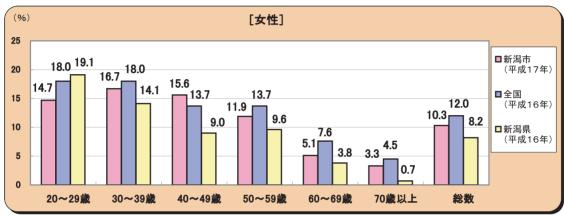




資料 : 新潟市「市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「国民健康・栄養調査」 新潟県「県民健康・栄養実態調査」

#### 図2 年代別喫煙者割合の全国, 新潟県との比較





#### 図3 政令市との喫煙者割合の比較





資料 : 新潟市「市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「国民健康・栄養調査」 新潟県「県民健康・栄養実態調査」 その他政令市等については各市の独自調査結果より

#### 分煙の必要性を考えている人の割合の増加

平成17年の市民意識調査では、分煙の必要性を考えている人の割合は男性で55.2%、女性で56.4%となっています。(表1)

たばこの煙は、周囲の人々への受動喫煙につながり、肺がん、肺気腫などの呼吸器疾患や、心筋梗塞、乳幼児突然死症候群(SIDS)などを引き起こすことが指摘されています。

分煙の必要性を考えている人の割合を、男女とも100%とすることを目標と します。

指標		現状値	平成23年度の目標値
分煙の必要性を考えている	男性	55. 2%	100%
人の割合	女性	56. 4%	100%

表 1 分煙の必要性を考えている人の割合の推移

N · MANANE CONTRACTOR					
	平成12年	平成14年	平成17年		
男性	55.9%	53.8%	55.2%		
女性	66.3%	62.2%	56.4%		

表 2 禁煙·分煙宣言施設登録状況 (年度末現在) (平成19年3月31日現在)

	施設数
平成16年度	164
平成17年度	394
平成18年度	442

区分	敷地内禁煙	施設内禁煙	喫煙室設置 による 空間分煙	小計
教育施設	195	7		202
保健医療福祉施設	113	77	6	196
官公庁		2	2	4
金融機関				
文化施設	1	7	1	9
飲食店・宿泊施設	1			1
娯楽施設		14		14
公共交通機関			1	1
その他	1	11	3	15
合計	311	118	13	442

資料 : 新潟市「市民保健医療福祉意識調査」 「禁煙・分煙宣言施設登録状況」



#### 多量に飲酒する人の割合の減少

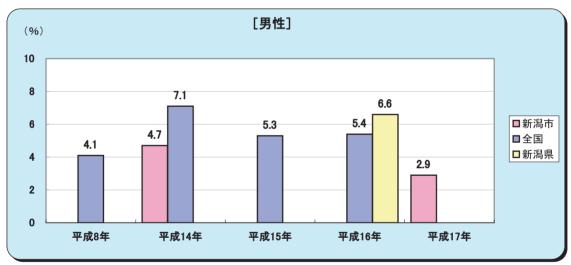
平成17年の市民意識調査では,多量に飲酒する人の割合(注1)は男性で2.9%,女性で0.3%となっており(図4),40歳から60歳の男性で約2人に1人が,また40歳から50歳の女性で約6人に1人が週5日以上飲酒する習慣があります。(図5)

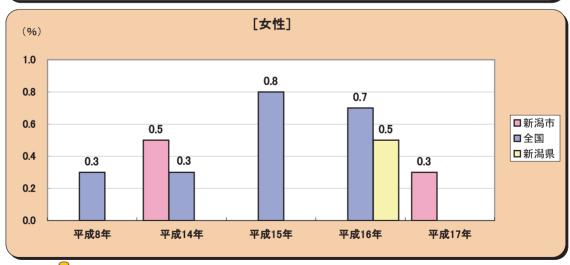
節度ある適度な飲酒は心身の緊張をやわらげ、ストレスの解消や休養等の効果があります。しかし、その一方で過度の飲酒は肥満や糖尿病、肝臓病などの生活習慣病を引き起こす危険性があります。多量に飲酒する人の割合の減少を目標とします。

指標		現状値	平成23年度の目標値
多量に飲酒する人の割合	男性	2. 9%	2%以下
夕里に飲旧する八の司日	女性	0. 3%	0.2%以下

注1:【多量に飲酒する人=一日平均純アルコール約60g(日本酒で約3合)を超えて摂取する人】

#### 図4 多量飲酒者の割合の推移

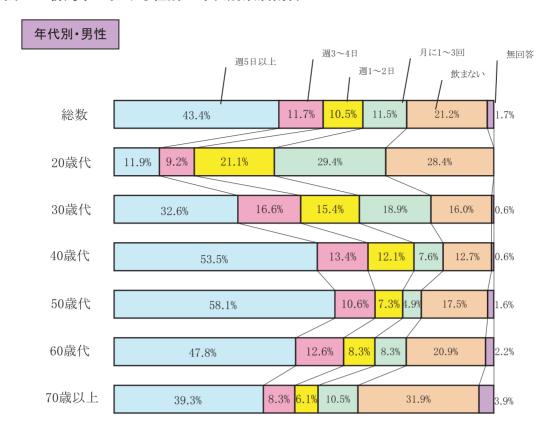




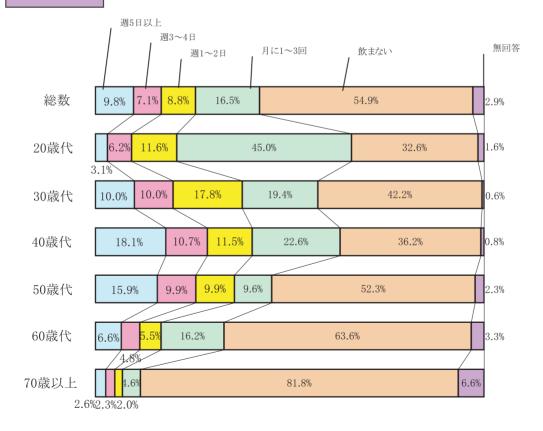
BE BEER

資料: 新潟市「市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「国民健康・栄養調査」 新潟県「県民健康・栄養実態調査」

#### 図5 新潟市における性別・年代別飲酒割合

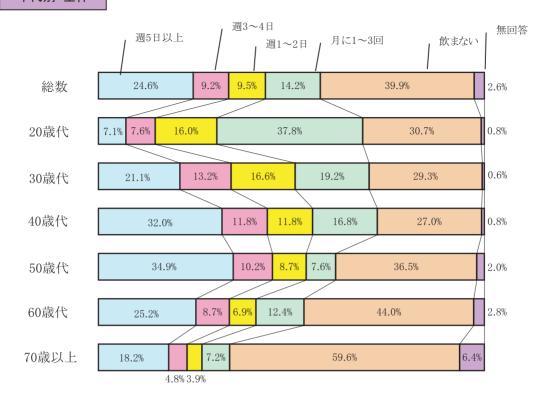


#### 年代別 女性



資料 : 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

#### 年代別•全体



資料 : 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

## ◆◆◆ 数値目標一覧 ◆◆◆

指標		現状値	平成23年度 (2011年) の目標値
喫煙者の割合	男性	39. 0%	30%以下
大柱石の割口	女性	10. 3%	5%以下
分煙の必要性を考えている人の	男性	55. 2%	100%
割合	女性	56. 4%	100%
多量に飲酒する人の割合	男性	2. 9%	2%以下
夕里に以泊り る人の引口	女性	0. 3%	0. 2%以下

### 🍑 🌑 目標を実現するための市の取組 🍑 🤇

#### ❖ 情報の発信・普及啓発

- □ 喫煙防止の知識の普及・啓発に努めます。
- □ ホームページ等による卒煙(禁煙)関連情報の提供や禁煙指導の実施 に努めます。
- □ 受動喫煙の健康影響について普及・啓発します。
- □ 適量で節度あるアルコールの飲み方の普及・啓発に努めます。

#### ❖ 学ぶ場や相談の場の充実

- □ 小・中・高校で継続した防煙学習の普及に協力します。
- □ 学校における飲酒に関する学習の実施を推進します。
- □ 地域の相談窓口や話し合いの場の充実に努めます。

#### ◆ 自主グループへの支援

□ 未成年喫煙者に声かけできる地域づくりを目指します。

#### 環境づくりへの支援

- □ 学校や幼稚園・保育園等での敷地内禁煙の推進を支援します。
- □ 医療機関の取り組み (禁煙外来等) を支援します。
- 医師会, 歯科医師会, 薬剤師会等の関係機関と連携して卒煙(禁煙) の支援体制に協力します。
- □ 公共施設、企業、飲食店などの「禁煙・分煙宣言施設」の登録の 増加に努めます。
- □ 路上喫煙の防止に努めます。
- □ 自動販売機利用者の制限に協力します。
- □ 販売店における年齢確認の徹底を支援します。





## ⑤歯の健康▶▶

## ◆◆◆●現状◆◆◆◆

むし歯や歯周病は、その発病、進行により、歯の喪失に繋がるため、食生活や社会生活等に支障をきたし、ひいては、全身の健康に影響を与えるものとされています。

従来の歯科保健対策は、小児期におけるむし歯予防対策を中心として実施されてきており、その結果、むし歯は減少傾向を示しています。

しかし、年齢が進むにつれて、乳幼児期にはむし歯が、学齢期にはむし歯や 歯肉炎が、壮年期には歯周病が増加しています。

また、現代の食生活は「軟食の時代」と呼ばれ、柔らかい物を好んで食べる傾向があります。特に、子どもの好きな食べ物には、シチュー、ハンバーグ、プリンなど柔らかい物が多く、その結果、「かまない子」「かめない子」が増加しています。



### いつまでも自分の歯でおいしく食べよう

そしゃく

歯や口の健康を保つことは、食物を咀嚼することだけでなく、食事や会話を楽 しむなど、いきいきとした生活を送るうえで、大きな役割を果たしています。

また、自分の歯でゆっくりとよくかんで食事をすることが、肥満の予防につながります。生活習慣病の予防をすすめるためにも、食生活を支える入口・土台とも言える歯の健康が大切です。

むし歯や歯周病を予防し、生涯を通じて自分の歯で食べる楽しみを持ち、全身の健康を保ちましょう。

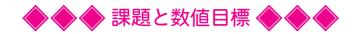






- ●正しい歯みがきや歯間清掃の習慣を身につけよう
- ●よくかんで食べる習慣を身につけよう
- ●口と全身の健康の関係を知ろう

※ 8020運動・・・・自分の歯が20本以上あれば、ほとんどの食べ物を不自由なく食べられる調査結果に基づき、80歳になっても自分の歯を20本以上を残すことを目指した歯と口の健康づくり運動です。



#### むし歯のある幼児の割合の減少

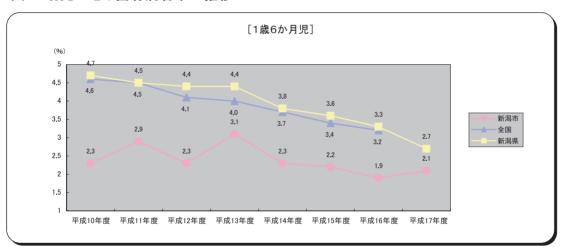
本市の幼児のむし歯有病率は、経年的にみると、改善する傾向が見られていますが、1歳6か月児で、2.1%がむし歯を持っています。さらに、3歳児では、23.7%と、年齢が進むにつれて、むし歯が増加しています。

また,幼児のむし歯有病率は,全国,新潟県に比べて低くなっています。 (図1)

幼児期は、歯みがきや食習慣などの基本的な生活習慣を身につける重要な時期であり、生涯を通じた歯の健康づくりに対する波及効果も高いと言えます。むし歯のある幼児の割合の減少を目標とします。

指標		現状値	平成23年度の目標値
むし歯のある幼児の割合	3歳児	23.7%	20%以下

#### 図1 幼児のむし歯有病者率の推移





※ 新潟市の数値は、平成10年度から16年度までは旧新潟市の数値(3歳児は旧新潟市及び旧小須戸町の数値)です。

資料 : 新潟市「歯科健康診査結果」,厚生労働省「歯科保健課調査」,新潟県「母子保健事業報告」

#### 永久歯一人平均むし歯本数の減少

本市では、小学校1年生の3.6%にむし歯があります。経年的にみると、むし歯有病者率は減少していたが、平成15年度からは若干の増加が見られます。(図2)

また、学年が進むにつれてむし歯有病者率は増え、小学校6年生では約35%、中学校3年生では約57%にむし歯があります。(図3)

小学校1年生で、本市の一人平均むし歯本数は0.05本です。経年的にみると、一人平均むし歯本数は減少傾向が続いていますが、学年が進むにつれてむし歯本数は増え、小学校6年生では0.81本、中学校3年生では2.07本のむし歯があります。(図4、5)

また,一人平均むし歯本数は,全国に比べて低くなっていますが,新潟県と比べると若干高くなっています。(図4)

学齢期は、乳歯と永久歯が混在するため、口腔内が複雑な時期で、むし歯が出来やすくなることから、永久歯のむし歯予防をしていくことが大切です。永久歯一人平均むし歯本数の減少を目標とします。

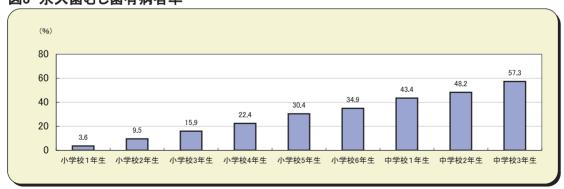
指標		現状値	平成23年度の目標値
永久歯一人平均むし歯本数	中学校1年生	1.18本	1本以下

#### 図2 6歳児むし歯有病者率の推移



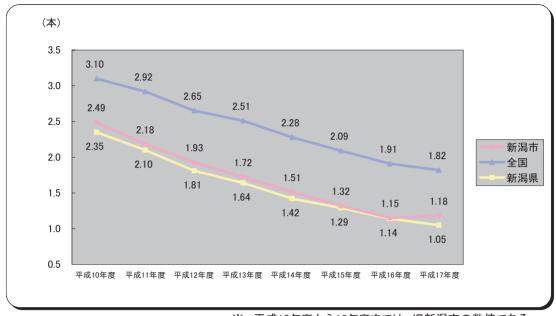
※ 平成10年度から16年度までは、旧新潟市の数値である。 資料: 新潟市「学校保健統計」

#### 図3 永久歯むし歯有病者率



資料 : 新潟市「平成17年度学校保健統計」

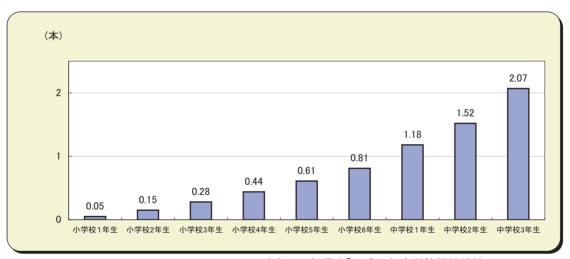
#### 図4 12歳児一人平均むし歯本数の推移



※ 平成10年度から16年度までは、旧新潟市の数値である。

資料 : 新潟市「学校保健統計」,文部科学省「学校保健統計調査」,新潟県「歯科疾患状況調査」

#### 図5 永久歯一人平均むし歯本数



資料 : 新潟市「平成17年度学校保健統計」



#### 歯や口の状態に満足している人の割合の増加

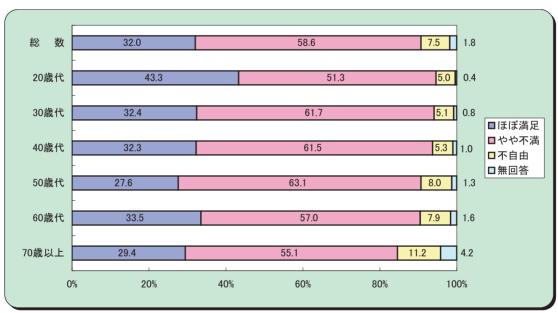
本市の歯や口の状態に満足している人の割合は、全体で32.0%で、約3人に1人となっています。全体として、各年代で「やや不満だが、日常生活は特に困らない」と感じている人が多くなっています。(図6)

一方,「不自由や苦痛を感じている」人の割合は,高齢になるほど増加しています。

歯や口の健康が全身の健康に密接に関連性があることから、日頃から自分の歯 や口の健康を意識することが大切です。歯や口の状態に満足している人の割合の 増加を目標とします。

指標		現状値	平成23年度の目標値
歯や口の状態に満足している人の割合	40歳代	32.3%	40%以上
	50歳代	27.6%	40%以上

#### 図6 歯や口の状態に満足している人の割合



資料 : 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」



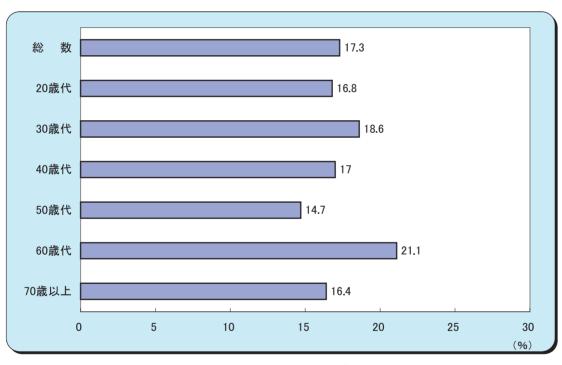
#### 定期的に歯科健診を受診する人の割合の増加

本市の定期的に歯科健診を受診する人の割合は、全体で17.3%で、約6人に1人となっています。年代別にみると、60歳代で一番多く、21.1%となっています。(図7)

むし歯や歯周病などの歯科疾患は自覚症状を伴わないことも多く,疾患がある程度進行した時点で症状が気づくため,定期的に歯科健診を受診することが 大切であることから,受診する人の割合の増加を目標とします。

指標		現状	平成23年度の目標値
定期的に歯科健診を受診する人の割合	40歳代	17.0%	30%以上
	50歳代	14.7%	30%以上

#### 図7 定期的に歯科健診を受診する人の割合



資料 : 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」





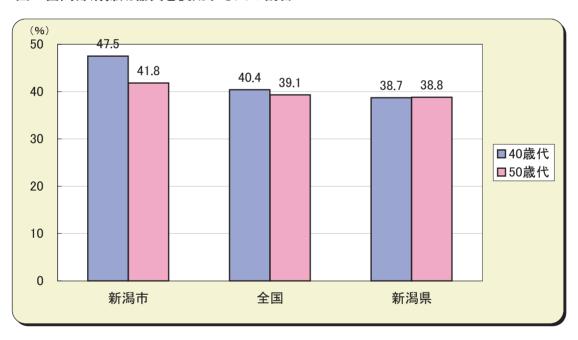
#### 歯間部清掃用器具を使用する人の割合の増加

平成17年の市民意識調査では、本市の歯間部清掃用器具を使用する人の割合は、40歳代で47.5%、50歳代で41.8%となっています。(図8)

歯ブラシでは歯と歯の間の汚れを除去することは難しいため、歯間部から歯肉の炎症が生じるケースが多くなっています。このため、デンタルフロス(糸ようじ)や歯間ブラシなどの歯間部清掃用器具を歯ブラシと併せて使用することで、歯と歯の間の清掃効果が高まり、歯周病予防につながります。歯間部清掃用器具を使用する人の割合の増加を目標とします。

指標		現状値	平成23年度の目標値
歯間部清掃用器具を使用する人	40歳代	47.5%	50%以上
の割合	50歳代	41.8%	50%以上

#### 図8 歯間部清掃用器具を使用する人の割合



資料:新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」 新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」

# 進行した歯周炎(健診で4mm以上の深い歯周ポケット)を持っている人の 割合の減少

平成17年の成人歯科健診結果では、本市の進行した歯周炎を持っている人の 割合は、40歳で47%、50歳で59%となっています。(図9)

歯が失われる主な原因の1つは歯周病です。歯周病とは、歯を支える周囲の組 織に起こる病気で、軽いもので歯肉が病気のものを歯肉炎、重いもので歯肉だけ でなく骨などにまで病気が及んだものを歯周炎と呼んでいます。

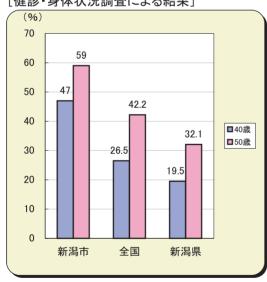
歯周病を放っておくと最悪の場合、歯が抜け落ちることとなることから、歯周 病の予防,進行防止を徹底することが歯の喪失予防に重要です。

進行した歯周炎を持っている人の割合の減少を目標とします。

指標		現状値	平成23年度の目標値
進行した歯周炎(健診で4mm以上の深	40歳	47%	40%以下
い歯周ポケット)を持っている人の割合	50歳	59%	50%以下

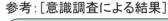
# 図9 進行した歯周炎を持っている人の割合

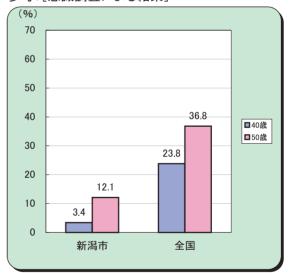
[健診・身体状況調査による結果]



※ 全国, 新潟県の数値は, 40歳(35~44歳), 50歳(45~54歳)である。

資料:新潟市「平成17年成人歯科健診結果」 厚生労働省「平成17年歯科疾患実態調査」 新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」





※ 新潟市の数値は、40歳代、50歳代、全国の数値 は、40歳(35~44歳)、50歳(45~54歳)である。

資料:新潟市「平成18年度食育・健康づくりに関する 市民アンケート調査」 厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」





指標		現状値	<b>平成23年度</b> (2011年)の目標値
むし歯のある幼児の割合	3 歳児	23. 7%	20%以下
永久歯一人平均むし歯本数	中学校 1 年生	1.18本	1本以下
歯や口の状態に満足している人の	40歳代	32. 3%	40%以上
割合	50歳代	27. 6%	40%以上
定期的に歯科健診を受診する人の	40歳代	17. 0%	30%以上
割合	50歳代	14. 7%	30%以上
歯間部清掃用器具を使用する人の	40歳代	47. 5%	50%以上
割合	50歳代	41. 8%	50%以上
進行した歯周炎(健診で4mm以上の 深い歯周ポケット)を持っている	40歳	47%	40%以下
人の割合	50歳	59%	50%以下

# ◆◆◆ 目標を実現するための市の取組 ◆◆◆

# ❖ 情報の発信・普及啓発

- □ 歯の健康に関する情報を広報紙、ホームページ、リーフレット等で継続的に提供します。
- □ 各種イベントやコンクール等を通じて、歯の健康に関する正しい 知識を普及啓発します。
- □ 学校、幼稚園、保育園及び歯科医療機関と連携し、むし歯や歯周 病予防について普及啓発します。

# ❖ 学ぶ場や相談の場の充実

- □ 歯の健康に関する教室・相談の充実に努めます。
- □ 学校、職域、関係機関との連携を図り、市民が参加しやすい事業 展開を図ります。
- □ 地域における歯科保健のための取組を推進します。
- □ 生涯健康な歯で食生活を豊かにするための取組に努めます。

# ❖ 環境づくりへの支援

- □ 歯科医療機関と連携し、誰もが気軽に健診を受けられるよう体制整備に努めます。
- □ 歯科医師会など関係機関や団体と連携し、歯科健診の充実や「かかりつけ歯科医」の推進に努めます。

# 6 健康管理>>>

# ◆◆◆□ 現状◆◆◆

長年の不適切な食事や運動不足、喫煙などにより、肥満や高血糖、高血圧、高脂血などの症状が現れます。最初は自覚症状に乏しく、日常生活に大きな支障はありませんが、生活習慣の改善がなされないと、糖尿病等の悪化や人工透析等の合併症へ進行し、また脳血管疾患や虚血性心疾患の発症などの危険度が増大します。

最近の研究では、内臓脂肪の蓄積が高血糖や高血圧、さらには心疾患などを引き起こしていることがわかり、「メタボリックシンドローム」として内臓脂肪に着目して健康管理を考えていく方向にあります。

また、ストレス社会のなかで、自覚のないままこころの健康度が低下している現 状もあります。

# ◆◆◆重点目標◆◆◆◆

# 生活習慣の通信簿 健康診断で自分の健康をチェックしよう

日頃の生活習慣が、健康的な生活に役立っているかどうかを客観的な数値で確認 できるのが健康診断です。

生活習慣病への不安が多い現状の中,その不安を解消するための第一歩として健 康診断を受けましょう。

運動習慣の定着や食生活の改善による内臓脂肪の減少が生活習慣病発症リスクを 低減させることから、腹囲や体重を自宅などでこまめに計測し、適正な腹囲、体重 に近づけるよう心がけましょう。

また, うつの始まりには食欲がなく, 体重の減少が見られることもあります。健康診断を受けるときに相談したり, 「気持ちが晴れない」, 「悩みが解決しない」時はこころのセルフチェックをしてみることも大切です。

# ◆◆◆市民の行動目標◆◆◆

- ●自分の適正な体重や腹囲に近づけよう
- ●健康診断を受けよう
- ●健康診断の結果を生活習慣の中に活かそう
- ●がん検診を受けよう
- ●気持ちが晴れない日が続いたらこころのセルフチェックをしよう





# 健康診断を受ける人の割合の増加

平成18年度の市民アンケートでは、過去1年間に市や職場などの健康診断を受けた人の割合は74.8%となっており、全国の60.4%に比べ、健康診断を受ける人の割合が高くなっています。(図1)また、本市の基本健康診査の受診率は毎年微増しています。(図2)

平成14年の市民意識調査では、健康診断を受けなかった理由は、「都合がつかなかった」27.6%、「医者にかかっている」21.5%、「健康に自信がある」18.6%の順となっています。(図3)

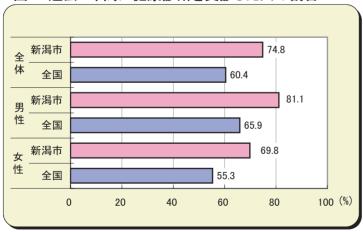
乳幼児期には乳幼児健診,園児,生徒,学生には学校などでの定期健診が行われており,健康管理をしていくためには,自分自身の健康状態を知ることが必要であり,生涯を通じて1年に1回は健康診断を受けることが大切です。

本来,健康診断は病気の早期発見・早期治療(二次予防)の目的で実施されていますが,毎日の生活習慣の見直し(一次予防)のきっかけとしても活用できます。

健康に自信があるなしに関わらず、市や職場などでの健康診断を受ける人の割合の増加を目標とします。

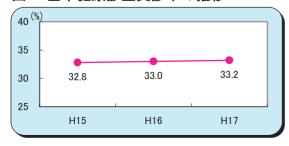
指標	現状値	平成23年度の目標値
健康診断を受ける人の割合	74. 8%	80%以上

# 図1 過去1年間に健康診断を受診した人の割合



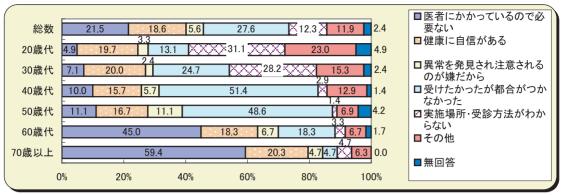
資料: 新潟市「平成18年度食育・健康づく りに関する市民アンケート調査」 厚生労働省「平成16年国民生活基礎調査」

## 図2 基本健康診査受診率の推移



資料:新潟市保健所提供 ※市町村合併のため,新市域での 受診率を再算出。

## 図3 健康診断を受けなかった理由



資料:新潟市「平成14年市民保健医療福祉意識調査」

# 内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム) を 認知している人の増加

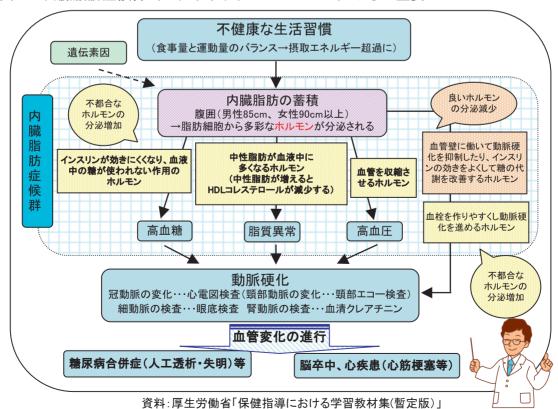
最近の研究により、運動習慣の定着と食生活の改善が内臓脂肪を減少させ、生活 習慣病の発症リスクが低減することがわかってきました。

腹囲は誰でも容易に計測でき、判定基準は複雑な計算など不要であるため、生活 習慣病予防の指標としては大変有効です。

平成18年度の市民アンケートによれば、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の認知度は65.0%となっており市民の半数以上が認知しています。

「内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)」の概念(図4)を市民に広く普及させ、市民が腹囲(内臓脂肪)を指標として生活改善を図ることができるよう、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の認知度を目標とし、増加を目指します。

## 図4 内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)はなぜ重要か



指標	現状値	平成23年度の目標値
内臓脂肪症候群(メタボリックシンド ローム)を認知している人の割合	65. 0%	80%以上

※データについてはデータ編253ページを参照

# 内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム) の 該当者・予備群の減少

本市では調査を実施していないため現状を把握できていませんが、平成16年の新潟県の調査での内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の該当者は、男性17.9%、女性7.1%であり、その可能性のある予備群は男性24.4%、女性9.5%でした。全国と比較すると、男性は49歳以下で、女性は50歳以上でともに高くなっています。(図5)

また、参考値として、本市の基本健康診査における血圧、脂質代謝、糖代謝の有所 見率を経年的に見ると、総コレステロールの判定基準が変更になった平成13年度と 14年度を除き、血圧、脂質代謝の有所見率は横ばい傾向にありますが、糖代謝につ いては、平成14年度の基準値変更後も上昇を続けており、本市においても、内臓脂 肪症候群(メタボリックシンドローム)の該当者や予備群が増加していることが予測 できます。(図6)

さらに、本市で実施している中学校1年生の希望者を対象とした「生徒の生活習慣病予防健診」の結果を見ると、中学校1年生の段階で既に血液検査等に異常がみられる生徒もおり、大人だけの問題ではないようです。(図7)

生活習慣を改善し、内臓脂肪症候群 (メタボリックシンドローム)の該当者や予備 群の減少を目標とします。

指標		現状値	平成23年度の目標値
内臓脂肪症候群 (メタボリックシン	該当者	未把握 (参考値: 11.2%)	平成19年の調査により 把握した該当者・
ドローム)	予備群	未把握 (参考値: 15.1%)	予備群から15%減少

参考値:新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」

※内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の診断基準(2005年)※ メタボリックシンドローム診断基準検討委員会

☆<u>腹囲男性85cm</u>, 女性90cm以上(内臓脂肪面積男女とも≧100cmに相当) に加え以下のうち2項目以上該当

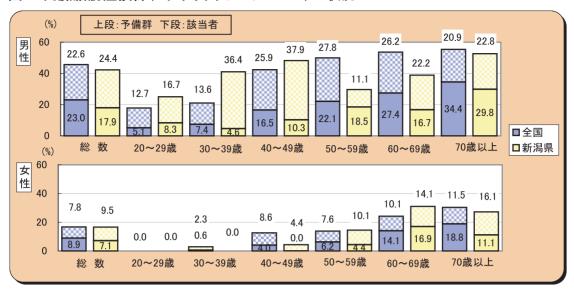
空腹時中性脂肪 150mg/dl以上 かつ/または HDLコレステロール40mg/dl未満

収縮期血圧 130mmHg以上 かつ/または 拡張期血圧85mmHg以上

空腹時血糖 110mg/dl以上

☆腹囲の基準に加え上記のうち1項目該当するものを予備群という。

# 図5 内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の状況



資料:厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」,新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」

## 《参考》

# 図6 基本健康診査の主な検査項目の有所見率



**注1**: 新潟市基本健康診査実施要領では 総コレステロールの基準値は220mg/dlで あるが、H13年度、H14年度のみ基準値 は、200mg/dlであった。

**注2**: 糖代謝検査のうち, ^モグロビンA1c検 査の基準値が, H14年度に5.6%から5.5% に引き下げられた。

資料:厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」

# 図7 中学校1年生の生活習慣病健診検査項目別有所見者割合(平成17年度)



資料:新潟市「平成17年度 新潟市学校保健統計」

# 《中学校1年生の生活習慣病健診判定基準》

- •肥満度…20%以上
- -血圧高血圧基準収縮期血圧拡張期血圧中学生男子140~159mmHg85~89mmHg中学生女子135~159mmHg80~89mmHg
- •HDL(善玉)コレステロール・・・40mg/dl未満
- LDL(悪玉)コレステロール・・・110mg/dl以上
- ・家族歴・・・両親,祖父母の狭心症,心筋梗塞,脳卒中, 糖尿病,高血圧,高脂血症等の有無

# 肥満・低体重(やせ)者の割合の減少 (「栄養・食生活」の再掲)

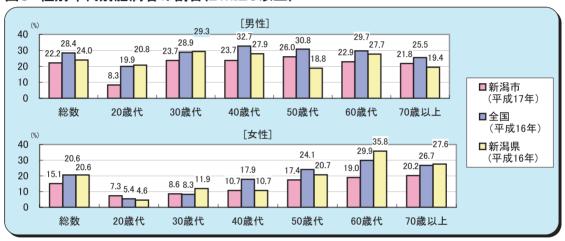
平成17年市民意識調査では、肥満者の割合は男性22.2%、女性15.1%であり、男性はすべての年代で、女性は20、30歳代を除いた年代で全国より低くなっています。(図8)

しかし、平成14年の同調査と比較すると、男性では50歳以上で、女性では40歳代と70歳以上以外で肥満者の割合が増加しています。(図9)

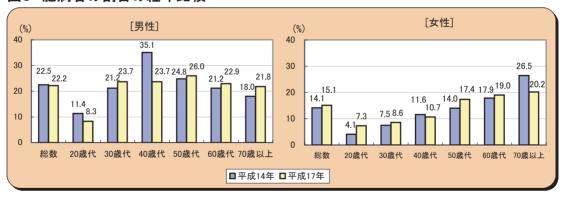
一方,20歳代女性は4人に1人が低体重(やせ)となっており,思春期からのやせ志向も重要な課題です。(図10)

# ※現状、目標値は「栄養・食生活」を参照

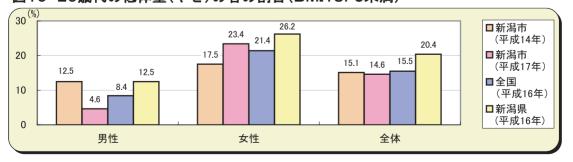
# 図8 性別年代別肥満者の割合(BMI25以上)



### 図9 肥満者の割合の経年比較



# 図10 20歳代の低体重(やせ)の者の割合(BMI18.5未満)



資料:新潟市「市民保健医療福祉意識調査」厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」 新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」

# 市が実施するがん検診の受診者数の増加

本市の胃がんの年齢調整死亡率は、男女とも減少傾向にあるものの、全国より高くなっています。また、肺がんについては、女性は減少傾向で全国より低くなっていますが、男性は横ばいであり全国や新潟県よりも高いことから、胃がんと肺がんの死亡を減少させることは重要な課題であるといえます。(図11)

がんの発症を予防するためには、喫煙や食生活、運動など生活習慣の改善が大変 重要ですが、あわせてがん検診を受けることも大切です。

本市が実施するがん検診の受診者数は、胃がん、大腸がん検診で増加していますが、肺がん検診は徐々に低下しています。(図12)

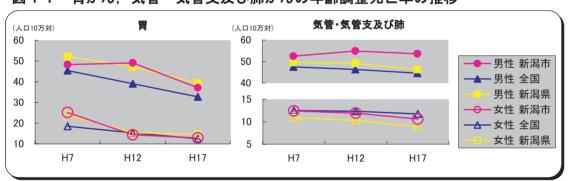
がんの早期発見・早期治療に努め,がんによる死亡を減少 させるため,がん検診受診者数の増加を目標とします。

指棋	Ę	現状値	平成23年度の目標値
	胃がん	55, 830人	72,000人以上
	肺がん	40,868人	53,000人以上
┃市が実施する ┃がん検診の受診者数	大腸がん	60, 567人	78,000人以上
	子宮がん※1	11,590人	15,000人以上
	乳がん※1.※2	6, 522人	8,000人以上

※1:子宮がん, 乳がん検診は受診間隔が2年に1回に変更されたため, 現状値については平成17年度の実績と平成18年度の受診見込み者の平均とした。平成17年度の巻地区の受診者数については合併により健診対象者が違うため, 実数ではなく, 人口比からの推計とした。

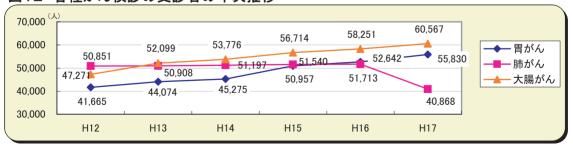
※2:乳がんはマンモグラフィ検査の受診者である。

# 図11 胃がん、気管・気管支及び肺がんの年齢調整死亡率の推移



資料:厚生労働省「人口動態統計」 新潟県「福祉保健年報」 ※新潟市分は県福祉保健部より新市域の年齢階級別死因別死亡数の提供を受け算出

## 図12 各種がん検診の受診者の年次推移



資料:厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」 新潟市「新潟市の保健と福祉」 (注)子宮がん, 乳がんの検診は平成17年度から対象年齢や, 受診間隔, またマンモグラフィ検査の導入など検診方法が 大幅に変更になったため年次比較はできません。

# 市が実施するがん検診の精密検査受診率の増加

平成17年度の本市のがん検診精密検査受診率は,胃がん80.4%,肺がん85.0%,大腸がん58.2%,子宮がん(頸部がん)67.1%,乳がん90.7%となっており,政令市と比較すると本市の精密検査受診率は高くなっています。(図13)

経年的に見ると、胃がん、肺がん、大腸がんのいずれも、精密検査受診率は減少 傾向にあります。(図14)

がんの早期発見のためには、検診を受けるだけではなく、精密検査をきちんと受けることが重要であり、精密検査受診率の増加を目指します。

指	標	現状値	平成23年度の目標値
	胃がん	80. 4%	90%以上
	肺がん	85. 0%	95%以上
市が実施するがん検 診の精密検査受診率	大腸がん	58. 2%	75%以上
	子宮がん(頸部のみ) ※	67. 1%	80%以上
	乳がん※	90. 7%	95%以上

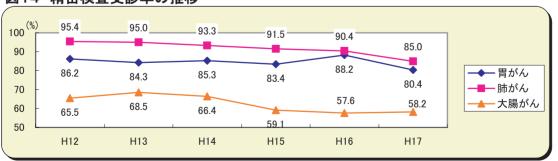
※現状値の乳がん、子宮がんは巻地区を除いた数

# 図13 がん検診精密検査受診率



資料: 新潟市「平成18年度新潟市の保健と福祉」(政令市のデータは照会による)

## 図14 精密検査受診率の推移



資料:厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」 新潟市「新潟市の保健と福祉」,新潟県「福祉保健年報」

(注)子宮がん、乳がんの検診は平成17年度から対象年齢や、受診間隔、またマンモグラフィ検査の導入など検診方法が大幅に変更になったため年次比較はしていません。



指	西京	現状値	平成23年度 (2011年) の目標値
健康診断を受ける人の	割合	74. 8%	80%以上
内臓脂肪症候群(メタァローム)を認知している		65. 0%	80%以上
内臓脂肪症候群 (メタボリックシンド	該当者	未把握※ (参考値:11.2%)	平成19年の調査により 把握した該当者・
ローマ)	予備群	未把握※ (参考値:15.1%)	予備群から15%減少
	胃がん	55, 830人	72,000人以上
	肺がん	40, 868人	53,000人以上
市が実施するがん検 診の受診者数	大腸がん	60, 567人	78,000人以上
	子宮がん	11, 590人	15,000人以上
	乳がん	6, 522人	8,000人以上
	胃がん	80. 4%	90%以上
	肺がん	85. 0%	95%以上
市が実施するがん検 診の精密検査受診率	大腸がん	58. 2%	75%以上
	子宮がん	67. 1%	80%以上
	乳がん	90. 7%	95%以上

※ 参考値・・・新潟県の現状



# →目標を実現するための市の取組



# ❖ 情報の発信・普及啓発

- □ 健康診断、健康診断後の相談や教室などの情報をホームページや 市報等で継続的に提供します。
- □ 市民講座などを通して、生活習慣病やこころの健康などに関する 正しい知識を普及・啓発します。

# ❖ 学ぶ場や相談の場の充実

- □ 健康診断の結果やこころの健康についていつでも相談できる体制 を整えます。
- □ 生活習慣病等の予防のための健康教室、健康相談の充実に努めます。

# ❖ 自主グループへの支援

□ 生活習慣病予防を目的とした自主グループの支援・育成に 努めます。

# ❖ 環境づくりへの支援

- □ 健康診断を受けやすい体制を整備します。
- □ 学校,職域,健康診断実施機関などとの連携を密にして,生涯を 通して継続した健康づくりに取り組めるよう支援します。
- □ 治療が必要な人への早期治療開始と治療の継続ができるよう支援 します。

# 9, 9, 9, 9, 9, 9, 9, 9, 9, 9,

第4章 計画の推進

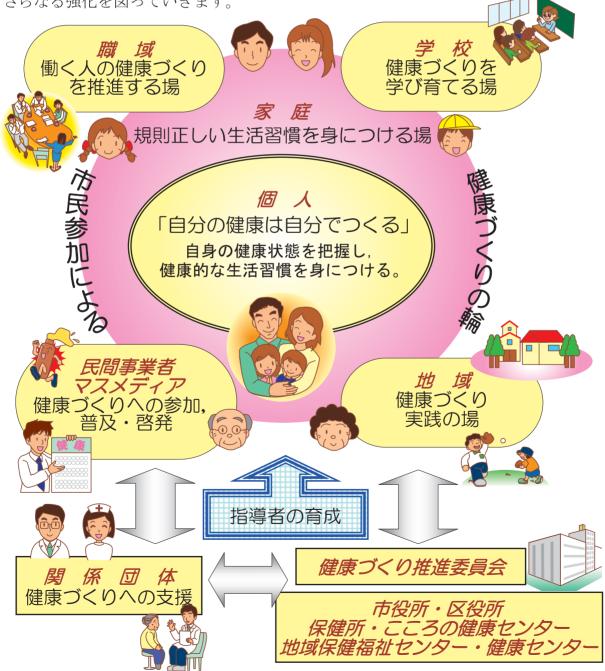
Chapter

# 第4章 計画の推進

# ┃┃新潟市の健康づくり推進体制

市民の健康づくりを推進していくためには、市民や市民を取り巻く関係者が それぞれの役割を果たしていくことと、互いに手をつなぎ連携していくことが 必要です。

本計画では、それぞれの役割を明確にし、これまでの連携体制・推進体制の さらなる強化を図っていきます。



# 市民の役割

市民一人ひとりが健康的な生活を送り、生活の質(QOL)を高めていくためには、自らが健康づくりの重要性を理解し、主体的に取り組むことが基本となります。

しかし、個人の力だけでは十分ではなく、家族や地域の人達とともに、地域の団体や健康関連企業の力を借りながら取り組むことが重要です。

また,自身が住んでいる地域の健康づくり活動に積極的に参加し,地域社会を支える一員としての役割も求められます。

# 家庭の役割

家庭は規則正しい生活習慣を身につける場,また,心身ともにリラックスして疲れをとる場です。そして家庭には個人にとって最も身近な存在である家族がいます。

家族が最もよき理解者・支援者となり、ともに健康づくりに取り組むことで、 一人ひとりの健康づくりへの意欲を向上させる役割が求められます。

# 地域の役割

地域には、地域保健福祉センター・健康センター、体育施設など健康づくりを実践できる場、地域コミュニティ協議会や健康づくりを行う自主グループ・ボランティアなど個人の健康づくりを支えるための資源がたくさんあります。

これらの資源を活用することで手軽に楽しく健康づくりに取り組むことができ、継続していく力となることが期待されます。

# 学校の役割

児童期から青年期にかけて、人は社会生活や集団生活の基盤を築く時期です。 学校では体育・保健体育、総合的な学習の時間などの授業を通して、「毎日の 生活と健康」のあり方や命の尊さ、未成年の喫煙・飲酒防止等の健康づくりの 基本的項目について学び、給食、清掃などの活動を通して、望ましい生活習慣 の基礎を身につけます。教育の現場である学校は、家庭と密に連携をとりなが ら、子どもたちの健康づくりを学び育てる場となることが求められます。また、 地域の拠点として、地域住民の健康づくりの場としての役割も担っています。

# 職域の役割

職場の環境は、仕事を持つ市民にとって心身の健康に大きな影響を与えます。 就労者が健康であることは、就労者自身にとってはもちろん、職場にとって も大きな利益であり、就労者一人ひとりの健康管理に配慮した職場環境の整備 が重要です。

職域では、定期健康診断の充実や健診結果による生活改善指導や、メンタル ヘルス事業の実施、福利厚生の充実などへの取り組みを積極的に行い、就労者 の健康づくりを支援していくことが求められます。

# 民間事業者の役割

健康に良い商品やサービスへの市民の関心が高まる中,スーパーマーケット やコンビニエンスストア,ファミリーレストランなどの食品関連業界や,フィットネス産業,健康関連商品販売業界などの民間事業者は,健康情報を市民に 積極的に提供するという広がりを見せています。

この傾向は、健康に関心のない市民を含めた幅広い対象者へ健康情報の普及 啓発を進める上で大変有効であり、今後も産業界全体に広がっていくことが期 待されます。

しかしその半面で、情報の氾濫により市民が困惑している現状もあり、民間 事業者は科学的根拠に基づいた信頼できる情報発信が求められます。

# マスメディアの役割

市民は、健康に関する情報の多くをテレビやラジオ、新聞、インターネットなどのマスメディアから得ています。また、これらメディアが発信する情報により、商品の売れ行きが大きく変わるほどの影響力を持っています。

このため、マスメディアは、科学的根拠に基づいた正しい情報を提供し、市民の健康づくりを支援することが求められています。

## 関係団体の役割

病院,薬局などの医療機関や医師会,歯科医師会などの保健医療関係団体は, その専門性を活かして健康に関する技術や情報を提供するとともに,一次予防 の観点から市民への専門的な相談の対応を行い,市民の健康づくりへの支援が 期待されています。

また, 市内にある大学や専門学校では, 健康に関する研究や専門家の育成に

取り組んでおり、研究成果や人材の確保といった役割を担っています。

さらに、ボランティア団体やNPOなどは健康づくりに取り組む機会や場を 提供するとともに、それぞれのグループの特徴を活かして市民とともに健康づ くりの輪を広げていくことが期待されます。

# 健康づくり推進委員会の役割

市民の代表による健康づくり推進委員会は、市とともに計画の推進、評価を行っていきます。

# 市の役割

市は、市民の健康づくりを支援するため、総合的かつ計画的に施策を推進していく役割があります。

また,市民を取り巻く関係機関との密接な連携・調整を図り、保健所・こころの健康センターを中心に、区役所、地域保健福祉センター・健康センターなど市民の身近な場所を拠点として地域の実情に応じた支援を行っていきます。

# 2 計画の進行管理と評価

本計画を効果的に推進するためには、計画の進行管理と評価が重要となります。

本市では、計画の期間である平成23年度までの5年間に、計画にある各分野の目標の進捗状況について、人口動態統計、健康・栄養調査など、定期的に把握できる指標を用いて計画の進行管理を行っていきます。

また、計画の最終年度である平成23年度には、市民意識調査を実施し、目標値の達成度を評価・検証し、その後の計画に反映させます。

第5章 データ編

Chapter

※ データ中の「政令市平均」とは、平成19年4月1日現在の政令指定都市である 17都市の平均です。

また、表またはグラフの空白値については、当市において未把握であるもの や調査方法・集計方法が著しく異なるために未掲載のものがあります。

# 第5章 データ編

# 目次

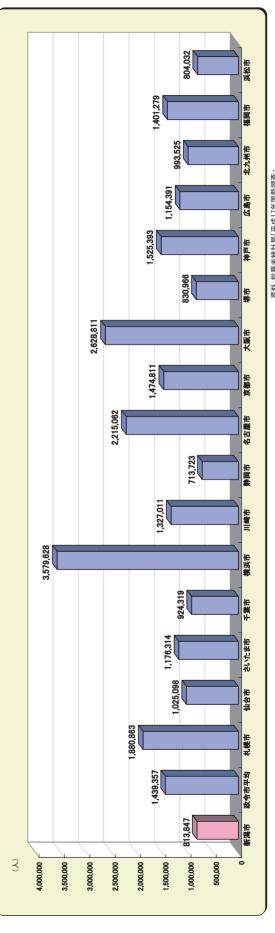
1	人口	 Р	89
2	平均寿命	 Р	94
3	人口動態	 Р	103
4	介護保険	 Р	122
5	雇用	 Р	124
6	医療費	 Р	138
7	医療機関	 Р	147
8	健康意識	 Р	158
9	栄養	 Р	160
10	朝食の欠食・外食	 Р	170
11	肥満	 Р	175
12	身体活動•運動	 Р	183
13	子どもの体力	 Р	190
14	休養・こころ	 Р	194
15	精神	 Р	201
16	自殺	 Р	211
17	たばこ	 Р	222
18	アルコール	 Р	228
19	歯の健康	 Р	232
20	健康診査	 Р	240

# (1)新潟市の地区別・男女別人口の推移

147		昭和55年			昭和60年			平成2年			平成7年			平成12年			平成17年	
	全体	男性	女性															
本庁	457,785	224,523	233,262	475,630	231,997	243,633	486,097	235,765	250,332	494,769	240,403	254,366	501,431	243,552	257,879	504,741	243,616	261,125
黒埼	20,005	9,811	10,194	21,748	10,618	11,130	23,130	11,253	11,877	23,605	11,488	12,117	25,893	12,670	13,223	27,300	13,289	14,011
新津	62,282	30,047	32,235	63,846	30,740	33,106	63,999	30,557	33,442	62,569	31,404	34,165	098'59	31,401	34,459	66,951	31,976	34,975
白根	33,092	16,019	17,073	34,235	16,605	17,630	35,801	17,374	18,427	38,653	18,858	19,795	40,012	19,501	20,511	39,625	19,169	20,456
調米	42,097	20,555	21,542	44,534	21,678	22,856	45,962	22,344	23,618	48,067	23,318	24,749	48,997	23,728	25,269	49,308	23,825	25,483
小須戸	10,385	4,976	5,409	10,372	4,935	5,437	10,173	4,797	5,376	10,381	4,936	5,445	10,454	4,994	5,460	10,099	4,843	5,256
横越	8,586	4,159	4,427	8,992	4,345	4,647	9,444	4,576	4,868	10,009	4,871	5,138	10,795	5,277	5,518	11,563	5,651	5,912
亀田	26,461	12,781	13,680	28,727	13,860	14,867	29,977	14,488	15,489	31,257	15,123	16,134	32,061	15,433	16,628	32,396	15,592	16,804
瑞	9,360	4,456	4,904	10,022	4,747	5,275	10,035	4,712	5,323	10,140	4,751	5,389	10,042	4,738	5,304	9,759	4,594	5,165
西川	11,046	5,342	5,704	11,197	5,354	5,843	11,365	5,450	5,915	12,090	5,811	6,279	12,365	5,929	6,436	12,327	5,894	6,433
味方	4,921	2,390	2,531	4,979	2,436	2,543	5,072	2,469	2,603	5,031	2,424	2,607	4,805	2,318	2,487	4,714	2,290	2,424
湯東	6,211	3,046	3,165	6,198	3,031	3,167	6,215	3,061	3,154	6,271	3,071	3,200	6,454	3,121	3,333	6,249	3,020	3,229
月湯	3,760	1,851	1,909	3,767	1,860	1,907	3,903	1,915	1,988	3,954	1,959	1,995	3,831	1,882	1,949	3,715	1,838	1,877
中/口	6,417	3,181	3,236	6,542	3,238	3,304	6,582	3,215	3,367	6,649	3,246	3,403	6,483	3,173	3,310	6,387	3,128	3,259
颒	28,325	13,789	14,536	28,779	13,893	14,886	29,020	13,989	15,031	30,011	14,535	15,476	29,486	14,174	15,312	28,713	13,800	14,913
新潟市合計	730.733	356.926	373.807	759.568	369 337	390 231	776 775	375 965	400.810	70g A5g	206 100	A10.959	000 000	100 100	070714	012 047	300 EOE	401 999

# 2.451.357 1,193.653 1,257,704 2.478.470 1,205,071 1,273.399 2,474.583 1,200,376 1,274.207 2,488.364 1,209.833 1,278.591 1,279.208 57,593,769 59,466,627 121,048.923 59,497.316 1,516.07 1,210,48.923 1,210,44.43 125,570,246 1,574.398 12,955,848 126,925,843 121,076,94 12,7767.994 12,7767.994 12,7767.994 12,7767.994 12,7767.997 12,77 新潟県 全国 1

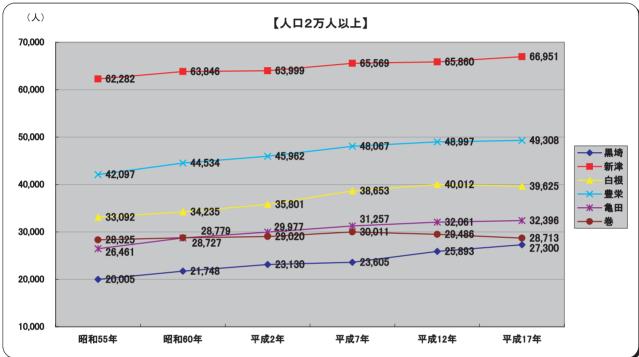
# (2)政令市との国勢調査人口の比較



資料: 総務省統計局「平成17年国勢調査」 ※新潟市及び静岡市の数値は合併市町村を含む平成19年4月1日現在の市域の数値

# (3)新潟市の地区別人口の推移(全体)







資料:総務省統計局「国勢調査」

※新潟市の数値は合併市町村を含む平成19年4月1日現在の市域の数値

1,254,540 平成17年 (2005) 5,419,017 32,348,977 平成17年 (2005) 125,570,246 126,925,843 127,767,994 2,431,459 資料:総務省統計局「国勢調査」 資料:総務省統計局「国勢調査」 64,815,079 1,273,729 平成12年 (2000) ,202,004 62,110,764 平成12年 (2000) 2,475,733 1,278,531 63,995,848 1,209,833 平成7年 (1995) 61,574,398 平成7年 (1995) 2,488,364 1,274,207 62,914,443 60,696,724 平成2年 (1990) 平成2年 (1990) 123,611,167 ■女性 ■女性 2,474,583 61,551,607 59,497,316 1,273,399 ■男性 □全体 ■男性 昭和60年 (1985) 昭和60年 (1985) 121,048,923 2,451,357 2,478,470 □全体 1,257,704 1,193,653 59,466,627 57,593,769 昭和55年 (1980) 昭和55年 (1980) 117,060,396 56,848,970 55,090,673 1,231,069 昭和50年 (1975) 昭和50年 (1975) 111,939,643 2,391,938 53,295,994 51,369,177 1,140,148 1,220,834 昭和45年 (1970) 昭和45年 (1970) 104,665,171 2,360,982 50,516,999 48,692,138 1,238,648 昭和40年 (1965) 昭和40年 (1965) 160,283 99,209,137 2,398,931 48,001,178 46,300,445 1,264,114 [新潟県] [全国] 177,923 昭和35年 (1960) 昭和35年 (1960) 94,301,623 2,442,037 45,833,937 44,242,657 1,277,620 1,195,872 昭和30年 (1955) 昭和30年 (1955) 90,076,594 2,473,492 42,873,382 11,241,192 1,266,068 1,194,929 昭和25年 (1950) 昭和25年 (1950) 2,460,997 84,114,574 38,104,045 33,894,059 1,293,844 1,095,809 昭和20年 (1945) 昭和20年 (1945) 2,389,653 73,114,308 71,998,104 1,047,322 34,520,015 36,548,298 34,734,133 36,566,010 昭和15年 (1940) 昭和15年 (1940) 2,064,402 1,013,280 982,497 昭和10年 (1935) 昭和10年 (1935) 69,254,148 1,995,777 32,059,850 32,390,155 977,705 955,621 昭和5年 (1930) 昭和5年 (1930) 64,450,005 1,933,326 29,723,713 30,013,109 935,921 913,886 大正14年 (1925) 大正14年 (1925) 59,736,822 1,849,807 28,044,185 27,918,868 904,942 871,532 55,963,053 大正9年 (1920) 1,776,474 大正9年 (1920) 上段:女性下段:男性 上段:女性 下段:男性 140,000,000 200,000 80,000,000 40,000,000 20,000,000 3 1,500,000 120,000,000 100,000,000 80,000,000 3,000,000 2,000,000 1,000,000 3 2,500,000

91

(4)全国, 新潟県の国勢調査人口の推移

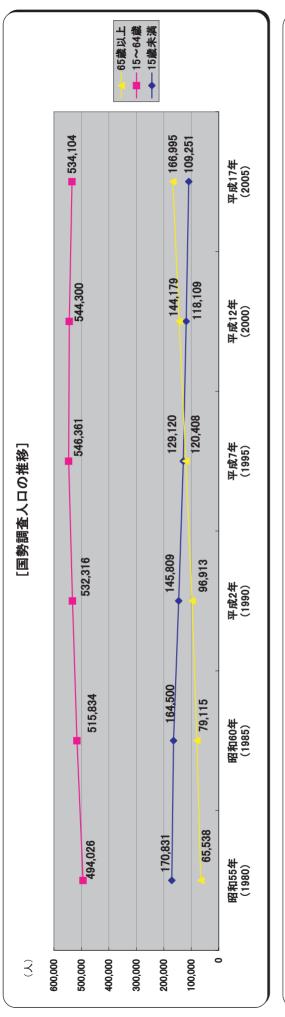
# (5)新潟市の国勢調査人口の推移

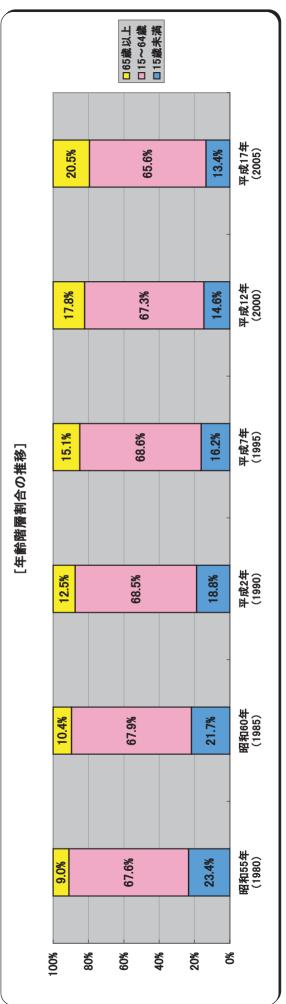


※新潟市の数値は合併市町村含む平成19年4月1日現在の市域の数値

注1:表中の数値は、昭和55年以降については現在の市域で表章したものであり、昭和45年以前については 昭和45年現在の市域に、昭和50年については昭和50年現在の市域に、旧黒埼町、旧3市町村(新津市 日根市、豊栄市、小須戸町、積越町、亀田町、岩室村、西川町、味方村、潟東村、月潟村、中之口村、巻 町7を貸したものである。 注2:昭和29年に小吉村、道上村、松長村の一部(3大字)が合併して中之口村となった。ただし表中の昭和25 年以前については、小吉村、道上村、松長村の一部(3大字)が合併して中之口村となった。ただし表中の昭和25 注3:昭和22年の数値は「臨時国勢調査」による。5年間隔にあたる昭和20年は国勢調査が実施されず昭和20年1月1日を基準日とする人口調査のみ行われたが、現在の市域で表章するには不詳値が存在する為、昭和22年の数値を掲載した。

# (6)新潟市の年齢階層別国勢調査人口の推移





資料:総務省統計局「国勢調査」 ※新潟市の数値は合併市町村を含む平成19年4月1日現在の市域の数値

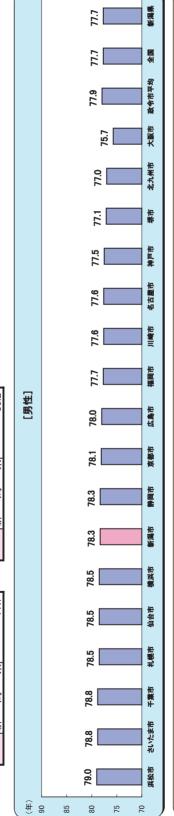
# (1)日本人の平均寿命の推移

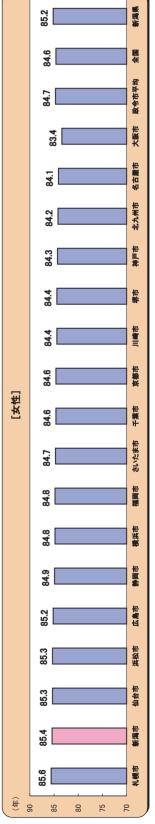
<b></b>									ı
(単位:年) 女性	84.01	83.99	84.60	84.93	85.23	85.33	85.59	85.52	
男性	77.16	77.10	77.72	78.07	78.32	78.36	78.64	78.56	
年 次	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	
女性	70.19	72.92	74.66	76.89	78.76	80.48	81.90	82.85	83.82
男性	65.32	67.74	69.31	71.73	73.35	74.78	75.92	76.38	77.19
年 次	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成9年
女性	44.30	44.85	44.73	43.20	46.54	49.63	53.96	62.97	67.75
男性	42.80	43.97	44.25	42.06	44.82	46.92	90.06	59.57	63.60
年次	明治24-31年	明治32-36年	明治42-大正2年	大正10-14年	大正15-昭和5年	昭和10年度	昭和22年	昭和25-27年	昭和30年

資料:厚生労働省「生命表」「簡易生命表」 注:平均寿命とは0歳の平均余命。平成9~11,13~16は簡易生命表,その他は完全生命表による。

(2)政令市との平均寿命の比較[平成12年]

女性	85.6	85.4	85.3	85.3	85.2	84.9	84.8	84.8	84.7	84.6	84.6	84.4	84.4	84.3	84.2	84.1	83.4	84.7	84.6	85.2
市町村名	札 幌 市	新潟市	仙台市	浜 松 市	広 島 市	静 岡 市	横浜市	福岡市	さいたま市	千 葉 市	京都市	川崎市	堺市	神戸市	北九州市	名古屋市	大 阪 市	政令市平均	全国	新潟県
順位	1	2	3	3	2	9	7	7	6	10	10	12	12	14	15	16	17			
男性	79.0	78.8	78.8	78.5	78.5	78.5	78.3	78.3	78.1	78.0	7.77	77.6	77.6	77.5	77.1	77.0	75.7	9.77	7.77	7.77
市町村名   男性	浜 松 市 79.0	さいたま市 78.8	千葉市 78.8	札 幌 市 78.5	仙 台 市 78.5	横 浜 市 78.5	新 湯 市 78.3	静 岡 市 78.3	京 都 市 78.1	広島市 78.0	福岡市 77.7	12 川崎市 77.6	名 古 屋 市 77.6	神 戸 市 77.5		北九州市 77.0	大 阪 市 75.7	政令市平均 77.9	全 国 17.7	新 潟 県 77.7





資料:厚生労働省「平成12年市区町村別生命表」

# (3)政令市の平均寿命の年次推移

	男性	لبيد							()	(単位:年)
	旧	市町村名	平成2年	井	計	平成7年		(本	平成12年	III.
		I :	平均寿命	順位	平均寿命	順位	前回との差	平均寿命	順位	前回との差
_	兼	施市	4.77	-	LLL	2	0.3	78.3	7	9.0
	₩	H	75.9	:	76.4	:	0.5	L'LL	:	1.3
	新	湯県	76.5	:	77.0	:	0.5	7.77	:	0.7
	及	3.市平均	76.1	:	76.6	:	0.5	77.9	:	1.3
2	木	幌市	76.3	8	77.4	5	1.1	78.5	4	1.1
3	₹	台市	77.0	3	L'LL	2	0.7	2'8/	4	0.8
4	られ	たま市						78.8	2	
2	+	葉市	77.0	3	2.77	9	0.2	8'8/	2	1.6
9	類	浜市	76.6	9	77.1	7	0.5	78.5	4	1.4
7	Ξ	崎市	76.3	8	2.97	11	0.2	9.77	12	1.1
8	静	岡市	6.97	5	5.77	4	9.0	287	7	0.8
6	8	古 屋 市	75.7	12	2.97	12	9.0	9.77	12	1.3
10	心	都市	76.2	10	8.97	6	9.0	1.87	6	1.3
11	К	阪市	73.8	16	74.5	15	0.7	L'9L	17	1.2
12	龄	市	75.2	13	76.1	13	0.0	1.77	15	1.0
13	神	戸 市	75.1	14	73.8	16	△ 1.3	5.77	14	3.7
14	乜	島市	76.4	7	6.97	8	0.5	78.0	10	1.1
15	北	九州市	74.7	15	75.7	14	1.0	77.0	16	1.3
16	榅	岡市	75.8	11	76.6	10	0.8	77.7	11	1.1
17	洪	松市	77.3	2	78.2	1	6.0	0'6/	1	0.8

,_	上 下 下 下	平成2年	ж	<u>₩</u>	平成7年		計	平成12年	
		平均寿命	順位	平均寿命	順位	前回との差	平均寿命	順位	前回との差
<del>-</del>	新潟市	83.1	1	84.0	4	0.0	85.4	2	1.4
	全国	81.9	:	82.9		1.0	84.6	:	1.7
	新潟県	82.5	:	83.7		1.2	85.2	:	1.5
	政令市平均	82.2	:	83.2	:	1.0	84.7	:	1.5
2	札 幌 市	82.7	က	84.4	-	1.7	85.6	-	1.2
က	仙台市	82.6	9	83.8	5	1.2	85.3	က	1.5
4	さいたま市						84.7	6	
2	千 葉 市	82.6	9	83.5	8	0.0	84.6	10	1.1
9	横浜市	82.2	6	83.2	6	1.0	84.8	7	1.6
7	川崎市	82.1	10	83.0	11	0.0	84.4	12	1.4
8	静 岡 市	82.6	9	83.7	7	1.1	84.9	9	1.2
6	名古屋市	81.3	15	82.6	14	1.3	84.1	16	1.5
10	京都市	82.0	11	83.2	6	1.2	84.6	10	1.4
11	大 阪 市	80.6	16	81.9	15	1.3	83.4	17	1.5
12	場 市	81.5	14	83.0	11	1.5	84.4	12	1.4
13	神戸市	81.6	13	79.7	16	△ 1.9	84.3	14	4.6
14	広島 市	82.7	3	83.8	5	1.1	85.2	2	1.4
15	北九州市	82.0	11	83.0	11	1.0	84.2	15	1.2
16	福岡市	82.7	3	84.1	3	1.4	84.8	7	0.7
17 浜	浜 松 市	83.1	-	84.4	-	1.3	85.3	က	6.0

資料:厚生労働省「生命表」,「都道府県別生命表」,「平成12年市区町村別生命表」 財団法人厚生統計協会「1990年,1995年市区町村別生命表」

# (4) 現新潟市の平均寿命の年次推移

-		
-		
Þ		
F		
•		
•		
7		
•		
•		
-		
-		
ĸ		
,		
:		
-1 - 6-17 - 7-07		
۳		
٠		
۰		
-		
•		
5		
3		
Ñ		
۰		
•		
•		

山村名         平均寿命 順位 平均寿命 順位 回00           取均寿命 順位 平均寿命 順位 回00           減 中 均         一方。         一         一0.5           減 中 均         一方。         3         一方。         0.3           減 中 均         一方。         1         一方。         0.3           減 申 市         一方。         1         一方。         0.3           減 申 市         一方。         1         一方。         1         0.4           減 申 市         一方。         13         一方。         1         0.4           減 申 市         一方。         13         一方。         1         0.4           減 申 市         一方。         13         一方。         1         0.4           減 申 中         一方。         1         1         1         1           減 申 中         一方。         1         1         1         1           減 申 中         一方。         1         1         1         1           減 申 中         一方。         1         1         1 </th <th><b>①男性</b></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th><u>(</u></th> <th>(単位:年)</th>	<b>①男性</b>								<u>(</u>	(単位:年)
全         国         平均寿命         順位         平均寿命         順位         前位           者         国         75.9         …         76.5         …         77.0         …         0.5           者         湯         日         76.5         …         77.0         …         0.5           者         湯         日         77.4         1         77.7         2         0.5           者         湯         日         76.1         1         77.7         2         0.5           特         湯         十         76.0         9         76.7         7         0.7           貴         大         76.0         9         76.7         7         0.7           貴         大         76.1         5         76.7         7         1.1           貴         大         76.1         5         76.7         7         1.1           貴         五         76.5         14         76.9         6         0.8           日         11         9         76.9         6         0.8           財         12         76.5         12         76.9           株         7         76.5	市町村名	М	平成24	₩	₽	成7年		∯ ∫	平成12年	ti l
会       国       75.9       …       76.4       …         新 湯 県       76.5       …       77.0       …         新 湯 市       77.4       1       77.7       2         新 津 市       76.7       3       77.9       1         台 横 湖 市       76.7       3       77.9       1         中 須 声 町       76.0       9       76.7       7         橋 越 町       76.6       13       76.7       7         着 越 町       76.8       2       77.0       5         岩 建 町       76.8       2       77.0       5         岩 塩 町       76.8       1       77.0       5         岩 塩 山       76.1       5       76.9       6         株 方 村       76.1       5       76.9       6         株 方 村       76.0       4       76.5       12       △         場 東 村       76.7       12       76.7       7       7         財 海 村       76.1       5       76.5       12       △         日 湯 村       76.0       4       76.5       12       △         日 湯 村       76.0       7       7       7		,	平均寿命	順位	平均寿命	順位	前回との差	平均寿命	順位	前回との差
新 湯 県         76.5         …         77.0         …           新 湯 中         76.1         …         76.9         …           新 湯 中         77.4         1         77.7         2           新 湯 中         77.4         1         77.7         2           新 湯 中         76.7         3         77.9         1           白 根 市         76.0         9         76.7         1           中 須 田         76.0         13         76.7         1           橋 越 町         76.8         2         77.0         3           岩 塩 田         町         76.8         1         77.0         5           岩 塩 田         町         76.1         5         76.7         7           土 塩 山         町         76.1         5         76.9         6           株 方         村         76.1         5         76.9         6           株 方         村         76.1         5         76.9         7           土 海         10.1         10.1         10.0         10.0         10.0           土 山         10.1         10.0         10.0         10.0         10.0           土 山         <	委	H	75.9		76.4	:	0.5	7.77	:	1.3
単純平均     76.1      76.9        新 湯 古     77.4     1     77.9     1       新 湯 古     76.7     3     77.9     1       白 根 市     76.0     9     76.7     7       豊 栄 市     75.3     15     7     7       小 須 戸 町     76.6     13     76.7     7       横 越 町     76.8     2     77.6     3       岩 室 村     75.5     14     76.6     11       潜 埼 町     76.1     5     76.9     6       珠 方 村     76.1     5     76.9     6       瑞 東 村     76.6     4     76.5     12     △       湯 東 村     76.7     7     7     7       月 湯 村     76.1     5     76.7     7       日 湯 村     76.5     10     76.7     7				::	77.0	:	0.5	7.77	:	0.7
新 湯 市     77.4     1     77.7     2       新 津 市     76.7     3     77.9     1       白 根 市     76.0     9     76.7     7       曹 栄 市     75.3     15     75.7     15       小 須 戸 町     75.6     13     76.7     7       亀 越 町     76.8     2     77.6     3       着 越 町     75.8     11     77.0     5       岩 室 村     75.5     14     76.6     11       西 川 町     76.1     5     76.9     6       珠 方 村     76.6     4     76.5     12     △       湯 東 村     76.7     12     76.7     7       月 湯 村     76.1     5     76.7     7       月 湯 村     76.1     5     76.7     7       日 湯 村     76.7     12     76.7     7       日 湯 村     76.1     5     76.7     7       日 湯 村     76.1     5     76.7     7       中 之 口 村     75.9     10     76.7     7	雑	I I		:	76.9	:	0.8	77.4	:	0.5
新 津 市         76.7         3         77.9         1           白 根 市         76.0         9         76.7         7           豊 栄 市         75.3         15         75.7         15           小 須 戸 町         75.6         13         76.7         7           横 越 町         76.8         2         77.6         3           岩 室 村         75.8         11         77.0         5           岩 塩 町         76.1         5         76.7         7           土 坊 町         76.1         5         76.9         6           珠 方 村         76.1         5         76.9         6           瑞 古 村         76.7         12         76.9         7           湯 東 村         76.7         12         76.5         12           湯 東 村         76.1         5         76.5         12           井 海 村         76.1         5         76.7         7           中 之 口 村         76.1         76.7         7         7				1	7.77	2	0.3	78.3	2	9.0
白 根 市         76.0         9         76.7         7           豊 栄 市         75.3         15         75.7         15           小 須 戸 町         75.6         13         76.7         7           横 越 町         76.1         5         77.6         3           増 超 町         76.8         2         77.3         4           岩 室 村         75.8         11         77.0         5           岩 崎 町         76.1         5         76.9         6           株 方 村         76.1         5         76.9         6           場 東 村         76.1         5         76.9         7           月 潟 村         76.1         5         76.9         6           月 潟 村         76.1         5         76.9         7           月 潟 村         76.1         5         76.9         7           月 潟 村         76.1         5         76.7         7           中 之 口 村         76.9         10         76.7         7	新			3	6.77	-	1.2	78.6	-	0.7
豊 栄 市     75.3     15     75.7     15       小 須 戸 町     75.6     13     76.7     7       横 越 町     76.1     5     77.6     3       亀 田 町     76.8     2     77.3     4       岩 室 村     75.8     11     77.0     5       巻 町     75.5     14     76.7     7       瀬 山 町     76.1     5     76.7     7       東 埼 町     76.1     5     76.9     6       珠 方 村     76.7     12     76.5     12       井 瀬 村     76.1     5     76.5     12     7       中 之 口 村     75.9     10     76.5     12     7	日			6	76.7	7	2'0	76.6	14	△ 0.1
小 須 戸 町         75.6         13         76.7         7           横 越 町         76.8         2         77.3         4           岩 室 村         75.8         11         77.0         5           巻 町 川 町         75.5         14         76.0         11           西 川 町         76.1         5         76.7         7           珠 坊 村         76.1         5         76.9         6           珠 坊 村         76.1         5         76.9         6           湖 東 村         76.7         12         76.5         12           井 海 村         76.1         5         76.5         12           井 海 村         76.1         5         76.7         7           中 之 口 村         75.9         10         76.7         7	齫			15	75.7	15	0.4	77.0	11	1.3
横 越 时 时 76.1         5         77.6         3           亀 田 时 76.8         2         77.3         4         2           岩 室 村 75.8         11         77.0         5         4           巻 町 75.8         14         76.6         11         7           西 川 町 76.1         5         76.7         7         7           黒 埼 町 76.1         5         76.9         6         2           珠 方 村 76.6         4         76.5         12         △           湖 東 村 76.1         5         76.7         7         2           井 海 村 76.1         5         76.7         7         2           中 之 口 村         75.9         10         76.7         7         2	小須		75.6	13	76.7	7	1.1	77.2	7	0.5
他         田         市         76.8         2         77.3         4         不           岩         室         村         75.8         11         77.0         5         11           地         川         町         75.5         14         76.0         11         7           土         川         町         76.1         5         76.7         7         7           土         坊         町         76.1         5         76.9         6         7           株         方         村         76.6         4         76.5         12         △           井         海         村         76.7         12         76.5         12         △           井         海         村         76.1         5         76.7         7         7           中         上         16         76.7         7         7         7         7	構		76.1	2	77.6	3	1.5	77.5	5	△ 0.1
岩 室 村         75.8         11         77.0         5           巻         町         75.5         14         76.6         11         万           西 川 町         76.1         5         76.7         7         7           黒 埼 町         76.1         5         76.9         6         7           味 方 村         76.6         4         76.5         12         △           湯 東 村         75.7         12         76.5         12         △           井 海 村         76.1         5         76.7         7         平           中 之 口 村         75.9         10         76.5         12         7	亀		76.8	2	77.3	4	0.5	77.2	7	△ 0.1
巻         町         75.5         14         76.6         11         76.1         5         76.7         7         7           型         川         町         76.1         5         76.9         6         7           株         方         村         76.6         4         76.5         12         △           湯         東         村         75.7         12         76.5         12         △           月         湯         村         76.1         5         76.7         7         7           中         上         17.0         10         76.5         12         7         7	平			11	77.0	2	1.2	77.3	9	0.3
西川町         76.1         5         76.7         7           黒崎町         76.1         5         76.9         6           株方村         76.6         4         76.5         12         △           湯東村         75.7         12         76.5         12         本           月湖村         76.1         5         76.7         7         本           中之口村         75.9         10         76.5         12		臣	75.5	14	76.6	11	1,1	77.1	10	0.5
1 無 均 町     76.1     5     76.9     6       2 味 力 村     76.6     4     76.5     12     △       3 湯 東 村     75.7     12     76.5     12     △       4 月 潟 村     76.1     5     76.7     7     7       5 中 之 口 村     75.9     10     76.5     12     7	田		76.1	2	76.7	7	9'0	77.0	11	0.3
2 味 方 村     76.6     4     76.5     12     △       3 潟 東 村     75.7     12     76.5     12       4 月 潟 村     76.1     5     76.7     7       5 中 之 口 村     75.9     10     76.5     12	獣		76.1	2	76.9	9	8'0			
3 温 東 村     75.7     12     76.5     12       4 月 温 村     76.1     5     76.7     7       5 中 之 口 村     75.9     10     76.5     12	世			4	76.5	12		77.2	7	0.7
4 月 鴻 村     76.1     5     76.7     7       5 中 之 口 村     75.9     10     76.5     12	3 潟			12	76.5	12	0.8	78.1	3	1.6
5 中 之 口 村 75.9 10 76.5 12	4 月			5	76.7	7	0.0	77.7	4	1.0
	5中之			10	76.5	12	9'0	76.8	13	0.3

2女性	번							<u>(</u>	(単位:年)
<del> E</del>	市町村名	平成2年	Ш	計	平成7年		h h	平成12年	lul.
	I	平均寿命	順位	平均寿命	順位	前回との差	平均寿命	順位	前回との差
ŹΠ	全国国	81.9		82.9		1.0	84.6	:	1.7
# <del>K</del>	新 潟 県	82.5	:	83.7	:	1.2	85.2	:	1.5
:EET	単純平均	82.4	÷	83.7	:	1.3	85.4	i	1.6
— ##	新潟市	83.1	1	84.0	4	0.0	85.4	9	1.4
2 新	沂 津 市	82.5	5	84.2	3	1.7	98		2.3
3	白根 市	82.5	5	82.7	14	0.2	85.3	7	2.6
4	曹米市	81.5	15	83.6	10	2.1	85.1	10	1.5
5 J	1 須 戸 町	82.7	3	83.7	8	1.0	0.28	12	1.3
6 横	黄越町	82.1	12	83.8	7	1.7	85.3	7	1.5
7	亀田町	82.7	3	83.5	11	0.8	2.28	3	2.2
8	岩室 村	0.58	2	85.0	1	2.0	2.28	3	0.7
9 巻	<b>参</b>	82.3	10	83.1	12	0.8	84.8	13	1.7
10 匝	西川町	81.8	14	83.9	2	2.1	85.1	10	1.2
11	黒 埼 町	82.0	13	82.6	15	0.0			
12 味	* 方 村	82.4	8	84.9	2	2.5	9.28	5	9.0
13 潟	昌 東 村	82.5	5	83.9	5	1.4	6'58	2	2.0
14 F	月潟村	82.3	10	83.7	8	1.4	84.4	14	0.7
15中	中之口村	82.4	8	83.1	12	0.7	85.2	6	2.1

資料:厚生労働省「生命表」,「都道府県別生命表」,「平成12年市区町村別生命表」 財団法人厚生統計協会「1990年,1995年市区町村別生命表」

# (5)全国市町村との平均寿命の比較[平成12年]

(単位:年)

								(単位:年)
	順位	都道府県名	市町村名	男性	順位	都道府県名	市町村名	女性
	1	岐阜県	和良村	80.6	1	沖縄県	豊見城村	89.2
	2	岐阜県	国府町	80.4	2	沖縄県	北中城村	88.5
	3	東京都	三鷹市	80.2	3	兵庫県	猪名川町	88.4
ベ	4	長野県	下條村	80.1	4	北海道	壮瞥町	88.0
ス	4	熊本県	清和村	80.1	5	佐賀県	嬉野町	87.5
-	6	静岡県	天竜市	80.0	6	山口県	平生町	87.4
10	7	静岡県	大東町	79.9	7	北海道	大滝村	87.3
	7	熊本県	益城町	79.9	7	沖縄県	今帰仁村	87.3
	9	長野県	佐久市	79.8	9	熊本県	菊陽町	87.2
	9	静岡県	浜北市	79.8	9	沖縄県	東風平町	87.2
	010		如為士	70.0	25		如油土	00.5
	313		新津市	78.6	35		新津市	86.5
	575		新潟市	78.3	152		温東村 魚田町	85.9
	776		温東村 日 日 日 日	78.1	248		<b>亀田町</b>	85.7
	1272		月潟村 横越町	77.7	248		岩室村	85.7
18	1538			77.5	384		味方村	85.5
現	1798		岩室村	77.3	457		新潟市	85.4
新潟	1937		小須戸町 亀田町	77.2	560		白根市	85.3
市	1937 1937		<u>电田叫</u> 味方村	77.2 77.2	560		横越町 中之口村	85.3 85.2
נוו	2063		<u>咻刀剂</u> 巻町	77.1	665 812		<u>_ サムロが</u> 豊栄市	85.2 85.1
	2188		<u>- 包叫</u> - 豊栄市	77.0	812			85.1
	2188			77.0	954		小須戸町	85.0
	2432		中之口村	76.8	1296			84.8
	2640			76.6	1950			84.4
	3210	北海道	松前町	74.6				
	3210	北海道	黒松内町	74.6				
	3210	青森県	鰺ヶ沢町	74.6	3212	秋田県	中仙町	82.3
	3210	青森県	稲垣村	74.6	3212	埼玉県	名栗村	82.3
	3210	岩手県	大野村	74.6	3212	愛媛県	西海町	82.3
ワー	3210		龍郷町	74.6	3212		美津島町	82.3
7	3216		岩木町	74.5	3216	北海道	留寿都村	82.1
ス	3216		鶴田町	74.5	3217	東京都	奥多摩町	82.0
<u>ا</u>	3218		浪岡町	74.4	3217	愛媛県	五十崎町	82.0
10	3218		田舎館村	74.4	3219	茨城県	神栖町	81.8
	3220		増毛町	74.2	3219	千葉県	銚子市	81.8
	3220	秋田県	琴丘町	74.2	3221	徳島県	東祖谷山村	81.1
	3222	青森県	大間町	74.0	3222	長野県	天龍村	80.9
	3223		大鰐町	73.6	3222	徳島県	一宇村	80.9
							「平成12年市区町	선밀生命表」

資料:厚生労働省「平成12年市区町村別生命表」

# (6)県庁所在市との平均寿命の比較[平成12年]

(単位:年)

順位  県庁所在市名	男性	順位 県庁所在市名	女性
1 長野市	79.3	1 松江市	85.8
2 山形市	78.8	2 福井市	85.7
2 さいたま市	78.8	2 宮崎市	85.7
2 千葉市	78.8	4 札幌市	85.6
2 福井市	78.8	4 熊本市	85.6
2 奈良市	78.8	4 那覇市	85.6
2 大分市	78.8		
		9 新潟市	85.4
18 新潟市	78.3		
45 和歌山市	76.8	45 大阪市	83.4
46 青森市	75.8	46 岐阜市	83.3
47 大阪市	75.7	47 青森市	83.0
平均	78.0	平均	84.9

資料:厚生労働省「平成12年市区町村別生命表」

# (7) 新潟県内市町村との平均寿命の比較[平成12年]

(単位:年)

						(単位:平)
	順位	市町村名	男性	順位	市町村名	女性
ベー	1	津南町	79.4	1	小出町	86.6
スト	2	六日町	79.0	2	新津市	86.5
3	3	湯沢町	78.8	3		86.4
			•			
	4	新津市	78.6	10	温東村	85.9
	7	新潟市	78.3	19	亀田町	85.7
	18	潟東村	78.1	19	岩室村	85.7
	38	月潟村	77.7	30	味方村	85.5
	43	横越町	77.5	38	新潟市	85.4
現	62	岩室村	77.3	48	白根市	85.3
新	68	小須戸町	77.2	48	横越町	85.3
潟	68	亀田町	77.2	57	中之口村	85.2
市	68	味方村	77.2	65	豊栄市	85.1
	78	巻町	77.1	65	西川町	85.1
	83	豊栄市	77.0	74	小須戸町	85.0
	83	西川町	77.0	83	巻町	84.8
	93	中之口村	76.8	101	月潟村	84.4
	103	白根市	76.6			
7	109	広神村	76.3	109	栄町	84.0
ر ا	109	相川町	76.3	110		83.8
3	111	守門村	75.9	111	豊浦町	83.4

資料:厚生労働省「平成12年市区町村別生命表」

# (8)諸外国の平均寿命の年次推移



出典:厚生労働省「第20回生命表」

# (9)都道府県の平均寿命の年次推移

# ①男性

(単位:年)

100	<u>ነት ነተ ነ</u>	B #	昭和	40年	昭和	45年	昭和	50年	昭和	55年	昭和	60年	平成	2年	平成	7年		·位:年) 12年
41)	道府り	<b>张</b> ⁄	平均寿命	順位	平均寿命	順位	平均寿命	順位										
늣																		<b>川貝1</b> 立
全		国	67. 74	•••	69. 84	•••	71. 79	•••	73. 57		74. 95	•••	76. 04	•••	<b>76. 70</b> (76. 72)	•••	77. 71	•••
北	海	道	67. 46	21	69. 26	26	71. 46	24	72. 96	33	74. 50	29	75. 67	32	76. 56	28	77. 55	28
青	森	県	65. 32	46	67. 82	45	69. 69	47	71. 41	47	73. 05	47	74. 18	47	74. 71	47	75. 67	47
岩	手	県	65. 87	44	68. 03	43	70. 27	44	72. 72	41	74. 27	39	75. 43	39	76. 35	33	77. 09	39
宮	城	県	67. 29	26	69. 49	20	71.50	23	73. 40	21	75. 11	19	76. 29	18	77.00	15	77. 71	23
秋	田	県	65. 39	45	67. 56	46	70. 17	46	72. 48	44	74. 12	42	75. 29	42	75. 92	44	76. 81	46
Щ	形	県	66. 49	40	68. 71	35	70. 96	36	73. 12	29	74. 99	22	76. 37	11	76. 99	16	77. 69	24
福	島	県	66.46	42	68. 52	37	70. 71	39	72. 90	36	74. 38	34	75. 71	30	76. 47	30	77. 18	37
茨	城	県	66. 99	33	68. 32	39	70. 58	42	72. 78	39	74. 35	36	75. 67	31	76. 32	34	77. 20	35
栃	木	県	66.47	41	68.30	40	70.61	41	72. 86	37	74. 36	35	75. 38	41	76. 12	41	77.14	38
群	馬	県	67.34	23	69. 22	28	71. 23	30	73. 72	15	75. 11	19	76. 36	13	76. 98	18	77. 86	20
埼	玉	県	67. 26	27	69. 38	23	71.88	15	73. 79	14	75. 20	17	76. 31	17	76. 95	19	78. 05	10
千	葉	県	67.71	18	69.61	18	71. 99	13	73. 85	12	75. 27	15	76. 46	8	76. 89	23	78. 05	11
東	京	都	69.84	1	71.30	1	73. 19	1	74. 46	4	75. 60	5	76. 35	14	76. 91	20	77. 98	15
神	奈川		69.05	3	70.85	3	72. 95	2	74. 52	1	75. 59	6	76. 70	4	77. 20	6	78. 24	5
新	澙	県	67. 18	29	69. 07	31	71. 14	32	73. 29	24	74. 83	25	76. 49	7	76. 98	17	77. 66	25
富	Щ	県	66. 70	37	69. 18	29	71. 11	33	73. 27	25	74. 81	27	76. 14	24	77. 16	9	78. 03	12
石	Л	県	67. 14	32	69. 77	16	71.63	19	73. 48	19	75. 28	13	76. 38	10	77. 16	8	77. 96	16
福	井	県	67.96	14	70. 18	12	72. 21	8	74. 24	6	75. 64	3	76.84	2	77. 51	2	78. 55	2
Ш	梨	県	67. 56	20	69. 42	22	71.66	18	73. 26	26	75. 02	21	76. 26	20	76.82	25	77. 90	19
長	野	県	68. 45	9	70. 46	7	72. 40	4	74. 50	3	75. 91	2	77. 44	1	78. 08	1	78. 90	1
岐	阜	県	68. 90	5	70. 69	5	72. 18	9	74. 13	9	75. 53	7	76. 72	3	77. 17	7	78. 10	9
静	畄	県	68. 21	11	70. 31	9	72. 32	6	74. 10	10	75. 48	8	76. 58	6	77. 22	5	78. 15	8
愛	知	県	69.00	4	70.74	4	72. 39	5	74. 08	11	75. 44	9	76. 32	15	76. 90	21	78.01	13
Ξ	重	県	68.61	7	70. 23	11	71.75	17	73. 83	13	74. 87	23	76.03	26	76. 76	27	77. 90	18
滋	賀	県	67. 26	27	69. 66	17	71. 51	22	73. 61	17	75. 34	11	76. 36	12	77. 13	12	78. 19	6
京	都	府	69. 18	2	71.08	2	72.63	3	74. 20	8	75. 39	10	76. 39	9	77. 14	11	78. 15	7
大	阪	府	68.02	12	70. 16	13	71.60	20	72. 96	33	74. 01	46	75. 02	46	75. 90	45	76. 97	43
兵	庫	県	68. 29	10	70. 32	8	71.82	16	73. 31	23	74. 47	30	75. 59	34	75. 54 (76. 10)	46	77. 57	27
奈	良	県	67. 97	13	70. 29	10	72.00	12	73. 43	20	74. 87	23	76. 15	23	77. 14	10	78. 36	3
	歌山		67. 75	17	69. 48	21	71. 25	28	72. 79	38	74. 19	40	75. 23	44	76. 07	43	77. 01	41
鳥	取	県	67. 18	29	69. 29	25	71. 42	25	73. 02	31	74. 40	32	75. 66	33	76. 09	42	77. 39	31
島	根	県	67. 77	16	69. 54	19	71. 55	21	73. 38	22	75. 30	12	76. 15	22	76. 90	22	77. 54	29
岡	山	県	68. 68	6	70. 69	5	72. 25	7	74. 21	7	75. 28	13	76. 32	16	77. 03	14	77. 80	21
広	島	県	68. 61	7	70. 15	14	72.04	11	73. 69	16	75. 19	18	76. 22	21	76. 77	26	77. 76	22
Ш	П	県	67. 30	25	69. 16	30	71. 20	31	72. 96	33	74. 45	31	75. 74	29	76. 36	32	77. 03	40
徳	島	県	66. 69	38	68. 56	36	70. 71	39	72. 54	42	74. 35	36	75. 47	35	76. 21	36	77. 19	36
香	川	県	67. 67	19	69. 95	15	71. 91	14	74. 28	5	75. 61	4	76. 09	25	77. 12	13	77. 99	14
愛	媛	県	67.81	15	69. 26	26	71. 25	28	73. 16	28	74. 75	28	75. 82	28	76. 43	31	77. 30	32
高	知	県	66. 94	34	68. 02	44	70. 20	45	72. 20	46	74. 04	45	75. 44	38	76. 18	37	76. 85	45
福	岡	県	67. 32	24	69. 32	24	71. 41	26	72. 99	32	74. 19	40	75. 24	43	76. 12	40	77. 21	34
佐	賀	県	66. 69	38	68. 83	34	71. 10	34	73. 09	30	74. 32	38	75. 45	36	76. 26	35	76. 95	44
長	崎	県	66. 29	43	68. 17	41	70.74	38	72. 41	45	74. 09	43	75. 14	45	76. 15	38	77. 21	33
熊	本	県	67. 18	29	69.06	32	71. 36	27	73. 61	17	75. 24	16	76. 27	19	77. 31	3	78. 29	4
大	分	県	66. 83	36	68. 99	33	71.03	35	73. 21	27	74. 82	26	75. 98	27	76. 83	24	77. 91	17
宮	崎	県	66. 93	35	68. 40	38	70. 75	37	72. 77	40	74. 39	33	75. 45	37	76. 53	29	77. 42	30
鹿	児』	- 県	67. 36	22	68. 14	42	70. 54	43	72. 53	43	74. 09	43	75. 39	40	76. 13	39	76. 98	42
沖	縄	県					72. 15	10	74. 52	1	76. 34	1	76. 67	5	77. 22	4	77.64	26

注. ()内の数値は、阪神・淡路大震災の影響を除去した場合の数値である。

資料:厚生労働省「都道府県別生命表」

# ②女性

(単位:年)

都道府県名		昭和40年		昭和45年		昭和50年		昭和55年		昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年		
		7 14 + A	hizi Ala															
Ļ			平均寿命	順位	平均寿命	順位	平均寿命	順位										
全		国	72. 92	•••	75. 23		77. 01	•••	79.00	•••	80. 75	•••	82. 07	•••	<b>83. 22</b> (83. 26)	•••	84. 62	•••
北	海	道	72. 82	25	74. 73	31	76. 74	27	78. 58	35	80. 42	35	81.92	34	83. 41	22	84.84	18
青	森	県	71. 77	44	74. 68	32	76. 50	35	78. 39	44	79. 90	46	81. 49	45	82. 51	46	83. 69	47
岩	手	県	71. 58	45	74. 13	46	76. 20	44	78. 59	34	80. 69	26	81. 93	33	83. 41	23	84. 60	29
宮	城	県	73. 19	17	75. 30	16	77.00	16	78. 85	25	80. 69	26	82. 15	22	83. 32	26	84. 74	24
秋	田	県	71. 24	46	74. 14	45	75. 86	47	78. 64	32	80. 29	40	81.80	38	83. 12	35	84. 32	40
Щ	形	県	71. 94	43	74. 46	39	76. 35	41	78. 58	35	80.86	21	82. 10	25	83. 23	29	84. 57	31
福	島	県	72.04	41	74. 46	39	76. 35	41	78. 46	41	80. 25	42	81. 95	31	82. 93	39	84. 21	43
茨	城	県	72. 52	30	74. 43	41	76. 12	45	78. 35	46	79. 97	45	81. 59	44	82. 87	41	84. 21	44
栃	木	県	72.44	34	74. 27	44	76. 31	43	78. 13	47	79. 98	44	81. 30	46	82. 76	43	84. 04	45
群	馬	県	72.38	36	74. 50	38	76. 42	39	78. 46	41	80. 39	37	81. 90	35	83. 12	34	84. 47	35
埼	玉	県	72. 45	32	74.62	35	76. 61	30	78.68	29	80.65	29	81.75	39	82. 92	40	84. 34	37
千	葉	県	73. 29	15	75. 33	14	77. 07	15	79. 07	18	80.88	20	82. 19	19	83. 19	31	84. 51	32
東	京	都	74. 70	1	75. 96	3	77. 89	2	79. 49	7	81.09	11	82. 09	27	83. 12	33	84. 38	36
神	奈 川		74. 08	2	75. 97	2	77. 85	3	79. 55	5	81. 22	7	82. 35	14	83. 35	25	84. 74	23
新	鴻	県	72. 19	37	74. 65	34	76. 76	25	78. 97	22	80. 86	21	82. 50	6	83. 66	11	85. 19	9
富	山	県	72.04	41	74. 78	29	76. 56	33	78. 93	23	80.80	25	82. 35	13	83. 86	5	85. 24	7
石	Щ	県	72.40	35	75. 04	23	76. 58	31	78. 88	24	80. 89	19	82. 24	17	83. 54	17	85. 18	10
福	井	県	72.87	24	75.04	23	76. 81	22	79. 18	16	81.01	12	82. 36	12	83. 63	12	85. 39	2
山	梨	県	73, 29	15	75. 38	12	77. 43	10	79. 21	13	80. 94	15	82. 39	10	83. 67	8	85. 21	8
長	野	県	72.81	26	75. 22	19	77. 00	16	79. 44	9	81. 13	9	82. 71	4	83. 89	4	85. 31	3
岐	阜	県	73. 03	20	74. 96	27	76. 41	40	78. 47	39	80.31	39	81. 69	41	83.00	37	84. 33	39
静	岡	県	74. 07	3	75.88	4	77. 64	5	79. 62	4	81.37	4	82. 47	7	83. 70	7	84. 95	14
愛	知	県	73. 67	7	75. 28	18	76. 63	29	78. 73	28	80. 51	34	81.63	43	82. 80	42	84. 22	42
三	重	県	73. 32	11	75. 29	17	76.84	20	79. 07	18	80.61	31	82. 01	30	83. 02	36	84. 49	34
滋	賀	県	72. 48	31	74. 75	30	76. 47	37	78. 64	32	80.63	30	81.88	37	83. 20	30	84. 92	15
京	都	府	73. 75	6	75. 66	6	77. 30	11	79. 19	15	80.68	28	82. 07	29	83. 44	19	84. 81	20
大	阪	府	73, 30	13	75. 21	20	76. 57	32	78. 36	45	79.84	47	81. 16	47	82. 52	45	84. 01	46
兵	庫	県	73. 48	9	75. 63	7	77. 13	13	78. 84	26	80. 40	36	81.64	42	81. 83 (82. 68)	47	84. 34	38
奈	良	県	72.89	23	75. 16	22	76. 76	25	78. 65	31	80. 27	41	81.89	36	82. 96	38	84.80	21
和	歌山	県	73, 57	8	75. 19	21	76. 81	22	78. 47	39	80. 13	43	81. 70	40	82. 71	44	84. 23	41
鳥	取	県	73. 39	10	75. 44	8	77. 45	8	79. 45	8	81. 11	10	82. 33	15	83. 59	14	84. 91	16
島	根	県	73. 01	21	75. 37	13	77. 53	6	79. 42	11	81.60	2	83. 09	2	84. 03	3	85, 30	5
岡	山	県	74. 03	4	76. 37	1	77. 76	4	79. 78	2	81. 31	5	82. 70	5	83. 81	6	85. 25	6
広	島	県	73. 93	5	75. 80	5	77. 48	7	79. 51	6	80. 94	15	82. 38	11	83. 66	9	85. 09	12
Щ	П	県	72. 98	22	75. 33	14	77. 27	12	79. 14	17	81. 16	8	82. 46	8	83. 57	15	84.61	28
徳	島	県	72. 14	38	74. 30	43	76.00	46	78. 48	38	80. 56	33	81. 93	32	83. 17	32	84. 49	33
香	川	県	73. 16	18	75. 44	8	77. 12	14	79. 64	3	81. 28	6	82. 13	23	83. 47	18	84. 85	17
愛	媛	県	73, 30	13	75. 41	11	76. 91	18	79. 43	10	81.01	12	82. 24	18	83. 28	27	84. 57	30
高	知	県	73, 32	11	74. 99	25	76. 50	35	78. 98	21	80. 97	14	82. 44	9	83. 57	16	84. 76	22
福	岡	県	73. 11	19	75. 44	8	77. 44	9	79. 21	13	80. 91	18	82. 19	20	83. 44	20	84.62	27
佐!	賀	県	72.65	28	74. 85	28	76. 83	21	79. 02	20	80. 94	15	82. 17	21	83. 43	21	85. 07	13
長	崎士	県	72.06	40	74. 37	42	76. 46	38	78. 67	30	80. 81	24	82. 10	26	83. 23	28	84. 81	19
熊士	本	県県	72.60	29	74. 97	26	76. 89	19	79.37	12	81.47	3	82.85	3	84. 39	2	85.30	4
大宮	分崎	県	72. 07 72. 45	39 32	74. 66 74. 62	33 35	76. 73 76. 77	28 24	78. 54 78. 84	37 26	80. 58 80. 84	32 23	82. 08 82. 30	28 16	83. 61 83. 66	13 10	84. 69 85. 09	25 11
	児島		72. 71	27	74. 62	35	76, 53	34	78. 44	43	80. 34	38	82. 10	24	83. 36	24	84. 68	26
沖	縄	県					78.96	1	81.72	1	83. 70	1	84. 47	1	85.08	1	86.01	1

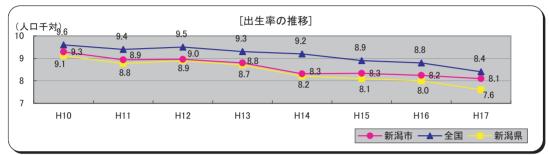
注.()内の数値は、阪神・淡路大震災の影響を除去した場合の数値である。

資料:厚生労働省「都道府県別生命表」

### (1)出生

【出生数・出生率】 (単位:人)

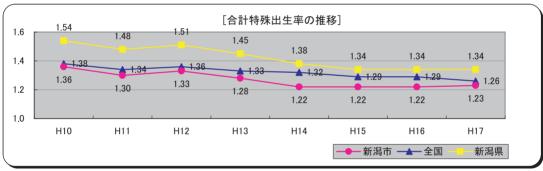
	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
新潟市	7,491	7,216	7,245	7,130	6,747	6,762	6,695	6,577
全国	1,203,147	1,177,669	1,190,547	1,170,662	1,153,855	1,123,610	1,110,721	1,062,530
新潟県	22,661	21,812	21,886	21,301	20,221	19,719	19,531	18,505



資料:厚生労働省「人口動態統計」,新潟県「福祉保健年報」 ※新潟市の数値は平成19年4月1日現在の市域

### 【合計特殊出生率】

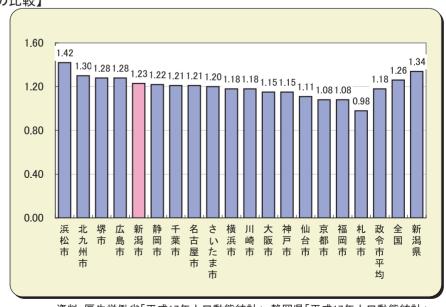
K H H I I J M F	<u> </u>							
	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
新潟市	1.36	1.30	1.33	1.28	1.22	1.22	1.22	1.23
全国	1.38	1.34	1.36	1.33	1.32	1.29	1.29	1.26
新潟県	1.54	1.48	1.51	1.45	1.38	1.34	1.34	1.34



資料: 新潟県「福祉保健年報」,厚生労働省「平成17年人口動態統計」,総務省統計局「平成12年・17年国勢調査」 ※新潟市の数値は平成19年4月1日現在の市域

# 【合計特殊出生率の政令市との比較】

	平成17年
1 新潟市	1.23
全 国	1.26
新 潟 県	1.34
政令市平均	1.18
2 札 幌 市	0.98
3 仙 台 市	1.11
4 さいたま市	1.20
5 千葉市	1.21
┃ 6 横 浜 市 │	1.18
7 川崎市	1.18
8 静 岡 市	1.22
┃ 9 名古屋市	1.21
10 京都市11 大阪市	1.08
10 京都市11 大阪市	1.15
12: 堺 市	1.28
13 神戸市	1.15
14 広島市	1.28
15 北九州市	1.30
16 福岡市	1.08
17 浜松市	1.42



資料:厚生労働省「平成17年人口動態統計」,静岡県「平成17年人口動態統計」 大阪府「平成17年人口動態統計」,総務省統計局「平成17年国勢調査」

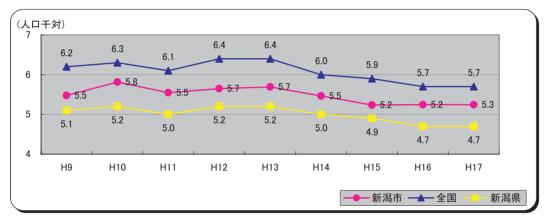
<sup>※</sup>新潟市, 堺市, 浜松市, 静岡市, 政令市平均の合計特殊出生率は, 平成19年4月1日現在の市域で, 国勢調査日本人人口と母の年齢別出生数から算出した。

### (2)婚姻 · 離婚

### 【婚姻】

①年次推移

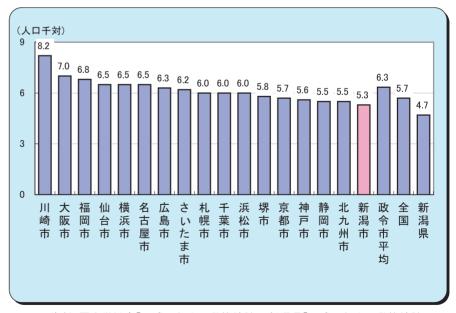
	新潟	市	全国		新潟リ	果
	(件)	(人口千対)	(件)	(人口千対)	(件)	(人口千対)
平成 9年	4,402	5.5	775,651	6.2	12,633	5.1
平成10年	4,689	5.8	784,595	6.3	12,986	5.2
平成11年	4,480	5.5	762,028	6.1	12,523	5.0
平成12年	4,571	5.7	798,138	6.4	12,858	5.2
平成13年	4,614	5.7	799,999	6.4	12,893	5.2
平成14年	4,433	5.5	757,331	6.0	12,257	5.0
平成15年	4,249	5.2	740,191	5.9	11,920	4.9
平成16年	4,259	5.2	720,417	5.7	11,557	4.7
平成17年	4,246	5.3	714,265	5.7	11,484	4.7



資料:厚生労働省「人口動態統計」,新潟県「福祉保健年報」 ※新潟市の数値は平成19年4月1日現在の市域

### ②政令市との比較

			<u> </u>	成17年
		婚姻】		人口千対
1	新	潟	市	5.3
	全		国	5.7
	新	澙	県	4.7
	政	で中で	<b>F</b> 均	6.3
2	札	幌	市	6.0
3		台	市	6.5
4	さ	いた	ま市	6.2
5		葉	市	6.0
6	横	浜	市	6.5
6 7	Ш	崎	市	8.2
8	静	岡	市	5.5
9	名	古	屋市	6.5
10	京	都	市	5.7
11	大	阪	市	7.0
12	堺		市	5.8
13	神	戸	市	5.6
14	広	島	市	6.3
15	北	九	州市	5.5
16	福	岡	市	6.8
17	浜	松	市	6.0



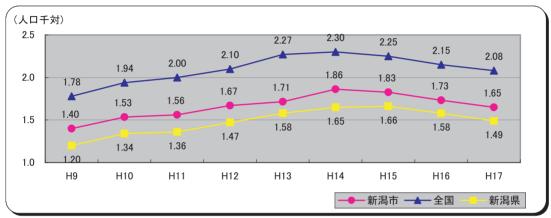
資料:厚生労働省「平成17年人口動態統計」,新潟県「平成17年人口動態統計」 静岡県「平成17年人口動態統計」,大阪府「平成17年人口動態統計」 総務省統計局「平成17年国勢調査」

※新潟市, 堺市, 浜松市, 静岡市, 政令市平均の婚姻率は, 平成19年4月1日現在の市域で国勢調査日本人人口を用いて算出

### 【離婚】

### ①年次推移

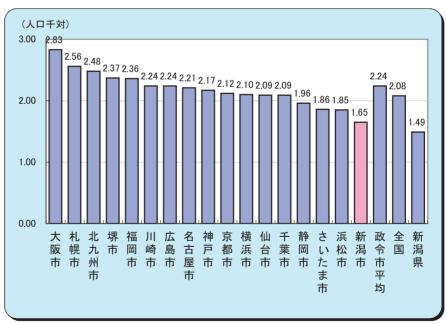
<u> </u>	新潟	市	全国		新潟	杲
	(件)	(人口千対)	(件)	(人口千対)	(件)	(人口千対)
平成 9年	1,125	1.40	222,635	1.78	2,977	1.20
平成10年	1,238	1.53	243,183	1.94	3,322	1.34
平成11年	1,260	1.56	250,529	2.00	3,375	1.36
平成12年	1,345	1.67	264,246	2.10	3,635	1.47
平成13年	1,390	1.71	285,911	2.27	3,909	1.58
平成14年	1,510	1.86	289,836	2.30	4,039	1.65
平成15年	1,482	1.83	283,854	2.25	4,054	1.66
平成16年	1,406	1.73	270,804	2.15	3,846	1.58
平成17年	1,328	1.65	261,917	2.08	3,601	1.49



資料:厚生労働省「人口動態統計」,新潟県「福祉保健年報」 ※新潟市の数値は平成19年4月1日現在の市域

### ②政令市との比較

			<u> </u>	成17年
		雛婚】		人口千対
1	新	澙	市	1.65
	全		国	2.08
	新	澙	県	1.49
	政	令市平	均	2.24
2	札	幌	市	2.56
3	仙	台	市	2.09
4	さ	いた	ま市	1.86
4 5	千	葉	市	2.09
6		浜	市	2.10
7	川	崎	市	2.24
8	静	岡	市	1.96
9	名	古』	量 市	2.21
10	京	都	市	2.12
11	大	阪	市	2.83
12	堺		市	2.37
13	神	戸	市	2.17
14	広	島	市	2.24
15	北	九	州市	2.48
16	福	岡	市	2.36
17	浜	松	市	1.85



資料:厚生労働省「平成17年人口動態統計」,新潟県「平成17年人口動態統計」 静岡県「平成17年人口動態統計」,大阪府「平成17年人口動態統計」 総務省統計局「平成17年国勢調査」

※新潟市, 堺市, 浜松市, 静岡市, 政令市平均の離婚率は, 平成19年4月1日現在の市域で国勢調査日本人人口を用いて算出

# (3)死亡

### ①死因別死亡率の政令市との比較

												(単位	ī:人口10	0万対)	2	P成17年
				悪性新 生物	糖尿病	高血圧 性疾患	心疾患	脳血管 疾患	肺炎	老衰	不慮の 事故	自殺	総数	生活習慣 病関連合 計	生活習 慣病/総 数	参考
	新	澙	中	280.9	9.4	4.8	124.7	107.2	79.4	23.2	36.8	24.9	843.1	444.0	52.7%	62.5%
全			国	258.3	10.8	4.6	137.2	105.3	85.0	20.9	31.6	24.2	858.8	439.6	51.2%	60.1%
新		澙	県	307.0	12.2	7.1	155.9	144.8	92.4	29.8	44.7	29.7	1007.9	530.3	52.6%	62.2%
政	令	市平	均	243.4	9.1	4.6	114.3	85.2	70.4	14.0	25.5	22.1	753.2	394.3	52.4%	60.6%
2	札	幌	市	239.5	8.7	1.8	103.1	85.3	56.2	6.5	18.5	25.2	699.1	373.8	53.5%	62.7%
3	仙	台	市	201.6	7.8	3.7	89.3	79.4	55.0	14.5	23.4	24.2	619.0	326.3	52.7%	61.7%
4	さし	ハたる	ま市	192.9	7.5	2.7	103.2	75.3	59.3	13.0	17.5	20.4	617.0	335.9	54.4%	61.9%
5	千	葉	市	212.9	7.4	3.2	99.9	71.0	60.6	11.9	21.3	21.7	642.8	330.5	51.4%	61.4%
6	横	浜	市	216.6	7.3	2.1	99.1	74.3	63.9	13.9	22.1	18.5	661.3	344.1	52.0%	60.4%
7	Ш	崎	市	204.3	7.0	1.3	93.5	74.1	51.8	8.9	21.0	18.2	614.2	329.4	53.6%	61.9%
8	静	岡	市	251.1	10.8	6.5	136.8	121.3	80.1	26.9	32.8	18.6	859.6	445.8	51.9%	61.2%
9	名	古屋	市	250.5	9.4	3.9	137.9	87.0	68.7	15.3	27.5	22.1	802.5	412.6	51.4%	60.9%
10	京	都	市	263.0	8.1	3.5	146.2	98.8	86.1	17.6	24.1	21.3	857.3	440.7	51.4%	60.6%
11	大	阪	市	304.0	11.2	13.6	132.0	93.4	95.1	13.6	29.9	27.5	931.9	493.8	53.0%	59.5%
12	堺		市	263.1	8.7	2.5	127.9	85.5	80.1	9.9	23.2	23.2	792.0	437.2	55.2%	61.6%
13	神	戸	市	275.7	12.8	4.6	116.4	81.5	71.3	17.0	30.1	23.8	824.0	430.7	52.3%	59.6%
14	広	島	市	226.1	7.5	3.4	114.7	79.7	65.7	12.7	25.4	18.6	713.4	356.9	50.0%	60.5%
15	北	九州	市	301.1	13.0	5.6	135.3	103.6	90.9	13.3	37.3	24.6	935.7	496.2	53.0%	59.7%
16	褔	岡	市	212.4	7.8	6.6	79.4	58.4	61.7	5.8	24.8	23.2	632.4	319.4	50.5%	57.7%
17	浜	松	市	232.0	13.0	7.1	114.6	118.2	74.6	29.0	28.9	18.5	809.2	420.1	51.9%	59.9%

※各市の数値は、平成17年12月31日現在の市域である。

※生活習慣病関連・・悪性新生物、糖尿病、高血圧性疾患、虚血性心疾患、脳血管疾患とした。 心疾患については虚血性心疾患以外は生活習慣との関連性が低いので除外。 参考値として心疾患すべてを生活習慣関連として算出した割合を掲載。

### ②年齢調整死亡率の政令市との比較

### (単位:人口10万対)

											1 10/J NJ /	
			悪性新生 物	糖尿病	高血圧 性疾患	心疾患	脳血管 疾患	肺炎	老衰	自殺	総数	対象年
1 第	折 潟	市	148.6	4.4	1.7	54.5	46.4	28.7	6.3	21.5	406.2	
全		玉	140.2	5.5	1.8	62.7	47.3	33.0	6.3	10.7	426.5	平成17年
新	潟	県	141.5	5.1	2.0	57.6	51.5	28.0	6.8	23.3	413.7	
2 1	扎 幌	市	146.4	4.0	1.0	52.4	41.0	26.0	2.4	21.1	392.6	
3 1	山台	市	135.1	5.0	2.2	51.7	43.8	23.0	6.8	21.4	377.8	平成16年
4 2	さいたる	ま市	144.4			64.8	49.9				412.0	
5 -		市	141.1	5.2	2.0	60.3	43.9	33.9	5.8	19.8	415.2	平成17年
6 柞	黄 浜	市	141.0	4.2	1.2	53.4	43.3	28.6	5.7	17.2	390.8	平成16年
7 J	崎	市	142.3	4.4	1.3	59.0	46.7	26.8	5.4	16.2	406.6	1 114111
8 青	静 岡	市	132.8	5.2	2.1	61.5	54.3	30.0	8.1	17.1	414.7	平成17年
9 1	名古屋	市	152.8	5.2	1.8	69.9	47.0	30.5	5.5	18.0	441.1	平成16年
10 5	京 都	市	147.7	3.9	1.0	59.9	41.1	28.7	4.3	17.7	406.4	十八八十
11 7		市	192.6			68.7	55.7				557.4	平成12年
12 <sup>‡</sup>		市	175.4			79.6	53.6				512.5	一
13 7		市	154.2	4.6	1.8	51.6	36.4	26.5	5.3	19.3	413.4	
14 Л	広 島	市	142.6			18.0	42.5					平成16年
15 3	北九州	市	157.1	5.6	1.4	52.8	43.8	27.7	3.3	24.0	435.3	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
16 🕇	冨 岡	市	144.5	5.4	3.4	46.8	35.0	30.0	2.4	22.2	400.6	
17 i	兵 松	市	125.2	6.7	2.6	49.6	53.1	27.4	7.9	15.7	385.6	平成17年

※政令市の数値は、照会又は各都道府県・政令市のホームページのデータを使用し、対象年末現在の市域である。 死亡数と人口(H17国勢調査日本人人口)から独自算出したものもあり、基礎資料が同一でないことから参考値である。

### ③死因順位の比較

(単位:人口10万対)	平成

平成17年

	1位	2位			3位		4位		5位		
	死因	死亡率	死因	5	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率
1 新 潟 市	悪性新生物	280.9	心疾	患	124.7	脳血管疾患	107.2	肺 炎	79.4	不慮の事故	36.8
全 国	悪性新生物	258.3	心疾	患	137.2	脳血管疾患	105.3	肺 炎	85.0	不慮の事故	31.6
新 潟 県	悪性新生物	307.0	心疾	患	155.9	脳血管疾患	144.8	肺炎	92.4	不慮の事故	44.7
政令市平均	悪性新生物	243.4	心疾	患	114.3	脳血管疾患	85.2	肺炎	70.4	不慮の事故	25.5
2 札 幌 市	悪性新生物	239.5	心疾	患	103.1	脳血管疾患	85.3	肺 炎	56.2	自 殺	25.2
3 仙 台 市	悪性新生物	201.6	心疾	患	89.3	脳血管疾患	79.4	肺 炎	55.0	自 殺	24.2
4 さいたま市	悪性新生物	192.9	心疾	患	103.2	脳血管疾患	75.3	肺 炎	59.3	自 殺	20.4
5 千葉市	悪性新生物	212.9	心疾	患	99.9	脳血管疾患	71.0	肺 炎	60.6	自 殺	21.7
6 横 浜 市	悪性新生物	216.6	心疾	患	99.1	脳血管疾患	74.3	肺 炎	63.9	不慮の事故	22.1
7 川 崎 市	悪性新生物	204.3	心疾	患	93.5	脳血管疾患	74.1	肺 炎	51.8	不慮の事故	21.0
8 静 岡 市	悪性新生物	251.1	心疾	患	136.8	脳血管疾患	121.3	肺 炎	80.1	不慮の事故	32.8
9 名古屋市	悪性新生物	250.5	心疾	患	137.9	脳血管疾患	87.0	肺 炎	68.7	不慮の事故	27.5
10 京 都 市	悪性新生物	263.0	心疾	患	146.2	脳血管疾患	98.8	肺 炎	86.1	不慮の事故	24.1
11 大 阪 市	悪性新生物	304.0	心疾	患	132.0	肺 炎	95.1	脳血管疾患	93.4	不慮の事故	29.9
12 堺 市	悪性新生物	263.1	心疾	患	127.9	脳血管疾患	85.5	肺 炎	80.1	自殺・不慮の事故	23.2
13 神 戸 市	悪性新生物	275.7	心疾	患	116.4	脳血管疾患	81.5	肺 炎	71.3	不慮の事故	30.1
14 広 島 市	悪性新生物	226.1	心疾	患	114.7	脳血管疾患	79.7	肺 炎	65.7	不慮の事故	25.4
15 北九州市	悪性新生物	301.1	心疾		135.3	脳血管疾患	103.6	肺 炎	90.9	不慮の事故	37.3
16 福 岡 市	悪性新生物	212.4	心疾		79.4	肺炎	61.7	脳血管疾患	58.4	不慮の事故	24.8
17 浜 松 市	悪性新生物	232.0	脳血管	疾患	118.2	心疾患	114.6	肺 炎	74.6	老 衰	29.0

※各市の数値は、平成17年12月31日現在の市域である。

### 【死因順位の年次推移】

新潟市 (単位:人口10万対)

	1位		2位		3位		4位		5位	
	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率
平成13年	悪性新生物	244.4	心疾患	107.1	脳血管疾患	105.1	肺 炎	64.8	不慮の事故	34.0
平成14年	悪性新生物	245.8	脳血管疾患	109.3	心疾患	103.3	肺 炎	65.6	不慮の事故	31.7
平成15年	悪性新生物	253.3	脳血管疾患	115.2	心疾患	110.6	肺 炎	68.1	不慮の事故	32.7
平成16年	悪性新生物	269.5	心疾患	113.0	脳血管疾患	104.5	肺 炎	68.3	不慮の事故	34.5
平成17年	悪性新生物	280.9	心疾患	124.7	脳血管疾患	107.2	肺 炎	79.4	不慮の事故	36.8

※新潟市の数値は、平成19年4月1日現在の市域である。

### 全国

	1位			2位		3位			4位		5位	
平成13年	悪性新生物	238.8	心	疾患	117.8	脳血管疾患	104.7	肺	炎	67.8	不慮の事故	31.4
平成14年	悪性新生物	241.7	心	疾 患	121.0	脳血管疾患	103.4	肺	炎	69.4	不慮の事故	30.7
平成15年	悪性新生物	245.4	心	疾 患	126.5	脳血管疾患	104.7	肺	炎	75.3	不慮の事故	30.7
平成16年	悪性新生物	253.9	心	疾 患	126.5	脳血管疾患	102.3	肺	炎	75.7	不慮の事故	30.3
平成17年	悪性新生物	258.3	心	疾患	137.2	脳血管疾患	105.3	肺	炎	85.0	不慮の事故	31.6

### 新潟県

	1位		2位		3位			4位		5位	
平成13年	悪性新生物	274.9	脳血管疾患	147.2	心疾患	132.1	肺	炎	70.8	不慮の事故	41.8
平成14年	悪性新生物	275.2	脳血管疾患	147.9	心疾患	132.8	肺	炎	74.7	不慮の事故	42.6
平成15年	悪性新生物	289.9	脳血管疾患	146.9	心疾患	140.8	肺	炎	78.7	不慮の事故	42.0
平成16年	悪性新生物	298.6	脳血管疾患	144.0	心疾患	142.0	肺	炎	80.4	不慮の事故	44.9
平成17年	悪性新生物	307.0	心疾患	155.9	脳血管疾患	144.8	肺	炎	92.4	不慮の事故	44.7

### ④がんの主要死因別死亡率の他都市との比較

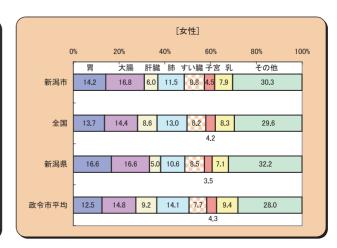
平成17年	(単位:人口10万対)

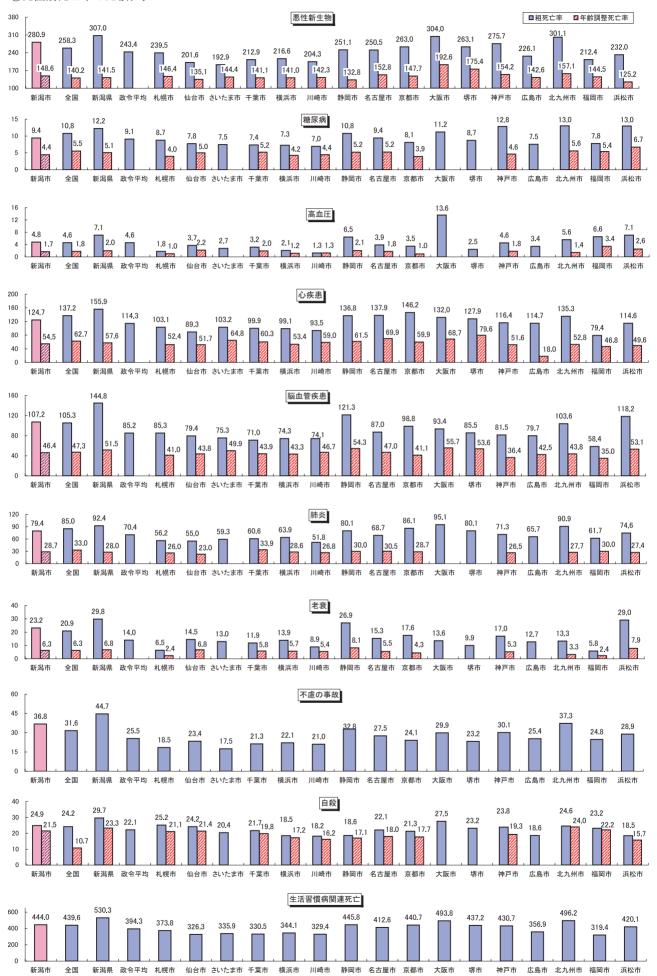
<u> </u>		<u> </u>	- 🗻	7 D ESI 7111 .		グ他的リ								平成17年		型位:人口	
				F		大	腸	肝	臓	Ai	ħ	子	宮	亨	_	前立	上腺
				粗死亡率	年齢調整 死亡率	粗死亡率	年齢調整 死亡率	粗死亡率	年齢調整 死亡率	粗死亡率	年齢調整 死亡率	粗死亡率	年齢調整 死亡率	粗死亡率	年齢調整 死亡率	粗死亡率	年齢調整 死亡率
1 \$	訢	澙	市	44.9	23.2	37.8	19.2	19.1	10.5	55.4	28.8	9.6	5.7	16.7	12.3	15.2	8.4
全			国	39.9	21.2	32.4	17.2	27.2	15.0	49.2	25.8	8.3	5.1	16.6	11.4	15.0	8.5
新	Ä	葛	県	55.7	25.1	40.9	18.0	18.8	9.2	56.0	24.6	8.1	4.7	16.6	11.2	17.6	8.3
政令	ī	市 平	均	35.6		31.5		27.7		47.0		8.1		17.6		12.9	
2 1	ŧL	幌	市	32.1	19.3	31.4	17.7	19.9	14.6	48.4	28.7	7.5	5.0	17.8	13.8	14.8	8.7
3 1	山	台	市	27.6		29.1		16.4		35.9		8.8		18.4		13.7	
4 5	さい	たま	市	28.5		22.4		17.8		38.5		6.7		17.1		10.1	
5 =	Ŧ	葉	市	30.5	19.8	25.6	16.6	22.5	15.0	38.0	24.7	6.8	5.1	18.5	14.1	12.3	9.3
6 t	横	浜	市	33.3	21.2	30.7	19.0	21.5	14.4	36.8	25.0	7.4	5.3	17.8	13.6	13.2	8.7
7 J	Ш	崎	市	30.3	20.9	28.1	18.9	21.6	14.1	37.5	23.6	6.8	5.3	18.1	10.2	9.9	11.5
8 ‡	静	岡	市	35.3	18.4	31.5	16.1	29.5	15.5	46.9	23.5	9.0	5.4	19.3	14.0	15.1	8.5
9 4	名 i	古 屋	市	38.2		36.3		25.8		52.4		8.0		15.9		11.3	
10 3	京	都	市	38.5	21.6	34.8	20.1	27.1	16.6	55.1	27.3	9.6		15.9		13.3	
11 ;	大	阪	市	46.1		35.4		44.0		62.9		9.9		20.1		14.0	
12 <sup>‡</sup>	界		市	41.6		32.8		34.5		50.8		8.5		15.8		12.0	
13 7	神	戸	市	39.1	22.8	34.7	17.8	35.8	21.8	53.3	28.6	7.7	6.9	17.9	12.1	14.9	
14 Д	古	島	市	31.4		26.9		32.6		43.8	25.3	6.8	5.2	14.3	6.6	12.6	
15 =	北:	九州	市	42.3	24.3	36.2	19.4	46.3	23.0	59.0	27.6	7.3	5.8	21.7	10.2	13.9	8.3
16 🕯	福	岡	市	27.9	18.7	25.9	17.8	30.8	20.9	40.2	26.6	8.5	4.4	16.5	11.9	8.7	7.7
17 ž	兵	松	市	34.0	18.1	28.9	15.2	22.0	12.3	40.3	20.7	8.2	6.1	14.3	9.8	17.1	9.2

- ※子宮がん、乳がんは女性人口に対する割合であり、前立腺がんは男性人口に対する割合である。
- ※年齢調整死亡率は各市への照会又は各都道府県・政令市のホームページからデータを使用し独自算出。 年齢調整死亡率のデータの時期については②表参照。

### 【男女別がんの部位別死亡割合】







資料:厚生労働省「人口動態統計」総務省統計局「平成12年-17年国勢調査」,新潟県健康対策課資料

人口 動態

### 年齡調整死亡率 # 483.3 486.7 406.7 169.7 169.7 169.7 179.7 170. 88556 88556 8002533 8002533 8002533 8002533 8002533 800253 800 <u>ГНННННННННННННННННН</u> 全体 結腸の悪性 新生物 乳房の悪性 新生物 気管・気管支及が肺の悪性 新生物 高血圧性 疾患 心疾患 (高血圧性を 除く) (再掲) 虚血性心疾患 惠性新生物 肝及び肝内胆 管の悪性 新生物 S状結陽移行部、直 腸の悪性新生物 胃の悪性 新生物 (再掲) 大腸がん 糖尿病 脳血管疾 2.23.261.7 2.20.2 年齡調整死亡率 $\begin{array}{c} 440000121 \\ -40000121 \\ -200000121 \\ -20000121 \\ -20000121 \\ -20000121 \\ -20000121 \\ -20000121 \\ -20000121 \\ -20000121$ 乳房の悪性 新生物 肝及び肝内胆 管の悪性 新生物 気管・気管支 及び肺の悪性 新生物 心疾患 (高血圧性を 除く) (再掲) 虚血性心疾患 S状結腸移行部、直 腸の悪性新生物 高 由 圧 性 疾患 (再掲) 大腸がん 結腸の悪性 新生物 子宮の悪 新生物 糖尿病 悪性新生 脳血管疾 年齡調整死亡率 粗死亡率 H17 H17 H17 H17 H17 H17 H17 H17 男性 結腸の悪性 新生物 肝及び肝内胆 管の悪性 新生物 気管・気管支 及び肺の悪性 新生物 ,房の悪性 新生物 前立腺の悪 性新生物 心疾患 (高血圧性を 除く) (再掲) 虚血性心疾患 S状結腸移行部、直 腸の悪性新生物 性新生物 胃の悪性 新生物 自压性 疾患 (再掲) 大腸がん 糖尿病 脳血管疾

# ⑥主な死因の粗死亡率と年齢調整死亡率

### ⑦死因別死亡率(人口10万対)の年次推移

※参考として年齢調整死亡率を記載

【**悪性新生物**】 (単位:人口10万対)

	机土物		(									(単位:人)	וא נכנטו ב
全体		(昭和58)											
	des artes d	昭和60年		平成7年							平成15年		
	新潟市	159.3	184.9	222.6	233.4	236.3	247.4	252.4	244.4	245.8	253.3	269.5	280.9
	三国	156.1	177.2	211.6	220.4	226.7	231.6	235.2	238.8	241.7	245.4	253.9	258.3
	潟県	180.8	204.2	250.4	256.1	261.9	266.0	274.9	274.9	275.2	289.9	298.6	307.0
	市平均				212.9	216.2	217.6	221.7	223.4	224.9	227.2	237.3	243.4
	札幌市				187.8	190.7	194.1	205.2	205.3	212.7	215.0	234.0	239.5
	仙台市				157.6	173.7	187.5	182.0	180.5	178.9	190.8	195.2	201.6
	<u>いたま市</u>				407.0	4704	177.2	186.0	190.7	185.7	189.1	195.3	192.9
	千葉市 ## 15 = #				167.8	172.1	180.5	180.2	193.1	199.2	179.4	211.7	212.9
	横浜市				184.5	193.9	193.8	198.4	203.2	202.0	204.7	215.0	216.6
	川崎市				175.6	175.6	180.7	182.4	185.9	191.4	184.9	194.2	204.3
	静岡市 3古屋市				010 F	0170	204.6	218.7	225.3	233.9	241.2	253.8 244.1	251.1
					210.5 240.7	217.9 245.5	218.8 242.7	219.9 260.8	232.1 248.2	227.7 251.5	229.5 248.2	259.0	250.5 263.0
	京都市 大阪市				277.9	263.1	275.5	282.1	275.9	278.4	282.0	283.9	304.0
	堺市				211.9	203.1	230.1	234.7	232.2	243.2	244.8	255.9	263.1
					243.1	252.8	257.1	256.6	256.3	247.8	262.4	270.3	275.7
	広島市				202.3	195.6	202.1	197.3	211.1	211.5	205.5	214.8	226.1
	比九州市				262.9	282.4	279.9	283.3	272.2	287.9	301.5	301.6	301.1
	福岡市				197.6	194.9	196.6	199.4	197.2	200.0	204.6	204.6	212.4
	浜松市				137.0	104.0	190.4	189.1	204.0	201.4	196.0	215.2	232.0
	年齢調整	[ 					130.4	100.1	204.0	201.4	100.0	210.2	202.0
	温市	168.0	155.2	162.5	161.1	157.0	160.3	159.7	147.4	143.2	143.9	147.0	148.6
	·国	156.7	153.2	157.7	154.6	154.3	153.0	150.4	147.9	144.5	142.2	143.1	140.2
	- II 潟県	161.1	157.6	156.8	151.8	151.1	149.4	149.7	143.9	139.2	142.1	142.5	141.5
男性													
27 1-1		昭和60年	平成2年	平成7年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1 1	新潟市	190.9	230.4	269.6	299.9	297.5	322.4	323.5	310.7	306.7	310.9	330.0	355.0
	<b>秋 /向 リノ</b> È国	187.4	216.4	262.0	273.0	281.0	286.5	291.3	294.5	298.8	303.3	313.5	319.1
	潟県	217.5	247.9	306.6	323.1	332.6	341.9	346.3	350.3	341.1	357.4	373.9	384.2
	市平均	2.7.0		. 550.0	261.1	267.9	267.5	273.8	275.9	278.8	279.1	289.8	301.5
	札幌市				234.8	241.5	241.9	265.6	254.4	267.5	262.2	285.7	303.9
	仙台市				190.2	223.8	227.9	224.1	222.5	225.0	239.2	238.9	236.6
	いたま市						219.8	226.0	227.5	225.1	226.7	234.5	239.9
	千葉市				207.0	211.8	220.9	222.1	233.5	244.4	222.7	260.3	269.7
	横浜市				221.8	236.3	236.2	243.2	244.5	247.1	249.1	262.4	262.7
	川崎市				216.5	215.4	216.6	221.5	229.6	234.9	225.2	232.8	244.8
	静岡市						255.6	270.6	287.1	298.5	308.8	323.7	316.6
9 名	占屋市				251.2	261.4	263.3	265.1	284.1	277.4	277.0	301.5	305.4
10 3	京都市				286.3	294.2	289.3	313.2	303.7	306.7	294.4	304.0	319.6
11 ;	大阪市				347.3	337.4	342.8	348.3	351.1	348.6	357.9	353.7	384.8
12	堺市						291.5	292.3	295.1	308.3	308.5	317.4	342.2
	神戸市				307.4	328.7	321.1	330.8	323.8	320.6	323.9	337.2	353.5
	広島市				248.3	239.1	254.6	250.5	270.1	269.9	259.4	257.7	285.3
	比九州市				328.1	357.9	355.3	361.6	341.5	367.8	373.8	376.1	381.8
	福岡市				242.5	230.5	236.2	237.8	235.4	237.5	246.8	245.4	254.4
	浜松市	·					232.2	229.8	243.3	248.9	242.2	256.5	283.8
	年齢調整 <b>潟市</b>		017.0	000.4	040.0	000.0	040 5	0000	0100	000.1	004.0	000.0	017.6
	<b>海巾</b>	<b>243.9</b> 214.8	<b>217.8</b> 215.6	<b>230.4</b> 226.1	<b>240.9</b> 221.3	<b>230.8</b> 221.0	<b>242.5</b> 219.0	<b>236.3</b> 214.0	<b>218.9</b> 209.4	<b>209.1</b> 205.1	<b>204.2</b> 201.7	<b>209.2</b> 202.0	<b>217.6</b> 197.7
	- 国 潟県	221.4	220.6	224.8	223.6	223.7	223.8	219.6	214.4	203.1	201.7	202.0	205.8
女性	/제 기지	221.4	220.0	224.0	223.0	223.7	223.0	219.0	214.4	202.1	203.3	207.7	203.6
ᆺᇉ		四手neo左	立出った	亚出7年	亚出0年	亚出10年	亚出14年	亚出10年	亚出12年	亚出14年	亚出45年	亚出16年	亚出7年
1 1	#C (E) ==	昭和60年		平成7年 <b>178.4</b>	170.8	178.8	<del> </del>	185.6			平成15年 <b>199.5</b>	213.1	<del> </del>
	新潟市		142.0				176.9		182.2	188.8			212.1
	È国 潟県	125.9	139.3	163.1	169.9	174.6	179.1	181.4	185.4	187.1	190.1	197.1	200.3
		146.0	162.9	197.2	192.9	194.9	194.3	207.5	203.6	213.3	226.2	227.5	234.4
	市平均				165.9	166.1	169.1	171.1	172.7	172.8	177.3	186.7	187.7
	札幌市				144.1	144.2	150.3	150.1	160.7	162.9	172.3	187.5	181.9
	仙台市				126.1	125.0	148.2	141.2	139.9	134.2	144.6	153.5	168.1
4 さ	いたま市						133.7	145.3	153.2	145.6	151.0	155.6	145.4
5 -	千葉市				127.3	132.0	139.3	137.4	152.5	153.9	135.7	162.6	155.7
6 1	横浜市				145.8	150.1	150.3	152.4	160.9	155.9	159.2	166.8	169.7
	川崎市				130.9	132.1	141.8	139.9	138.6	144.6	141.9	152.7	160.7
	静岡市						155.7	169.3	166.6	172.5	176.9	187.3	188.9
	古屋市				170.1	174.5	174.5	175.1	180.5	178.5	182.7	187.6	196.4
	京都市				198.6	200.0	199.7	212.4	197.4	200.9	205.9	217.9	211.4
	大阪市				210.2	191.6	210.7	212.4	203.8	211.3	209.5	217.9	227.2
					210.2	191.0							
	堺市 地京吉				1000	1000	172.0	180.4	173.2	182.2	185.4	198.6	189.9
	神戸市				182.9	182.8	198.4	188.6	194.7	181.3	206.9	209.7	205.4
	広島市				158.5	154.2	152.2	146.9	155.2	156.5	154.8	174.1	170.4
	比九州市				204.7	215.0	212.2	212.9	210.2	216.4	236.2	235.0	229.6
16 1	福岡市				155.5	161.2	159.8	163.6	161.6	165.2	165.4	166.8	173.6
	浜松市						149.2	148.8	164.9	154.3	150.1	174.3	181.2
	年齢調整	死亡率											
	潟市	113.0	110.0	115.3	103.4	105.0	101.1	102.7	94.4	94.0	101.2	102.1	98.7
	国	113.1	107.7	108.3	106.4	105.9	105.2	103.5	102.5	99.7	98.1	99.2	97.3
	- <u></u> 潟県	117.9	113.8	108.6	100.5	98.5	95.4	98.8	92.2	92.9	98.1	95.0	94.9
冬兆!・巨 と	生学働名[	人口動能統	計」 総務生	統計局[国	執調本   新	現画   短かり	早健 任 報 」	「堆計し口」	熱岡 国	上际店 埼玉	県「人口動!	能統計(以)	下灰田別灰1

資料:厚生労働省「人口動態統計」、総務省統計局「国勢調査」、新潟県「福祉保健年報」、「推計人口」、静岡県、大阪府、埼玉県「人口動態統計」(以下死因別死亡率は同じ) ※新潟市の死亡率、年齢調整死亡率は平成19年4月1日現在の市域で算出。ただし、年齢調整死亡率の昭和60年、平成2年は各年末現在の市域である。 また、新潟県の粗死亡率と年齢調整死亡率、新潟市の粗死亡率は昭和60年は昭和58年、平成2年は昭和63年のデータある。

<sup>※</sup>政令市については各年末現在の市域で算出。ただし、平成12年以前のさいたま市のデータは、旧大宮市、旧浦和市、旧与野市、旧岩槻市を合算。

全体	唐 尿 病 】 太	(昭和58)	(昭和63)									(単位∶人Ⅰ	
		昭和60年	平成2年	平成7年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17:
1	新潟市	7.5	7.0	11.6	7.7	9.7	11.3	7.0	7.8	8.4	6.9	10.1	9.
	全国	7.7	7.7	11.4	9.9	10.0	10.2	9.8	9.6	10.0	10.2	10.0	10.
	新潟県	9.2	8.4	12.8	10.5	11.0	12.3	10.9	10.7	10.5	11.1	11.2	12
政	女令市平均				8.7	9.2	8.7	8.6	8.6	8.7	8.3	8.2	9
	札幌市				7.3	8.0	8.7	7.8	8.8	7.4	7.5	7.1	8
3	仙台市				5.7	8.0	7.0	6.6	6.8	8.1	6.6	8.1	7
-	さいたま市						6.3	5.6	7.0	7.1	6.3	6.5	7
-	千葉市				9.5	8.3	8.3	8.2	7.0	6.4	10.6	8.5	7
	横浜市				7.7	8.3	7.4	8.3	7.4	6.9	7.0	6.9	1
_	川崎市				7.2	8.5	10.1	7.7	7.6	8.3	7.2	6.2	1
	静岡市						9.1	7.7	10.1	9.0	0.7	9.8	10
_	名古屋市				9.9	9.3	8.4	8.5	9.0	9.1	8.7	8.6	9
) 1	京都市 大阪市				11.7 10.6	10.7	9.9	10.2	10.2	8.6	9.0	7.9	3
2	堺市				10.6	11.7	9.1 7.7	11.4 7.9	11.0 4.8	11.0	11.8	11.2 5.9	1 1
<u>-</u> 3	神戸市				8.1	9.6	9.9	9.1	10.6	11.6	9.8	9.2	1:
, 1	広島市				8.1	8.5	8.3	8.3	6.6	8.7	7.4	6.4	- 12
<u>-</u> 5	北九州市				9.7	10.9	10.3	10.8	11.2	11.8	9.8	10.9	13
,_ }	福岡市				8.6	6.7	7.3	9.1	8.9	8.0	7.0	7.8	-
, 7	浜松市				0.0	0.7	11.7	9.2	8.8	11.3	7.0	9.8	13
	考】年齢調整	 这死亡率				l	111.7	0.2	0.0	11.0		0.0	
	新潟市	6.0	5.9	8.1	4.9	5.6	6.8	3.9	4.4	4.1	3.6	4.8	4
_	全国	7.7	6.5	8.2	6.6	6.5	6.4	6.0	5.7	5.7	5.6	5.3	
_	新潟県	8.2	6.3	7.3	5.7	5.5	6.4	5.1	5.1	4.5	4.8	4.5	
I	生												
Ī		昭和60年	平成2年	平成7年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17
	新潟市	7.1	7.5	12.2	5.6	9.2	11.5	7.5	5.9	7.4	7.4	11.5	9
	全国	7.3	7.5	11.7	10.3	10.5	10.6	10.6	10.3	10.8	10.9	10.9	11
	新潟県	9.4	8.2	12.3	9.7	9.8	12.3	11.0	10.1	9.7	10.2	11.2	12
=	女令市平均				9.4	9.5	9.1	9.5	9.6	9.5	8.9	9.3	
_	札幌市				7.0	8.0	8.6	9.4	9.9	7.7	8.5	8.0	!
_	仙台市				6.5	6.9	7.3	8.3	7.8	9.2	7.0	8.4	9
_	さいたま市						6.5	7.5	8.2	7.2	6.8	6.3	3
_	千葉市				11.6	8.4	8.3	8.6	7.8	7.0	12.6	10.6	9
_	横浜市				8.5	9.3	8.6	9.6	8.3	7.6	7.4	8.1	7
_	川崎市				6.7	10.1	11.6	8.9	8.2	10.2	7.5	5.5	10
)	静岡市 名古屋市				10.1	9.0	7.8 9.2	6.6 9.0	12.3 9.9	9.7	9.1	10.6	10
)	京都市				12.5	11.1	9.2	10.0	10.2	10.0	8.7	8.9	9
<u>,</u> 1	大阪市				12.3	13.2	9.1	11.4	12.8	12.3	13.7	13.7	13
<u>'</u> 2					12.2	10.2	11.1	8.7	5.7	7.8	7.3	6.8	1
- 3	神戸市				8.1	8.9	10.0	10.3	11.9	13.3	9.7	10.1	16
1	広島市				9.3	8.4	8.0	8.7	8.6	8.3	7.6	5.6	
5	北九州市				10.7	10.0	10.9	13.1	10.5	13.1	9.5	12.7	13
3					11.3	7.5	8.2	10.6	12.1	8.5	7.7	9.0	9
7							11.1	9.2	9.2	11.9		11.8	14
\$	考】年齢調整	· 图 正 率											
	新潟市	5.6	4.2	10.2	4.5	7.3	8.8	5.1	4.3	5.0	4.8	7.0	- 6
	全国	8.5	7.5	10.1	8.4	8.3	8.2	7.8	7.4	7.5	7.4	7.1	
	新潟県	9.7	7.4	8.8	6.5	6.5	8.3	6.8	6.3	5.6	5.9	6.0	
1	生												
		昭和60年		平成7年	平成9年		<del>                                     </del>		<del> </del>		<del> </del>	平成16年	
	新潟市	7.8	6.5	11.0	9.7	10.1	11.0	6.5	9.6	9.3	6.4	8.8	9
	全国	8.0	8.0	11.2	9.5	9.6	9.8	9.1	9.0	9.3	9.6	9.2	10
-	新潟県	9.1	8.6	13.3	11.3	12.1	12.3	10.7	11.2	11.2	11.9	11.1	12
	女令市平均				8.0	8.8	8.2	7.8	7.7	7.9	7.7	7.2	8
_	札幌市				7.6	8.0	8.9	6.3	7.8	7.0	6.7	6.2	1
_	仙台市 さいたま市				4.9	9.1	6.7	4.9	5.8 5.8	7.1 6.9	6.3 5.7	7.8	(
_	千葉市				7.4	8.1	6.1 8.3	3.6 7.8	6.3	5.8	8.6	6.3	!
_	横浜市				6.9	7.2	6.2	7.0	6.5	6.1	6.6	5.7	
_	川崎市				7.7	6.6	8.4	6.4	6.9	6.2	6.9	7.0	
_	静岡市				7.7	0.0	10.4	8.8	8.0	7.1	0.3	9.0	1
_	名古屋市				9.7	9.7	7.6	7.9	8.0	8.5	8.3	6.7	
)	京都市				11.1	10.3	10.6	10.3	10.2	7.3	9.3	6.9	1
ı	大阪市				8.9	10.2	9.2	11.3	9.2	9.6	9.9	8.9	9
2	堺市						4.4	7.2	3.9	5.1	5.4	5.1	9
3	神戸市				8.1	10.2	9.9	8.0	9.4	10.0	9.9	8.4	9
1	広島市				6.9	8.7	8.5	8.0	4.8	9.1	7.2	7.1	
5	北九州市				8.9	11.8	9.8	8.7	11.8	10.7	10.0	9.3	12
6	福岡市				6.0	6.0	6.4	7.7	6.0	7.6	6.4	6.6	(
7							12.3	9.1	8.4	10.8		7.9	11
<b>&gt;</b>	考】年齢調整	整死亡率											
	新潟市	6.1	7.1	6.6	5.2	4.4	5.2	3.0	4.2	3.2	2.6	3.3	2
	全国	7.0	5.7	6.6	5.2	5.0	5.0	4.4	4.2	4.1	4.0	3.7	3
	新潟県	7.0	5.4	6.2	5.0	4.6	4.7	3.8	4.0	3.4	3.8	3.2	;

【心疾患】 (単位:人口10万対) 昭和58) (昭和63) |昭和60年| 平成2年 | 平成7年 | 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 新潟市 1 90 1 1027 88.5 916 966 100.7 1024 107 1 1033 1106 1130 1247 全国 117.3 134.8 112.0 112.2 114.3 120.4 116.8 117.8 121.0 126.5 126.5 137.2 新潟県 120.3 131.2 155.9 112.0 127.3 118.0 119.5 126.3 132.1 132.8 140.8 142.0 政会市平均 947 95.7 98.3 98.5 98.0 1002 105.3 1046 114.3 103.1 札.幌市 86.3 88.2 95.3 90.9 91.0 88.0 94.7 96.0 3 仙台市 747 78.0 80.9 82 2 816 87.5 85.5 89.3 75.5 4 さいたま市 88 2 822 83.3 988 1020 94 2 103.2 5 84.6 84.6 85.0 85.3 89.7 94.9 93.9 93.2 99.9 6 横浜市 81.6 83.2 82.9 90.2 99.1 80.9 83.6 89.0 91.5 7 川崎市 70.2 74.9 76.9 74.8 81.5 78.9 79.0 85.2 93.5 8 静岡市 119.0 114.3 121.1 127.4 127.4 124.7 136.8 1140 1127 1379 9 名古屋市 1190 122 1 1195 1223 130.0 1240 10 116.0 117.2 125.5 124.7 120.2 1229 130.6 129.5 146 2 京都市 大阪市 116.6 112.1 109.2 114.2 109.2 116.2 120.6 120.9 132.0 11 12 堺市 1090 1128 996 1038 1162 1177 1279 神戸市 99.9 107.3 109.4 105.8 102.8 103.1 107.0 104.5 116.4 13 93.6 91.4 93.9 94.4 99.9 91.5 104.5 109.6 114.7 14 広島市 15 北九州市 108.3 1138 1215 1152 116.5 1197 125.5 1192 135.3 72.2 79.4 16 福岡市 73.6 73.6 77.8 75.9 72.5 73.9 79.0 浜松市 87.3 96.2 102.3 95.9 100.4 96.7 114.6 17 【参考】年齢調整死亡率 新潟市 56.0 56.8 56.9 55.5 54.8 52.3 53.7 54.5 97.2 89.2 59.1 51.6 70.4 全国 117.6 110.2 76.1 69.1 70.2 65.2 63.3 62.6 62.9 60.7 62.7 新潟県 1029 94 2 64.7 61.0 59 1 62.0 57.4 57.3 56.7 57.0 55.7 57.6 男性 昭和60年 平成2年 平成7年 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 新潟市 103.1 101.3 86.7 98.2 100.8 103.8 106.8 117.0 115.0 110.2 124.3 1 95.4 全国 1215 1357 1144 1140 1160 1206 1173 118 1 1217 1266 1258 1363 新潟県 138.0 140.7 121.7 131.4 116.8 123.6 119.3 134.2 125.9 131.9 143.1 152.2 政令市平均 104.4 105.5 98.0 99.0 99.9 100.2 107.4 116.5 100.2 札幌市 914 977 102.8 956 994 96 1 993 97.5 1093 仙台市 94.9 3 82.4 81.9 85.6 88.8 88.6 84.6 91.0 88.6 4 さいたま市 96.5 91.6 83.8 105.7 113.2 97.8 104.5 5 千葉市 90.0 89.1 84.0 84.9 93.1 96.9 96.7 100.7 100.5 6 横浜市 84.3 85.4 80.2 88.1 86.5 93.4 94.6 94.8 101.6 78.8 84 7 84 7 85 7 105 4 7 川崎市 71.2 854 75 1 824 8 静岡市 115.4 110.3 115.1 120.1 123.9 122.9 140.7 9 名古屋市 122 0 1162 124.6 127.1 1208 1328 134.2 126.3 139 2 138.1 116.2 114.5 122.9 118.5 119.7 129.7 124.5 10 京都市 119.3 11 大阪市 118.3 113.9 109.1 116.7 111.2 122.8 124.9 124.8 136.4 12 堺市 115.0 119.3 103.8 104.8 124.1 121.5 132.7 103 1 1128 13 神戸市 1103 1067 1046 105.8 1058 1037 1169 14 91.3 92.5 90.2 92.2 102.4 90.2 101.6 105.9 114.3 広島市 北九州市 115.5 116.0 125.9 115.9 120.5 125.7 111.9 141.6 15 122.4 16 福岡市 75.2 72.2 77.0 72.6 718 727 711 78.0 79 N 93.5 101.8 92.9 113.8 17 浜松市 87.4 92.4 93.3 【参考】年齢調整死亡率 新潟市 131.9 1088 74.3 78.3 78.2 78.1 697 736 79 0 748 69 5 75.4 全国 146.9 139.1 99.7 92.8 91.4 92.2 85.8 83.6 83.2 83.7 80.6 83.7 新潟県 135.4 121.6 84.6 84.2 78.3 85.5 78.0 78.0 79.5 79.7 76.8 79.6 女性 昭和60年 平成2年 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 平成17年 平成7年 新潟市 103.9 90.2 85.3 92.6 97.7 109.0 106.6 115.7 125.0 77.7 107.4 90.5 全国 113.2 134.0 109.6 110.4 112.6 120.3 117.5 120.4 126.4 127.2 138.0 116.3 新潟県 123.4 159.4 102.9 119.2 115.7 121.3 128.4 126.6 132.3 127.9 138.7 143.0 政令市平均 91.5 92.5 96.7 96.8 95.8 96.2 103.4 103.7 112.1 札幌市 81.6 79.6 80.6 97.6 88.4 86.6 83.4 90.6 94.6 3 仙台市 69.0 67.7 70.7 73.1 76.2 78.7 84 1 825 84 1 101.9 4 さいたま市 79.7 72.7 82.8 91.8 90.6 90.5 千葉市 78.9 80.3 85.7 5 86.0 86.5 91.0 85.8 99.3 93.1 6 横浜市 788 81.0 81.6 78.9 79.3 846 88.3 856 965 75.4 川崎市 69.1 63.4 74.7 74.4 78.2 72.6 84.8 80.7 133.2 8 122.4 118.2 126.7 130.7 126.4 静岡市 134.3 9 名古屋市 106.0 109.1 113.4 117.1 118.2 112.0 125.9 121.8 136.6 10 京都市 115.9 119.5 128.1 129.6 121.9 125.9 131.4 134.1 153.6 11 110.4 127.8 大阪市 114.9 109.2 111.8 107.3 109.8 116.5 117.1 12 堺市 103.2 106.6 95.6 102.8 108.8 114.3 123.5 13 神戸市 96.8 102.1 108.5 105.1 101.1 100.5 108.2 105.1 116.0 14 広島市 959 90.3 974 966 976 928 1072 1129 1150 102.1 112.0 117.6 114.5 112.8 114.3 128.1 125.8 129.8 15 北九州市 72.0 79.1 73.2 71.8 76.5 79.9 79.7 16 福岡市 74.7 78.7 17 浜松市 87.2 99.0 102.7 99.4 107.5 100.6 115.4 【参考】年齢調整死亡率 新潟市 72.3 76.5 46.4 39.4 41.2 41.1 42.8 40.5 31.9 37.4 37.0 37.1

53.0

44.5

48.5

41.2

46.9

41.4

45.9

39.2

45.8

39.1

44.2

38.9

45.3

39.7

51.7

44.6

全国

新潟県

94.6

79.6

88.5

73.8

58.4

49.9

53.1

43.6

【脳血管疾患】 (単位:人口10万対) 昭和58) (昭和63) 昭和60年 | 平成2年 | 平成7年 | 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成16年 | 1 新潟市 1260 106.3 121.5 1199 1138 1191 105 6 105 1 109.3 1152 104.5 1072 112.2 99.4 117.9 111.0 110.0 110.8 105.5 104.7 103.4 104.7 102.3 105.3 新潟県 170.3 145.2 164.8 151.6 149.2 156.2 141.4 147.2 147.9 146.9 144.0 144.8 政会市平均 89.9 86.9 87.9 85 1 82 4 82.5 83.8 80.3 85.2 札.幌市 75.4 72.5 79.2 73.1 76.7 79.0 76.2 85.3 3 72 6 81 7 73 4 77 4 72 1 75.2 73 4 79 4 仙台市 84 1 4 さいたま市 69 2 75.0 76.5 71.2 74.3 73.6 75.3 5 千葉市 72.6 67.7 74.6 67.5 62.3 69.4 68.2 69.3 71.0 6 構浜市 85.2 792 748 74 0 743 878 863 78.9 76.0 7 川崎市 79.8 82.7 85.6 77.2 71.0 71.8 79.8 68.7 74.1 8 静岡市 121.1 118.4 114.4 114.9 125.3 117.7 121.3 9 名古屋市 93.7 914 918 94 0 88 7 88.3 85.6 84 2 87.0 104.1 103.2 98.9 90.3 93.4 98.8 91.6 98.8 10 京都市 92.1 100.1 92.4 95.8 87.7 90.0 91.4 86.3 93.4 大阪市 91.5 11 12 堺市 68.9 75.8 798 749 725 75.3 85.5 神戸市 83.4 84.1 79.4 77.5 83.0 13 82.8 77.4 73.9 81.5 87.7 80.5 85.8 80.1 76.1 79.7 84.8 80.4 78.1 14 広島市 15 北九州市 125 2 1140 115.2 1134 1096 1104 994 1023 103.6 16 福岡市 69.1 67.0 63.6 67.7 62.1 64.8 58.6 58.2 58.4 103 4 105 6 100.0 17 浜松市 1050 1072 1012 1182 【参考】年齢調整死亡率 新潟市 109.2 66.3 79.0 70.6 63.6 64.5 54.7 53.5 52.0 51.3 47.0 46.4 78.6 68.2 65.1 57.8 55.0 52.2 51.0 47.3 全国 112.3 81.0 63.4 48.0 新潟県 1549 106 1 87.9 74.6 696 69 7 60 4 611 58 1 55.3 53.2 51.5 男性 昭和60年 | 平成2年 | 平成7年 | 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成16年 | 新潟市 122.6 101.3 103.5 107.9 107.1 109.8 1 115.5 110.3 109.0 117.1 98.8 106.0 全国 1106 95.6 1142 107.5 106.9 108.3 1027 102 5 1010 1027 999 103.3 新潟県 136.4 154.8 146.4 139.9 151.4 134.4 140.6 140.4 144.6 140.0 139.6 政令市平均 87.7 86.1 877 83.5 823 819 83 1 81.0 85.9 札幌市 81.9 75.6 82.4 80.7 78.2 85.6 80.4 79.6 87.8 3 74.2 87.0 71.0 74.2 70.7 85.2 仙台市 86.0 78.1 83.1 4 さいたま市 68.7 72.4 76.0 74.3 73.5 71.3 76.5 5 千葉市 69.1 65.7 74.8 69.3 63.4 65.5 65.6 71.6 70.7 6 構浜市 818 867 88 1 78 1 80.3 737 75.8 748 75.6 74.9 73.8 79.0 7 川崎市 77.7 80.5 90.2 69.3 77.8 68.3 115.4 112.9 127.9 115.2 126.0 121.2 123.6 8 静岡市 9 名古屋市 88.3 933 884 920 898 911 829 88 2 867 10 京都市 99.4 98.9 91.9 82.3 80.9 88.0 96.4 88.7 95.2 100.2 93.8 93.3 88.8 94.5 92.9 89.0 94.6 11 大阪市 92.5 12 堺市 67.4 82.4 76.0 69.6 79.4 72.1 87.5 13 神戸市 77.4 85.1 85.9 74.5 78.8 73.1 79.3 74.8 82.1 14 86.6 77.6 85.6 89.2 73.8 74.4 80.6 72.4 76.7 広島市 15 北九州市 126.8 111.0 113.4 107.0 104.4 102.5 98.7 102.5 108.9 福岡市 65.5 61.3 63.0 62.1 58.8 62.7 54.5 59.5 54.9 16 1024 107.3 1032 994 1093 98 1 115.1 17 浜松市 【参考】年齢調整死亡率 新潟市 136.8 76.1 99.5 87.9 83.1 86.4 69.4 72.6 67.6 67.0 66.1 64.5 全国 1340 979 993 87 1 837 822 742 714 677 665 625 619 新潟県 186.7 125.6 110.8 98.3 90.2 93.6 79.5 80.7 77.2 76.5 72.2 70.0 女性 昭和60年 | 平成2年 | 平成7年 | 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 新潟市 129.4 129.0 118.4 121.0 112.1 104.3 114.8 122.1 102.1 104.7 1 111.0 127.2 全国 1139 1030 1214 114.4 1131 113.2 108 2 1068 1056 1066 1045 107 1 新潟県 170.9 153.4 174.2 156.7 158.0 160.7 148.0 153.5 155.0 149.0 147.6 149.6 政令市平均 921 877 88 1 867 825 83 2 245 797 844 82.9 69.3 69 6 74 5 77.8 68 5 68.5 77 7 73 1 札.幌市 2 3 仙台市 82.4 71.1 76.6 68.8 71.9 73.1 76.1 76.0 73.9 4 さいたま市 69.7 77.6 77.0 68.1 75.2 76.0 74.1 5 698 70.9 67.0 千葉市 76.0 745 65.7 613 735 714 6 横浜市 88.7 89.0 84.3 79.7 78.2 78.3 73.8 73.1 73.0 7 川崎市 85.0 80.6 79.7 72.7 69.7 82.2 68.8 82.0 69.0 8 静岡市 1266 1236 1015 1146 1246 1144 1191 9 98.9 89.6 87.4 85.6 88.3 80.2 87.2 名古屋市 95.1 96.0 108.6 京都市 107.1 105.5 101.0 99.1 98.3 100.9 94.2 102.1 10 11 大阪市 100.1 91.0 98.3 90.6 866 85.7 899 837 922 66.1 78.3 12 堺市 70.2 69.6 83.4 79.9 83.6 神戸市 88.9 83.1 76.1 81.5 86.5 73.0 80.9 13 0.08 83.9 14 広島市 89.0 83.3 84.1 82.6 86.6 81.7 79.5 79.5 82.6 15 124.0 116.9 116.9 119.1 114.3 117.5 99.8 102.1 98.9 16 福岡市 72.3 72.4 643 728 652 667 624 57 1 617 17 浜松市 107.7 107.1 99.2 107.4 102.0 102.0 121.3 【参考】年齡調整死亡率 新潟市 57.9 65.0 57.8 50.2 50.0 40.6 39.5 88.2 43.9 39.8 33.1 32.3 全国 95.3 68.6 64.0 54.8 45.7 40.6 39.2 37.0 51.9 49.9 42.8 36.1

52.9

47.0

46.9

43.7

39.8

39.5

37.3

54.6

新潟県

91.2

131.6

71.7

57.5

【肺炎】 (単位:人口10万対) (昭和58) (昭和63) 昭和60年 | 平成2年 | 平成7年 | 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成16年 | 1 新潟市 38.9 50.0 57.1 55.7 60.9 73.4 66.2 64.8 65.6 68.1 68.3 79.4 37.5 55.6 64.1 63.1 63.8 74.9 69.2 67.8 69.4 75.3 75.7 85.0 新潟県 43.5 52 1 656 629 659 79 1 729 70.8 747 78.7 804 924 政令市平均 53.9 53.4 61.9 57.8 55.1 56.6 61.4 61.0 70.4 2 札幌市 40.8 41.5 50.2 45 1 43.8 44 4 51.6 54.7 56.2 3 仙台市 37.5 43.4 40.4 35.7 41.2 47.8 43.2 55.0 32.3 さいたま市 4 540 50.6 426 46.3 51.8 46.5 593 5 千葉市 42 9 44 4 53.8 51.2 48.5 54.0 52.1 54.0 60.6 6 50.4 49.5 54.3 49.8 47.6 50.5 54.2 54.5 63.9 横浜市 7 川崎市 40.1 38.7 45.8 47.0 456 427 42.3 419 51.8 8 53.4 54.0 静岡市 66.1 62.6 58.8 80.1 52.3 68.7 9 名古屋市 53.7 60.5 56.6 54.8 56.1 58.1 62.4 10 京都市 712 662 777 68.3 66.6 67.3 724 74.6 86 1 72.7 11 大阪市 68.3 70.6 78.6 78.1 74.3 80.2 82.2 95.1 70.7 69.0 76.8 68 6 80 1 12 堺市 68 7 66 1 13 神戸市 55.4 595 66.4 61.1 57.8 59.5 69.3 62.3 71.3 14 広島市 46.9 50.0 56.2 53.5 53.2 52.9 60.6 59.4 65.7 72.6 66.6 75.9 72.2 76.5 80.7 75.6 90.9 15 北九州市 83.0 16 福岡市 56.2 50.0 62.0 56.6 51.3 53.7 57.0 57.4 61.7 17 浜松市 63.1 57.8 50.9 57.5 63.9 74.6 【参考】年齢調整死亡率 新潟市 37.9 48.1 35.4 31.1 31.6 36.3 31.0 29.1 27.7 27.5 27.2 28.7 全国 37.5 44.3 40.5 36.2 34.9 39.3 34.4 31.9 31.2 32.3 31.1 33.0 新潟県 399 37.3 33 1 288 282 326 286 264 26.5 26.5 26.2 28.0 昭和60年 平成2年 平成7年 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 1 新潟市 49.2 63.6 65.9 67.0 73.3 76.5 71.6 77.3 86.2 全国 43.2 64.1 69.6 69.1 69.6 81.3 76.0 74.3 76.4 82.1 83.3 93.0 新潟県 52.6 62.9 73.5 70.4 71.8 86.9 82.1 81.5 83.4 87.8 90.6 105.0 政令市平均 59.7 59.4 63.2 76.7 67.1 64.1 61.1 67.9 67.4 札.幌市 47.9 52.7 56.6 51.6 55.0 51.6 60.4 67.4 67.2 3 仙台市 393 390 46.0 446 410 454 522 46 1 599 4 さいたま市 56.2 51.1 48.6 50.8 55.3 52 2 616 5 千葉市 44.9 51.6 54.5 51.7 51.9 55.6 56.6 57.5 63.1 6 横浜市 545 54 1 58 4 56.9 52 1 562 598 590 68.9 45.7 42.8 50.8 52.8 51.2 50.1 49.4 46.4 58.2 7 川崎市 8 静岡市 72.5 58.4 59.1 65.4 66.0 86.6 9 名古屋市 62 1 58 2 644 63.3 616 622 64 1 664 754 75.9 72.5 72.6 79.6 81.7 10 70.2 82.8 75.4 92.0 86.7 82.0 11 大阪市 77.0 78.3 85.8 80.1 91.0 90.8 104.1 12 堺市 73.6 79.5 70.8 78 2 223 75.2 794 56.1 13 神戸市 63.7 75.3 70.2 64.0 72.6 74.5 68.3 81.7 59.7 広島市 55.4 54.6 61.0 53.9 55.9 65.2 61.4 70.8 14 15 北九州市 86.6 77.9 94.6 81.3 82.8 89.7 94.1 87.7 104.1 16 57.6 54.1 66.9 63.7 55.6 57.8 60.4 63.7 64.5 浜松市 83.5 17 72.1 65.2 56.3 66.9 73.5 【参考】年齢調整死亡率 新潟市 63.3 73.9 54.6 52.1 50.1 56.3 49.7 49.6 43.8 45.3 44.8 45.9 全国 544 67 1 60.6 554 536 604 53.1 496 48 7 50.2 488 51.8 新潟県 60.2 59.1 51.3 45.3 44.1 51.5 46.2 43.9 42.3 42.6 43.1 46.6 女性 昭和60年 平成2年 平成7年 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 1 新潟市 37.2 28.9 50.9 46.1 68.4 59.5 53.8 59.9 59.6 59.1 73.2 55.1 全国 31.9 47.4 58.7 574 58.3 68.8 627 61.5 627 68 7 68.5 77.3 新潟県 56.0 60.3 71.7 64.2 60.7 66.7 70.1 70.7 80.6 政会市平均 483 475 569 517 494 502 55 1 549 643 札幌市 31.2 2 34.2 44.4 39.2 33.6 37.9 43.8 43.3 46.4 3 仙台市 35.7 25.7 40.9 36.4 30.6 37.1 43.6 40.4 50.3 4 さいたま市 51.9 50.0 36.4 418 48.3 40.6 57.0 37.1 5 千葉市 40.9 53.1 50.7 45.3 52.6 47.6 50.5 58.1 6 横浜市 46.2 44.8 50.1 42.6 43.0 44.7 48.5 49.8 58.7 40.4 40.8 39.6 34.8 34.8 37.0 44.9 川崎市 33.9 34.2 8 静岡市 60.0 48 6 65.9 432 519 740 9 名古屋市 45.3 46.4 56.6 49.9 47.9 50.1 52.2 58.4 62.1 66.9 62.4 61.9 62.4 65.8 68.1 80.7 10 73.1 61.3 京都市 11 大阪市 59.8 63.2 71.6 69.9 66.9 65.5 699 74.0 86.5 62.4 60.3 71.7 12 堺市 64.1 61.6 62.5 8.08 47.4 13 神戸市 54.7 55.6 58.3 52.8 52.2 64.6 56.8 61.9 14 広島市 38.8 45.7 51.6 47.7 52.5 50.0 56.3 57.3 61.0 15 北九州市 60.2 56.6 72.6 71.0 62.8 64.8 68.5 64.8 79.2 16 54.7 46.1 57.6 50.0 47.4 49.9 53.8 51.7 59.2 福岡市 17 浜松市 54.2 50.5 45.4 48.3 54.4 66.0 【参考】年齢調整死亡率 新潟市 23.6 18.8 20.8 24.8 20.0 17.6 17.5 16.6 186 22.2 33.9 18.4 全国 30.1 28.5 24.9 27.0 21.4 20.7 21.6 20.4 21.6 26.2 23.9 23.3

21.5

18.5

16.0

17.5

17.4

16.3

17.3

18.9

新潟県

27.0

24.4

22.6

19.1

	衰】	(PT()	(PT ( )									(単位:人口	110万対)
全体		(昭和58)		TI CHOICE	亚古0左	T #10/F	亚出红	亚出红	亚 <b>d</b> 10左	亚出4年	파라15年	亚 🗗 1 0 左	च <b>ट</b> 12.5
1 新	f潟市	昭和60年	平成2年 <b>17.4</b>	平成7年 <b>11.4</b>	平成9年 <b>12.4</b>	平成10年 <b>11.9</b>	13.9	平成12年 <b>12.8</b>	平成13年 <b>12.0</b>	平成14年 <b>12.7</b>			
_ I : ****		23.1	19.7	17.3	17.2	17.1	18.2	16.9	17.6	18.0	<b>14.7</b> 18.6	<b>20.1</b> 19.1	<b>23.2</b> 20.9
新潟		28.3	27.9	21.8	23.6	23.4	27.1	24.4	23.4	23.5	26.0	28.6	29.8
政令市		20.5	21.3	21.0	9.5	9.3	10.7	10.9	10.8	10.9	11.1	12.3	14.0
	L幌市				3.1	2.9	3.9	4.4	4.6	5.3	5.6	6.4	6.5
	山台市 いたま市				6.9	9.1	10.5	10.2	9.0	13.2 7.5	14.2	15.2	14.5
	<u>バたま III</u> - 葉市				7.8	9.9	9.4 8.3	9.6 8.9	9.8	10.3	11.0	10.4 11.4	13.0
	- 乗 III 貴浜市				9.5	8.5	10.7	11.1	11.4	11.8	12.1	12.9	13.9
	崎市				7.8	7.6	9.1	7.9	8.9	8.3	8.6	9.3	8.9
	岡市				7.0	7.0	26.6	25.3	25.2	26.3	0.0	21.3	26.9
	古屋市				9.0	10.3	10.3	12.0	10.6	10.5	10.8	13.2	15.3
	都市				15.6	13.5	12.8	12.9	14.8	12.8	14.7	15.4	17.6
	阪市				11,1	9,4	10.3	10.3	9.5	10.8	11.3	10.4	13.6
	堺市						4.6	5.5	7.1	7.6	6.7	10.2	9.9
13 神	東戸市				15.3	14.2	16.6	16.5	14.0	12.5	16.4	15.7	17.0
14 広	島市				9.4	10.9	12.2	12.5	10.3	10.0	10.2	10.1	12.7
15 北力	九州市				8.3	10.6	10.6	9.0	11.1	11.1	12.9	11.5	13.3
16 福	圖岡市				6.3	5.5	5.6	8.0	5.1	6.7	7.9	5.9	5.8
	松市						25.3	24.5	28.4	28.4		24.9	29.0
【参考】年													
新潟		14.7	6.7	6.2	5.7	5.1	5.8	4.9	4.2	4.2	4.6	6.2	6.3
全国		23.2	14.5	9.4	8.2	7.7	7.7	6.7	6.6	6.4	6.3	6.2	6.3
新潟	· ·	28.1	19.5	9.4	8.8	8.1	8.9	7.6	6.7	6.4	6.8	7.1	6.8
男性		昭和60年	平成2年	平成7年	平成9年	亚武10年	亚武11年	亚战10年	亚武10年	平成14年	亚武15年	亚战16年	亚武174
1 新	<b>「温市</b>	14.8	10.2	7.5	9.0	<b>4</b> 成10年	10.0	9.8	<b>5.6</b>	平成14年 8.2	平成15年 <b>8.4</b>	平成16年 <b>8.4</b>	11.3
全国		16.4	13.4	11.0	10.4	10.3	10.8	9.8	9.9	10.1	10.2	10.0	10.8
新潟		19.7	16.1	13.8	15.5	15.1	15.4	15.0	13.4	14.7	14.6	14.2	15.0
政令市		10.7	10.1	10.0	5.7	5.4	6.2	6.6	6.0	5.8	6.2	6.8	6.9
	. <u> </u>				2.3	2.0	1.6	3.2	2.9	3.8	1.9	3.2	3.5
	山台市				4.8	4.7	6.7	6.5	5.4	8.2	10.4	10.0	8.2
	たま市				7.0	7.7	5.8	5.2	5.9	4.7	6.0	6.7	8.4
	-葉市				4.7	5.7	5.6	4.1	6.9	4.8	4.8	5.4	5.7
	 養浜市				5.4	5.6	6.3	7.2	7.1	6.9	7.6	8.4	7.2
	崎市				4.8	4.4	4.5	5.0	6.5	3.8	4.0	5.9	4.7
	御市						16.5	15.8	19.0	14.1		12.7	15.4
	古屋市				4.5	6.0	7.1	7.7	5.3	6.1	6.7	7.5	7.2
	都市				11.9	9.5	8.0	7.4	7.4	6.6	7.7	9.3	8.2
11 大	阪市				6.5	5.6	5.3	5.6	4.7	5.0	6.5	5.1	6.7
12 場	堺市						2.6	1.6	3.1	3.1	2.6	5.5	2.8
13 神	₱戸市				9.9	7.7	8.6	9.5	6.4	6.5	8.0	8.3	8.5
14 広	島市				4.8	5.1	7.3	6.5	4.9	4.7	4.3	5.9	7.6
15 北力	九州市				4.2	4.4	5.4	5.3	5.9	3.8	8.9	5.5	4.8
	圖岡市				3.0	3.6	4.0	4.5	2.8	2.4	3.3	3.0	2.0
	松市						11.4	15.6	13.7	14.4		8.7	12.4
【参考】年													
新潟		13.0	6.1	6.4	6.8	4.7	6.9	6.2	3.4	4.6	4.5	4.4	5.4
全国 新潟		22.8 27.0	14.4	9.3 9.4	8.0 9.3	7.4 8.6	7.4 8.4	6.3 7.7	6.1 6.5	5.9 6.7	5.8 6.5	5.4 6.0	5.6 5.9
女性	· 기 지 지 지 지 지 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기	27.0	10.5	3.4	9.3	0.0	0.4	7.7	0.5	0.7	0.5	0.0	5.8
<u> </u>		昭和60年	平成2年	平成7年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1 新	涓市	24.0	24.2	15.1	15.7	16.8	17.5	15.7	17.9	16.9	20.5	31.0	34.2
全国		29.6	25.8	23.4	23.6	23.6	25.3	23.7	25.0	25.6	26.6	27.8	30.5
新潟		36.4	38.9	29.3	31.3	31.2	38.0	33.3	32.8	31.9	36.7	42.1	43.7
					13.1	13.0	15.0	15.2	15.4	15.9	15.9	17.6	20.7
政令市	_				3.8	3.8	6.0	5.5	6.1	6.7	8.9	9.3	9.1
	l幌市				0.0							20.2	20.5
2 札	L幌市 山台市				9.0	13.5	14.2	13.8	12.4	17.9	17.8	20.2	
2 札 3 仙									12.4 13.6	17.9 10.2	16.0	14.2	17.6
2 札 3 仙 4 さい	山台市						14.2	13.8					
2 札 3 仙 4 さい 5 千	山台市 いたま市				9.0	13.5	14.2 13.1	13.8 14.1	13.6	10.2	16.0	14.2	17.6 18.1 20.7
2 札 3 仙 4 さい 5 千 6 横	山台市 ハたま市 一葉市				9.0	13.5	14.2 13.1 11.0	13.8 14.1 13.8	13.6 14.9	10.2 15.8	16.0 15.9	14.2 17.5	18.1
2 札 3 仙 4 さい 5 千 6 横 7 川	山台市 ハたま市 千葉市 横浜市				9.0 10.9 13.8	13.5 14.2 11.6	14.2 13.1 11.0 15.2	13.8 14.1 13.8 15.1	13.6 14.9 15.8	10.2 15.8 16.8	16.0 15.9 16.7	14.2 17.5 17.6	18.1 20.7
2 札 3 仙 4 さい 5 千 6 横 7 川 8 静 9 名記	おおります。 おおります おきます はいでできる。 はいできる。 といできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。 はいできる。 といできる。 はいできる。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと				9.0 10.9 13.8 11.0	13.5 14.2 11.6 11.2	14.2 13.1 11.0 15.2 14.1 36.2 13.5	13.8 14.1 13.8 15.1 11.0 34.4 16.2	13.6 14.9 15.8 11.5 31.0 15.8	10.2 15.8 16.8 13.3 37.8 14.9	16.0 15.9 16.7 13.5	14.2 17.5 17.6 12.9 29.4 18.8	18.1 20.7 13.5 37.8 23.2
2 札 3 仙 4 さい 5 千 6 横 7 川 8 静 9 名元 10 京	台市市 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				9.0 10.9 13.8 11.0 13.4 19.1	13.5 14.2 11.6 11.2 14.6 17.2	14.2 13.1 11.0 15.2 14.1 36.2 13.5 17.3	13.8 14.1 13.8 15.1 11.0 34.4 16.2 18.0	13.6 14.9 15.8 11.5 31.0 15.8 21.6	10.2 15.8 16.8 13.3 37.8 14.9	16.0 15.9 16.7 13.5 14.8 21.0	14.2 17.5 17.6 12.9 29.4 18.8 21.0	18.1 20.7 13.5 37.8 23.2 26.2
2 札 3 仙 4 さい 5 千 6 横 7 川 8 静 9 名 <sub>に</sub> 10 京	台た葉浜崎岡屋市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市				9.0 10.9 13.8 11.0	13.5 14.2 11.6 11.2	14.2 13.1 11.0 15.2 14.1 36.2 13.5 17.3 15.2	13.8 14.1 13.8 15.1 11.0 34.4 16.2 18.0 14.8	13.6 14.9 15.8 11.5 31.0 15.8 21.6	10.2 15.8 16.8 13.3 37.8 14.9 18.6 16.4	16.0 15.9 16.7 13.5 14.8 21.0	14.2 17.5 17.6 12.9 29.4 18.8 21.0	18.1 20.7 13.5 37.8 23.2 26.2 20.1
2 札 3 仙 4 さい 5 千 6 横 7 川 8 静 9 名 10 京 11 大	は お は た で で で で で で で で に で で に で で に で で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に に に に に に に に に に に に に				9.0 10.9 13.8 11.0 13.4 19.1 15.5	13.5 14.2 11.6 11.2 14.6 17.2 13.1	14.2 13.1 11.0 15.2 14.1 36.2 13.5 17.3 15.2 6.6	13.8 14.1 13.8 15.1 11.0 34.4 16.2 18.0 14.8 9.2	13.6 14.9 15.8 11.5 31.0 15.8 21.6 14.1	10.2 15.8 16.8 13.3 37.8 14.9 18.6 16.4 11.7	16.0 15.9 16.7 13.5 14.8 21.0 15.8 10.5	14.2 17.5 17.6 12.9 29.4 18.8 21.0 15.6	18.1 20.7 13.5 37.8 23.2 26.2 20.1
2 札 3 仙 4 さい 5 千横 7 川 8 静 9 名元 10 京 11 大 12 均	はいた手 を表す。 はいた手 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、				9.0 10.9 13.8 11.0 13.4 19.1 15.5	13.5 14.2 11.6 11.2 14.6 17.2 13.1	14.2 13.1 11.0 15.2 14.1 36.2 13.5 17.3 15.2 6.6 23.9	13.8 14.1 13.8 15.1 11.0 34.4 16.2 18.0 14.8 9.2 22.9	13.6 14.9 15.8 11.5 31.0 15.8 21.6 14.1 10.8 21.0	10.2 15.8 16.8 13.3 37.8 14.9 18.6 16.4 11.7	16.0 15.9 16.7 13.5 14.8 21.0 15.8 10.5 23.9	14.2 17.5 17.6 12.9 29.4 18.8 21.0 15.6 14.6 22.3	18.1 20.7 13.5 37.8 23.2 26.2 20.1 16.5 24.7
2     札       3     仙       4     さい千       6     横       7     川       8     静       10     京       11     大       12     *       13     神       14     広	は は は は は に で に に に に に に に に に に に に に				9.0 10.9 13.8 11.0 13.4 19.1 15.5 20.3 13.9	13.5 14.2 11.6 11.2 14.6 17.2 13.1 20.1 16.3	14.2 13.1 11.0 15.2 14.1 36.2 13.5 17.3 15.2 6.6 23.9	13.8 14.1 13.8 15.1 11.0 34.4 16.2 18.0 14.8 9.2 22.9	13.6 14.9 15.8 11.5 31.0 15.8 21.6 14.1 10.8 21.0 15.3	10.2 15.8 16.8 13.3 37.8 14.9 18.6 16.4 11.7 18.0	16.0 15.9 16.7 13.5 14.8 21.0 15.8 10.5 23.9 15.7	14.2 17.5 17.6 12.9 29.4 18.8 21.0 15.6 14.6 22.3	18.1 20.7 13.5 37.8 23.2 26.2 20.1 16.5 24.7
2 札 3 仙 4 さい 5 千 6 横 7 川 8 静 9 名 10 京 11 大 12 型 13 神 14 広 15 北 15 千 17 川 10 京 11 大 12 型 13 神 14 広 15 ボ	山台市市 市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市				9.0 10.9 13.8 11.0 13.4 19.1 15.5 20.3 13.9 12.1	13.5 14.2 11.6 11.2 14.6 17.2 13.1 20.1 16.3 16.3	14.2 13.1 11.0 15.2 14.1 36.2 13.5 17.3 15.2 6.6 23.9 16.8	13.8 14.1 13.8 15.1 11.0 34.4 16.2 18.0 14.8 9.2 22.9 18.2	13.6 14.9 15.8 11.5 31.0 15.8 21.6 14.1 10.8 21.0 15.3 15.8	10.2 15.8 16.8 13.3 37.8 14.9 18.6 16.4 11.7 18.0 14.9	16.0 15.9 16.7 13.5 14.8 21.0 15.8 10.5 23.9 15.7 16.4	14.2 17.5 17.6 12.9 29.4 18.8 21.0 15.6 14.6 22.3 13.9	18.1 20.7 13.5 37.8 23.2 26.2 20.1 16.5 24.7 17.5 20.9
2     札       3     仙       4     さい       5     千       6     横       7     川       8     事       10     京       11     大       12     北       13     本       15     北       16     福	山からます。				9.0 10.9 13.8 11.0 13.4 19.1 15.5 20.3 13.9	13.5 14.2 11.6 11.2 14.6 17.2 13.1 20.1 16.3	14.2 13.1 11.0 15.2 14.1 36.2 13.5 17.3 15.2 6.6 23.9 16.8 15.2 7.0	13.8 14.1 13.8 15.1 11.0 34.4 16.2 18.0 9.2 22.9 18.2 12.3 11.3	13.6 14.9 15.8 11.5 31.0 15.8 21.6 14.1 10.8 21.0 15.3 15.8 7.3	10.2 15.8 16.8 13.3 37.8 14.9 18.6 16.4 11.7 18.0 14.9 17.7	16.0 15.9 16.7 13.5 14.8 21.0 15.8 10.5 23.9 15.7	14.2 17.5 17.6 12.9 29.4 18.8 21.0 15.6 14.6 22.3 13.9 16.9	18.1 20.7 37.8 23.2 26.2 20.1 16.5 24.7 20.9
2     札       3     仙       4     さい       5     千       6     横       7     川       8     静       10     京       11     大       12     *       *     北       13     *       *     北       16     *       17	山とを表しいた。本は、大学のでは、まれば、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば	<u> </u>			9.0 10.9 13.8 11.0 13.4 19.1 15.5 20.3 13.9 12.1	13.5 14.2 11.6 11.2 14.6 17.2 13.1 20.1 16.3 16.3	14.2 13.1 11.0 15.2 14.1 36.2 13.5 17.3 15.2 6.6 23.9 16.8	13.8 14.1 13.8 15.1 11.0 34.4 16.2 18.0 14.8 9.2 22.9 18.2	13.6 14.9 15.8 11.5 31.0 15.8 21.6 14.1 10.8 21.0 15.3 15.8	10.2 15.8 16.8 13.3 37.8 14.9 18.6 16.4 11.7 18.0 14.9	16.0 15.9 16.7 13.5 14.8 21.0 15.8 10.5 23.9 15.7 16.4	14.2 17.5 17.6 12.9 29.4 18.8 21.0 15.6 14.6 22.3 13.9	18. 20.: 13.! 37.8 23.2 26.2 20.: 16.! 24.: 17.! 20.!
2 札 3 仙か、千横川静 6 横川静 7 川静 10 京大 11 12 端本 11 3 神広 15 北 16 福 17 馬 17 長 18 条 19 名 10 京大 11 12 ボ神 11 13 ボー 11 14 広 17 ボー 17 ボー 18 系 17 ボー 18 ボー 18 ボー 19 ボー 10 ボー 11 13 ボー 11 14 ボー 11 15 ボー 11 16 ボー 11 17 ボー 11 17 ボー 11 17 ボー 11 18 ボー 11	山た・葉浜崎岡古まで、堺戸島州市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市		7.1	R1	9.0 10.9 13.8 11.0 13.4 19.1 15.5 20.3 13.9 12.1 9.5	13.5  14.2  11.6  11.2  14.6  17.2  13.1  20.1  16.3  7.3	14.2 13.1 11.0 15.2 14.1 36.2 13.5 17.3 15.2 6.6 23.9 16.8 15.2 7.0	13.8 14.1 13.8 15.1 11.0 34.4 16.2 18.0 14.8 9.2 22.9 18.2 12.3 11.3 33.3	13.6 14.9 15.8 11.5 31.0 15.8 21.6 14.1 10.8 21.0 15.3 15.8 7.3 43.0	10.2 15.8 16.8 13.3 37.8 14.9 18.6 16.4 11.7 18.0 14.9 17.7 10.6 42.4	16.0 15.9 16.7 13.5 14.8 21.0 15.8 10.5 23.9 15.7 16.4 12.2	14.2 17.5 17.6 12.9 29.4 18.8 21.0 15.6 22.3 13.9 16.9 8.6 41.0	18. 20.1 37.8 23.2 26.2 20. 16.5 24.1 17.9 20.9 9.4
2     札       3     仙かい       5     千横川静       6     規静       10     京       11     大場       12     場本       13     本点       15     北方       16     福       17     浜	山かた葉は崎田では、東京の大田では、東京の東京の大田では、東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東	死亡率 15.6 23.0	<b>7.1</b> 14.5	<b>6.1</b> 9.4	9.0 10.9 13.8 11.0 13.4 19.1 15.5 20.3 13.9 12.1	13.5 14.2 11.6 11.2 14.6 17.2 13.1 20.1 16.3 16.3	14.2 13.1 11.0 15.2 14.1 36.2 13.5 17.3 15.2 6.6 23.9 16.8 15.2 7.0	13.8 14.1 13.8 15.1 11.0 34.4 16.2 18.0 9.2 22.9 18.2 12.3 11.3	13.6 14.9 15.8 11.5 31.0 15.8 21.6 14.1 10.8 21.0 15.3 15.8 7.3	10.2 15.8 16.8 13.3 37.8 14.9 18.6 16.4 11.7 18.0 14.9 17.7	16.0 15.9 16.7 13.5 14.8 21.0 15.8 10.5 23.9 15.7 16.4	14.2 17.5 17.6 12.9 29.4 18.8 21.0 15.6 14.6 22.3 13.9 16.9	18. 20.1 37.8 23.2 26.2 20. 16.5 24.1 20.9

【自殺】 (単位:人口10万対) (昭和58) (昭和63) 昭和60年 | 平成2年 | 平成7年 | 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 1 新潟市 21.0 18.9 17.5 20.8 26.4 26.5 25.5 29.2 25.8 26.5 25.6 24.9 19.4 16.4 17.2 18.8 25.4 25.0 24.1 23.3 23.8 25.5 24.0 24.2 新潟県 287 294 239 26.9 345 33.7 329 34 2 314 340 314 297 政令市平均 17.6 24.8 24.1 23.2 21.4 21.5 23.4 21.8 22.1 2 札幌市 17.3 22.9 24.4 26.1 19.1 21.3 25.1 23.7 25.2 3 仙台市 15.1 19.0 20.3 19.3 22.3 19.4 24.4 22.7 24.2 さいたま市 4 227 187 173 169 193 17.0 20.4 5 千葉市 14.1 20.5 20.7 18.6 18.3 19.4 17.0 19.5 21.7 6 横浜市 16.9 23.3 23.3 20.1 18.3 19.2 21.0 19.4 18.5 7 川崎市 16.0 23.2 23.3 212 185 190 20.8 18.5 182 8 静岡市 21.4 18.6 18.9 18.3 18.3 22.8 22.1 9 名古屋市 16.0 23.9 22.4 22.1 20.8 20.8 22.5 20.3 10 京都市 174 237 216 258 206 20.7 23 1 20.1 213 11 大阪市 21.1 33.8 32.1 31.0 28.7 27.6 29.4 27.3 27.5 245 23 0 23 2 12 堺市 26 1 27.3 26 1 248 13 神戸市 17.9 26.3 26.9 24.7 20.6 21.7 22.8 22.2 23.8 14 広島市 14.7 19.0 20.2 20.1 19.1 18.8 19.5 18.4 18.6 25.7 25.0 26.9 29.3 27.9 15 北九州市 19.2 24.5 25.0 24.6 16 福岡市 19.8 26.1 24.6 23.0 22.4 23.1 23.6 23.9 23.2 17 浜松市 16.5 14.8 19.8 18.5 16.9 18.5 【参考】年齢調整死亡率 新潟市 17.3 12.4 15.4 18.1 22.4 22.7 21.8 25.0 22.5 22.4 22.7 21.5 全国 19.5 15.3 15.2 16.2 21.8 21.4 20.5 19.8 20.2 21.9 20.6 21.0 新潟県 280 25.8 195 218 274 266 264 27.5 254 27 1 25 4 233 平成7年 昭和60年 平成2年 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 1 新潟市 29.3 21.7 24.1 25.9 37.3 37.6 44.3 37.0 39.5 40.3 40.4 38.0 全国 26.0 20.4 23.4 26.0 36.5 36.5 35.2 34.2 35.2 35.6 36.1 新潟県 39.9 33.4 31.7 33.9 46.1 45.3 45.4 48.6 44.8 497 45.7 45.0 政令市平均 24.5 36.2 31.0 32.4 35.2 34.0 31.8 34.8 32.0 2 札幌市 24.1 34.9 34.4 40.5 30.7 32.2 38.6 36.2 38.6 35.8 3 仙台市 220 26.8 28.9 27.0 323 290 38.0 35.3 4 さいたま市 31.9 26.2 22.8 23.3 27.8 22.6 26.5 5 千葉市 19.8 30.5 29.3 26.6 26.6 29.0 24.0 29.9 32.4 6 横浜市 233 329 327 277 247 252 30.0 269 266 7 22.6 31.9 30.2 25.8 27.8 29.3 24.6 24.9 川崎市 33.2 8 静岡市 28.6 35.6 30.0 26.9 35.4 27.2 9 名古屋市 220 329 30.8 317 28.5 298 312 272 31.8 30.5 31.1 35.2 29.6 29.2 10 23.5 34.1 39.0 29.6 46.7 11 大阪市 30.5 51.5 50.3 42.5 41.8 45.0 41.6 39.4 12 堺市 393 40 4 37 2 40 4 36.8 321 34 2 25.0 40.1 13 神戸市 39.7 34.9 29.0 33.6 35.0 31.0 36.7 29.5 28.2 広島市 21.4 27.2 32.6 28.2 28.3 28.4 27.6 14 15 北九州市 27.5 38.8 36.7 38.6 40.3 43.6 44.5 46.4 40.7 16 28.2 39.7 37.6 35.2 34.0 35.1 38.1 37.4 35.2 浜松市 25.7 17 27.1 23.0 27.5 28 7 25.3 【参考】年齢調整死亡率 新潟市 22.7 16.6 22.6 23.7 34.0 34.7 33.1 38.2 34.3 34.6 36.5 34.9 全国 26.9 20.0 213 232 32 1 320 30.7 297 30.5 33 2 311 316 新潟県 41.2 32.0 28.2 30.0 40.2 39.0 39.2 41.0 38.7 42.0 39.2 37.4 女性 昭和60年 平成2年 平成7年 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 1 新潟市 13.0 16.4 11.2 15.9 15.4 14.2 15.3 14.3 11.9 10.5 16.1 15.1 全国 13.1 12.4 11.3 119 147 141 13.4 129 128 135 12.8 129 新潟県 18.1 20.3 23.5 22.7 21.1 20.7 18.8 19.3 17.9 15.2 政会市平均 10.8 13.6 13.3 127 121 117 124 120 12.3 札幌市 2 10.9 11.9 15.3 13.0 8.6 11.5 12.9 12.3 13.1 3 仙台市 8.4 11.3 11.8 11.8 12.6 10.2 11.5 10.7 13.1 4 さいたま市 13.3 11.0 11.7 104 10.7 11.3 14.3 10.4 5 千葉市 8.3 12.0 10.4 9.9 9.8 9.9 9.0 11.0 6 横浜市 10.2 13.3 13.7 12.2 11.8 13.0 11.8 11.7 10.3 8.7 14.0 11.3 9.6 12.1 11.0 7 川崎市 12.2 10.7 11.7 8 静岡市 96 8.0 7.1 101 109 104 9 名古屋市 10.2 14.9 14.1 12.5 13.2 11.8 13.9 13.4 12.6 11.8 12.3 11.2 11.9 11.4 14.1 10 14.0 13.3 13.6 京都市 11 大阪市 12.0 16.6 145 15.9 154 141 145 13.6 16.2 13.7 14.9 15.7 10.3 12.9 14.6 12 堺市 13.0 15.4 10.7 14.2 13 神戸市 11.3 13.6 15.2 13.0 11.7 12.3 14 広島市 8.4 11.3 8.5 11.2 10.5 9.8 11.1 9.8 9.7 15 北九州市 11.9 14.0 13.5 12.9 11.3 12.1 15.7 11.4 10.3 16 11.9 13.2 12.4 11.6 11.6 12.0 10.1 11.4 12.1 福岡市 17 浜松市 6.0 6.7 12.2 8.3 8.6 11.5 【参考】年齢調整死亡率 新潟市 9.0 9.2 12.8 11.2 10.8 10.8 9.4 8.8 12.1 11.1 11.1 12.6 9.3 全国 12.5 10.8 9.6 11.8 11.3 10.7 10.3 10.2 10.9 10.4 10.7 新潟県 16.2 19.6 11.2 13.5 14.6 14.4 13.8 14.3 12.1 12.2 11.7 9.4

	がん】	(PT ()	(PT 1-00)									(単位:人口	110万対)
全(	本	(昭和58)	(昭和63)		亚世。左	T # 10 F	T # 4 4 F	T #10 #	T # 10 F	T + 4 + T	T + + - +	亚式10年	亚世47年
1	新潟市	昭和60年	平成2年 <b>46.1</b>	平成7年 <b>47.1</b>	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年 <b>46.7</b>	平成13年	45.0	平成15年 <b>40.4</b>	平成16年	平成17年 <b>44.9</b>
	全国	40.7	38.7	40.3	39.8	40.5	40.4	40.7	39.7	39.1	39.3	40.1	39.9
	新潟県	60,4	57.9	56.6	53.9	53,1	54.6	54.0	53.7	52.7	52.2	55.7	55.7
政	女令市平均				36.9	36.7	36.1	36.9	35.9	34.9	34.6	36.0	35.6
2	札幌市				30.2	29.7	29.5	33.4	31.5	28.8	28.7	32.2	32.1
3	仙台市				24.8	28.0	33.2	27.1	27.5	24.7	27.7	29.7	27.6
4	さいたま市						31.0	29.6	33.0	31.3	29.7	28.1	28.5
5	千葉市				29.4	29.5	31.9	27.7	31.5	33.5	27.8	33.9	30.5
6	横浜市				32.4	34.1	33.4	33.7	33.5	32.5	31.7	33.0	33.3
7	川崎市				31.4	30.6	34.8	30.9	29.7	31.2	29.1	28.6	30.3
8	静岡市						32.9	32.2	34.8	33.8		36.5	35.3
9	名古屋市				38.8	40.8	37.7	40.5	38.1	37.3	37.9	39.4	38.2
10	京都市				47.8	43.3	41.6	43.1	42.2	38.3	36.3	39.1	38.5
11	大阪市				46.0	42.3	44.1	47.2	43.6	41.8	42.9	44.3	46.1
12	堺市				44.0	440	35.2	41.1	39.3	39.1	39.4	39.3	41.6
13	神戸市				41.6	44.3	40.6	43.8	41.7	38.7	41.8	41.2	39.1
14 15	広島市 北九州市				32.9	30.3	30.9	32.5	33.6 40.9	33.0 41.7	31.8	31.1 47.2	31.4 42.3
16	福岡市				44.2 29.7	48.1 28.6	44.9 26.8	43.8 29.5	26.7	27.9	44.0 26.8	26.7	27.9
17	浜松市				29.7	20.0	32.9	31.9	31.7	34.2	20.0	34.7	34.0
	:	│ ☑					32.3	01.0	31.7	J4.Z		34.7	34.0
1 y	77 1 中 田 河 五 新潟市	41.6	37.9	34.7	33.3	30.3	31.0	29.6	25.9	25.6	23.0	25.5	23.2
	全国	40.8	33.4	29.8	27.7	27.3	26.4	25.5	24.2	23.0	22.4	22.2	21.2
	新潟県	54.0	44.8	35.9	31.6	30.5	30.8	29.2	27.8	26.2	25.5	26.4	25.1
男性													
		昭和60年	平成2年	平成7年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1	新潟市	61.3	60.4	56.2	68.0	60.4	63.7	66.9	59.1	59.1	55.1	59.4	60.7
	全国	51.1	49.6	52.6	52.6	53.6	53.4	53.3	52.4	51.6	52.2	53.3	53.0
	新潟県	78.8	72.0	70.7	72.7	71.9	75.9	73.8	71.6	69.9	70.1	73.5	73.4
政	女令市平均 (				49.2	48.9	47.4	48.8	47.7	47.1	46.0	48.1	48.2
2	札幌市				41.7	40.7	40.7	45.7	43.1	39.9	38.5	43.5	44.4
3	仙台市				34.5	35.8	43.7	34.7	37.3	32.4	38.0	41.3	36.6
4	さいたま市						39.1	39.2	42.9	41.7	39.3	35.1	39.4
5	千葉市				38.1	40.0	43.7	36.1	41.9	45.1	37.5	47.3	41.2
6	横浜市				43.0	45.7	42.7	45.7	43.3	43.9	42.6	43.9	44.1
7	川崎市				41.8	39.3	45.5	43.6	40.3	40.8	36.7	36.4	38.8
8	静岡市 名古屋市				50.0	F1.4	45.6	40.9	45.9	45.9	40.1	52.8	46.4
9	京都市				50.3 61.2	51.4 55.5	47.0 53.1	48.8 52.4	50.9 56.2	48.9 47.9	48.1 45.9	52.8 47.5	51.8 50.2
11	大阪市				60.6	59.2	58.6	61.7	59.7	58.8	59.4	61.0	64.3
12	堺市				00.0	33.2	47.0	57.6	53.3	55.3	54.1	53.6	57.9
13	神戸市				55.9	62.5	54.7	61.0	55.0	54.9	58.8	57.4	53.4
14	広島市				43.3	38.9	41.3	41.5	45.5	44.5	40.9	41.6	43.7
15	北九州市				61.2	65.0	60.8	60.3	56.6	57.5	59.5	66.1	60.4
16	福岡市				41.5	36.7	34.8	39.6	33.4	37.6	33.7	34.4	39.0
17	浜松市						45.7	41.8	38.0	45.5		43.3	42.2
【参	考】年齢調整	死亡率											
	新潟市	62.1	57.5	48.3	54.1	47.4	47.6	49.1	41.3	40.0	36.2	37.9	37.1
	全国	58.7	49.5	45.4	42.6	42.1	40.8	39.1	37.1	35.3	34.5	34.2	32.7
-4-4	新潟県	79.7	64.1	52.2	50.1	48.5	49.8	47.2	44.1	41.4	40.0	40.5	39.3
女性	<b>±</b>	DTI To o o for	T-1-0-1-		T-1-0-1-	T-1-10-		T-15105	T - 1 - 2 - 5			T-15105	T - 15 - 1 - 1 - 1
4	±c.29 →	昭和60年	平成2年	平成7年	平成9年	平成10年						平成16年	
1	<b>新潟市</b> 全国	<b>29.5</b> 30.6	<b>32.7</b> 28.1	<b>38.5</b> 28.5	<b>30.9</b> 27.5	<b>29.8</b> 27.9	<b>33.9</b> 27.9	<b>27.7</b> 27.8	<b>29.9</b> 27.5	<b>31.7</b> 27.1	<b>26.7</b> 27.0	<b>34.5</b> 27.4	<b>30.1</b> 27.4
	新潟県	43.0	44.5	43.2	36.1	35.3	34.6	35.3	36.8	36.6	35.4	38.9	39.0
E	大令市平均	70.0		. 10.2	25.0	24.9	25.2	25.4	24.4	23.1	23.6	24.4	23.5
2	札幌市				19.5	19.6	19.2	22.1	20.9	18.7	19.9	22.0	21.1
3	仙台市				15.3	20.4	23.0	19.7	18.0	17.3	17.8	18.7	19.0
4	さいたま市						22.8	19.9	23.0	20.8	20.0	21.0	17.4
5	千葉市				20.4	18.8	19.8	19.1	20.9	21.8	18.1	20.4	19.8
6	横浜市				21.4	22.1	23.7	21.4	23.5	20.9	20.6	21.9	22.2
7	川崎市				19.9	21.1	23.2	17.1	18.2	20.9	21.0	20.3	21.1
8	静岡市						20.8	23.9	24.3	22.2		21.0	24.7
9	名古屋市				27.4	30.3	28.5	32.1	25.4	25.8	27.9	26.2	24.7
10	京都市				35.4	31.9	31.0	34.6	29.3	29.5	27.5	31.4	27.9
11	大阪市				31.7	25.9	30.3	33.3	28.2	25.5	27.0	28.3	28.7
12	堺市						24.0	25.6	26.2	23.9	25.6	26.0	26.5
13	神戸市				28.3	27.5	27.7	28.0	29.5	23.9	26.4	26.5	26.2
14	広島市				23.0	22.2	20.9	23.9	22.4	22.3	23.2	21.2	19.9
15 16	北九州市 福岡市				29.1	33.0	30.6	29.0	26.9	27.5	30.0	30.3	26.3
17					18.7	21.0	19.4 20.4	20.1	20.4 25.5	18.8 22.9	20.4	19.5 26.2	17.8 26.0
	: 洪松巾 考】年齢調整	」 数矿广泫		I.		I.			20.0		I.		20.0
12	方 1 平 即 副 章 <b>新潟市</b>	26.2	22.2	25.1	18.2	17.7	19.0	14.4	14.7	14.4	13.0	16.7	12.8
	全国	27.4	21.6	18.5	16.8	16.4	15.9	15.3	14.6	13.8	13.2	13.2	12.5
	新潟県	35.0	30.8	24.0	18.2	17.3	16.6	15.4	15.4	14.5	14.6	16.2	14.6

(単位:人口10万対)

	腸がん(結)			が行部及で	ト 直腸)】	兼	f潟市·新潟!	県の数値は不	・明である。			(単位:人「	110万对)
全体	4	(昭和58) 昭和60年		平成7年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1	新潟市	ициноо-	1 /2/2-	27.7	31.5	32.0	26.6	32.2	29.9	30.4	31.9	33.7	37.8
	全国	15.8	20.1	25.1	26.6	27.5	28.2	28.6	29.3	29.9	30.8	31.7	32.4
	新潟県			31.2	31.8	34.8	32.4	35.8	34.8	34.8	37.3	38.3	40.9
政	令市平均				26.2	26.4	26.7	27.9	27.8	28.0	29.4	29.9	31.5
2	札幌市				24.3	24.9	24.7	26.1	28.5	27.5	28.8	29.1	31.4
3	仙台市				21.8	25.1	26.8	26.6	25.7	24.1	28.7	28.1	29.1
4	さいたま市						23.5	25.1	23.2	24.8	22.7	24.9	22.4
5	千葉市				22.9	22.0	23.7	27.7	26.9	26.0	25.1	31.6	25.6
6	横浜市				23.6	25.1	25.7	26.8	26.7	26.1	27.4	29.0	30.7
7 8	川崎市 静岡市				23.6	22.2	23.9	25.1 27.7	23.4	26.6 27.8	26.4	26.0 28.5	28.1 31.5
9	名古屋市				27.5	27.5	29.1	29.0	29.9	31.1	31.7	31.4	36.3
10	京都市				31.6	30.7	31.2	32.4	33.1	31.6	34.3	34.8	34.8
11	大阪市				29.8	27.6	31.1	31.7	30.5	31.7	32.9	32.8	35.4
12	堺市						29.0	27.4	28.5	29.0	31.5	29.0	32.8
13	神戸市				27.7	28.2	28.7	28.6	28.7	29.7	31.6	31.3	34.7
14	広島市				23.4	23.6	21.7	22.9	23.4	23.6	23.4	25.1	26.9
15	北九州市				27.8	30.2	28.4	33.2	32.3	33.5	37.4	37.1	36.2
16	福岡市				24.4	24.6	22.8	24.1	23.3	22.7	24.7	25.5	25.9
17							26.0	24.1	26.0	23.7		28.3	28.9
	考】年齢調整	死亡率											
	新潟市			19.8	21.4	21.3	17.2	19.3	17.6	17.3	17.7	17.3	19.2
	全国			18.5	18.4	18.4	18.3	18.0	17.9	17.6	17.6	17.6	17.2
男性	新潟県			19.1	18.7	20.0	17.9	18.7	17.9	16.9	17.9	17.7	18.0
カに フラ		昭和60年	平成2年	平成7年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	亚成14年	平成15年	平成16年	亚成17年
1	新潟市	*H-1HOO+	1 19,24	33.9	36.7	36.8	33.2	34.2	33.6	34.2	33.7	34.7	40.1
	全国	17.1	22.1	28.4	30.0	31.1	31.6	32.3	32.9	33.4	34.1	35.4	35.9
	新潟県			34.7	34.5	38.6	35.9	37.6	38.8	36.0	38.9	39.7	43.0
政	令市平均				29.2	30.1	30.3	31.8	31.2	31.7	33.0	33.5	35.3
2	札幌市				30.1	30.5	28.5	31.5	33.1	30.5	33.1	31.2	37.0
3	仙台市				22.6	30.5	28.7	32.0	31.1	29.8	32.2	29.1	29.1
4	さいたま市						30.5	28.9	24.9	27.3	25.2	28.2	23.6
5	千葉市				26.0	24.3	26.8	33.0	29.9	28.8	27.2	36.7	30.4
6	横浜市				26.3	29.2	28.9	30.5	29.1	30.2	30.1	33.3	35.5
7	川崎市				29.6	25.5	28.6	28.8	28.1	30.2	29.0	29.6	31.7
8 9	静岡市				20.1	20.1	27.3	36.9	31.3	31.4	26.0	33.0	35.2
10	名古屋市 京都市				29.1 33.1	30.1 33.9	32.1 35.9	31.1 34.8	32.9 35.3	35.3 34.6	36.2 35.8	37.3 39.3	39.3 39.4
11	大阪市				33.3	30.6	33.9	37.0	33.9	35.0	37.9	37.8	41.1
12	堺市				00.0	00.0	33.1	31.2	34.6	33.4	36.1	29.3	40.1
13	神戸市				31.3	34.5	31.5	33.7	35.8	36.1	37.2	34.4	40.5
14	広島市				27.0	25.7	25.0	25.4	25.5	26.3	27.2	27.2	27.8
15	北九州市				28.1	32.5	33.2	36.7	35.6	40.0	40.7	42.2	40.3
16	福岡市				26.3	28.3	24.4	27.1	24.3	24.1	30.1	25.1	28.4
17							28.9	26.9	29.9	27.3		34.7	30.3
	考】年齢調整	死亡率				1		1	1		1	1	
	新潟市			28.5	29.1	28.7	25.5	25.1	23.2	23.4	22.0	21.7	24.8
	全国	19.6	21.9	24.4	24.2	24.4	24.2	23.7	23.4	23.0	22.8	23.0	22.4
女性	新潟県			25.3	23.9	26.2	23.6	23.9	24.0	21.6	22.4	22.3	23.0
<u> </u>	_	昭和60年	平成2年	平成7年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1	新潟市			21.9	26.6	27.4	20.4	30.4	26.3	27.0	30.3	32.9	35.6
	全国	14.6	18.4	22.1	23.3	24.0	24.9	25.1	25.9	26.5	27.7	28.2	28.9
	新潟県			28.0	29.2	31.2	29.0	34.0	31.0	33.7	35.7	36.9	38.9
_	令市平均				23.3	22.8	23.3	24.1	24.5	24.3	25.9	26.5	27.8
2	札幌市				18.9	19.8	21.2	21.2	24.2	24.8	24.9	27.2	26.3
3	仙台市				21.0	19.8	25.0	21.2	20.5	18.7	25.4	27.0	29.0
4	さいたま市				10 -	10 -	16.3	21.4	21.4	22.4	20.2	21.6	21.2
5 6	千葉市 横浜市				19.7 20.9	19.7 20.9	20.5 22.4	22.4	23.9	23.2	22.9	26.5 24.7	20.7 25.9
7	川崎市				17.0	18.5	18.7	23.0	18.4	22.0	24.7	22.2	25.9
8	静岡市				17.0	10.0	21.7	18.9	24.3	24.3	23.0	24.1	28.0
9	名古屋市				25.9	24.9	26.1	26.9	26.8	26.9	27.4	25.5	33.3
10	京都市				30.2	27.6	26.8	30.2	31.2	28.9	32.9	30.7	30.5
11	大阪市				26.5	24.7	28.5	26.7	27.2	28.5	28.1	28.0	29.9
12	堺市						25.2	23.9	22.7	24.9	27.3	28.7	26.0
13	神戸市				24.4	22.4	26.0	23.9	22.1	23.8	26.6	28.5	29.5
14	広島市				20.1	21.5	18.7	20.4	21.3	21.1	19.8	23.1	26.0
15	北九州市				27.5	28.3	24.0	30.1	29.3	27.7	34.3	32.6	32.6
16	福岡市				22.6	21.1	21.3	21.2	22.3	21.3	19.7	25.9	23.6
17 【+++=	浜松市 *1年齢=11割	ᅚᇎᄼᅓ					23.2	21.4	22.0	20.2		22.0	27.5
	考】年齢調整 <b>新潟市</b>	ビルー学		12.9	15.9	16.2	11.3	14.7	13.4	12.2	14.5	14.0	14.6
	全国	13.0	13.8	14.1	14.0	13.9	13.9	13.6	13.4	13.4	13.5	13.4	13.2
	新潟県		. 0.0	14.5	14.9	15.3	13.5	14.9	13.0	13.0	14.5	13.8	14.1
				. 1.0	. 1.0			. 1.0			. 1.0		1-7-

【気管・気管支及び肺がん】 (単位:人口10万対)

全体		(昭和58)	(昭和63)										
	ሳተ <u>ን</u>	昭和60年	平成2年	平成7年	平成9年	亚成10年	亚成11年	亚成12年	亚成13年	平成14年	亚成15年	亚成16年	亚成17年
1	新潟市	22.3	28.5	40.2	40.4	41.0	47.2	48.3	<del>47.1</del>	47.0	48.8	51.5	55.4
	全国	23.8	29.7	36.8	39.2	40.6	41.6	42.8	43.7	44.8	45.0	47.5	49.2
	新潟県	23.8	30.8	44.4	47.1	46.1	48.9	50.4	51.5	53.5	53.3	56.4	56.0
NT.	大令市平均	20.0	30.0	77.7	38.0	39.0	39.1	40.0	42.0	42.4	42.4	45.1	47.0
2	札幌市				32.5	34.5	36.7	34.9	38.7	40.2	39.0	46.4	48.4
3	仙台市				30.8	32.0	31.9	31.7	35.4	34.2	34.4	35.7	35.9
4	さいたま市				30.0	32.0	28.4	33.6	34.0	34.5	35.9	36.2	38.5
5	千葉市				27.9	27.9	33.9	32.3	31.4	37.9	33.5	36.9	38.0
6	横浜市				30.5	32.4	32.7	34.2	34.5	35.0	36.4	39.4	36.8
7	川崎市				29.8	30.5	31.3	29.4	34.2	32.9	33.3	32.8	37.5
8	静岡市				20.0	00.0	35.7	34.3	42.6	42.2	00.0	45.4	46.9
9	名古屋市				40.4	41.8	43.4	41.7	47.1	45.1	44.0	49.2	52.4
10	京都市				45.2	46.3	44.5	50.4	48.9	52.8	47.9	50.1	55.1
11	大阪市				52.0	51.2	50.8	53.0	54.4	55.8	54.8	56.5	62.9
12	堺市				02.0	0112	45.0	39.8	41.0	47.4	47.4	54.3	50.8
13	神戸市				42.7	42.8	44.5	46.6	49.8	45.6	49.6	51.8	53.3
14	広島市				33.2	34.5	32.9	34.6	39.2	39.0	36.7	37.8	43.8
15	北九州市				46.9	52.9	50.8	55.4	50.5	53.3	56.0	56.5	59.0
16	福岡市				36.5	33.3	33.7	34.4	37.5	33.6	35.5	38.5	40.2
17	浜松市						34.0	34.4	38.8	40.1		41.1	40.3
	考】年齢調整	死亡率											
	新潟市	30.1	24.0	29.1	27.5	26.4	29.9	29.9	27.5	27.1	26.3	28.0	28.8
	全国	23.9	25.5	27.0	27.0	27.1	26.8	26.6	26.3	26.0	25.2	25.9	25.8
	新潟県	20.8	23.0	26.9	26.9	25.7	26.4	26.5	25.5	26.1	24.6	25.9	24.6
男性	生												
		昭和60年	平成2年	平成7年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1	新潟市	33.1	43.6	61.6	64.4	63.7	76.7	75.9	69.8	72.7	74.0	82.9	88.8
	全国	35.3	44.6	54.8	58.3	60.2	61.8	63.5	64.8	66.8	67.6	71.3	73.3
	新潟県	34.8	47.5	68.8	74.3	71.7	78.7	80.0	80.9	83.5	83.1	89.8	89.3
政	<b>大</b> 令市平均				54.4	55.9	56.5	57.7	60.5	61.1	61.7	65.7	68.4
2	札幌市				47.8	53.1	52.0	53.5	56.4	61.0	60.1	70.1	71.7
3	仙台市				46.9	51.8	44.7	47.0	52.6	53.4	51.0	56.3	52.3
4	さいたま市						41.0	47.7	47.3	49.3	51.3	53.4	57.9
5	千葉市				40.7	38.9	48.9	47.2	44.8	52.1	50.5	54.4	58.0
6	横浜市				42.0	45.4	46.6	47.6	50.3	49.2	52.3	55.7	51.7
7	川崎市				41.5	42.8	41.8	41.3	48.8	45.7	48.4	45.0	54.3
8	静岡市				F7.7	50.0	50.3	54.0	60.9	62.7	00.0	69.3	70.1
9	名古屋市				57.7	58.9	63.9	60.1	68.8	64.7	62.8	74.4	74.8
10	京都市 大阪市				63.4	66.2 71.1	63.7 73.3	71.6 76.7	69.8 78.7	78.1 77.8	68.0 80.8	73.4 81.3	79.8 89.7
- 1 1	八版巾												00.7
12	<b>押</b> 市				74.3	/1.1							75.3
12	堺市 神戸市						66.9	56.2	57.0	64.7	69.2	78.1	75.3 81.5
13	神戸市				63.3	62.4	66.9 66.1	56.2 68.9	57.0 71.4	64.7 67.8	69.2 71.8	78.1 74.7	81.5
13 14	神戸市 広島市				63.3 48.1	62.4 51.1	66.9 66.1 49.7	56.2 68.9 55.1	57.0 71.4 58.5	64.7 67.8 59.7	69.2 71.8 56.5	78.1 74.7 55.1	81.5 66.4
13 14 15	神戸市 広島市 北九州市				63.3 48.1 65.8	62.4 51.1 76.3	66.9 66.1 49.7 75.4	56.2 68.9 55.1 79.2	57.0 71.4 58.5 73.4	64.7 67.8 59.7 81.1	69.2 71.8 56.5 76.6	78.1 74.7 55.1 77.3	81.5 66.4 84.4
13 14 15	神戸市 広島市 北九州市 福岡市				63.3 48.1	62.4 51.1	66.9 66.1 49.7	56.2 68.9 55.1	57.0 71.4 58.5	64.7 67.8 59.7	69.2 71.8 56.5	78.1 74.7 55.1	81.5 66.4
13 14 15 16 17	神戸市 広島市 北九州市 福岡市	死亡率			63.3 48.1 65.8	62.4 51.1 76.3	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1	69.2 71.8 56.5 76.6	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9	81.5 66.4 84.4 55.7
13 14 15 16 17	神戸市 広島市 北九州市 福岡市 浜松市	死亡率 55.4	45.3	52.5	63.3 48.1 65.8	62.4 51.1 76.3	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1	69.2 71.8 56.5 76.6	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9	81.5 66.4 84.4 55.7
13 14 15 16 17	神戸市 広島市 北九州市 福岡市 浜松市 考】年齢調整 新潟市 全国	<b>55.4</b> 41.2	45.0	47.5	63.3 48.1 65.8 51.6 <b>51.4</b> 47.3	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 <b>48.2</b> 45.6	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 <b>48.7</b> 45.3	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 <b>47.6</b> 44.2	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6
13 14 15 16 17 【参	神戸市 本土 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	55.4			63.3 48.1 65.8 51.6	62.4 51.1 76.3 45.8	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3
13 14 15 16 17	神戸市 本土 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	<b>55.4</b> 41.2 35.2	45.0 41.9	47.5 49.6	63.3 48.1 65.8 51.6 <b>51.4</b> 47.3 50.5	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 <b>48.2</b> 45.6 47.2	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 <b>47.6</b> 44.2 45.7	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3
13 14 15 16 17 【参	神戸市 市	55.4 41.2 35.2 昭和60年	45.0 41.9 平成2年	47.5 49.6 平成7年	63.3 48.1 65.8 51.6 <b>51.4</b> 47.3 50.5	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 <b>48.2</b> 45.6 47.2	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 <b>48.7</b> 45.3 47.8	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 <b>47.6</b> 44.2 45.7	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3
13 14 15 16 17 【参	神戸市市 市 中 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0	45.0 41.9 平成2年 14.3	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b>	63.3 48.1 65.8 51.6 <b>51.4</b> 47.3 50.5 平成9年	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3 平成11年	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 平成12年	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 <b>47.6</b> 44.2 45.7 平成15年 <b>25.3</b>	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 平成16年 <b>22.1</b>	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 平成17年
13 14 15 16 17 【参	神戸市 広島市 北九州市 福経松齢調 考 <b>新潟市</b> 全国 新潟県 生	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 <b>51.4</b> 47.3 50.5 平成9年 <b>17.9</b>	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3 <b>平成11年</b> <b>19.4</b>	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 平成12年 <b>22.4</b>	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 <b>47.6</b> 44.2 45.7 平成15年 <b>25.3</b> 23.4	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 平成16年 <b>22.1</b>	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 平成17年 <b>24.4</b>
13 14 15 16 17 【参 女性	神戸市市市 北九岡 北九岡 松 齢 新 編 全 国 新 編 市 全 国 新 編 市 全 国 編 県	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0	45.0 41.9 平成2年 14.3	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b>	63.3 48.1 65.8 51.6 <b>51.4</b> 47.3 50.5 平成9年 17.9 20.9 21.4	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3 <b>平成11年</b> 19.4 22.2 20.7	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 平成12年 22.4 22.9 22.5	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.8	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 <b>47.6</b> 44.2 45.7 平成15年 <b>25.3</b> 23.4 25.2	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> <b>22.1</b> 24.8	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 平成17年 <b>24.4</b>
13 14 15 16 17 【参	神広北市市市 北 福浜年市市 高州市市 調査 全 湯 東 全 湯 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 <b>51.4</b> 47.3 50.5 <b>平成9年</b> 17.9 20.9 21.4	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 21.9	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3 平成11年 19.4 22.2 20.7	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 平成12年 <b>22.4</b> 22.9 22.5	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.8	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 47.6 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> <b>22.1</b> 24.8 24.9	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 平成17年 <b>24.4</b> 26.1 24.8 26.5
13 14 15 16 17 【参 女性	神広北九岡松 計市 市	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 <b>51.4</b> 47.3 50.5 平成9年 17.9 20.9 21.4 22.0	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 21.9 22.5	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3 <b>平成11年</b> 19.4 22.2 20.7 22.2	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 平成12年 22.4 22.9 22.5 22.7	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.8 24.1	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 47.6 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> <b>22.1</b> 24.8 24.9 25.4	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 平成17年 26.1 24.8 26.5 27.5
13 14 15 16 17 【参	神広北市市市 北 福浜年市市 高州市市 調査 全 湯 東 全 湯 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 <b>51.4</b> 47.3 50.5 <b>平成9年</b> 17.9 20.9 21.4	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 21.9	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3 <b>平成11年</b> 19.4 22.2 20.7 22.2 22.8 19.5	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 平成12年 22.4 22.9 22.5 22.7	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.8	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 47.6 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> <b>22.1</b> 24.8 24.9	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 平成17年 <b>24.4</b> 26.1 24.8 26.5
13 14 15 16 17 【参 女性 1	神広北市市市市 北温浜年市市 温浜年市市 調査 全潟 東全潟市中 東京 東 全潟市 東 東 全潟市 北仙台市 東 東 中 東 市 中 東 市 中 東 市 中 東 市 中 東 市 中 東 市 中 東 市 中 東 市	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 <b>51.4</b> 47.3 50.5 平成9年 17.9 20.9 21.4 22.0	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 21.9 22.5	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3 <b>平成11年</b> 19.4 22.2 20.7 22.2	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 平成12年 22.4 22.9 22.5 22.7	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.8 24.1 22.6 18.8	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3 15.8	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 47.6 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7 19.9 18.5	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> <b>22.1</b> 24.8 24.9 25.4	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 平成17年 26.1 24.8 26.5 27.5 20.3
13 14 15 16 17 【参 1 1 2 3 4	神広 神広 神広 神広 神広 神広 神広 神広 神広 神広	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 <b>51.4</b> 47.3 50.5 平成9年 17.9 20.9 21.4 22.0 18.4	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 21.9 22.5 17.4	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3 <b>平成11年</b> <b>19.4</b> 22.2 20.7 22.2 22.8 19.5 15.6	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 <b>平成12年</b> <b>22.4</b> 22.9 22.5 22.7 18.0 16.9	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.8 24.1 22.6 18.8 20.5	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3 15.8 19.5	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 47.6 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7 19.9 18.5 20.2	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> <b>22.1</b> 24.8 24.9 25.4 25.1 16.0	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 平成17年 24.8 26.1 24.8 26.5 27.5 20.3
13 14 15 16 17 【参 <b>女</b> 性 1	神広 神広 神広 神広 神広 神広 神広 神広 神広 神広	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 <b>51.4</b> 47.3 50.5 平成9年 17.9 20.9 21.4 22.0 18.4 15.1	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 22.5 17.4 12.7	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3 <b>平成11年</b> <b>19.4</b> 22.2 20.7 22.2 22.8 19.5 15.6 18.6	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 <b>平成12年</b> <b>22.4</b> 22.9 22.5 22.7 18.0 16.9 19.2	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.8 24.1 22.6 18.8 20.5	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3 15.8 19.5 23.6	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 47.6 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7 19.9 18.5 20.2	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> <b>22.1</b> 24.8 24.9 25.4 16.0 18.9	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 平成17年 24.1 24.8 26.5 27.5 20.3 18.8 17.8
13 14 15 16 17 【参 1 1 2 3 4 5 6	神広 中 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 <b>51.4</b> 47.3 50.5 <b>平成9年</b> <b>17.9</b> 20.9 21.4 22.0 18.4 15.1	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 21.9 22.5 17.4 12.7 16.7 18.9	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3 <b>平成11年</b> <b>19.4</b> 22.2 20.7 22.2 22.8 19.5 15.6 18.6	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 <b>平成12年</b> <b>22.4</b> 22.9 22.5 22.7 18.0 16.9 19.2 17.1	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.5 23.8 24.1 22.6 18.8 20.5 17.8 18.2	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3 15.8 19.5 23.6 20.5	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 47.6 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7 19.9 18.5 20.2 16.3 20.1	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> <b>22.1</b> 24.8 24.9 25.4 16.0 18.9 19.3 22.8	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 平成17年 <b>24.4</b> 26.1 24.8 26.5 27.5 20.3 18.8 17.8 21.6
13 14 15 16 17 【参注 1 2 3 4 5 6 7	神広北市市市市市市高 本 1 1 2 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 <b>51.4</b> 47.3 50.5 <b>平成9年</b> <b>17.9</b> 20.9 21.4 22.0 18.4 15.1	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 21.9 22.5 17.4 12.7 16.7 18.9	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3 <b>平成11年</b> 19.4 22.2 20.7 22.2 22.8 19.5 15.6 18.6 18.5	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 <b>平成12年</b> <b>22.4</b> 22.9 22.5 22.7 18.0 16.9 19.2 17.1 20.5	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 24.1 22.6 18.8 20.5 17.8 18.2	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3 15.8 19.5 23.6 20.5	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 47.6 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7 19.9 18.5 20.2 16.3 20.1	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> <b>22.1</b> 24.8 24.9 25.4 25.1 16.0 18.9 19.3 22.8	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 平成17年 <b>24.4</b> 26.1 24.8 26.5 27.5 20.3 18.8 17.8 21.6
13 14 15 16 17 【参注 1 2 3 4 5 6 7 8	神広北市市市市市市高州 本 は	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 <b>51.4</b> 47.3 50.5 <b>平成9年</b> <b>17.9</b> 20.9 21.4 22.0 18.4 15.1 14.7	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 22.5 17.4 12.7 16.7 18.9 17.0	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3 <b>平成11年</b> 19.4 22.2 22.2 22.8 19.5 15.6 18.6 18.5 19.9	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 <b>平成12年</b> <b>22.4</b> 22.9 22.5 22.7 18.0 16.9 19.2 17.1 20.5 16.4	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 24.1 22.6 18.8 20.5 17.8 18.2 18.4	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3 15.8 19.5 23.6 20.5 19.1	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 47.6 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7 19.9 18.5 20.2 16.3 20.1	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> <b>22.1</b> 24.8 24.9 25.4 25.1 16.0 18.9 19.3 22.8 19.7	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 平成17年 <b>24.4</b> 26.1 24.8 26.5 27.5 20.3 18.8 17.8 21.6 19.5 24.9
13 14 15 16 17 【参 1 1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	神広北福浜年末年 新全 新中 は 北福浜年 清瀬 全 新 全 潟市 札 仙い 千 横川静名 京大 大 一 東 大 一 東 東 ・ 東 ・ 東 ・ 東 ・ 東 ・ 東 ・ 東 ・ 東 ・ 東 ・	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 51.4 47.3 50.5 平成9年 17.9 20.9 21.4 22.0 18.4 15.1 14.7 18.6 17.0	48.6 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 22.5 17.4 16.7 18.9 17.0	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 57.5 47.0 50.3 平成11年 22.2 20.7 22.2 22.8 19.5 15.6 18.6 18.5 19.9 21.7 23.0 26.7 29.2	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 <b>平成12年</b> 22.4 22.5 22.7 18.0 16.9 19.2 17.1 20.5 16.4 15.5 23.4 30.9 30.1	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.8 24.1 22.6 18.8 20.5 17.8 18.2 25.2 18.4 25.2 25.6 29.7	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 <b>48.7</b> 45.3 47.8 <b>平成14年</b> <b>22.9</b> 23.7 25.3 24.3 21.3 15.8 19.5 20.5 19.1 22.7 25.7 29.5 34.8	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 47.6 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7 19.9 18.5 20.2 16.3 20.1 17.2 25.5 29.4	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> <b>22.1</b> 24.8 24.9 25.4 25.1 16.0 18.9 19.3 22.8 19.7 22.7 24.3	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 平成17年 <b>24.4</b> 26.1 24.8 26.5 27.5 20.3 18.8 17.8 21.6 19.5 24.9 30.2 32.5 37.5
13 14 15 16 17 【参 女仆 1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	神広北福浜年満年 新全 新令 はさ 一横川静古都阪市市市市市市市調 新全潟市札仙い千横川静古都阪市 場 場 り 市市ま市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 51.4 47.3 50.5 平成9年 17.9 20.9 21.4 22.0 18.4 15.1 14.7 18.6 17.0 23.3 28.4 30.2	### 62.4    51.1   76.3   45.8   48.6   47.3   46.9   平成10年   19.7   21.9   22.5   17.4   12.7   16.7   18.9   17.0   24.7   27.7   32.1	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 57.5 47.0 50.3 平成11年 19.4 22.2 20.7 22.2 22.8 19.5 15.6 18.6 18.5 19.9 21.7 23.0 26.7 29.2	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 <b>平成12年</b> 22.9 22.5 22.7 18.0 16.9 19.2 17.1 16.4 15.5 23.4 30.9 30.1 24.4	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.8 24.1 22.6 18.8 20.5 17.8 18.2 25.2 25.6 29.7 31.0 25.9	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3 15.8 19.5 20.5 19.1 22.7 25.7 29.5 34.8 31.3	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 47.6 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7 19.9 18.5 20.2 16.3 20.1 17.2 25.5 29.4 29.9 27.1	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> <b>22.1</b> 24.8 24.9 25.4 25.1 16.0 18.9 19.3 22.8 19.7 22.7 24.3 28.9 32.8 32.8	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 <b>平成17年</b> <b>24.4</b> 26.1 24.8 26.5 27.5 20.3 18.8 21.6 17.8 21.6 19.3 21.6 19.3 21.6 19.3 21.6 19.3 21.6 19.3 21.6 19.3 21.6 19.3 21.6 19.3 21.6 19.3 21.6 21.7 21.8 21.8 21.8 21.8 21.8 21.8 21.8 21.8
13 14 15 16 17 【参 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	神広北福浜年満年 新全 新全 新中市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 51.4 47.3 50.5 平成9年 20.9 21.4 22.0 18.4 15.1 14.7 18.6 17.0 23.3 28.4 30.2	### 62.4    51.1   76.3   45.8   48.6   47.3   46.9   平成10年   19.7   21.9   22.5   17.4   12.7   16.7   18.9   17.0   24.7   27.7   32.1	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 57.5 47.0 50.3 平成11年 22.2 20.7 22.2 19.5 15.6 18.6 18.5 19.9 21.7 23.0 26.7 29.2	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 <b>平成12年</b> 22.9 22.5 22.7 18.0 16.9 19.2 17.1 20.5 16.4 15.5 23.4 30.9 30.1 24.4 26.3	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.8 24.1 22.6 18.8 20.5 17.8 18.2 25.2 25.6 29.7 31.0 25.9 30.2	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3 15.8 19.5 20.5 20.5 19.1 22.7 25.7 29.5 34.8 31.3 25.3	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 47.6 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7 19.9 18.5 20.2 16.3 20.1 17.2 25.5 29.4 29.9 27.1 29.5	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> <b>22.1</b> 24.8 24.9 25.4 25.1 16.0 18.9 19.3 22.8 22.7 22.7 24.3 28.9 32.8 32.1 31.0	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 53.6 44.6 46.3 平成17年 24.4 26.1 24.8 26.5 27.5 20.3 18.8 21.6 19.5 24.9 30.2 32.5 37.5 28.1
13 14 15 16 17 【参 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	神広北福浜年満年 新全新 全新中広北福浜年満年 満年 第一年 大学	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 51.4 47.3 50.5 平成9年 17.9 21.4 22.0 18.4 15.1 14.7 18.6 17.0 23.3 28.4 30.2 23.4 19.0	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 22.5 17.4 12.7 16.7 18.9 17.0 24.7 27.7 32.1	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3 <b>平成11年</b> 22.2 20.7 22.2 19.5 15.6 18.6 18.5 19.9 21.7 23.0 26.7 29.2 24.2	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 平成12年 22.4 22.9 22.5 22.7 18.0 16.9 19.2 17.1 20.5 16.4 30.9 30.1 24.4 26.3 15.2	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.8 24.1 22.6 18.8 20.5 17.8 18.2 18.4 25.2 25.6 29.7 31.0 25.9 30.2 21.0	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3 15.8 19.5 20.5 19.1 22.7 25.7 25.7 25.3 34.8 31.3 25.3 19.5	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 47.6 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7 19.9 18.5 20.2 16.3 20.1 17.2 25.5 29.4 29.9 27.1 29.5 18.1	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> 22.1 24.8 24.9 25.4 25.1 16.0 18.9 19.3 22.8 19.7 22.7 24.3 28.9 32.8 32.8 32.1 31.0 21.5	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 <b>平成17年</b> <b>24.4</b> 26.1 24.8 26.5 27.5 20.3 18.8 17.8 21.6 19.5 24.9 30.2 32.5 37.5 28.1 27.7
13 14 15 16 17 【参注 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	神広北福浜年満年 新全新生 新全湖市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 51.4 47.3 50.5 平成9年 17.9 21.4 22.0 18.4 15.1 14.7 18.6 17.0 23.3 28.4 30.2 23.4 19.0 30.0	62.4 51.1 76.3 45.8 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 22.5 17.4 12.7 16.7 18.9 17.0 24.7 27.7 32.1 24.7 18.8 32.0	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 57.5 47.0 50.3 平成11年 19.4 22.2 20.7 22.2 22.8 19.5 15.6 18.6 18.5 19.9 21.7 23.7 24.7 24.7 24.2 24.7 24.7 24.7	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 平成12年 22.4 22.9 22.5 22.7 18.0 16.9 19.2 17.1 20.5 16.4 15.5 23.4 30.9 30.1 24.4 26.3 15.2	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.8 24.1 22.6 18.8 20.5 17.8 18.2 25.6 29.7 31.0 25.9 30.2 21.0	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3 15.8 19.5 23.6 20.5 19.1 22.7 25.7 25.7 25.3 34.8 31.3 25.3 19.5 28.4	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7 19.9 18.5 20.2 16.3 20.1 17.2 25.5 29.4 29.9 27.1 29.5 18.1 37.5	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> <b>22.1</b> 24.8 24.9 25.4 25.1 16.0 18.9 19.3 22.8 19.7 22.7 24.3 28.9 32.8 32.1 31.0 21.5 37.9	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 <b>平成17年</b> 24.4 26.1 24.8 26.5 27.5 20.3 18.8 17.8 21.6 19.5 24.9 30.2 32.5 37.5 28.1 27.7
13 14 15 16 17 【参注 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	者 新全新生 神広北福浜年潟全潟 新全潟市札仙い 千横川静古京大塚神広北福 東京大塚神広北福 東京大塚神広北福 東京大塚神広北福 東京大塚神広北福 東京大塚神広北福 東京大塚神広北福 東京大塚神広北福 東京大塚神広北福 東京大塚神広北福	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 51.4 47.3 50.5 平成9年 17.9 21.4 22.0 18.4 15.1 14.7 18.6 17.0 23.3 28.4 30.2 23.4 19.0	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 22.5 17.4 12.7 16.7 18.9 17.0 24.7 27.7 32.1	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 57.5 47.0 50.3 平成11年 19.4 22.2 20.7 22.2 22.8 19.5 15.6 18.6 18.5 19.9 21.7 23.0 26.7 29.2 24.2 24.7 17.0 28.7	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 平成12年 22.4 22.9 22.5 22.7 18.0 16.9 19.2 17.1 20.5 16.4 15.5 23.4 30.9 30.1 24.4 26.3 15.2 34.1 24.9	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.8 24.1 22.6 18.8 20.5 17.8 18.2 25.6 29.7 31.0 25.9 30.2 21.0 30.1 24.3	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3 15.8 19.5 23.6 20.5 19.1 22.7 25.7 25.7 25.3 24.3 21.3 15.8 19.5 23.6 20.5 19.1 22.7 25.7 25.3 24.3 24.3 25.3 26.3 27.3 27.3 28.4 28.4 28.4 28.4 28.4 28.4 28.4 28.4	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 47.6 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7 19.9 18.5 20.2 16.3 20.1 17.2 25.5 29.4 29.9 27.1 29.5 18.1	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> <b>22.1</b> 24.8 24.9 25.4 25.1 16.0 18.9 19.3 22.8 19.7 22.7 24.3 28.9 32.8 32.1 31.0 21.5 37.9 23.3	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 <b>平成17年</b> 24.8 26.5 27.5 20.3 18.8 17.8 21.6 19.5 24.9 30.2 32.5 37.5 28.1 27.7 22.4 36.4 25.8
13 14 15 16 17 【参 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17	オイン おお お	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7 13.4	45.0 41.9 平成2年 <b>14.3</b> 15.4	47.5 49.6 平成7年 <b>20.0</b> 19.5	63.3 48.1 65.8 51.6 51.4 47.3 50.5 平成9年 17.9 21.4 22.0 18.4 15.1 14.7 18.6 17.0 23.3 28.4 30.2 23.4 19.0 30.0	62.4 51.1 76.3 45.8 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 22.5 17.4 12.7 16.7 18.9 17.0 24.7 27.7 32.1 24.7 18.8 32.0	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 57.5 47.0 50.3 平成11年 19.4 22.2 20.7 22.2 22.8 19.5 15.6 18.6 18.5 19.9 21.7 23.7 24.7 24.7 24.2 24.7 24.7 24.7	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 平成12年 22.4 22.9 22.5 22.7 18.0 16.9 19.2 17.1 20.5 16.4 15.5 23.4 30.9 30.1 24.4 26.3 15.2	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.8 24.1 22.6 18.8 20.5 17.8 18.2 25.6 29.7 31.0 25.9 30.2 21.0	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3 15.8 19.5 23.6 20.5 19.1 22.7 25.7 25.7 25.3 34.8 31.3 25.3 19.5 28.4	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7 19.9 18.5 20.2 16.3 20.1 17.2 25.5 29.4 29.9 27.1 29.5 18.1 37.5	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> <b>22.1</b> 24.8 24.9 25.4 25.1 16.0 18.9 19.3 22.8 19.7 22.7 24.3 28.9 32.8 32.1 31.0 21.5 37.9	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 <b>平成17年</b> 24.4 26.1 24.8 26.5 27.5 20.3 18.8 17.8 21.6 19.5 24.9 30.2 32.5 37.5 28.1 27.7
13 14 15 16 17 【参 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17	考新全新生 全新会 さ 横川静名京大場神広北福浜年鴻全潟 新全潟市札仙い千横川静名京大場神広北福浜年島州岡松齢市市市市市調 清国県平幌台た葉浜崎岡屋都阪市戸島州岡松齢部 おおおお おおおお おおおお おおおお おおおお おおおお おおおお お	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7 13.4	45.0 41.9 平成2年 14.3 15.4 15.0	47.5 49.6 平成7年 20.0 19.5 21.3	63.3 48.1 65.8 51.6 51.6 51.4 47.3 50.5 平成9年 17.9 20.9 21.4 22.0 18.4 15.1 14.7 18.6 17.0 23.3 28.4 30.2 23.4 19.0 30.0 22.3	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 22.5 17.4 12.7 16.7 18.9 17.0 24.7 27.7 32.1 24.7 18.8 32.0 21.4	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3 <b>平成11年</b> 19.4 22.2 20.7 22.2 22.8 19.5 15.6 18.6 18.5 19.9 21.7 23.0 26.7 29.2 24.2 24.7 17.0 28.7 17.0	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 <b>平成12年</b> 22.4 22.9 22.5 22.7 18.0 16.9 19.2 17.1 20.5 16.4 15.5 23.4 30.9 24.4 26.3 30.1 24.4 26.3 15.2	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.8 24.1 22.6 18.8 20.5 17.8 18.2 25.2 25.6 29.7 31.0 25.9 30.2 21.0 30.1 24.3 21.3	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3 15.8 19.5 23.6 20.5 19.1 22.7 25.7 29.5 34.8 31.3 25.3 47.8	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7 19.9 18.5 20.2 16.3 20.1 17.2 25.5 29.4 29.9 27.1 29.5 18.1 37.5	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> 22.1 24.8 24.9 25.4 25.1 16.0 18.9 19.3 22.8 19.7 22.7 24.3 28.9 32.8 32.1 31.0 21.5 37.9 23.3 25.8	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 <b>平成17年</b> <b>24.4</b> 26.1 24.8 26.5 27.5 20.3 18.8 17.8 21.6 19.5 24.9 30.2 32.5 37.5 28.1 27.7 22.4 36.4 25.8 27.7
13 14 15 16 17 【参 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17	考新全新生 新全瀬 かん さい 横川静 古京大 堺神広北福浜年満年	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7 13.4	45.0 41.9 平成2年 14.3 15.4 15.0	47.5 49.6 平成7年 20.0 19.5 21.3	63.3 48.1 65.8 51.6 51.4 47.3 50.5 平成9年 17.9 20.9 21.4 22.0 18.4 15.1 14.7 18.6 17.0 23.3 28.4 30.2	62.4 51.1 76.3 45.8 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 22.5 17.4 12.7 16.7 18.9 17.0 24.7 27.7 32.1 24.7 18.8 32.0 21.4	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3 <b>平成11年</b> 19.4 22.2 20.7 22.2 22.8 19.5 15.6 18.6 18.5 19.9 21.7 23.0 26.7 29.2 24.2 24.7 17.0 28.7 17.0 18.3	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 <b>平成12年</b> <b>22.4</b> 22.9 22.5 22.7 18.0 16.9 19.2 17.1 20.5 16.4 15.5 23.4 30.9 30.1 24.4 26.3 34.1 24.9	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.5 23.8 24.1 22.6 18.8 20.5 17.8 18.2 25.6 29.7 31.0 25.9 30.2 21.0 30.1 24.3 21.3	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3 15.8 19.5 23.6 20.5 19.1 22.7 25.7 29.5 34.8 31.3 25.3 47.8 19.5 21.8 19.5 21.8 21.8 21.8 21.8 21.8 21.8 21.8 21.8	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 47.6 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7 19.9 18.5 20.2 16.3 20.1 17.2 25.5 29.4 29.9 27.1 29.5 18.1 37.5 19.4	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> 22.1 24.8 24.9 25.4 25.1 16.0 18.9 19.3 22.8 19.7 22.7 24.3 28.9 32.1 31.0 21.5 37.9 23.3 25.8	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 <b>平成17年</b> <b>24.4</b> 26.5 27.5 20.3 18.8 17.8 21.6 19.5 24.9 30.2 32.5 37.5 28.1 27.7 22.4 43.6 44.6 19.5 21.6 19.5 21.6 21.6 21.6 21.6 21.6 21.6 21.6 21.6
13 14 15 16 17 【参 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17	考新全新生 全新会 さ 横川静名京大場神広北福浜年鴻全潟 新全潟市札仙い千横川静名京大場神広北福浜年島州岡松齢市市市市市調 清国県平幌台た葉浜崎岡屋都阪市戸島州岡松齢部 おおおお おおおお おおおお おおおお おおおお おおおお おおおお お	55.4 41.2 35.2 昭和60年 12.0 12.7 13.4	45.0 41.9 平成2年 14.3 15.4 15.0	47.5 49.6 平成7年 20.0 19.5 21.3	63.3 48.1 65.8 51.6 51.6 51.4 47.3 50.5 平成9年 17.9 20.9 21.4 22.0 18.4 15.1 14.7 18.6 17.0 23.3 28.4 30.2 23.4 19.0 30.0 22.3	62.4 51.1 76.3 45.8 48.6 47.3 46.9 平成10年 19.7 21.9 22.5 17.4 12.7 16.7 18.9 17.0 24.7 27.7 32.1 24.7 18.8 32.0 21.4	66.9 66.1 49.7 75.4 46.3 49.9 <b>57.5</b> 47.0 50.3 <b>平成11年</b> 19.4 22.2 20.7 22.2 22.8 19.5 15.6 18.6 18.5 19.9 21.7 23.0 26.7 29.2 24.2 24.7 17.0 28.7 17.0	56.2 68.9 55.1 79.2 44.7 50.6 <b>54.8</b> 46.3 49.2 <b>平成12年</b> 22.4 22.9 22.5 22.7 18.0 16.9 19.2 17.1 20.5 16.4 15.5 23.4 30.9 24.4 26.3 30.1 24.4 26.3 15.2	57.0 71.4 58.5 73.4 51.8 56.3 48.2 45.6 47.2 平成13年 25.8 23.5 23.8 24.1 22.6 18.8 20.5 17.8 18.2 25.2 25.6 29.7 31.0 25.9 30.2 21.0 30.1 24.3 21.3	64.7 67.8 59.7 81.1 45.1 58.8 48.7 45.3 47.8 平成14年 22.9 23.7 25.3 24.3 15.8 19.5 23.6 20.5 19.1 22.7 25.7 29.5 34.8 31.3 25.3 47.8	69.2 71.8 56.5 76.6 52.9 44.2 45.7 平成15年 25.3 23.4 25.2 23.7 19.9 18.5 20.2 16.3 20.1 17.2 25.5 29.4 29.9 27.1 29.5 18.1 37.5	78.1 74.7 55.1 77.3 54.9 56.5 <b>52.7</b> 45.2 48.6 <b>平成16年</b> 22.1 24.8 24.9 25.4 25.1 16.0 18.9 19.3 22.8 19.7 22.7 24.3 28.9 32.8 32.1 31.0 21.5 37.9 23.3 25.8	81.5 66.4 84.4 55.7 59.3 <b>53.6</b> 44.6 46.3 <b>平成17年</b> <b>24.4</b> 26.1 24.8 26.5 27.5 20.3 18.8 17.8 21.6 19.5 24.9 30.2 32.5 37.5 28.1 27.7 22.4 36.4 25.8 27.7

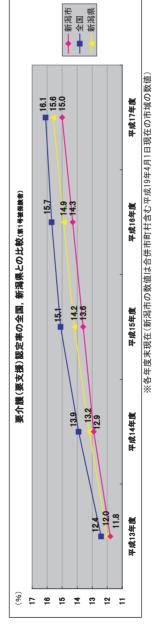
【肝・肝内胆管がん】 (単位:人口10万対) (昭和58) (昭和63) 昭和60年 | 平成2年 | 平成7年 | 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 新潟市 10.8 15.6 14.6 15.2 18.7 18.1 18.0 17.6 17.8 16.9 18.7 19.1 1 全国 15.8 19.7 25.5 25.9 26.7 27.0 27 1 27.3 27.5 27.0 27.4 27.2 新潟県 11.0 13.0 13.7 15.1 16.9 17.8 18.0 17.1 17.8 18.8 18.8 政令市平均 28 6 297 284 28.0 27.5 27.9 276 277 277 札.幌市 20.2 19.0 17.8 21.1 17.1 19.6 19.9 20.7 22.4 3 仙台市 15.3 164 125 161 154 139 170 155 153 4 さいたま市 19.1 19.1 177 18.0 16.4 21.5 178 5 千葉市 22.6 21.4 19.9 19.7 18.8 18.9 18.1 19.0 22.5 6 横浜市 20.5 227 215 220 226 22 1 212 22 1 215 川崎市 7 21.0 19.3 19.7 19.6 21.9 21.5 18.9 19.1 21.6 8 静岡市 24.9 25.1 23.4 28.4 33.3 29.5 9 名古屋市 226 247 26.9 240 24.1 23.8 237 24.4 25.8 10 京都市 26.3 29.4 29.2 31.5 29.0 28.1 28.2 29.0 27.1 46 6 11 大阪市 50.6 497 488 469 478 445 437 440 12 堺市 34.3 36.6 33.5 32.5 36.2 32.0 34.5 神戸市 41.4 37.5 13 39.6 40.2 38.4 38.5 38.5 38.4 35.8 14 広島市 36.1 33.8 33.3 31.9 34.3 32.1 29.6 31.7 326 15 45.0 49.4 47.5 42.8 41.0 44.2 47.4 42.3 46.3 福岡市 16 30.3 32.5 30.5 288 293 314 32.2 292 30.8 17 浜松市 18.2 20.1 20.5 16.0 17.4 22.0 【参考】年齢調整死亡率 新温市 12.8 12.4 10.7 10.4 125 11.8 11.5 109 10.8 9.6 10.4 10.5 全国 16.6 17.9 19.4 18.5 18.5 18.2 17.7 17.3 16.8 16.0 15.0 新潟県 9.8 10.2 9.0 9.1 9.8 10.4 10.2 9.2 9.5 9.5 9.5 9.2 昭和60年 | 平成2年 | 平成7年 | 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 1 新潟市 15.6 23.5 19.7 21.3 23.5 26.1 24.2 24.2 23 2 20.7 25.0 26.0 全国 23.3 29.5 37.4 37.5 38.4 38.3 38.4 38.3 38.7 37.9 38.0 37.7 新潟県 15.3 193 197 244 222 26.5 20.6 22 1 246 228 236 259 政令市平均 41.4 43.1 40.6 39.7 39.1 39.6 38.7 38.4 38.6 札幌市 29.9 27.7 26.5 32.2 24.1 30.2 28.1 29.5 33.5 3 仙台市 16.5 23.2 23.3 191 20.9 212 234 192 223 4 さいたま市 26.2 28.3 24.7 25.8 25.2 31.9 26.1 5 千葉市 34.4 32.5 28.6 29.6 27.5 28.1 26.8 28.2 33.9 6 横浜市 29.4 32.6 30.8 31.6 30.3 31.6 29.6 30.0 28.6 川崎市 7 27.4 31.2 32.1 28.8 26.0 32.0 25.1 26.0 29.0 8 静岡市 36.9 36.9 35.3 44.6 49.2 467 9 名古屋市 33.6 36.9 37.9 35.5 34.5 31.1 34.3 34.9 36.8 10 京都市 374 379 38.7 438 40 1 38 7 397 38.3 36 6 11 大阪市 75.5 74.1 69.5 64.6 69.1 68.4 62.4 60.3 60.9 12 堺市 53.2 51.2 50.0 50.9 51.5 47.3 50.5 13 神戸市 57.9 628 58.7 548 53.3 55.6 53.7 52.6 497 14 広島市 48.5 49.3 47.9 47.2 48.8 45.6 44.0 43.4 45.9 75.2 60.6 15 北九州市 63.5 71.0 63.8 61.2 62.7 68.4 60.2 16 福岡市 44.3 45.0 43.5 41.6 40.4 41.7 38.9 42.9 44.3 17 浜松市 27.5 26.9 28.9 23.5 24.3 34.0 【参考】年齢調整死亡率 新潟市 20.6 19.9 16.6 16.7 18.2 19.2 17.6 17.4 16.3 13.6 16.0 16.4 全国 25.7 28 4 316 299 299 290 27.3 26.7 25.5 248 237 28.2 新潟県 15.5 17.0 14.7 14.2 15.0 16.5 16.1 14.1 14.1 13.8 15.0 15.1 女性 昭和60年 | 平成2年 | 平成7年 | 平成9年 | 平成10年 | 平成11年 | 平成12年 | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成16年 | 1 新潟市 6.3 8.1 9.7 全国 8.5 10.3 14.8 15.5 16.1 16.2 16.7 16.6 17.1 14.1 16.8 17.2 11.7 新潟県 14.3 7.0 11.9 12.2 13.1 11.6 7.1 8.1 9.9 11.6 13.3 政令市平均 17.2 16.1 16.6 16.6 16.3 16.7 16.9 17.4 16.6 2 1 はま 111 10.9 99 110 10.7 99 140 123 113 3 仙台市 8.6 7.7 9.1 11.8 7.2 12.9 8.0 11.6 10.7 4 さいたま市 7.4 9.3 11.8 9.6 10.5 10.0 11.0 5 千葉市 10.5 10.2 11.0 9.7 9.9 9.6 9.3 9.6 11.0 6 横浜市 11.3 12.5 12.0 12.1 14.8 12.3 12.5 14.2 14.3 7 川崎市 8.9 9.0 113 127 120 102 122 116 137 8 静岡市 13.3 13.8 12.2 13.0 18.2 13.2 9 12.5 名古屋市 11.8 15.9 12.5 13.8 16.6 13.2 14.2 15.0 10 京都市 15.9 21.4 20.3 20.3 18.7 18.3 17.6 20.5 18.5 11 大阪市 26.3 26.3 28.8 29.9 25.2 28.2 27.5 27.7 27.9 12 堺市 16.4 22.9 18.1 15.4 22.0 17.7 19.6 13 22.6 21.7 23.3 神戸市 23.2 23.4 23.0 23.0 24.7 25.6 14 17.5 20.7 20.7 広島市 24.4 19.1 19.4 19.3 16.0 20.0 15 北九州市 28.5 26.2 26.5 23.8 22.9 27.7 28.5 26.3 33.5 福岡市 16 17.3 20.7 18.4 16.9 19.0 21.7 20.2 19.6 21.1 17 浜松市 9.1 13.3 122 87 10.7 10.2 【参考】年齢調整死亡率 新潟市 6.7 6.8 6.0 5.4 7.7 6.0 6.3 5.3 6.0 6.3 6.0 5.7 全国 7.5 7.8 9.1 9.0 9.0 9.1 8.8 8.8 8.5 8.1 8.1 7.7 新潟県 5.5 4.8 4.5 5.0 5.3 5.4 5.2 5.1 5.8 6.0 5.0 4.2

	】(男性の 昭和60年		平成7年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年		(単位:人口 平成16年	
新潟市		, /202-1"	9.8	10.0	11.8	11.2	11.6	12.7	14.8	14.0	13.0	15.
全国	4.5	5.7	8.9	10.2	11.1	11.4	12.2	12.4	13.2	13.7	14.4	15.
新潟県	4.0	5.7	10.6	11.2	12.7	12.4	13.2	13.6	15.2	16.2	18.2	17.
政令市平均			10.0	8.3	8.9	9.5	10.3	10.0	11.4	11.7	12.2	12.
札幌市			<u>                                     </u>									
-				8.7	8.0	8.7	9.9	10.7	11.2	10.8	13.4	14.
仙台市				5.4	8.1	9.7	9.7	8.6	9.2	12.4	11.4	13.
さいたま市											12.1	10
千葉市				7.9	8.6	9.0	6.8	8.6	10.3	8.7	10.2	12
横浜市				8.6	9.5	9.3	10.2	10.5	10.7	12.4	12.2	13
川崎市				7.4	6.2	6.8	8.4	7.6	10.1	10.9	13.6	9
静岡市						15.6	11.0	15.0	14.1		16.5	15
名古屋市				8.8	7.3	8.9	10.0	9.1	12.1	9.5	12.1	11
京都市				8.6	10.8	11.1	11.3	12.9	12.4	13.8	11.7	13
大阪市				8.2	9.3	9.6	10.2	8.9	11.2	12.7	11.4	14
・ 堺市				0.2	3.5		7.7	8.8		8.4		12
				7.0	0.0	7.5			11.5		10.2	
神戸市				7.0	9.3	10.5	12.1	8.4	9.7	11.7	12.3	14
広島市				9.5	9.9	10.2	11.6	9.7	11.6	11.1	11.5	12
北九州市				11.3	12.5	9.2	15.4	13.0	16.2	15.6	15.9	13
福岡市				7.1	5.9	9.5	10.1	9.5	9.6	10.5	9.7	8
浜松市						10.0	9.2	8.8	14.4		14.2	17
考】年齢調整	整死亡率											
新潟市			8.5	8.1	9.0	8.3	7.8	8.5	9.5	8.6	7.5	8.
全国	5.5	6.0	7.7	8.2	8.6	8.5	8.6	8.4	8.5	8.5	8.5	8
新潟県			7.5	7.3	8.0	7.5	7.4	7.5	8.0	8.2	9.0	8
乳がん](女	性のみ)											
10,0 102(50	昭和60年	平成2年	平成7年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17
新潟市	5.2	10.3	12.9	13.3	12.5	12.2	15.7	16.3	13.4	18.4	17.6	16.
全国	8.0	9.4	12.2	13.2	13.4	13.9	14.3	15.0	14.9	15.2	16.3	16
新潟県	6.2	10.0		13.2	11.1		13.4			14.4	15.6	16
政令市平均	0.2	10.0	10.7			12.4		14.5	13.3			
				14.0	14.1	14.8	15.1	15.1	15.0	15.9	16.7	17
札幌市				13.8	14.5	14.8	15.3	16.9	16.3	15.2	18.7	17
仙台市				12.4	13.9	14.4	14.4	12.6	14.4	14.7	14.1	18
さいたま市						11.5	13.9	15.4	13.3	17.6	16.8	17
千葉市				14.0	12.5	11.5	14.1	15.8	16.9	12.6	19.3	18
横浜市				13.2	14.9	14.5	17.3	16.7	14.9	14.5	18.5	17
川崎市				15.2	12.8	13.8	12.7	14.8	11.0	14.1	13.3	18
静岡市						12.9	15.5	16.8	14.7		20.5	19
名古屋市				15.0	14.9	15.0	15.5	16.0	15.1	18.5	17.0	15
京都市				14.0	13.2	18.6	13.1	13.9	16.1	16.7	16.3	15
大阪市				16.5	14.8	16.3	15.5	14.1	15.3	16.5	14.6	20
界市				10.5	14.0		14.4		14.4	15.1		15
				11.0	15.0	16.4		12.5			16.3	
神戸市				11.3	15.2	16.7	16.0	17.3	14.8	16.4	18.3	17
4 広島市				13.3	12.2	13.5	11.5	11.9	14.4	15.5	16.1	14
1 北九州市				13.6	15.0	12.4	16.5	14.1	18.8	20.0	15.2	21
福岡市				13.9	13.5	16.5	15.0	14.0	13.5	13.5	14.3	16
7 浜松市						13.0	14.0	15.0	17.4		16.5	14
考】年齢調整	逐死亡率											
新潟市	4.9	9.6	10.4	10.4	9.6	9.5	11.9	11.3	10.1	14.4	12.3	12
全国	7.6	8.2	9.9	10.4	10.4	10.5	10.7	11.1	10.8	10.9	11.4	11
新潟県	5.5	8.3	8.0	9.8	8.2	9.0	9.8	10.0	9.5	10.3	10.5	11
子宮がん](	女性のみ	r)										
	昭和60年	平成2年	平成7年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17
新潟市	4.4	4.3	6.1	3.4	4.6	6.2	8.7	4.3	7.4	7.6	7.4	9
全国	8.0	7.4	7.7	7.9	7.8	8.0	8.1	8.1	8.3	8.2	8.6	8
新潟県	5.5	5.4	5.5	5.2	6.1	6.2	7.6	5.8	6.5	7.4	7.6	8
政令市平均	0.0			7.3	7.4	7.6	7.7	7.9	7.8	7.8	8.4	8
札幌市			<u> </u>	5.8	6.5	7.6	6.5	7.3	7.1	7.6	7.8	7
仙台市				4.7	6.3	5.3	4.7	4.1	4.2	5.9	5.7	8
-				4.7	0.3							
さいたま市				0.0	7.0	7.7	5.2	7.8	7.7	8.0	6.0	6
				3.3	7.2	7.6	9.2	8.1	8.7	6.2	9.0	6
				6.8	6.8	6.9	7.1	8.9	8.3	8.0	8.0	7
横浜市				5.2	4.8	5.9	8.6	8.5	6.5	5.8	6.8	6
横浜市 川崎市						7.5	8.0	7.1	8.8		9.0	9
横浜市 川崎市 静岡市				8.4	7.7	7.3	7.9	9.7	7.4	8.5	10.3	8
横浜市 川崎市 静岡市					0.0	9.1	7.4	7.9	6.9	7.7	12.2	9
横浜市 川崎市 静岡市 名古屋市				8.6	9.0		0.0	8.1	9.1	8.7	9.1	9
横浜市 川崎市 静岡市 名古屋市 京都市				8.6 8.7	9.0	9.2	9.8					
横浜市 川崎市 静岡市 名古屋市 ) 京都市 大阪市						9.2 4.6	7.5	10.0	7.8	7.8	9.0	8
横浜市 川崎市 名古屋市 の 京都市 1 大阪市 2 堺市				8.7	9.8	4.6	7.5	10.0	7.8			
横浜市 川崎市 名古屋市 の 京都市 大阪市 2 堺市 3 神戸市				8.7	9.8 5.2	4.6 9.5	7.5 7.1	10.0 8.1	7.8 9.5	9.3	11.3	7
横浜市 川崎市 名古都市 大阪市 場 神戸市 は 広島市				8.7 10.4 7.3	9.8 5.2 8.0	4.6 9.5 6.9	7.5 7.1 7.3	10.0 8.1 4.8	7.8 9.5 6.3	9.3 8.4	11.3 6.4	7 6
横浜市市市市 名古都市市 大塚市市 4 広場市市 4 広場市市 4 広場市市 4 広場市市 4 広場市市 4 広場市市 4 広場市 7 大阪市市 4 大阪市市 4 大大阪市 7 大阪市 7 大				10.4 7.3 10.9	9.8 5.2 8.0 11.0	4.6 9.5 6.9 10.9	7.5 7.1 7.3 10.4	10.0 8.1 4.8 9.4	7.8 9.5 6.3 10.5	9.3 8.4 7.4	11.3 6.4 9.1	7 6 7
横浜崎岡店市市市市 大塚市市市市 大塚市市市市 大塚市市 市 大塚市市 市 大塚市市 市 大塚市市市 市 広島州市 市 北九岡市				8.7 10.4 7.3	9.8 5.2 8.0	4.6 9.5 6.9 10.9 6.6	7.5 7.1 7.3 10.4 7.1	10.0 8.1 4.8 9.4 8.7	7.8 9.5 6.3 10.5 7.5	9.3 8.4	11.3 6.4 9.1 6.0	7 6 7 8
横浜崎岡屋市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市				10.4 7.3 10.9	9.8 5.2 8.0 11.0	4.6 9.5 6.9 10.9	7.5 7.1 7.3 10.4	10.0 8.1 4.8 9.4	7.8 9.5 6.3 10.5	9.3 8.4 7.4	11.3 6.4 9.1	7 6 7 8
横浜崎岡屋市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			10.4 7.3 10.9	9.8 5.2 8.0 11.0	4.6 9.5 6.9 10.9 6.6	7.5 7.1 7.3 10.4 7.1	10.0 8.1 4.8 9.4 8.7	7.8 9.5 6.3 10.5 7.5	9.3 8.4 7.4	11.3 6.4 9.1 6.0	7 6 7 8
横浜崎岡屋市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市	逐死亡率	4.3	3.9	10.4 7.3 10.9	9.8 5.2 8.0 11.0	4.6 9.5 6.9 10.9 6.6	7.5 7.1 7.3 10.4 7.1	10.0 8.1 4.8 9.4 8.7	7.8 9.5 6.3 10.5 7.5	9.3 8.4 7.4	11.3 6.4 9.1 6.0	7 6 7 8 8
横浜崎岡屋市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市		<b>4.3</b> 5.8	3.9 5.4	10.4 7.3 10.9 6.6	9.8 5.2 8.0 11.0 6.9	4.6 9.5 6.9 10.9 6.6 7.4	7.5 7.1 7.3 10.4 7.1 7.4	10.0 8.1 4.8 9.4 8.7 5.2	7.8 9.5 6.3 10.5 7.5 6.6	9.3 8.4 7.4 7.1	11.3 6.4 9.1 6.0 6.2	8 7 6 7 8 8 8

(1)要介護(要支援)認定率の推移(第1号被保険者) 新温市

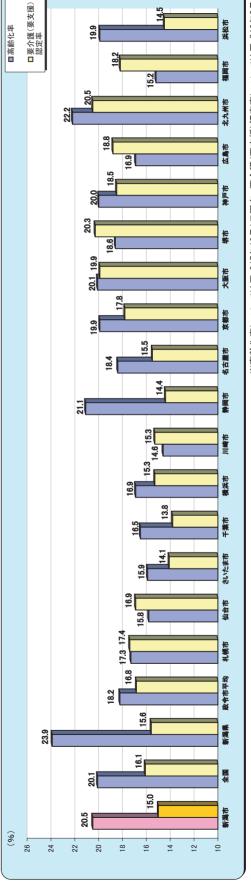
(単位:人)

15.0%	14.3%	13.6%	12.9%	11.8%	介護(要支援)認定率	要介
167,545	163,222	159,608	156,104	151,225	×	妣
25,058	23,316	21,768	20,117	17,902	슈計	×
3,383	3,348	3,212	2,921	2,781	要介護5	一 一
4,125	3,538	3,369	2,960	2,738	要介護4	_
3,804	3,638	3,264	2,694	2,530	要介護3	
3,945	3,748	3,607	3,867	3,592	要介護2	
7,580	6,766	6,103	5,504	4,682	要介護1	£
2,221	2,278	2,213	2,171	1,579	要支援	#
平成17年度	平成16年度	平成15年度	平成14年度	平成13年度		



資料:厚生労働省「介護保険事業状況報告」

# (2)政令市との高齢化率と要介護(要支援)認定率の比較(第1号被保険者)



※高齢化率については平成17年10月1日現在,要介護(要支援)認定率については平成18年3月末 現在の,平成19年4月1日現在の市域の数値 資料:厚生労働省「平成17年度介護保険事業状況報告」 総務省統計局「平成17年国勢調査」

(3)政令市等の高齢者及び要介護(要支援)認定者(第1号被保険者)の状況

						(単位:人)
	国勢調査人口 A	高齢者数 B	高齢化率 B/A	第1号被保険者数 C	第1号被保険者 要介護(要支援) 認定者数 D	要介護(要支援) 認定率 D/C
1   第   第   1	市 813,847	166,995	20.5%	167,545	25,058	15.0%
全国	127,767,994	25,672,005	20.1%	25,877,564	4,175,295	16.1%
新潟県	2,431,459	580,739	23.9%	583,857	91,334	15.6%
政令市平均	1,439,357	260,117	18.2%	261,951	44,591	16.8%
2 札 幌 戸	十 1,880,863	325,401	17.3%	325,005	56,616	17.4%
3 仙 台 戸	市 1,025,098	161,795	15.8%	163,549	27,645	16.9%
4 さいたまけ	市 1,176,314	186,779	15.9%	189,436	26,641	14.1%
5 千 葉 7	市 924,319	152,231	16.5%	151,998	20,923	13.8%
6 横 浜 戸	市 3,579,628	603,839	16.9%	611,750	93,823	15.3%
7 川 崎 「	市 1,327,011	194,176	14.6%	196,820	30,106	15.3%
8 静 岡 戸	市 713,723	150,389	21.1%	152,684	22,013	14.4%
9 名 古 屋 F	市 2,215,062	408,558	18.4%	412,686	63,952	15.5%
10 京 都 「	市 1,474,811	292,927	19.9%	294,819	52,370	17.8%
11 大阪 〒	市 2,628,811	529,692	20.1%	530,505	105,818	19.9%
	中 830,966	154,857	18.6%	155,922	31,686	20.3%
13 神 戸 市	市 1,525,393	305,301	20.0%	307,521	26,807	18.5%
14 広島 7	市 1,154,391	194,598	16.9%	195,567	36,786	18.8%
15 北 九 州 戸	市 993,525	220,985	22.2%	222,829	45,611	20.5%
16 福 岡 戸	市 1,401,279	213,380	15.2%	213,730	38,924	18.2%
17 浜 松 戸	市 804,032	160,086	19.9%	160,795	23,262	14.5%

※平成18年3月末現在要介護(要支援)認定者数, 平成17年10月1日現在国勢調査人口 新潟市及び静岡市の数値は合併市町村を含む平成19年4月1日現在の市域の数値

資料:厚生労働省「平成17年度介護保険事業状況報告」 総務省統計局「平成17年国勢調査」

# 雇用

# (1)就業率

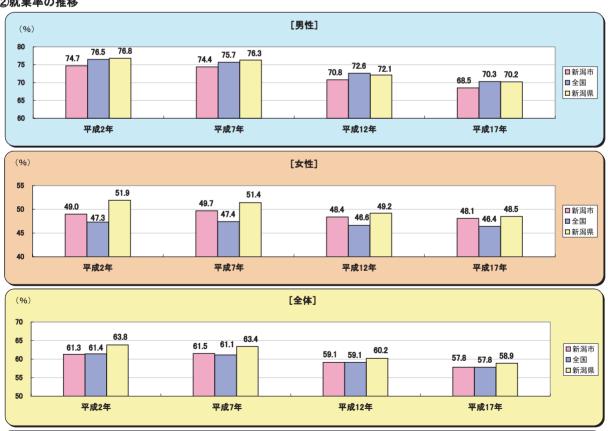
### ①就業者数及び就業率の推移

(単位:人)

			平成2年			平成7年			平成12年			平成17年	
		就業者数 A	15歳以上 人口 B	就業率 A/B									
	新潟市	223,935	299,860	74.7%	237,186	318,822	74.4%	232,503	328,206	70.8%	224,951	328,340	68.5%
男性	全国	37,245,465	48,705,884	76.5%	38,528,962	50,886,797	75.7%	37,248,770	51,329,934	72.6%	35,735,300	50,857,891	70.3%
	新潟県	739,169	962,569	76.8%	763,095	1,000,219	76.3%	728,564	1,009,866	72.1%	698,895	995,238	70.2%
,	新潟市	161,086	328,558	49.0%	171,973	346,323	49.7%	173,090	357,534	48.4%	174,818	363,665	48.1%
女性	全国	24,436,177	51,675,605	47.3%	25,612,582	54,012,287	47.4%	25,729,190	55,154,178	46.6%	25,770,673	55,549,567	46.4%
	新潟県	542,894	1,046,359	51.9%	554,234	1,078,464	51.4%	537,239	1,092,024	49.2%	526,680	1,086,244	48.5%
	新潟市	385,021	628,418	61.3%	409,159	665,145	61.5%	405,593	685,740	59.1%	399,769	692,005	57.8%
全  体	全国	61,681,642	100,381,489	61.4%	64,141,544	104,899,084	61.1%	62,977,960	106,484,112	59.1%	61,505,973	106,407,458	57.8%
	新潟県	1,282,063	2,008,928	63.8%	1,317,329	2,078,683	63.4%	1,265,803	2,101,890	60.2%	1,225,575	2,081,482	58.9%
高	新潟市	18,394	96,688	19.0%	25,683	120,178	21.4%	27,250	143,299	19.0%	30,243	165,783	18.2%
齢	全国	3,566,387	14,795,521	24.1%	4,645,824	18,189,046	25.5%	4,891,445	21,580,691	22.7%	5,415,795	25,138,591	21.5%
者	新潟県	89,033	377,357	23.6%	119,774	454,475	26.4%	119,174	524,490	22.7%	127,239	578,680	22.0%

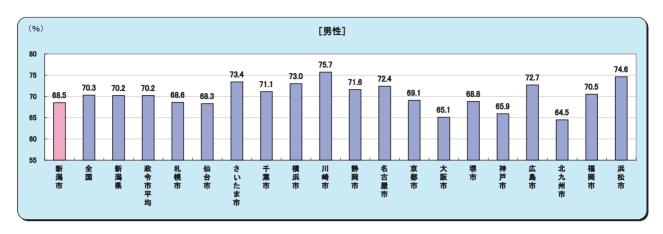
- 資料:総務省統計局「国勢調査」
  注1:新潟市の数値は旧巻町含む平成19年4月1日現在の市域の数値
  注2:平成12年以前のさいたま市の数値は旧浦和,大宮,与野、岩槻市の合計値
  注3:静岡市の数値は旧清水市及び旧蒲原町含む平成19年4月1日現在の市域の数値
  注4:平成12年以前の京都市の数値は旧清水市及び旧京北町の合計値
  注5:平成12年以前の京都市の数値は旧京都市及び旧京北町の合計値
  注5:平成12年以前の京都市の数値は旧界市及び旧第原町の合計値
  注6:平成12年以前の成市の数値は旧財の数値は日泉都市及び旧京北町の合計値
  注5:平成12年以前の広島市の数値は日成島市及び旧湯東町の合計値
  注6:平成12年以前の広島市の数値は日成島市及び旧湯東町の合計値
  注6:平成12年以前の広島市の数値は日成島、市及び日湯東町の合計値
  注6:平成12年以前の浜松市の数値は日浜松、浜北、天竜市及び日郷灰、雄路、細江、引佐、三ケ日、春野、佐久間、水窪町さらに龍山村の合計値
  注8:15歳以上人口には労働力状態「不詳」を除く。

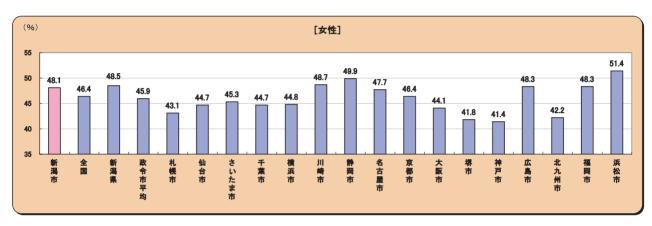
### ②就業率の推移

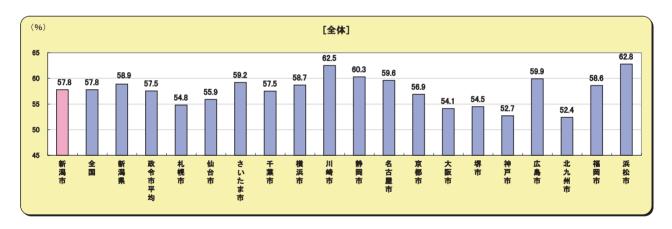


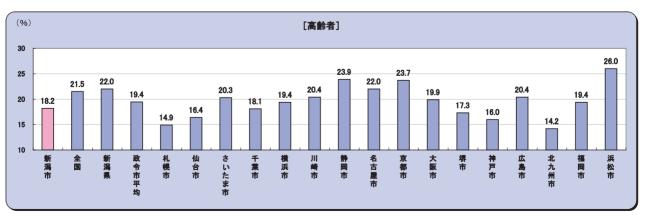
# 雇用

### ③政令市との就業率の比較









資料:総務省統計局「平成17年国勢調査」

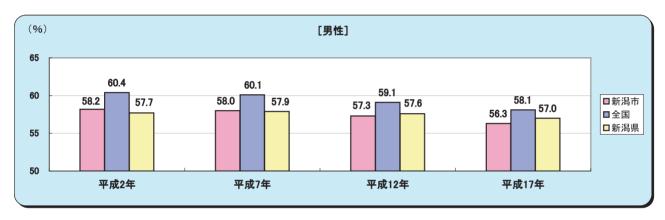
# (2)就業者割合

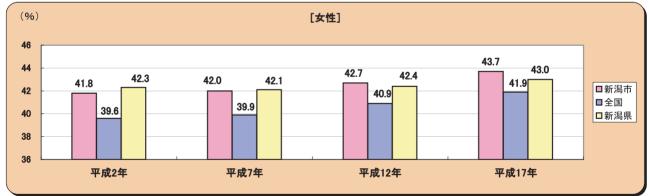
### ①就業者割合の推移

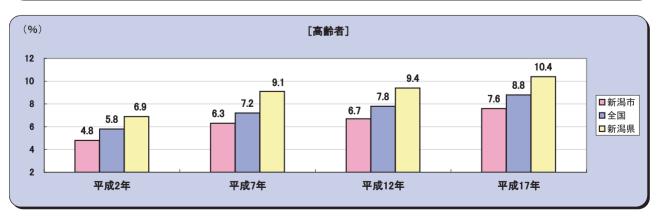
(単位:%)

		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
	新潟市	58.2	58.0	57.3	56.3
男性	全国	60.4	60.1	59.1	58.1
	新潟県	57.7	57.9	57.6	57.0
	新潟市	41.8	42.0	42.7	43.7
女性	全国	39.6	39.9	40.9	41.9
	新潟県	42.3	42.1	42.4	43.0
高	新潟市	4.8	6.3	6.7	7.6
齢	全国	5.8	7.2	7.8	8.8
者	新潟県	6.9	9.1	9.4	10.4

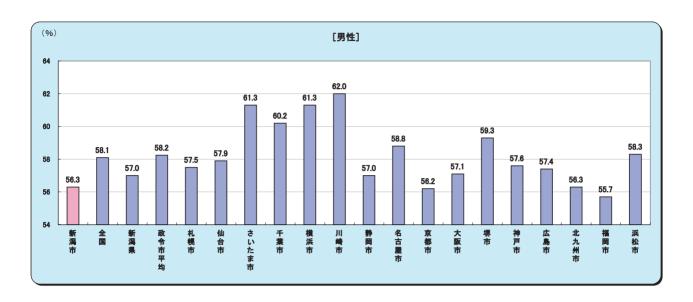
資料:総務省統計局「国勢調査」

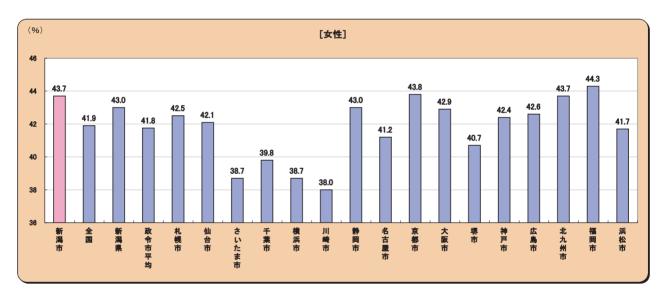


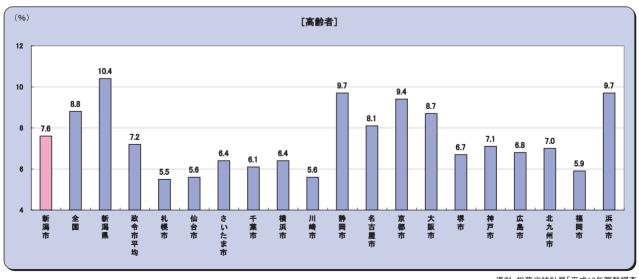




### ②政令市との就業者割合の比較







資料:総務省統計局「平成17年国勢調査」

# (3)労働力率

### ①労働力人口及び労働力率の推移

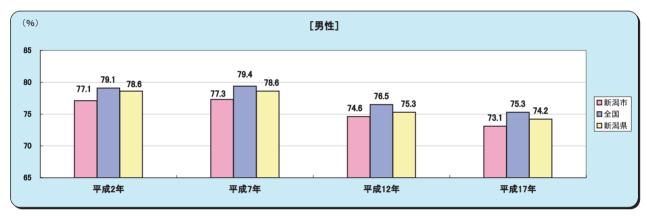
(単位:人)

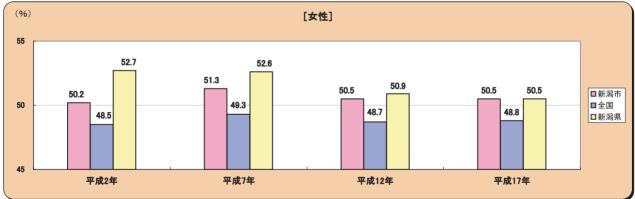
			平成2年			平成7年			平成12年			平成17年	
		労働力人口 C	15歳以上 人口 B	労働力率 C/B									
	新潟市	231,059	299,860	77.1%	246,332	318,822	77.3%	244,679	328,206	74.6%	239,987	328,340	73.1%
男性	全国	38,522,691	48,705,884	79.1%	40,396,503	50,886,797	79.4%	39,250,238	51,329,934	76.5%	38,289,846	50,857,891	75.3%
-	新潟県	756,749	962,569	78.6%	786,435	1,000,219	78.6%	760,780	1,009,866	75.3%	738,921	995,238	74.2%
,	新潟市	164,972	328,558	50.2%	177,530	346,323	51.3%	180,604	357,534	50.5%	183,585	363,665	50.5%
女性	全国	25,072,648	51,675,605	48.5%	26,621,484	54,012,287	49.3%	26,847,578	55,154,178	48.7%	27,109,839	55,549,567	48.8%
	新潟県	551,733	1,046,359	52.7%	567,749	1,078,464	52.6%	555,834	1,092,024	50.9%	548,625	1,086,244	50.5%
	新潟市	396,031	628,418	63.0%	423,862	665,145	63.7%	425,283	685,740	62.0%	423,572	692,005	61.2%
全体	全国	63,595,339	100,381,489	63.4%	67,017,987	104,899,084	63.9%	66,097,816	106,484,112	62.1%	65,399,685	106,407,458	61.5%
	新潟県	1,308,482	2,008,928	65.1%	1,354,184	2,078,683	65.1%	1,316,614	2,101,890	62.6%	1,287,546	2,081,482	61.9%

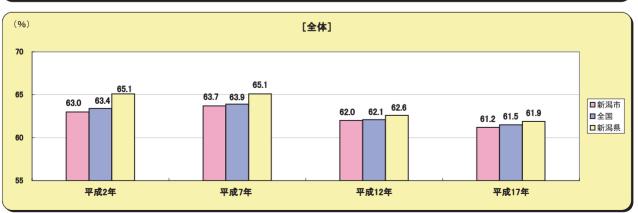
注: 15歳以上人口には労働力状態「不詳」を除く。

資料:総務省統計局「国勢調査」

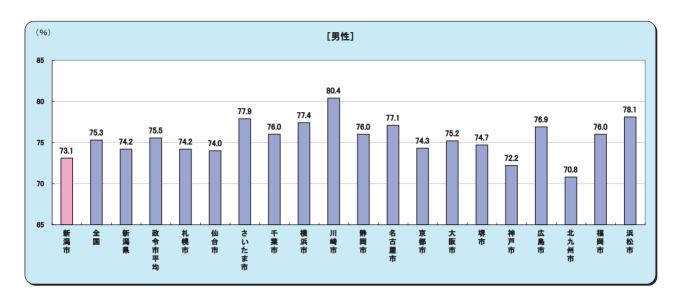
### ②労働力率の推移

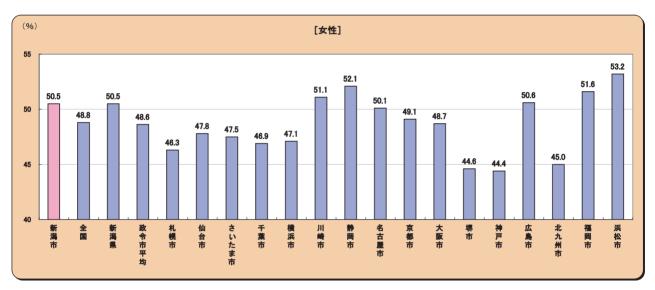


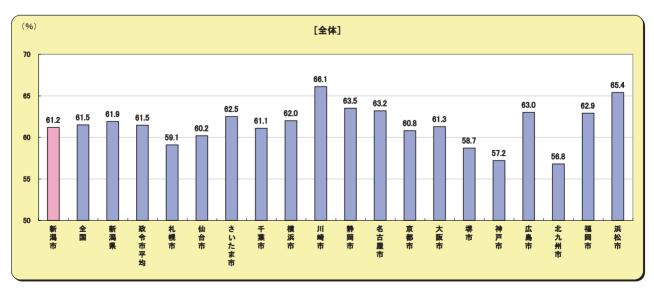




### ③政令市との労働力率の比較







資料:総務省統計局「平成17年国勢調査」

# (4)有効求人倍率(パート含む全数, 年度平均)

### ①有効求人倍率の推移

	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
新潟市	1.18	0.94	0.95	0.85	0.53	0.48	0.66	0.61	0.67	0.74	0.91	1.04
全国	0.64	0.64	0.72	0.69	0.50	0.49	0.62	0.56	0.56	0.69	0.86	0.98
新潟県	1.18	1.08	1.13	1.04	0.58	0.52	0.63	0.52	0.54	0.62	0.80	1.01

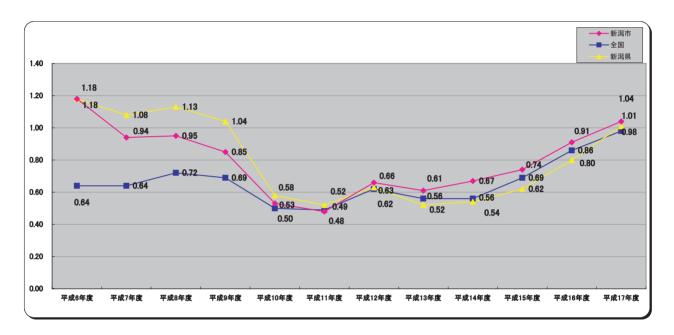
資料:厚生労働省職業安定局「一般職業紹介状況」 新潟公共職業安定所「ハローワーク統計」

各政令指定都市の数値は各市管轄公共職業安定所提供数値及び

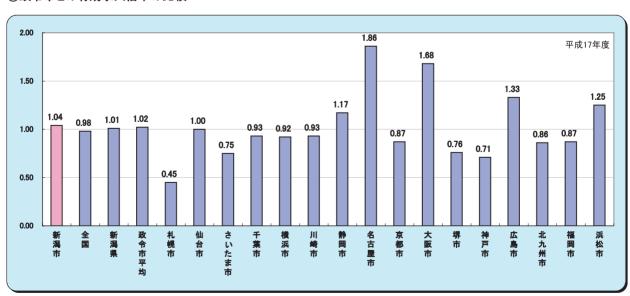
横浜市「大都市比較統計年表(平成16年)」, 大坂市「データでみる大阪のすがた(平成17年度版)」, 大阪,福岡労働局年報(平成17年度)

※平成17年度の新潟市及び政令指定都市の数値は季節調整前の数値

※下版17年度の初週間及の取り用在部門の数値は子知調整剤の数値 注1:新潟市の数値は新潟公共職業安定所管轄地域の数値 注2:政令指定都市の数値について、数値提供公共職業安定所の管轄区域に、その 市の地域の一部を含まない場合や、その市以外の地域を一部含む場合がある。



### ②政令市との有効求人倍率の比較



- 注1: 札幌市の数値は平成18年6月の数値
- 注1: 145円10分配は下げ、16+0月の数配 注2: 14台、さいたま、横浜、京都、神戸市の数値は平成16年度の数値 注3: 堺市の数値は堺公共職業安定所管轄地域の数値
- 注4: 静岡市の数値は静岡労働局管轄区域の数値

# (5)完全失業率

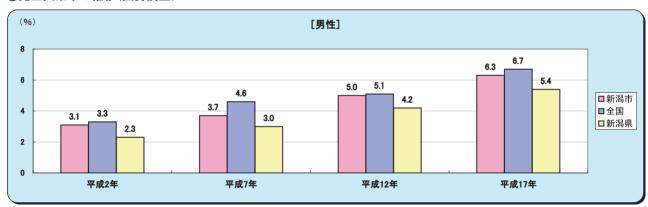
### ①完全失業率の推移

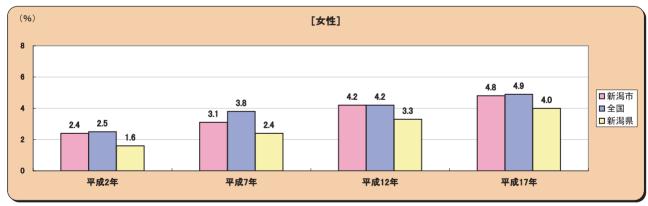
<b>D</b> 5	完全失業	率の推移												(単位:%)
			平成2年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
	新潟市	国勢調査	3.1	3.7					5.0					6.3
男性	新潟県	国勢調査	2.3	3.0					4.2					5.4
性	全国	国勢調査	3.3	4.6					5.1					6.7
		労働力調査	2.0	3.1	3.4	3.4	4.2	4.8	4.9	5.2	5.5	5.5	4.9	4.6
	新潟市	国勢調査	2.4	3.1					4.2					4.8
女	新潟県	国勢調査	1.6	2.4					3.3					4.0
性	全国	国勢調査	2.5	3.8					4.2					4.9
		労働力調査	2.2	3.2	3.3	3.4	4.0	4.5	4.5	4.7	5.1	4.9	4.4	4.2
	新潟市	国勢調査	2.8	3.5					4.6					5.6
全	新潟県	国勢調査	2.0	2.7					3.9					4.8
全体	- 夕団	国勢調査	3.0	4.3					4.7					6.0
		労働力調査	2.1	3.2	3.4	3.4	4.1	4.7	4.7	5.0	5.4	5.3	4.7	4.4
			2.1	3.2	3.4	3.4	4.1	4.7			5.4			動力調

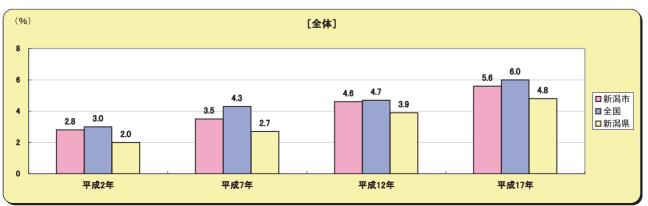
注:労働力調査の数値は年内月平均値である。 (完全失業者数:労働力人口)×100

資料:総務省統計局「国勢調査」, 「労働力調査」

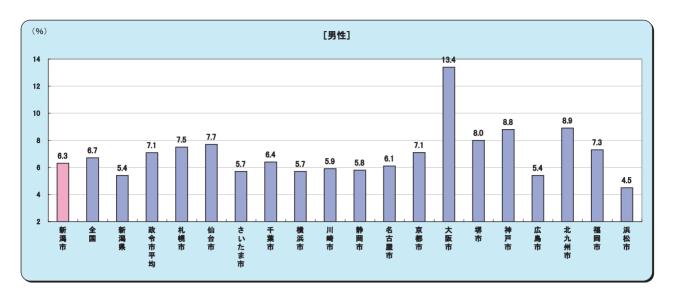
### ②完全失業率の推移(国勢調査)

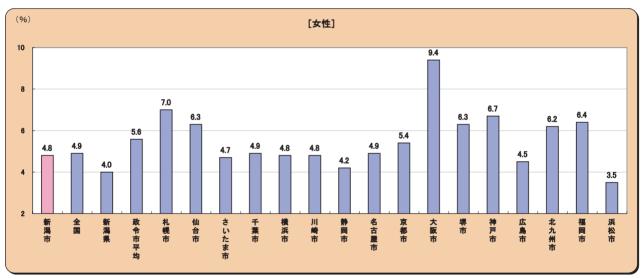


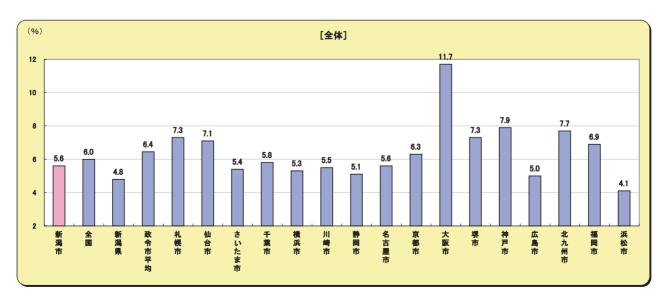




### ③政令市との完全失業率の比較





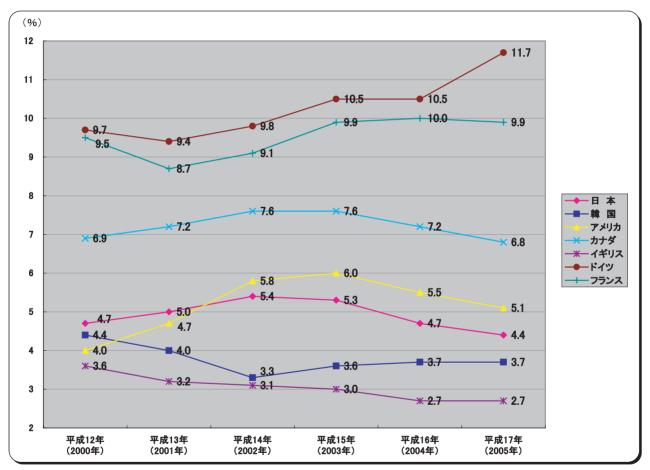


資料:総務省統計局「平成17年国勢調査」

### ④主要国の失業率の推移(年平均)

(単位:%)

							(華田 : 70)
	日本	韓国	アメリカ	カナダ	イギリス	ドイツ	フランス
平成12年 (2000年)	4.7	4.4	4.0	6.9	3.6	9.7	9.5
平成13年 (2001年)	5.0	4.0	4.7	7.2	3.2	9.4	8.7
平成14年 (2002年)	5.4	3.3	5.8	7.6	3.1	9.8	9.1
平成15年 (2003年)	5.3	3.6	6.0	7.6	3.0	10.5	9.9
平成16年 (2004年)	4.7	3.7	5.5	7.2	2.7	10.5	10.0
平成17年 (2005年)	4.4	3.7	5.1	6.8	2.7	11.7	9.9



資料:総務省統計局「労働力調査(平成18年5月分公表結果)」

### 各国公表值

### 注1) 失業者の把握方法

- ・韓国、アメリカ及びカナダは、日本と同様に、毎月実施する労働力調査の結果による。
- ・イギリス、ドイツ及びフランスは、失業給付登録者数、職業紹介機関の登録者数、労働力調査結果等による。

### 注2) 労働力人口の範囲

・日本、イギリス及びフランスは全労働力人口であり、韓国、アメリカ、カナダ及びドイツは軍人を除く労働力人口である。

# (6)産業別就業者割合

### ①産業別就業者数及び就業者割合の推移

(単位:人)

		平成	ξ2年	平成	え7年	平成	12年	平成17年		
		就業者数 D	就業者割合 D/A	就業者数 D	就業者割合 D/A	就業者数 D	就業者割合 D/A	就業者数 D	就業者割合 D/A	
第	新潟市	26,126	6.8%	24,222	5.9%	19,755	4.9%	18,695	4.7%	
火産	全国	4,391,281	7.1%	3,819,849	6.0%	3,172,509	5.0%	2,965,791	4.8%	
業	新潟県	135,499	10.6%	119,883	9.1%	92,127	7.3%	92,194	7.5%	
第	新潟市	108,770	28.3%	112,993	27.6%	106,079	26.2%	92,421	23.1%	
次産	全国	20,548,086	33.3%	20,247,428	31.6%	18,571,057	29.5%	16,065,188	26.1%	
業	新潟県	475,238	37.1%	474,719	36.0%	435,752	34.4%	380,795	31.1%	
第 3	新潟市	249,303	64.8%	270,482	66.1%	276,327	68.1%	283,044	70.8%	
次産	全国	36,421,356	59.0%	39,642,059	61.8%	40,484,679	64.3%	41,328,993	67.2%	
業	新潟県	670,321	52.3%	720,817	54.7%	733,329	57.9%	744,314	60.7%	

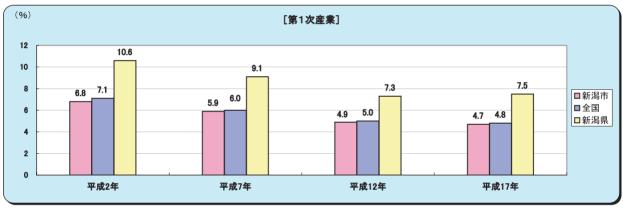
資料:総務省統計局「国勢調査」

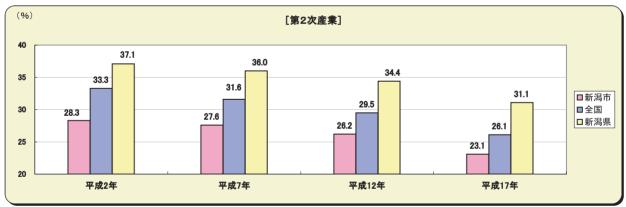
第1次産業:農業、林業、漁業 第2次産業:鉱業、建設業、製造業

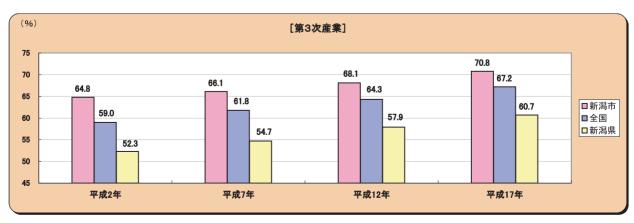
注

第3次産業:電気・ガス・熱供給・水道業,情報通信業,運輸業,卸売・小売業,金融・保険業,不動産業,飲食店・宿泊業, 医療・福祉,教育・学習支援業,複合サービス事業,サービス業(他に分類されないもの)、公務(他に分類されないもの)

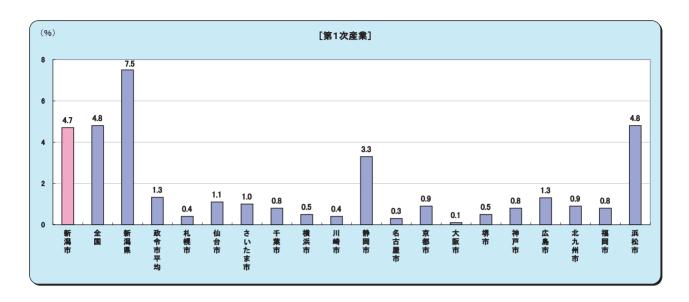
### ②産業別就業者割合の推移

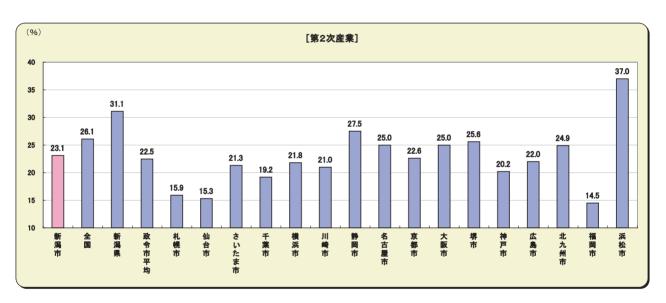


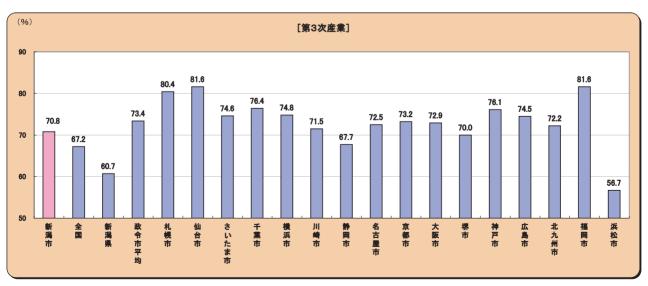




### ③政令市との産業別就業者割合の比較







資料:総務省統計局「平成17年国勢調査」

# (7)ニート

### ①ニート数及びニート比率の推移

(単位:人)

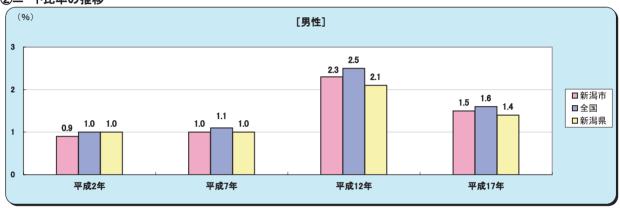
							(+E						
			平成2年			平成7年			平成12年			平成17年	
		二 <b>一</b> ト数 E	15歳~34歳 人口 F	二 <b>一</b> ト比率 E/F	二 <b>一</b> ト数 E	15歳~34歳 人口 F	二 <b>一</b> 卜比率 E/F	二 <b>一</b> 卜数 E	15歳~34歳 人口 F	二 <b>一</b> 卜比率 E/F	二 <b>一</b> ト数 E	15歳~34歳 人口 F	二 <b>一</b> ト比率 E/F
_	新潟市	955	102,708	0.9%	1,084	108,183	1.0%	2,462	107,574	2.3%	1,458	99,757	1.5%
男性	全国	171,509	17,478,885	1.0%	192,489	17,852,396	1.1%	427,879	17,062,779	2.5%	245,868	15,278,810	1.6%
'-	新潟県	2,982	298,608	1.0%	3,188	305,201	1.0%	6,377	297,925	2.1%	3,762	272,647	1.4%
Γ.	新潟市	416	105,240	0.4%	530	108,468	0.5%	1,805	106,954	1.7%	765	100,323	0.8%
女 性	全国	84,722	17,009,653	0.5%	101,127	17,299,501	0.6%	322,905	16,703,800	1.9%	144,138	15,135,154	1.0%
	新潟県	1,612	294,261	0.5%	1,799	295,409	0.6%	4,706	286,248	1.6%	2,211	263,156	0.8%
	新潟市	1,371	207,948	0.7%	1,614	216,651	0.7%	4,267	214,528	2.0%	2,223	200,080	1.1%
全  体	全国	256,231	34,488,538	0.7%	293,616	35,151,897	0.8%	750,784	33,766,579	2.2%	390,006	30,413,964	1.3%
1	新潟県	4,594	592,869	0.8%	4,987	600,610	0.8%	11,083	584,173	1.9%	5,973	535,803	1.1%

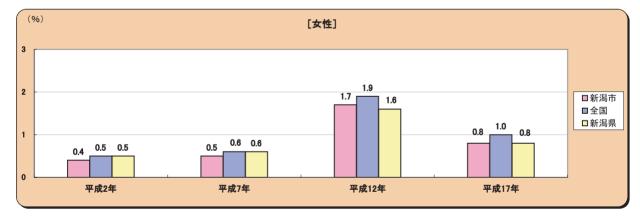
注:15歳~34歳人口には労働力状態「不詳」を除く。

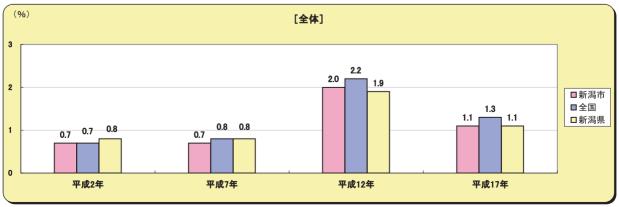
資料:総務省統計局「国勢調査」

※国勢調査のデータから、労働経済白書において「ニート」に近い概念として定義している「年齢15~34歳の非労働力人口のうち家事も通学もしていない者(若年無業者)」を集計。

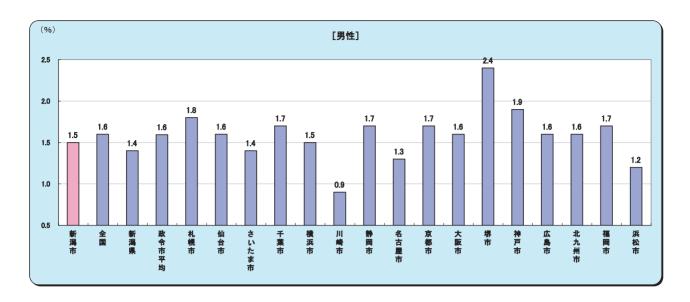
### ②ニート比率の推移

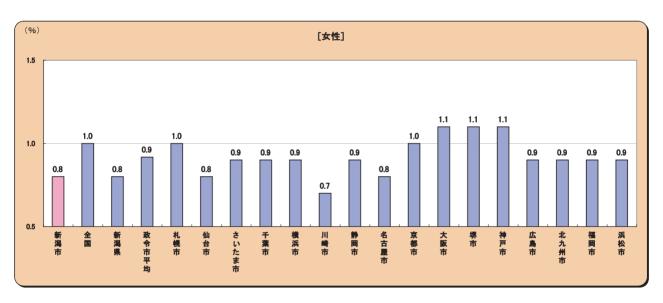


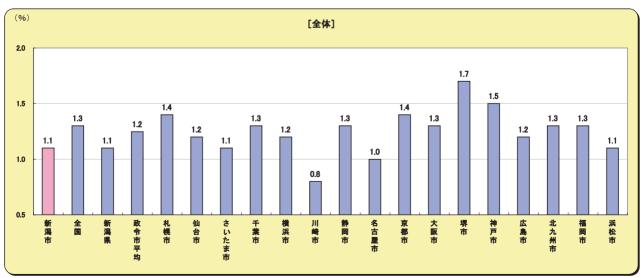




### ③政令市とのニート比率の比較







資料:総務省統計局「平成17年国勢調査」

# 6 医療費

### (1)国民健康保険1人当たり医療費の全国, 新潟県との比較

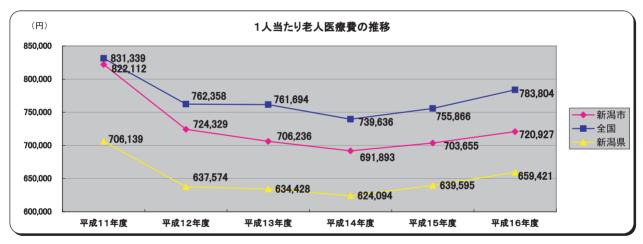
(単位:円)

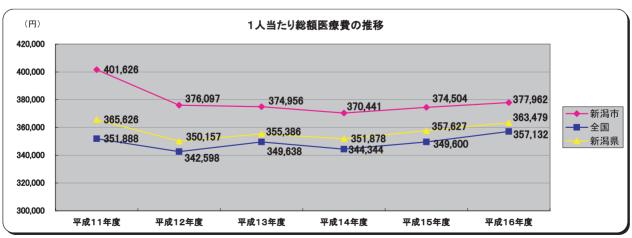
		区分	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	一般	1人当たり医療費	194,045	192,830	193,608	190,113	198,870	205,428
新	列又	〃 診療費	164,215	161,656	159,883	155,232	161,352	165,257
	退職者	1人当たり医療費	353,179	351,537	347,146	340,133	345,221	351,595
澙	赵柳石	〃 診療費	293,794	288,225	278,883	269,783	270,985	273,047
	老人	1人当たり医療費	822,112	724,329	706,236	691,893	703,655	720,927
市	七八	〃 診療費	623,597	593,115	572,589	552,237	557,378	567,642
	総額	1人当たり医療費	401,626	376,097	374,956	370,441	374,504	377,962
	—般	1人当たり医療費	181,338	183,935	186,736	183,562	190,239	196,234
	ŊХ	〃 診療費	157,762	158,719	159,214	154,773	158,660	162,071
全	退職者	1人当たり医療費	370,533	367,514	368,256	356,530	362,754	370,108
	赵朝日	〃 診療費	320,915	314,461	310,330	296,260	297,618	300,485
国	老人	1人当たり医療費	831,339	762,358	761,694	739,636	755,866	783,804
	七八	〃 診療費	669,581	643,952	639,306	612,054	619,881	638,823
	総額	1人当たり医療費	351,888	342,598	349,638	344,344	349,600	357,132
	<b>一</b> 般	1人当たり医療費	193,269	194,093	196,463	193,954	200,359	206,124
新	川又	〃 診療費	168,912	167,677	166,946	162,401	165,325	167,653
	退職者	1人当たり医療費	338,743	339,676	342,865	332,766	340,597	346,491
澙	医顺口	〃 診療費	294,689	290,435	286,606	272,480	274,246	273,527
	老人	1人当たり医療費	706,139	637,574	634,428	624,094	639,595	659,421
県	七八	〃 診療費	562,049	541,454	531,991	511,981	517,205	525,329
	総額	1人当たり医療費	365,626	350,157	355,386	351,878	357,627	363,479

資料:国民健康保険中央会発行「国民健康保険の実態」

※新潟市の数値は合併市町村含む平成19年4月1日現在の市域の数値

# (2)国民健康保険1人当たり老人医療費及び総額医療費の推移





# (3)政令市の国民健康保険1人当たり医療費の状況

(単位:円)

	区分		平成16年度
	一般	1人当たり医療費	241,350
	X	<u>" 診療費</u>	200,492
+1 #8 ===	退職者	1人当たり医療費	429,471
札幌市		<u>"</u> 診療費   1人当たり医療費	351,155 1,063,691
	老人	リーグヨルツ医療員	880,786
	総額	1人当たり医療費	482,918
		1人当たり医療費	182,241
	一般	"診療費	147,598
	退職者	1人当たり医療費	385,321
仙台市	医积日		305,008
	老人	1人当たり医療費	784,991
		パ 診療費	619,874
	総額	1人当たり医療費   1人当たり医療費	354,628 171,812
	一般	リーグコルク区原具 パージ療費	141,549
	\D 1545 +v	1人当たり医療費	332,879
さいたま市	退職者	// 診療費	269,786
	老人	1人当たり医療費	754,414
		〃 診療費	615,157
	総額	1人当たり医療費	324,302
	一般	1人当たり医療費	165,837
		ツッツ おり おり できます アイス	133,440
   千葉市	退職者	1人当たり医療費	324,220 257,636
1 7 11	,L	1人当たり医療費	734,999
	老人	"診療費	579,677
	総額	1人当たり医療費	301,256
	<b>一</b> 般	1人当たり医療費	184,106
	沙又	// 診療費	147,889
##:/c-+	退職者	1人当たり医療費	366,088
横浜市		パ 診療費	290,663
	老人	1人当たり医療費	722,107
	総額	// 診療費 1人当たり医療費	566,916 335,090
		1人当たり医療費	183,875
	一般	"診療費	143,827
	退職者	1人当たり医療費	420,154
川崎市	<b>赵</b> 赖石	〃 診療費	319,496
	老人	1人当たり医療費	772,456
		// 診療費	584,789
	<u>総額</u>	1人当たり医療費   1人当たり医療費	322,936 189,117
	一般	パージを原真 パージを原費	161,382
	\[ \tau_{\tau_{\tau}} \\ \tau_{\tau_{\tau}} \\ \tau_{\tau_{\tau}} \\ \tau_{\\ \tau_{\tau_{\\ \tau_{\tau_{\\ \tau_{\\ \\ \tau_{\\ \tau_{\\ \tau_{\\ \\ \tau_{\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	1人当たり医療費	352,269
静岡市	退職者	"診療費	294,282
	老人	1人当たり医療費	697,890
		〃 診療費	577,974
	総額	1人当たり医療費	342,793
	<b>一</b> 般	1人当たり医療費	203,619
		″ 診療費 1人当たり医療費	171,935 384,107
名古屋市	退職者	パージを原真 パージを原真	320,344
	_+/ !	1人当たり医療費	851,305
	老人	〃 診療費	708,458
	総額	1人当たり医療費	379,312
	<b>一</b> 般	1人当たり医療費	207,166
	XIII	パー 診療費	174,766
京都市	退職者	1人当たり医療費	394,260
가스테니니		<u>"</u> 診療費   1人当たり医療費	329,103 949,922
	老人	パヨルツ医療員  パー診療費	795,138
	総額	1人当たり医療費	423,461
		1人当たり医療費	220,616
	一般	〃 診療費	182,284
	退職者	1人当たり医療費	441,907
大阪市	AC-1190 D	// 診療費	360,034
	老人	1人当たり医療費	976,275
	総額	"診療費 1人当たり医療費	804,140 392,084
	小心行其	・ハコル7匹原貝	JJZ,U04

	区分		平成16年度
	一般	1人当たり医療費	203,463
	刊又	〃 診療費	170,437
	退職者	1人当たり医療費	397,404
堺市	<b>巡</b> 帆日	〃 診療費	334,143
	老人	1人当たり医療費	903,758
		〃 診療費	752,992
	総額	1人当たり医療費	376,353
	<b>一</b> 般	1人当たり医療費	212,005
	加又		173,591
	退職者	1人当たり医療費	399,879
神戸市	VE249X-13	〃 診療費	321,525
	老人	1人当たり医療費	854,412
		〃 診療費	689,740
	総額	1人当たり医療費	409,406
	一般	1人当たり医療費	227,459
	ZIN.	〃 診療費	187,630
	退職者	1人当たり医療費	437,081
広島市	<b>丛</b> 柳石	〃 診療費	351,188
	老人	1人当たり医療費	993,418
	七八	〃 診療費	812,119
	総額	1人当たり医療費	453,342
	<del>一</del> 般	1人当たり医療費	263,612
	אויו	〃 診療費	214,401
	退職者	1人当たり医療費	413,431
北九州市	匹眼日	// 診療費	328,013
	老人	1人当たり医療費	984,825
			793,796
	総額	1人当たり医療費	498,578
	一般	1人当たり医療費	214,277
		パー 診療費	177,179
	退職者	1人当たり医療費	426,641
福岡市		// 診療費	346,312
	老人	1人当たり医療費	1,017,467
	(4) 中王	// 診療費	832,884
	総額	1人当たり医療費	413,221
	一般	1人当たり医療費	181,584
		パー 診療費	153,367
たか 士	退職者	1人当たり医療費	355,569
浜松市		パー 診療費	297,131
	老人	1人当たり医療費	687,003
	4/小 安百	1 244川医療費	571,528
	<u>総額</u>	1人当たり医療費	331,467
	一般	1人当たり医療費	203,386
		パ 診療費	167,472
政令市平均	退職者	1人当たり医療費	388,957
以中川十均		パ 診療費	314,639
	老人	1人当たり医療費	851,168
	<b>公公</b> 安古	# 診療費 1人当たり医療費	691,389
	総額	「ハヨにり医獄箕	383,477

	一般	1人当たり医療費	182,025
	一列又	〃 診療費	149,326
	' FI Trib -12	1人当たり医療費	330,739
長野県	退職者	〃 診療費	264,417
	<b>≠</b> 1	1人当たり医療費	639,106
	老人	〃 診療費	515,394
	総額	1人当たり医療費	339,612
	一般	1人当たり医療費	189,721
		〃 診療費	155,291
	退職者	1人当たり医療費	330,569
長野市	<b>巡</b> 順日	〃 診療費	262,526
	老人	1人当たり医療費	653,458
	七人	〃 診療費	525,458
	総額	1人当たり医療費	361,036
咨	料·国民健康	保险由中全条行[国民	健康保険の宝能」

資料:国民健康保険中央会発行「国民健康保険の実態」 ※各市の数値は平成16年度末現在の市域の数値

# (4)国民健康保険被保険者の構成率の政令市との比較

平成16年度(年間平均)

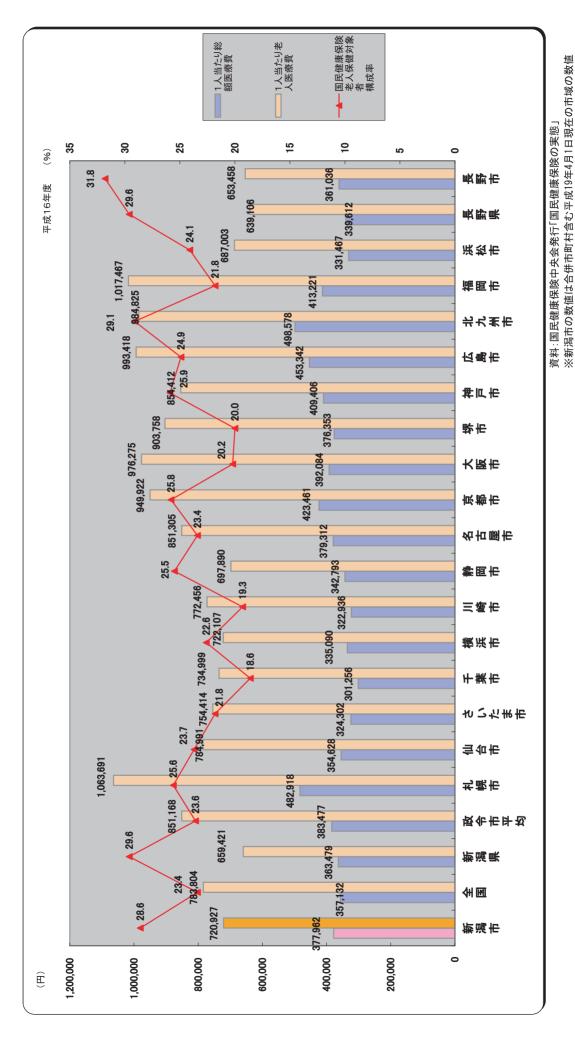
(単位:人)

1 /3	以16年度(年间	一般		退職者		老人		(単位:人) 総数
		被保険者数	被保険者数 構成率		構成率	被保険者数	構成率	被保険者数
1	新潟市	148,686	54.2%	47,239	17.2%	78,430	28.6%	274,355
	全国	32,574,008	63.1%	6,952,345	13.5%	12,070,446	23.4%	51,596,799
	新潟県	487,777	53.9%	150,089	16.6%	267,935	29.6%	905,801
	政令市平均	305,382	61.5%	69,929	14.9%	113,554	23.6%	488,865
2	札幌市	332,962	57.8%	95,374	16.6%	147,270	25.6%	575,606
3	仙台市	196,316	61.9%	45,692	14.4%	75,378	23.7%	317,386
4	さいたま市	208,373	62.3%	53,147	15.9%	72,816	21.8%	334,336
5	千葉市	199,427	62.8%	58,735	18.5%	59,154	18.6%	317,316
6	横浜市	711,437	61.2%	188,560	16.2%	262,444	22.6%	1,162,441
7	川崎市	306,129	69.9%	47,494	10.8%	84,431	19.3%	438,054
8	静岡市	157,669	59.8%	38,861	14.7%	67,198	25.5%	263,728
9	名古屋市	499,945	63.3%	105,342	13.3%	185,028	23.4%	790,315
10	京都市	300,168	61.1%	64,387	13.1%	126,895	25.8%	491,450
11	大阪市	785,628	71.2%	94,876	8.6%	222,501	20.2%	1,103,005
12	堺市	196,368	63.1%	52,801	17.0%	62,264	20.0%	311,433
13	神戸市	309,396	57.7%	87,825	16.4%	139,126	25.9%	536,347
14	広島市	215,666	58.4%	61,573	16.7%	92,055	24.9%	369,294
15	北九州市	201,829	54.0%	63,109	16.9%	108,580	29.1%	373,518
16	福岡市	297,128	67.0%	49,867	11.2%	96,720	21.8%	443,715
17	浜松市	124,367	59.7%	33,917	16.3%	50,130	24.1%	208,414
	長野県	494,692	55.5%	133,085	14.9%	264,201	29.6%	891,978
	長野市	66,141	51.3%	21,839	16.9%	41,024	31.8%	129,004

資料:国民健康保険中央会発行「国民健康保険の実態」

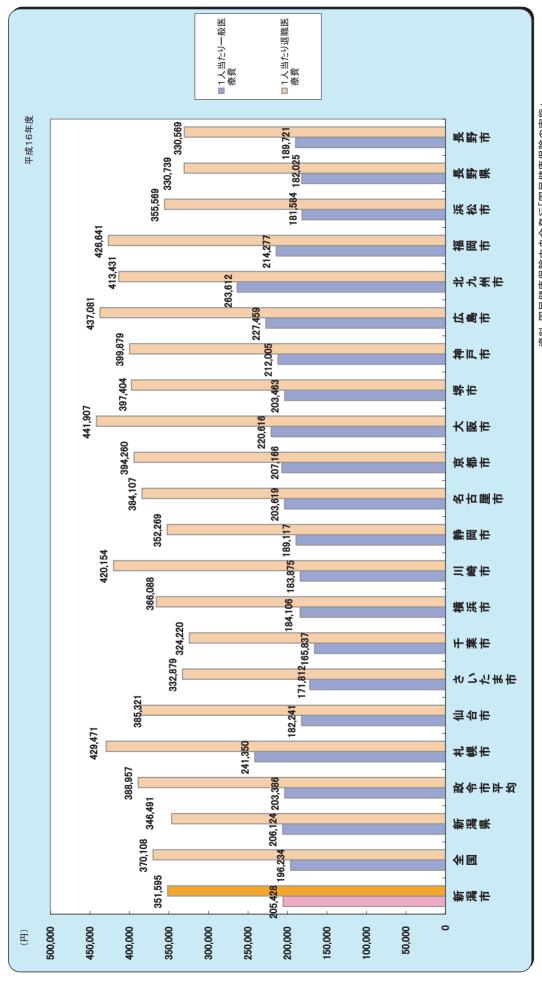
<sup>※</sup>新潟市の数値は合併市町村含む平成19年4月1日現在の市域の数値 その他政令市等の数値は平成16年度末現在の市域の数値

その他政令市等の数値は平成16年度末現在の市域の数値



(5)1人当たり医療費と国民健康保険老人保健対象者構成率の政令市との比較

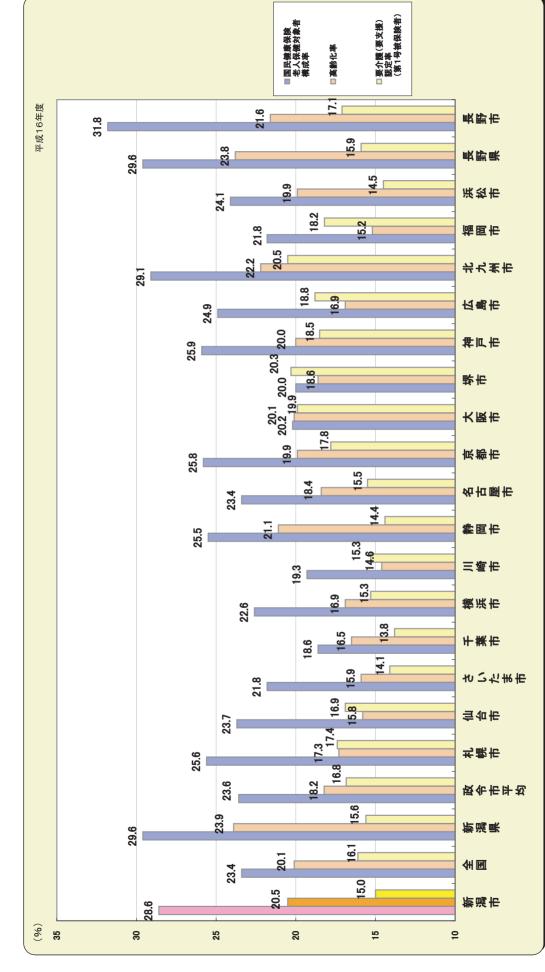
(6)1人当たり一般・退職医療費の政令市との比較



資料:国民健康保険中央会発行「国民健康保険の実態」 ※新潟市の数値は合併市町村含む平成19年4月1日現在の市域の数値 その他政令市等の数値は平成16年度末現在の市域の数値

※高齢化率については平成17年10月1日現在.要介護(要支援)認定率については平成18年3月末 現在の,平成19年4月1日現在の市域の数値

資料:国民健康保険中央会発行「国民健康保険の実態」 総務省統計局「平成17年国勢調査」 厚生労働省「平成17年度介護保険事業状況報告」



(7)国民健康保険老人保健対象者構成率と高齢化率及び要介護(要支援)認定率(第1号被保険者)の政令市との比較

# (8)都道府県・県庁所在市・政令市別1人当たり老人医療費の比較

者	<b>邓道府</b> 県	<b>具別</b>	県原	宁所在	市別	j	<b>政令市</b>	別
	国	民健康保険 たり老人医療費			民健康保険 たり老人医療費		国	民健康保険 たり老人医療費
	1	だり名人医療員 成16年度			だり名人医療員 成16年度			だり名人医療員 成16年度
都道府県名	順	実額	県庁所在市名 県 <u>市</u>	 順	実額	政令市名	   順	実額
HPAZ/1771CH	位	(円)	7,000	位	(円)	-X  - 1 -	位	(円)
全国	†	783, 804	全国	+	783, 804	全国	†	783, 804
	,	COO 100	E 27 +	4	CEO 4EO	`C+\\ +		607 000
長 <b>新 潟</b>	2	639, 106 <b>659, 421</b>	長野市 水戸市	1 2	653, 458 690, 311	浜松市 静岡市	1	687, 003 697, 890
山形	3	666, 110	静岡市	3	697, 890	新潟市	2 3	720, 927
静岡	4	673, 168	鳥取市	4	713, 171	横浜市	4	722, 107
┃ 栃 木	5	682, 308	前橋市	5	714, 252	千葉市	5	734, 999
	6	682, 699		6		さいたま市	6 7	754, 414
茨千三岩群	7	683, 373	横浜市	7	722, 107	川崎市	7	772, 456
二 里	8	684, 000	津市	8 9	726, 519	仙台市	8 9	784, 991
┃ 石	9 10	686, 511 687, 318	千葉市 福島市	10	734, 999 736, 707	名古屋市 神戸市	10	851, 305 854, 412
群馬	11	688, 912	山形市	11	737, 184	堺市	11	903, 758
	12	711, 605	甲府市	12	744, 132	京都市	12	949, 922
青 森神奈川	13	719, 922	宇都宮市	13		大阪市	13	976, 275
┃ 宮  城	14	721, 718	さいたま市	14		北九州市	14	984, 825
岐 阜	15	726, 103	奈良市	15		広島市	15	993, 418
島根	16	727, 504	仙台市	16		福岡市	16	
│ 福 島 │ 秋 田	17 18	728, 177 732, 175	松山市 富山市	17 18	793, 057 795, 652	札幌市	17	1, 063, 691
	19	735, 739		19	799, 239	政令市平	<u>L</u> 也	851, 168
海 取	20	737, 146	東京都区部	20	813, 022	ו נווינו אַע	<u>-</u> -	001, 100
滋賀	21	745, 819	松江市	21	815, 212			
富山	22	751, 374	宮崎市	22	824, 043			
宮崎	23	756, 513	福井市	23	828, 020			
宮 崎 奈 良	24	760, 538	山口市	24	841, 132			
┃ 福 井	25	767, 214	大津市	25	841, 763			
和歌山	26	769, 627	高松市	26				
愛 媛 徳 島	27 28	776, 307 776, 663	徳島市 名古屋市	27 28	846, 847 851, 305			
■ 愛 知	29	770, 003	岐阜市	29	852, 535			
東京	30	780, 386	秋田市	30	853, 215			
┃ 兵 庫	31	796, 462	神戸市	31	854, 412			
岡 山	32	808, 207	岡山市	32	869, 917			
▲ 香 川	33	814, 630	和歌山市	33	891, 554			
山 口 大 分	34 35	822, 285 838, 409	盛岡市 佐賀市	34 35	898, 875 899, 890			
■ 人	36	843, 863	大分市	36	920, 141			
能加高	37	845, 618	熊本市	37	922, 229			
岩 加	38	849, 927	金沢市	38	933, 191			
京都	39	857, 663	京都市	39	949, 922			
沖   縄     佐   賀	40	860, 034	鹿児島市	40	952, 387			
佐賀	41	864, 237	大阪市	41	976, 275			
広 島	42 43	895, 878 903, 145	那覇市 広島市	42 43	977, 881 993, 418			
長崎	43	903, 145	福岡市	43	1, 017, 467			
大 阪	45	915, 176	高知市	45	1, 042, 072			
北海道	46	951, 343	札幌市	46	1, 063, 691			
福岡	47	962, 566	長崎市	47	1, 077, 841			

資料:国民健康保険中央会発行「国民健康保険の実態」

<sup>※</sup>新潟市の数値は合併市町村含む平成19年4月1日現在の市域の数値 その他政令市等の数値は平成16年度末現在の市域の数値

# (9)都道府県別1人当たり老人医療費と国民健康保険1人当たり老人医療費の状況

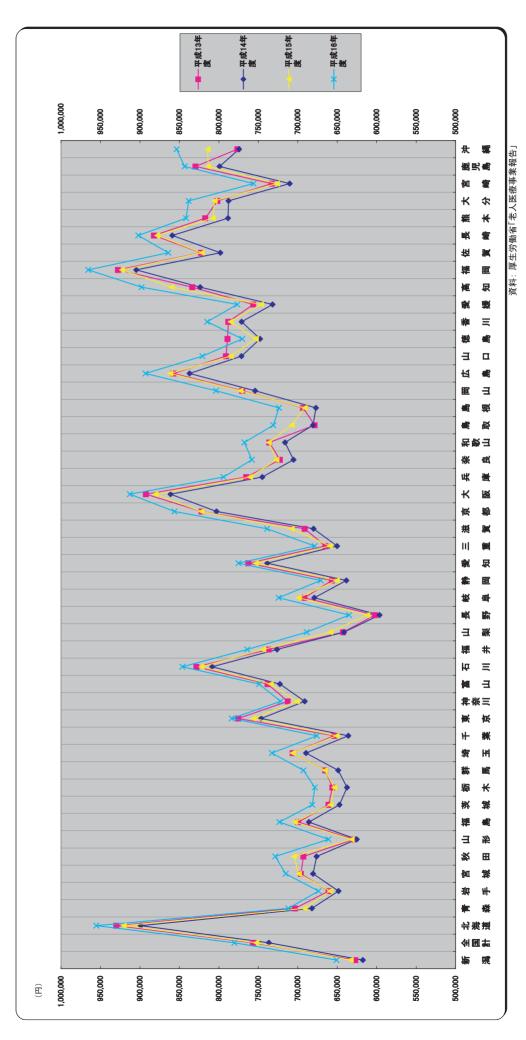
都道府				医療費(被				
		成13年度		成14年度		成15年度		成16年度
	順	実額	順	実の額	順	実額	順	実額
A E = 1	位	(円)	位	(円)	位	(円)	位	(円)
全国計		756, 618		736, 512		752, 721		780, 206
北青岩宮秋山福茨栃群埼千東沿海。	47 19 8 17 15 3 18 9 6 10 20 5	929, 878 703, 493 660, 630 696, 035 692, 696 628, 617 699, 320 660, 867 656, 073 664, 930 706, 367 653, 779 775, 397	46 18 9 17 12 3 19 8 5 10 20 4	898, 932 681, 925 648, 281 680, 669 676, 179 625, 140 685, 900 647, 061 637, 536 648, 759 689, 455 635, 917 746, 293	46 13 10 14 18 2 17 6 11 19 5 30	920, 711 691, 453 659, 172 698, 606 704, 940 631, 615 703, 529 658, 588 653, 741 665, 317 706, 436 650, 809 756, 144	46 12 5 13 18 3 15 9 7 11 20 6 30	955, 445 711, 792 673, 782 715, 389 728, 520 661, 211 723, 219 681, 703 678, 420 692, 725 732, 720 675, 631 783, 667
神奈川	21	712, 717	21	691, 100	16	701, 131	14	721, 744
<b>新</b> 富石福山長岐静愛三滋京大兵奈和鳥島岡広山徳香愛高福佐長熊大宮鹿 歌 現過山川井梨野阜岡知重賀都阪庫良山取根山島口島川媛知岡賀崎本分崎島	26 40 25 4 1 14 7 28 11 13 38 45 29 22 24 16 30 43 35 34 35 34 37 42 46 39 44 37 36 23 41	627, 096 738, 197 828, 262 736, 814 642, 406 602, 141 691, 582 656, 725 762, 613 664, 979 691, 066 821, 787 892, 499 765, 131 722, 556 736, 012 678, 638 693, 275 770, 347 857, 444 790, 918 788, 865 787, 890 756, 238 833, 617 927, 751 822, 409 882, 060 817, 100 801, 768 732, 960 829, 589	25 41 26 7 14 28 11 15 40 42 22 43 43 43 44 31 33 44 37 42 38 43 43 43 43 43 43 43 43 43 43 43 43 43	617, 439 722, 520 808, 473 726, 272 641, 453 596, 480 679, 033 638, 391 738, 714 650, 158 679, 994 803, 050 861, 190 744, 923 705, 306 716, 140 680, 602 677, 001 754, 043 837, 106 771, 392 747, 837 771, 141 731, 946 823, 565 904, 564 798, 006 858, 997 788, 420 787, 682 710, 326 799, 094	24 41 24 42 41 28 21 42 43 43 44 47 44 47 44 47 44 47 44 47 47 44 47 47	632, 872 734, 395 822, 124 743, 652 659, 051 612, 042 698, 890 650, 476 753, 232 659, 004 707, 754 822, 003 880, 524 760, 554 727, 074 736, 704 707, 709 691, 370 772, 449 861, 554 784, 830 753, 275 785, 205 746, 731 859, 979 922, 667 821, 539 878, 047 807, 639 805, 398 726, 554 813, 554	22 38 25 10 17 48 21 24 45 24 26 16 27 32 43 47 41 44 43 35 37 37	651, 022 749, 050 846, 105 763, 970 688, 648 634, 872 724, 261 670, 954 775, 109 678, 490 738, 864 856, 321 912, 825 794, 029 758, 198 767, 653 730, 889 723, 837 803, 648 892, 851 820, 809 770, 392 814, 654 776, 669 897, 877 965, 415 864, 117 901, 971 841, 443 838, 289 756, 126 843, 399

国民健康保険1人当たり老人医療費	ı										
平成16年度	1										
順実額	ı										
位 (円) 783, 804	1										
700,004	۱										
46 951, 343	ı										
12 711, 605 9 686, 511											
14 721, 718											
18 732, 175											
3 666, 110											
17 728, 177 6 682, 699	I										
5 682, 308	ı										
10 687, 318	ı										
20 737, 146 7 683, 373	١										
7 683, 373 30 780, 386	١										
13 719, 922	ı										
<b>2 659, 421</b> 22 751, 374											
38 849, 927											
25 767, 214	ı										
11 688, 912											
1 639, 106 15 726, 103											
4 673, 168	ı										
29 777, 115											
8 684, 000 21 745, 819											
39 857, 663	ı										
45 915, 176											
31 796, 462 24 760, 538	۱										
26 769, 627	I										
19 735, 739	١										
16 727, 504 32 808, 207											
42 895, 878	ı										
34 822, 285	ı										
28 776, 663 33 814, 630											
27 776, 307											
43 903, 145	ı										
47 962, 566 41 864, 237											
41 864, 237											
37 845, 618	ı										
35 838, 409											
23 756, 513 36 843, 863											
40 860,034											

資料:厚生労働省「老人医療事業報告」

資料:国民健康保険 中央会発行「国民健 康保険の実態」

(10)都道府県別1人当たり老人医療費(被用者保険及び国民健康保険)の比較



# (1)医療施設

# ①医療施設数及び病床数の政令市等との比較

平成17年10月1日現在

	平成1/年1	С/ <b>ј</b> . Д 90		<b></b> 色設数			病床数(床)		平成17年
		一般病院 数	一般診療 所数	歯科診療 所数	合計	一般病床数	一般診療所 病床数	合計	国勢調査人口 (人)
1	新潟市	40	654	469	1,163	6,261	505	6,766	813,847
	全国	7,952	97,442	66,732	172,126	904,199	167,000	1,071,199	127,767,994
	新潟県	119	1,692	1,165	2,976	16,693	1,395	18,088	2,431,459
	政令市平均	83	1,261	870	2,215	11,061	1,226	12,288	1,439,357
2	札幌市	193	1,228	1,194	2,615	20,279	2,858	23,137	1,880,863
3	仙台市	54	835	554	1,443	9,247	1,086	10,333	1,025,098
4	さいたま市	38	772	609	1,419	4,936	503	5,439	1,176,314
5	千葉市	42	633	527	1,202	6,339	759	7,098	924,319
6	横浜市	118	2,641	1,962	4,721	18,640	1,447	20,087	3,579,628
7	川崎市	40	872	694	1,606	7,623	492	8,115	1,327,011
8	静岡市	23	547	333	903	4,953	407	5,360	713,723
9	名古屋市	130	1,895	1,398	3,423	17,410	1,916	19,326	2,215,062
10	京都市	105	1,644	845	2,594	14,733	798	15,531	1,474,811
11	大阪市	199	3,366	2,194	5,759	26,113	1,378	27,491	2,628,811
12	堺市	41	705	455	1,201	5,465	342	5,807	830,966
13	神戸市	96	1,545	889	2,530	11,635	897	12,532	1,525,393
14	広島市	82	1,160	657	1,899	8,146	2,139	10,285	1,154,391
15	北九州市	79	1,009	680	1,768	9,191	2,108	11,299	993,525
16	福岡市	106	1,323	966	2,395	12,253	2,446	14,699	1,401,279
17	浜松市	30	609	370	1,009	4,818	769	5,587	804,032
	長野県	121	1,509	990	2,620	15,777	1,939	17,716	2,196,114
	長野市	24	288	195	507	3,086	397	3,483	378,512

資料:厚生労働省「平成17年医療施設調査」 総務省統計局「平成17年国勢調査」

<sup>※</sup>新潟市及び静岡市の数値は合併市町村含む平成19年4月1日現在の市 域の数値

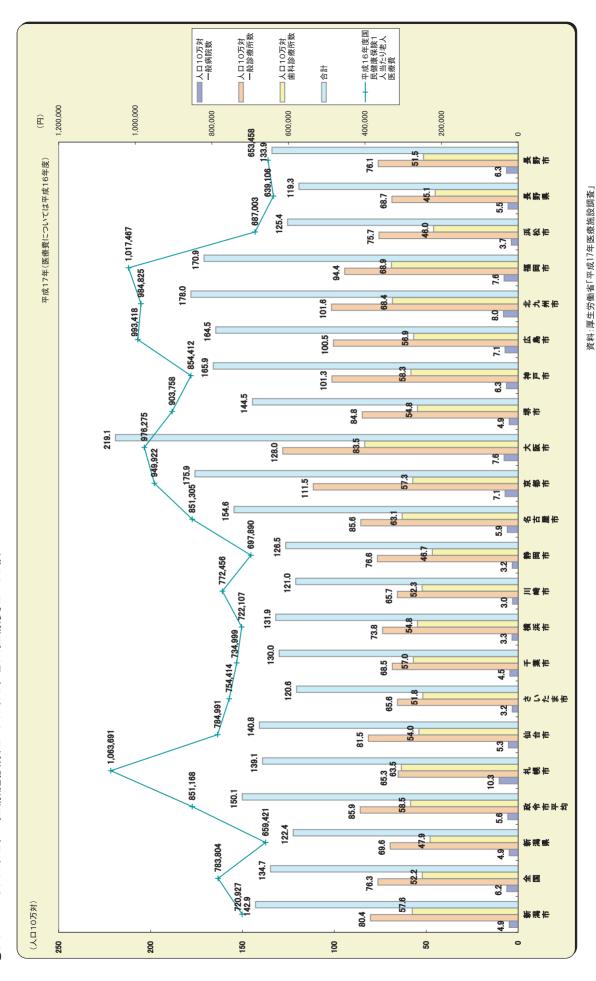
# ②人口10万人当たりの医療施設数及び病床数の政令市等との比較

平成17年10月1日現在

	平成17年10月	, . H >0 H	人口10万対	医療施設数	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	人口	口10万対病原	卡数
		人口10万対 一般病院数	人口10万対 一般診療所数	人口10万対 歯科診療所数	合計	人口10万対 一般病床数	人口10万対 一般診療所 病床数	合計
1	新潟市	4.9	80.4	57.6	142.9	769.3	62.1	831.4
	全国	6.2	76.3	52.2	134.7	707.7	130.7	838.4
	新潟県	4.9	69.6	47.9	122.4	686.5	57.4	743.9
	政令市平均	5.6	85.9	58.5	150.1	761.6	90.6	852.2
2	札幌市	10.3	65.3	63.5	139.1	1,078.2	152.0	1,230.2
3	仙台市	5.3	81.5	54.0	140.8	902.1	105.9	1,008.0
4	さいたま市	3.2	65.6	51.8	120.6	419.6	42.8	462.4
5	千葉市	4.5	68.5	57.0	130.0	685.8	82.1	767.9
6	横浜市	3.3	73.8	54.8	131.9	520.7	40.4	561.1
7	川崎市	3.0	65.7	52.3	121.0	574.4	37.1	611.5
8	静岡市	3.2	76.6	46.7	126.5	694.0	57.0	751.0
9	名古屋市	5.9	85.6	63.1	154.6	786.0	86.5	872.5
10	京都市	7.1	111.5	57.3	175.9	999.0	54.1	1,053.1
11	大阪市	7.6	128.0	83.5	219.1	993.3	52.4	1,045.7
12	堺市	4.9	84.8	54.8	144.5	657.7	41.2	698.9
13	神戸市	6.3	101.3	58.3	165.9	762.8	58.8	821.6
14	広島市	7.1	100.5	56.9	164.5	705.7	185.3	891.0
15	北九州市	8.0	101.6	68.4	178.0	925.1	212.2	1,137.3
16	福岡市	7.6	94.4	68.9	170.9	874.4	174.6	1,049.0
17	浜松市	3.7	75.7	46.0	125.4	599.2	95.6	694.8
	長野県	5.5	68.7	45.1	119.3	718.4	88.3	806.7
	長野市	6.3	76.1	51.5	133.9	815.3	104.9	920.2

※新潟市及び静岡市の数値は合併市町村舎む平成19年4月1日現在の市域の数値 平成16年度の1人当たり医療費の政令市の数値は平成16年度末現在の市域の数値

国民健康保険中央会発行「国民健康保険の実態」



③人口10万人当たりの医療施設数と1人当たり老人医療費との比較

,200,000 1,000,000 800,000 **,458** 600,000 400,000 200,000  $\widehat{\mathbb{E}}$ 0 920.2 平成17年(医療費につては平成16年度) 815.3 806.7 687,003 694.8 92.6 1,017,467 福国卡 874.4 4,137.3 993,418 984,825 212.2 北九州市 925.1 891.0 広島市 854,412 705.7 821.6 762.8 903,758 638.9 幹卡 657.7 949,922 × 976,275 1,045.7 52.4 大阪市 993.3 1,053.1 54.1 999.0 872.5 86.5 697,890 × 786.0 名古屋市 851,305 751.0 611.5 561.1 574.4 ④人口10万人当たりの病床数と1人当たり老人医療費との比較 三實任 40.4 \*754,414 734,999 520.7 767.9 千業市 685.8 462.4 419.6 42.8 さいたま市 784,991 1,008.0 1,230.2 902.1 1,063,691 北幌市 852.2 851,168 761.6 57.4 831.4 838.4 全国 7.707 (人口10万対) 62.1 800 8 9 200 94, 1,200 000,1

\* 平成16年度国 民健康保険1 人当たり老人 医療費

■人口10万岁 一般診療所 病床数

10計

■ 人口10万対 一般病床数

資料:厚生労働省「平成17年医療施設調査」 国民健康保険中央会発行「国民健康保険の実態」 ※新潟市及び静岡市の数値は合併市町村含む平成19年4月1日現在の市域の数値 平成16年度の1人当たり医療費の政令市の数値は平成16年度末現在の市域の数値

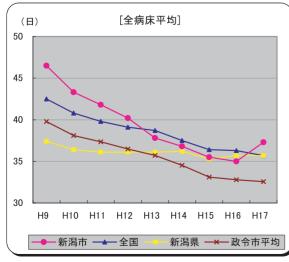
# (2)平均在院日数

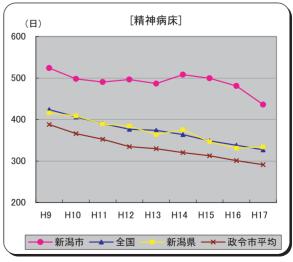
①全病床平均 (単位:日)

	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1 新潟市	46.5	43.3	41.8	40.2	37.8	36.8	35.5	35.0	37.3
全国	42.5	40.8	39.8	39.1	38.7	37.5	36.4	36.3	35.7
新潟県	37.4	36.4	36.1	36.1	36.1	36.2	35.3	35.7	35.7
政令市平均	39.8	38.1	37.3	36.5	35.7	34.5	33.1	32.8	32.6
2 札幌市	51.0	48.7	47.1	45.8	45.0	43.2	41.7	41.6	41.2
3 仙台市	32.6	30.9	30.1	29.3	28.2	26.5	25.7	25.6	25.5
4 さいたま市							31.1	31.2	29.0
5 千葉市	36.0	35.1	35.2	34.0	33.8	33.1	31.6	30.5	29.2
6 横浜市	32.0	31.0	30.5	29.7	29.0	27.8	27.2	27 <u>.</u> 0	26.3
7 川崎市	27.8	26.8	26.9	26.6	26.5	26.4	25.2	24.5	24.2
8 静岡市	35.7	34.2	34.1	33.4	32.4	31.7	30.1	30.2	29.5
9 名古屋市	35.9	34.5	33.5	32.7	31.6	30.6	29.7	29.0	28.0
10 京都市	44.4	42.2	41.7	41.5	40.9	39.5	38.1	37.6	36.6
11 大阪市	31.9	30.7	30.0	29.2	28.8	27.5	26.3	25.9	25.2
12 堺市	56.4	55.5	54.8	52.8	52.0	50.8	49.1	48.9	49.1
13 神戸市	38.2	37.1	36.0	35.4	34.6	33.5	32.4	32.2	31.7
14 広島市	41.2	39.4	39.1	38.8	38.8	37.4	35.9	35.7	34.8
15 北九州市	48.9	45.6	44.2	43.5	42.9	41.4	40.4	40.3	39.3
16 福岡市	45.5	43.5	41.7	40.9	39.8	37.5	35.3	34.9	33.7
17 浜松市	32.6	31.3	30.8	30.0	29.4	28.7	27.5	27.4	33.1

 ②精神病床
 (単位:日)

		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1	新潟市	524.1	498.0	490.4	496.3	486.7	508.2	499.4	480.9	435.9
	全国	423.7	406.4	390.1	376.5	373.9	363.7	348.7	338.0	327.2
	新潟県	415.9	408.8	389.2	384.3	363.8	375.3	346.4	330.9	333.7
Ī	<b></b>	388.0	365.8	352.3	334.7	329.8	320.3	312.8	301.1	291.2
2	札幌市	385.0	371.0	350.8	349.9	352.5	332.7	330.4	320.5	315.3
3	仙台市	299.5	295.0	280.5	291.8	284.9	266.2	283.3	269.1	285.6
4	さいたま市							394.4	363.1	336.5
5	千葉市	381.8	348.1	300.1	278.7	284.1	273.3	246.5	224.6	210.6
6	横浜市	333.4	325.5	336.0	324.2	317.2	317.4	301.5	288.5	272.3
7	川崎市	380.3	339.9	280.1	247.7	240.4	244.5	247.1	247.7	213.0
8	静岡市	443.8	449.7	501.4	397.0	368.9	348.2	293.7	264.3	270.2
9	名古屋市	502.7	497.3	455.6	434.4	427.9	397.9	382.7	366.0	359.5
10	京都市	517.5	481.6	445.9	446.3	460.6	459.8	436.5	429.7	420.8
11	大阪市	123.7	93.7	81.5	82.8	77.2	64.2	62.0	62.2	63.4
12	堺市	410.0	393.0	352.6	331.7	317.4	306.0	296.0	273.2	271.3
13	神戸市	402.2	392.3	394.6	383.1	377.5	358.1	342.0	348.1	328.3
14	広島市	311.8	285.9	285.7	264.8	272.1	272.9	255.0	259.3	244.3
15	北九州市	400.5	362.7	362.7	341.7	362.5	356.2	356.7	361.1	355.3
16	福岡市	409.7	381.8	361.3	348.6	327.5	324.6	306.3	302.9	295.9
17	浜松市	381.5	337.5	357.8	335.5	318.7	293.9	284.4	257.9	271.7





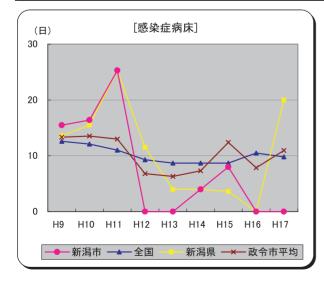
資料:厚生労働省「病院報告」 ※毎月の報告の平均であり、報告時点の市域となる。

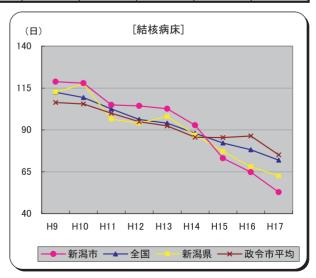
③感染症病床 (単位:日)

		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1	新潟市	15.5	16.4	25.3	_	_	4.0	8.0	_	_
	全国	12.6	12.1	11.0	9.3	8.7	8.7	8.7	10.5	9.8
	新潟県	13.6	15.5	25.3	11.5	4.0	4.0	3.6	_	20.0
Ī	女令市平均 (	13.3	13.6	13.0	6.8	6.3	7.3	12.4	7.9	10.9
2	札幌市	32.0	30.5	43.5	_	_	_	_	_	-
3	仙台市	10.5	8.3	9.5	7.8	6.4	7.4	10.3	8.6	7.6
4	さいたま市							16.8	13.4	10.0
5	千葉市	12.9	13.0	16.7	11.3	11.0	13.3	11.7	9.8	_
6	横浜市	10.7	13.6	10.9	10.4	9.5	8.4	8.4	8.4	7.2
7	川崎市	8.0	9.7	10.5	12.8	2.8	4.2	7.0	8.0	4.0
8	静岡市	17.3	19.3	7.3	9.5	3.0	-	_	_	
9	名古屋市	14.6	12.8	17.5	6.3	7.5	14.7	9.0	12.2	11.2
10	京都市	13.3	11.8	8.9	4.3	3.7	8.8	5.8	9.1	4.9
11	大阪市	18.1	11.5	10.2	7.8	6.1	7.9	6.6	10.1	5.3
12	堺市	10.5	11.5	6.8	3.2	4.0	4.3	_	3.2	_
13	神戸市	11.5	12.1	7.2	9.7	18.0	8.0	12.5	9.4	3.0
14	広島市	13.5	14.7	8.2	3.7	3.5	6.0	61.0	1.0	
15	北九州市	4.0	9.1	11.0	5.0	_	-	13.0	7.0	14.0
16	福岡市	10.4	9.2	4.7	2.3	1.4	6.7	2.5	8.0	2.3
17	浜松市	10.7	13.3	9.8	1.0	5.3	1.3	0.7	2.0	50.9

④結核病床	(24 L D)
	(単位:日)
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	(手位:ロ/

		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1	新潟市	118.8	117.9	104.9	104.3	102.6	92.8	73.1	64.8	52.8
	全国	112.5	109.3	102.5	96.2	94.0	88.0	82.2	78.1	71.9
	新潟県	112.6	117.4	96.4	94.0	98.0	86.9	77.1	68.0	62.5
Ī	00000000000000000000000000000000000000	106.4	105.5	99.9	94.9	92.3	85.6	85.4	86.4	75.1
2	札幌市	147.8	137.2	124.6	124.8	123.3	115.4	80.2	74.4	65.9
3	仙台市	136.1	133.3	126.0	97.0	79.3	87.0	117.5	113.4	90.4
4	さいたま市							119.4	137.8	86.4
5	千葉市	111.7	102.9	101.8	90.4	87.2	83.5	81.5	81.5	72.3
6	横浜市	110.2	98.7	99.3	90.9	89.8	85.6	76.6	66.8	59.3
7	川崎市	95.3	102.1	78.0	86.5	81.5	76.5	69.9	64.8	53.1
8	静岡市	73.5	71.1	67.3	74.5	77.6	77.9	89.0	107.1	75.5
9	名古屋市	90.8	96.4	94.2	83.1	86.4	83.8	84.2	82.6	78.4
10	京都市	82.9	90.5	78.9	68.6	60.9	53.2	63.1	58.6	65.1
11	大阪市	115.9	111.1	117.2	116.1	140.3	103.7	94.8	81.0	77.1
12	堺市	110.6	106.7	113.6	101.7	90.1	83.2	81.9	70.0	60.3
13	神戸市	88.7	84.3	81.3	69.7	66.5	58.5	56.1	54.5	51.0
14	広島市	75.2	75.8	70.0	76.8	81.4	84.3	82.4	75.5	62.9
15	北九州市	175.3	174.6	165.1	157.1	155.9	141.5	135.0	132.2	141.9
16	福岡市	74.3	76.9	70.3	64.0	50.5	44.9	59.6	96.7	102.2
17	浜松市	94.5	107.7	106.5	113.0	104.2	98.4	87.8	106.3	81.7





⑤一般病床 (単位:日)

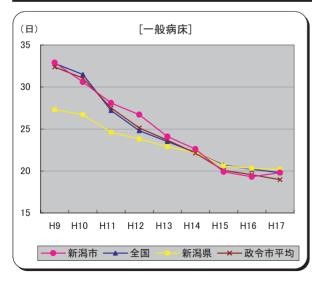
		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1	新潟市	32.9	30.6	28.1	26.7	24.1	22.6	19.9	19.3	19.8
	全国	32.8	31.5	27.2	24.8	23.5	22.2	20.7	20.2	19.8
	新潟県	27.3	26.7	24.6	23.8	22.9	22.2	20.6	20.3	20.2
]	00000000000000000000000000000000000000	32.4	31.1	27.5	25.1	23.7	22.1	20.1	19.6	19.0
2	札幌市	41.6	39.6	31.0	26.2	24.6	23.1	21.6	21.2	20.9
3	仙台市	27.8	26.4	24.7	23.6	22.5	21.1	19.8	18.9	18.5
4	さいたま市							18.8	18.5	17.5
5	千葉市	28.3	27.8	26.4	23.7	23.4	22.1	21.3	20.8	20.1
6	横浜市	25.8	24.8	23.9	22.5	21.6	20.0	18.7	18.3	17.7
7	川崎市	23.7	23.0	22.5	21.7	21.1	20.1	18.9	18.0	17.5
8	静岡市	30.3	29.0	26.9	23.8	21.2	20.3	18.5	18.6	17.7
9	名古屋市	28.7	27.7	25.8	24.0	22.5	21.4	19.9	19.3	18.5
10	京都市	37.0	35.2	32.0	30.1	28.2	26.7	23.8	23.1	22.3
11	大阪市	31.5	30.3	28.0	25.6	24.3	22.8	20.5	19.6	18.9
12	堺市	44.3	43.6	39.1	33.7	30.6	28.0	22.6	22.9	20.6
13	神戸市	30.0	29.1	24.9	23.7	22.7	21.6	20.3	19.9	19.5
14	広島市	33.6	32.3	27.2	24.0	22.4	21.1	19.6	19.4	18.8
15	北九州市	39.0	36.3	30.8	28.0	26.3	23.3	20.8	19.7	19.0
16	福岡市	37.2	35.6	27.2	24.9	23.6	21.5	19.7	19.2	18.5
17	浜松市	26.4	25.5	21.5	19.9	19.6	18.5	16.4	15.8	16.6

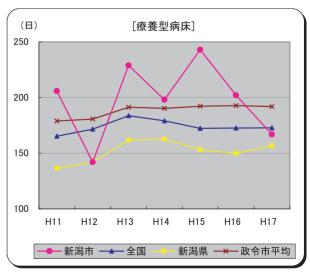
# ⑥療養型病床

# ※H10年以前は一般病床に含まれる

(単位:日)

	次及上升147		(							
		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1	新潟市			205.9	142.0	228.9	198.1	242.9	202.1	166.9
	全国			165.3	171.6	183.7	179.1	172.3	172.6	172.8
	新潟県			136.4	142.1	161.9	162.7	153.2	149.7	156.7
I	女令市平均 📗			178.9	180.6	191.3	190.4	192.2	192.8	191.9
2	札幌市			286.9	283.8	313.2	285.6	273.3	262.5	264.0
3	仙台市			131.4	139.2	126.2	93.4	86.3	101.6	106.1
4	さいたま市							204.6	204.5	211.5
5	千葉市			112.4	151.0	150.2	168.8	193.4	223.0	233.3
6	横浜市			119.4	151.2	172.1	183.6	195.3	189.4	155.0
7	川崎市			248.8	200.9	193.8	258.7	207.8	212.3	254.3
8	静岡市			147.8	196.0	238.2	276.1	252.5	218.8	208.1
9	名古屋市			128.4	131.8	135.9	135.1	144.8	149.0	147.7
10	京都市			178.5	154.0	184.1	173.3	204.6	204.4	202.6
11	大阪市			112.4	114.1	129.3	133.2	146.8	156.7	160.5
12	堺市			163.6	181.1	216.5	214.0	227.1	219.0	207.0
13	神戸市			145.5	145.1	140.2	135.4	134.4	136.8	142.9
14	広島市			136.1	150.4	161.8	157.9	155.6	168.4	169.4
15	北九州市			182.1	182.3	182.9	177.5	178.3	181.4	187.7
16	福岡市			193.7	199.8	183.4	170.5	165.8	165.2	169.8
17	浜松市			369.3	367.4	303.4	284.9	253.1	283.0	275.3





資料:厚生労働省「病院報告」 ※毎月の報告の平均であり、報告時点の市域となる。

# (3)医療機関従事者数

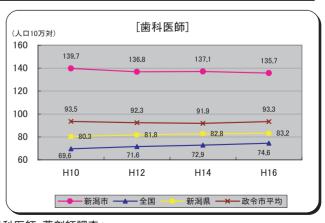
①医師 各年12月末現在

			0年	平成1	2年	平成1	4年	平成1	6年
		実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対
1	新潟市	2,021	250.6	2,035	251.6	2,056	253.4	2,108	259.6
	全国	248,611	196.6	255,792	201.5	262,687	206.1	270,371	211.7
	新潟県	4,209	168.8	4,270	172.5	4,350	176.5	4,400	179.4
I	<b>公</b> 令市平均	3,392	253.0	3,500	249.1	3,588	252.5	3,689	257.2
2	札幌市	4,793	265.8	5,043	276.7	5,284	286.2	5,584	298.9
3	仙台市	2,840	284.8	2,906	288.3	3,004	294.8	3,134	305.5
4	さいたま市	1,319	118.3	1,463	129.1	1,543	133.5	1,675	142.6
5	千葉市	2,121	243.3	2,105	237.3	2,191	242.1	2,259	246.1
6	横浜市	5,461	162.1	5,667	165.4	5,960	170.4	6,173	173.6
7	川崎市	2,424	197.1	2,457	196.6	2,329	181.7	2,470	189.1
8	静岡市	1,278	176.0	1,358	188.6	1,347	187.9	1,378	192.6
9	名古屋市	5,586	258.4	5,801	267.1	5,934	271.5	5,895	267.7
10	京都市	5,231	355.0	5,334	361.8	5,435	368.9	5,397	367.0
11	大阪市	7,770	299.3	7,872	302.9	7,984	304.8	8,332	316.3
12	堺市	1,369	164.4	1,481	178.5	1,483	178.7	1,508	181.5
13	神戸市	3,697	655.7	3,815	255.5	3,917	259.4	4,058	267.0
14	広島市	2,941	260.5	3,033	267.4	3,159	276.7	3,128	271.8
15	北九州市	2,876	283.5	2,947	291.4	3,064	304.6	3,085	308.5
16	福岡市	4,259	322.2	4,452	331.9	4,534	331.4	4,700	337.9
17	浜松市	1,681	215.9	1,723	219.1	1,780	223.9	1,821	226.8

②歯科医師 各年12月末現在

	1.1 km Hul-	平成1	0年	平成1	2年	平成1	4年	平成1	6年
		実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対
1	新潟市	1,127	139.7	1,107	136.8	1,112	137.1	1,102	135.7
	全国	88,061	69.6	90,857	71.6	92,874	72.9	95,197	74.6
	新潟県	2,003	80.3	2,025	81.8	2,040	82.8	2,040	83.2
I	<b>女</b> 令市平均	1,254	93.5	1,297	92.3	1,306	91.9	1,338	93.3
2	札幌市	1,779	98.6	1,880	103.2	1,904	103.1	1,934	103.5
3	仙台市	959	96.2	1,022	101.4	1,029	101.0	1,055	102.8
4	さいたま市	624	56.0	699	61.7	751	65.0	766	65.2
5	千葉市	975	111.9	1,006	113.4	1,043	115.2	1,090	118.7
6	横浜市	2,559	76.0	2,681	78.2	2,745	78.5	2,791	78.5
7	川崎市	745	60.6	823	65.8	819	63.9	880	67.4
8	静岡市	437	60.2	472	65.6	479	66.8	469	65.6
9	名古屋市	2,074	95.9	2,093	96.4	2,146	98.2	2,151	97.7
10	京都市	1,044	70.9	1,131	76.7	1,089	73.9	1,143	77.7
11	大阪市	3,047	117.4	3,076	118.4	2,993	114.3	3,051	115.8
12	堺市	484	58.1	484	58.3	499	60.1	475	57.2
13	神戸市	1,068	189.4	1,082	72.5	1,099	72.8	1,144	75.3
14	広島市	1,076	95.3	1,086	95.8	1,076	94.2	1,169	101.6
15	北九州市	1,114	109.8	1,115	110.2	1,072	106.6	1,110	111.0
16	福岡市	1,750	132.4	1,794	133.7	1,842	134.6	1,916	137.7
17	浜松市	455	58.4	506	64.4	503	63.3	507	63.1





資料:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」 各市とも平成19年4月1日現在の市域で、人口10万対は各年10月1日現在の推計人口にて算出

# ③看護師

		平成1	1年	平成1	2年	平成1	3年	平成1	4年	平成1	15年	平成	16年	平成1	17年
		実数	人口10万対												
1	新潟市	2,906	581.8	2,979	594.1	3,415	645.8	3,474	656.1	3,543	668.5	3,624	683.4	4,293	546.8
	全国	509,762	402.4	524,578	413.3	536,121	421.2	535,522	420.2	547,457	429.0	558,385	437.3	567,969	444.5
	新潟県	10,400	417.7	10,612	428.6	10,833	438.1	10,862	440.7	11,074	450.2	11,052	450.8	11,460	471.3
極	令市平均	6,509	476.6	6,677	486.7	6,837	495.0	6,873	494.8	6,814	490.5	7,024	503.4	7,155	497.9
2	札幌市	11,491	634.2	11,782	646.5	12,116	660.6	12,288	665.6	12,779	687.4	13,163	704.6	13,526	719.1
3	仙台市	4,994	498.4	5,015	497.5	5,078	500.8	4,918	482.6	5,302	518.3	5,655	551.2	5,769	562.8
4	さいたま市									2,572	243.6	2,603	244.5	3,068	260.8
5	千葉市	3,431	390.3	3,509	395.5	3,560	397.3	3,638	401.9	3,891	426.1	3,909	425.8	3,938	426.1
6	横浜市	10,576	311.7	11,040	322.2	11,527	333.0	11,685	334.2	11,922	338.0	12,141	341.5	12,112	338.4
7	川崎市	4,387	353.8	4,515	361.2	4,543	358.6	4,487	350.0	4,584	354.3	4,659	356.8	4,202	316.7
8	静岡市	2,579	544.5	2,664	567.2	2,633	561.5	2,635	561.8	3,379	480.5	3,384	481.8	3,452	492.5
9	名古屋市	9,840	454.1	10,065	463.5	10,186	467.9	10,270	469.8	10,611	483.8	10,832	491.9	10,536	475.7
10	京都市	8,581	584.9	8,604	586.2	8,733	594.9	8,697	592.8	8,866	604.8	9,012	615.6	9,100	617.0
11	大阪市	12,821	494.1	13,175	507.0	13,399	513.6	13,551	517.4	13,263	504.9	14,299	542.9	14,361	546.3
12	堺市	3,250	409.7	3,469	438.0	3,545	446.9	3,491	440.3	3,622	456.8	3,681	463.5	3,586	431.5
13	神戸市	6,974	469.9	7,244	485.0	7,413	493.2	7,461	494.1	7,806	514.9	8,012	527.1	8,117	532.1
14	広島市	5,029	446.2	5,124	454.9	5,278	467.1	5,333	469.9	5,483	481.8	5,643	493.2	5,774	500.2
15	北九州市	6,555	647.7	6,665	658.9	6,748	668.8	6,749	670.8	6,820	679.9	6,903	690.3	7,045	709.1
16	福岡市	7,722	580.2	7,926	590.8	8,118	599.6	8,227	601.4	8,289	600.6	8,710	626.1	9,095	649.0
17	浜松市	3,006	520.5	3,059	525.5	3,099	527.9	3,066	518.7	3,117	523.4	3,179	530.3	3,656	454.7

# 4保健師

		平成1	1年	平成1	2年	平成1	3年	平成1	4年	平成1	5年	平成	16年	平成1	17年
		実数	人口10万対												
1	新潟市	12	2.4	11	2.2	8	1.5	8	1.4	8	1.5	11	2.1	15	1.9
	全国	1,868	1.5	2,012	1.6	2,108	1.7	2,251	1.8	2,558	2.0	2,710	2.1	2,782	2.2
	新潟県	46	1.8	38	1.5	38	1.5	41	1.6	42	1.7	41	1.7	44	1.8
正	<b>大</b> 令市平均	25	1.8	26	1.9	28	1.9	27	1.9	30	2.1	31	2.2	37	2.6
2	札幌市	80	4.4	85	4.7	73	4.0	76	4.1	84	4.5	95	5.1	92	4.9
3	仙台市	10	1.0	12	1.2	16	1.6	19	1.9	23	2.2	15	1.5	14	1.4
4	さいたま市									15	1.4	15	1.4	18	1.5
5	千葉市	11	1.3	8	0.9	9	1.0	9	1.0	10	1.1	8	0.9	8	0.9
6	横浜市	29	0.9	30	0.9	49	1.4	51	1.5	48	1.4	58	1.6	97	2.7
7	川崎市	32	2.6	41	3.3	39	3.1	15	1.2	43	3.3	50	3.8	66	5.0
8	静岡市	18	3.8	17	3.6	19	4.1	20	4.3	24	3.4	24	3.4	21	3.1
9	名古屋市	25	1.2	29	1.3	31	1.4	32	1.5	37	1.7	31	1.4	43	1.9
10	京都市	39	2.7	35	2.4	46	3.1	51	3.5	53	3.6	57	3.9	59	4.0
11	大阪市	29	1.1	29	1.1	28	1.1	31	1.2	33	1.3	33	1.3	28	1.1
12	堺市	2	0.3	1	0.1	_	_	3	0.4	6	0.8	4	0.5	7	0.8
13	神戸市	40	2.7	41	2.7	37	2.5	41	2.7	29	1.9	33	2.1	46	3.0
14	広島市	21	1.9	22	2.0	22	1.9	23	2.0	32	2.8	33	2.8	38	3.3
15	北九州市	14	1.4	14	1.4	11	1.1	8	0.8	11	1.1	13	1.3	8	0.8
16	福岡市	11	0.8	8	0.6	12	0.9	18	1.3	21	1.5	22	1.6	25	1.8
17	浜松市	20	3.5	25	4.3	26	4.4	22	3.7	28	4.7	34	5.7	45	5.6





資料:厚生労働省「病院報告」

※各市の市域は各年10月1日現在の市域,人口10万対は各年10月1日現在の推計人口にて算出。

# (4)保健関係市町村常勤職員数

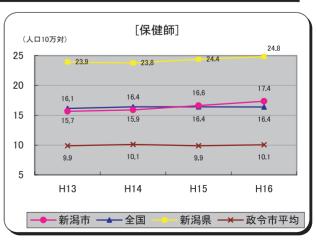
①医師

	平成13年度		3年度		4年度		5年度	平成1	6年度
		実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対
1	新潟市	4	0.5	4	0.5	4	0.5	4	0.5
	全国	771	0.6	768	0.6	839	0.7	694	0.5
	新潟県	12	0.5	11	0.4	11	0.4	11	0.4
政	令市平均	17.3	1.2	17.0	1.2	20.9	1.5	16.1	1.1
2	札幌市	20	1.1	16	0.9	21	1.1	22	1.2
3	仙台市	11	1.1	9	0.9	9	0.9	17	1.7
4	さいたま市	_	_	3	0.3	4	0.3	4	0.3
5	千葉市	5	0.6	6	0.7	6	0.7	6	0.7
6	横浜市	48	1.4	45	1.3	39	1.1	36	1.0
7	川崎市	20	1.6	21	1.6	23	1.8	14	1.1
8	静岡市	2	0.3	1	0.1	1	0.1	0	0.0
9	名古屋市	38	1.7	37	1.7	39	1.8	30	1.4
10	京都市	28	1.9	25	1.7	25	1.7	24	1.6
11	大阪市	43	1.6	46	1.8	44	1.7	45	1.7
12	堺市	12	1.4	12	1.4	77	9.3	12	1.4
13	神戸市	17	1.1	18	1.2	19	1.3	18	1.2
14	広島市	15	1.3	14	1.2	13	1.1	13	1.1
15	北九州市	8	0.8	10	1.0	10	1.0	8	0.8
16	福岡市	22	1.6	21	1.5	20	1.4	20	1.4
17	浜松市	1	0.1	1	0.1	1	0.1	1	0.1

# ②保健師

<u> </u>				_ r .		- B.	- <del></del>	_ r .	
			3年度		4年度		5年度		6年度
		実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対
1	新潟市	127	15.7	129	15.9	135	16.6	141	17.4
	全国	20552	16.1	20911	16.4	20955	16.4	20910	16.4
	新潟県	592	23.9	586	23.8	600	24.4	609	24.8
政	7令市平均	139.8	9.9	143.6	10.1	141.1	9.9	144.2	10.1
2	札幌市	136	7.4	136	7.4	139	7.5	139	7.4
3	仙台市	122	12.0	118	11.6	121	11.8	187	18.2
4	さいたま市	90	7.9	110	9.5	109	9.4	123	10.5
5	千葉市	88	9.8	89	9.8	86	9.4	87	9.5
6	横浜市	234	6.8	238	6.8	242	6.9	236	6.6
7	川崎市	111	8.8	109	8.5	119	9.2	110	8.4
8	静岡市	79	11.0	81	11.3	83	11.6	77	10.8
9	名古屋市	220	10.1	219	10.0	219	10.0	212	9.6
10	京都市	188	12.8	174	11.8	174	11.8	159	10.8
11	大阪市	325	12.5	351	13.4	270	10.3	276	10.5
12	堺市	107	12.9	107	12.9	107	12.9	103	12.4
13	神戸市	107	7.1	108	7.2	129	8.5	130	8.6
14	広島市	116	10.2	115	10.1	112	9.8	106	9.2
15	北九州市	94	9.3	117	11.6	109	10.9	111	11.1
16	福岡市	111	8.2	115	8.4	121	8.8	130	9.3
17	浜松市	122	15.4	125	15.7	124	15.5	125	15.6



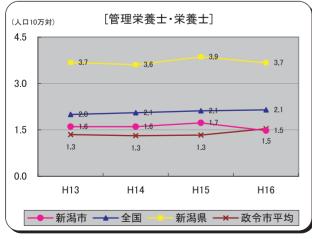


# ③管理栄養士, 栄養士

		平成1	3年度	平成	14年度		15年度	平成	16年度
		実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対
1	新潟市	13	1.6	13	1.6	14	1.7	12	1.5
	全国	2542	2.0	2617	2.1	2704	2.1	2740	2.1
	新潟県	91	3.7	89	3.6	95	3.9	90	3.7
正	女令市平均	19.1	1.3	18.6	1.3	19.1	1.3	22.1	1.5
2	札幌市	25	1.4	23	1.2	25	1.3	25	1.3
3	仙台市	23	2.3	23	2.3	22	2.2	22	2.1
4	さいたま市	7	0.6	10	0.9	13	1.1	12	1.0
5	千葉市	11	1.2	11	1.2	12	1.3	11	1.2
6	横浜市	38	1.1	37	1.1	38	1.1	37	1.0
7	川崎市	19	1.5	16	1.2	24	1.9	82	6.3
8	静岡市	7	1.0	7	1.0	6	0.8	5	0.7
9	名古屋市	32	1.5	34	1.6	34	1.6	29	1.3
10	京都市	27	1.8	22	1.5	22	1.5	22	1.5
11	大阪市	40	1.5	40	1.5	37	1.4	39	1.5
12	堺市	14	1.7	14	1.7	14	1.7	14	1.7
13	神戸市	21	1.4	21	1.4	20	1.3	20	1.3
14	広島市	11	1.0	11	1.0	10	0.9	10	0.9
15	北九州市	14	1.4	14	1.4	13	1.3	12	1.2
16	福岡市	9	0.7	8	0.6	8	0.6	8	0.6
17	浜松市	13	1.6	13	1.6	12	1.5	15	1.9

# ④精神保健福祉相談員

		平成1	3年度	平成:	14年度	平成	15年度	平成	16年度
		実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対
1	新潟市	7	0.9	7	0.9	8	1.0	7	0.9
	全国	661	0.5	779	0.6	785	0.6	850	0.7
	新潟県	7	0.3	7	0.3	8	0.3	7	0.3
政	で令市平均	11.6	0.8	14.8	1.0	15.4	1.1	16.9	1.2
2	札幌市	_	_	_	_	_	_	_	_
3	仙台市	8	8.0	8	8.0	9	0.9	32	3.1
4	さいたま市	_	_	3	0.3	_	_	_	_
5	千葉市	9	1.0	6	0.7	14	1.5	14	1.5
6	横浜市	17	0.5	64	1.8	64	1.8	66	1.9
7	川崎市	13	1.0	12	0.9	8	0.6	8	0.6
8	静岡市	8	1.1	4	0.6	3	0.4	_	_
9	名古屋市	18	0.8	18	0.8	18	0.8	18	0.8
10	京都市	14	0.9	20	1.4	16	1.1	16	1.1
11	大阪市	36	1.4	39	1.5	30	1.1	34	1.3
12	堺市	10	1.2	9	1.1	15	1.8	16	1.9
13	神戸市	11	0.7	15	1.0	21	1.4	20	1.3
14	広島市	26	2.3	20	1.8	22	1.9	26	2.3
15	北九州市	_	_	10	1.0	10	1.0	10	1.0
16	福岡市	12	0.9	9	0.7	13	0.9	12	0.9
17	浜松市	8	1.0	8	1.0	10	1.3	9	1.1





資料: 厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」 ※各市の市域はH19年4月1日現在の市域。 人口10万対は各年10月1日現在の推計人口にて算出。

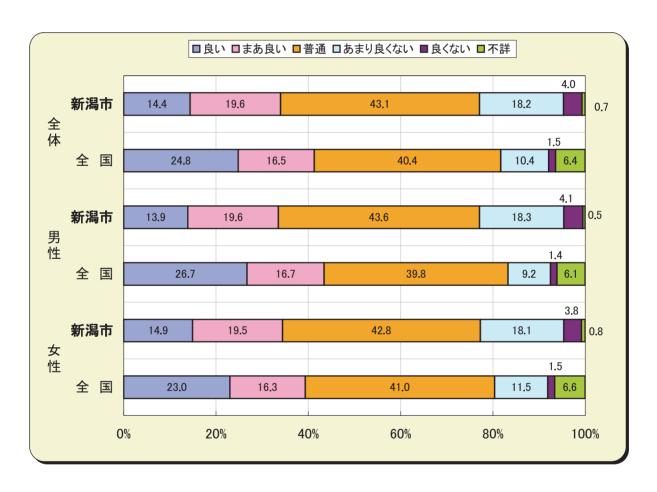
# 8 健康意識

# (1)健康意識

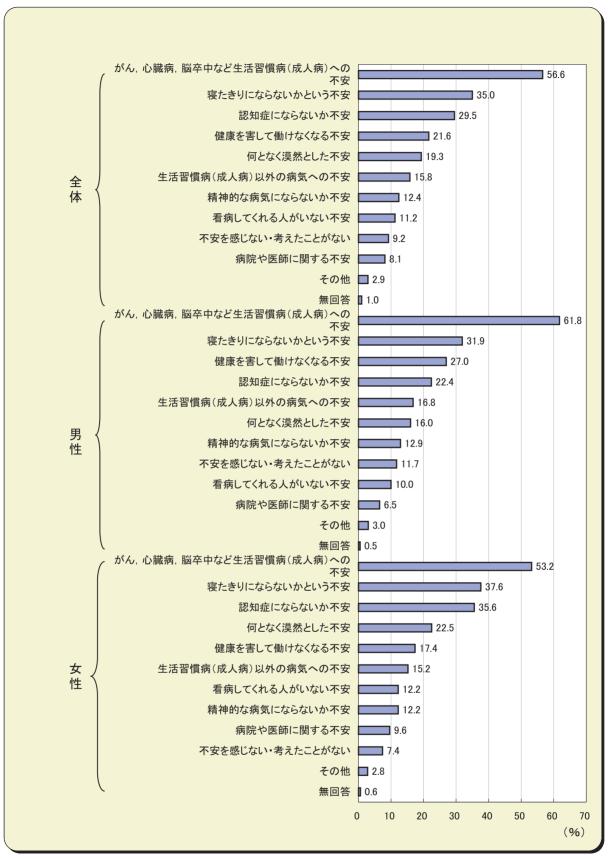
(単位:%)

						(
	全	体	男	性	女	性
	新潟市	全国	新潟市	全国	新潟市	全国
良い	14.4	24.8	13.9	26.7	14.9	23.0
まあ良い	19.6	16.5	19.6	16.7	19.5	16.3
普通	43.1	40.4	43.6	39.8	42.8	41.0
あまり良くない	18.2	10.4	18.3	9.2	18.1	11.5
良くない	4.0	1.5	4.1	1.4	3.8	1.5
不詳	0.7	6.4	0.5	6.1	0.8	6.6

資料:新潟市「平成18年度食育・健康づくりに関する市民アンケート調査」 厚生労働省「平成16年国民生活基礎調査」



# (2)将来の健康についての不安



資料:新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

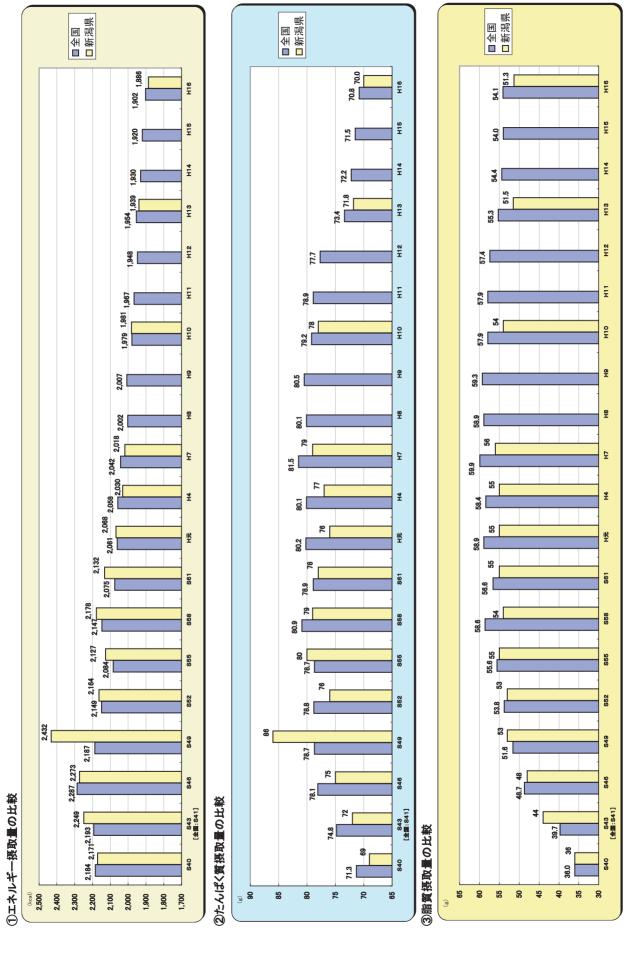
337	
辿	
艺	
20	
咁	
6	
×	
黑	
tilla Lilla	
EUL.	
眯	
罴	
**	
3	
4	
AII.	
日当たり栄養素等摂取量の年次推移	
_	
~	
	H
	①全国
	$\Theta$
-	

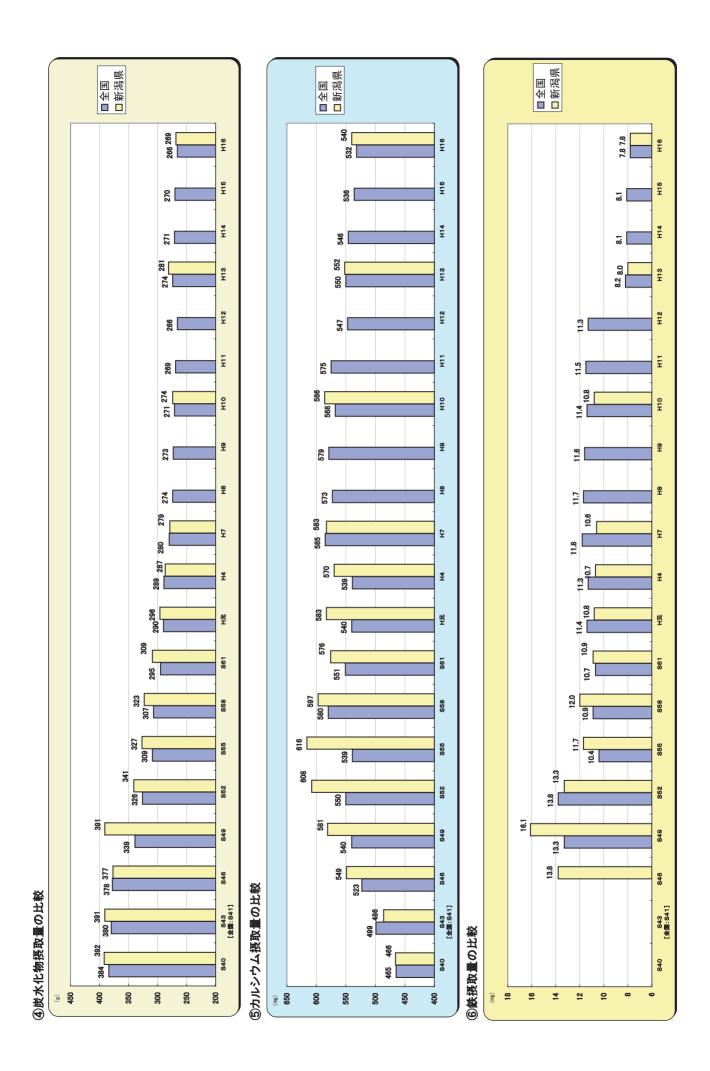
平成16年 (2004)	1,902	70.8	38.0	54. 1	26.8	266	532	7.8	10.7	ı	879	0.86	1.17	66
平成15年 (2003)	1,920	71.5	38.3	54.0	27.1	270	536	8.1	11.2	ı	922	0.85	1.18	100
平成14年 (2002)	1,930	72.2	39.0	54. 4	27.2	271	546	8.1	11.4	ı	939	0.87	1.21	101
平成13年 (2001)	1,954	73.4	39.9	55.3	27.2	274	550	8.2	11.5	ı	981	0.89	1.22	106
平成12年 (2000)	1,948	77.7	41.7	57.4	28.8	266	547	11.3	12.3	2,654	ı	1.17	1.40	128
平成11年 (1999)	1,967	78.9	42.3	57.9	29.0	269	575	11.5	12.6	2,803	ı	1.18	1.43	129
平成10年 (1998)	1,979	79.2	42.8	57.9	29. 2	271	568	11.4	12.7	2, 701	ı	1.16	1.42	125
平成9年 (1997)	2,007	80.5	43.9	59.3	29.7	273	579	11.6	12.9	2,832	1	1.19	1.43	135
平成8年 (1996)	2,002	80.1	43.1	58.9	29.3	274	573	11.7	13.0	2,836	1	1.21	1.43	131
平成7年 (1995)	2,042	81.5	44.4	59.9	29.8	280	585	11.8	13.2	2,840	1	1.22	1.47	135
平成4年 (1992)	2,058	80. 1	42.5	58.4	28.5	289	539	11.3	12.9	2,649	ı	1.25	1.36	122
平成元年 (1989年)	2,061	80.2	42.4	58.9	28.3	290	540	11.4	12.2	2,687	ı	1.26	1.36	123
昭和61年 (1986年)	2,075	78.9	40.1	56.6	27.9	295	551	10.7	12.1	2, 169	ı	1.35	1.26	124
昭和58年 (1983)	2, 147	80.9	40.9	58.6	28.3			: :		2, 190	ı		: :	
昭和55年 (1980)	2,084	78.7	39.2	55.6	26.9	309	539	10.4	12.9	1,986	ı	1.37	1.21	123
昭和52年 (1977年)	2, 149	78.8	38.6	53.8	28.0	326	550	13.8	13.4	1,810	ı	1.19	1.04	124
昭和49年 (1974年)	2, 187	78.7	37.9	51.6	26.9	339	540	13.3		1,673	1	1.08	0.94	120
昭和46年 (1971年)	2,287	78.1	34.7	48.7	22.6					1, 457	1	1.12	0.91	108
昭和40年 昭和3年(1968年) 昭和46年 昭和49年 昭和52年 昭和55年 (1965年) (1966年)] (1971年) (1974年) (1977年) (1980)	2, 193	74.8	29.3	39.7	17.8	380				1,600	1	1.03	06.0	118
昭和40年 (1965年)	2, 184	71.3	28. 5	36.0	14.3		465			1, 324	ı	_	0.83	
	エネルギー kcal	たん白質の	うち動物性の	脂質。	うち動物性の	訳 木 化 巻 g	カルシウム mg	mg	<i>₽</i> 0	ビタミンA IU	<b>★</b> μ gRE	ビタミンB 1 mg	ビタミンB <sub>2</sub> III	ビタミン C mg

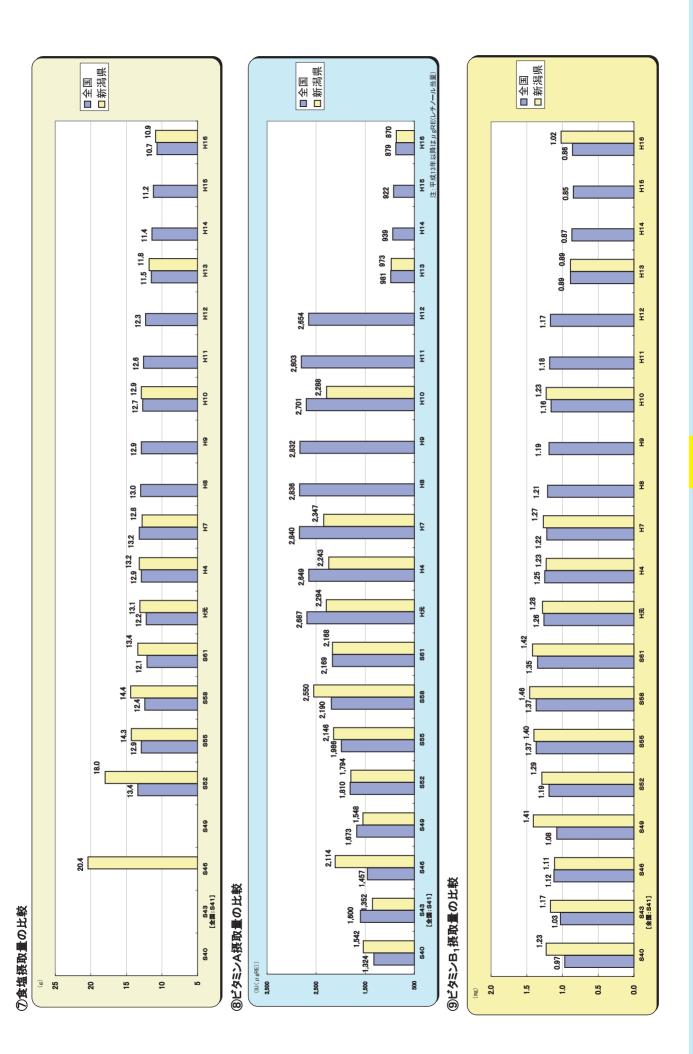
る新海県																				
	昭和40年 (1965年)	昭和40年 履和3年(1968年) 昭和46年 昭和49年 昭和52年 昭和55年 (1965年) (1965年) (1977年) (1977年) (1980)	昭和46年 (1971年)	昭和49年 (1974年)	昭和52年 (1977年)	昭和55年   日 (1980)	昭和58年 (1983) (	昭和61年 (1986年)	平成元年 (1989年)	平成4年 (1992)	平成7年 (1995)	平成8年 (1996)	平成9年	平成10年 (1998)	平成11年 (1999)	平成12年 (2000)	平成13年	平成14年 平 (2002) (	平成15年 平 (2003)	平成16年 (2004)
エネルギー kcal	al 2, 171		2, 273	2, 432	2, 164	2, 127		2, 132	2,068	2,030	2, 018			1,981			1, 939			1,886
たん白質	69 g	72	75	98		80	79	78	92	77	79			78			71.8			70.0
	5,0		30	36	31	34	33	35	38	39	42			40			37.6			36.7
阿	g 36	44	48	53	53	22	54	22	55	22	99			54			51.5			51.3
	b,0				20		22	23	25	24	28			56			24.1			24. 4
	g 392	391	377		341	327	:	309	296	287	279			274			281			569
カ ル ツ ウ ム m	mg 466	486	549	581	809	616	597	576	583	570	583			586			552			540
联 mg	шg		-	16.1	13.3	11.7		10.9	10.8	10.7				$\vdash$			8.0			7.8
食 (ナトリウム検算) <sup>を</sup>					18.0	14.3	14. 4		13.1	13.2										10.9
$\beta \stackrel{?}{>} \mathcal{V} A  I$	IU 1,542	1,352	2, 114	1,548	1,794 2,146 2,550	2, 146	2,550	2, 168	2, 294	2,243	2,347			2, 288						ı
* 14 gRE	RE —	l	I	1	1	1	1	1	I	1	1	1	I		1	1	973			870
ビタミンB」 ■	-		1.11	1.41	1. 29		1.46	1. 42	1. 28	1.23	1.27			1.23			0.89			1.02
タミンB <sub>2</sub> m	_	_	0.99	1.03	1.02		1.38	1. 29	1. 29	1.28	1.32			1.32			1.17			1.27
ドタミンC Mg		_	108	138	155	131	145	130	132	136	130			126			110			108

注1:\*RE:レチノール当量 注2:昭和57年と平成12年の食品成分表の改正により、栄養素摂取量の算出方法に一部変更があります。

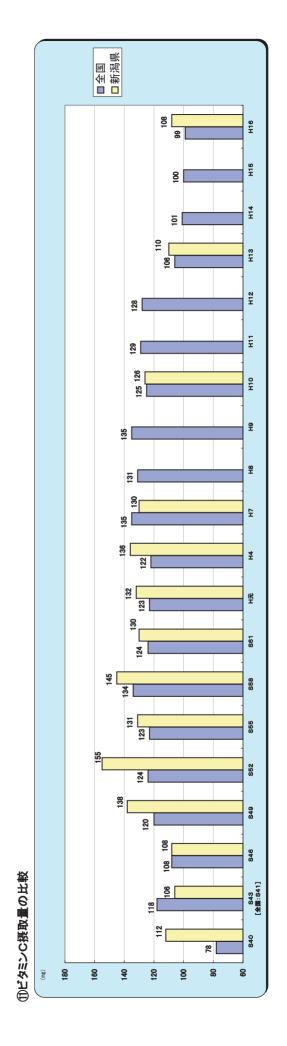
(2)主な栄養素等摂取量の全国・新潟県の比較





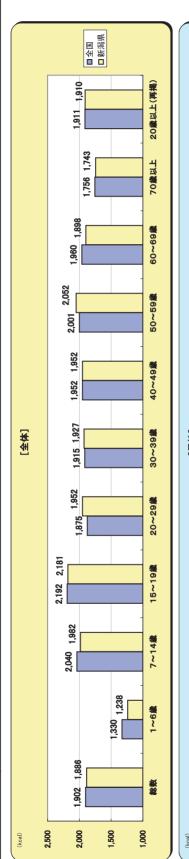


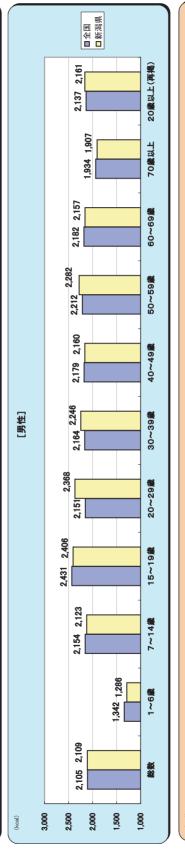
□全国 □新潟県 1.17 H16 H 15 **H** H 3 2 Ξ 9 9 앞 ₹ [ £ Ŧ. 坚 1.29 S61 828 1.33 S55 1.02 **S**52 1.04 849 0.94 660 846 ⑩ビタミンB₂摂取量の比較 0.90 0.87 S43 [全國:S41] 0.82 840 0.83 0.1 0.0 5.0 0.5 5.

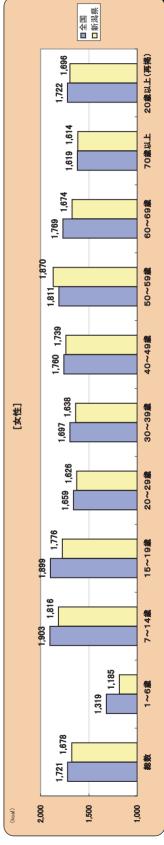


(3)エネルギー摂取量の性別, 年代別での全国, 新潟県の比較[平成16年]

		総数	1~6歳	7~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	20歳以.
±4	全国	1,902	1, 330	2,040	2, 192	1,875	1,915	1,952	2,001	1,960	1,756	
<u></u> #	新潟県	1,886	1, 238	1,982	2, 181	1,952	1,927	1,952	2,052	1,898	1,743	
基田	全国	2,105	1,342	2, 154	2, 431	2, 151	2, 164	2,179	2, 212	2, 182	1,934	
H H	新潟県	2, 109	1, 286	2, 123	2, 406	2, 368	2, 246	2, 160	2, 282	2, 157	1,907	
*	全国	1,721	1, 319	1,903	1,899	1,659	1,697	1,760	1,811	1, 769	1,619	
<u>H</u> ⊀	新潟県	1,678	1, 185	1,816	1,776	1,626	1,638	1, 739	1,870	1,674	1,614	







# (4)エネルギーの栄養素別摂取構成比の年次推移

IAI
独
$\Theta$
-

	昭和40年 昭和43年 昭和46年(1971年) 昭和49年(1974年) 昭和52年(1977年) 昭和55年 [全国:昭和55年 [全国:昭和56年] (1968年)] (1978年)] (1978年)]	(年 昭和46年(1971年) (全国:昭和45年 (1970年)]	昭和49年(1974年)   [全国:昭和50年 (1975年)]	昭和52年(1977年) [全国:昭和53年 (1978年)]	昭和55年 (1980)	昭和58年 (1983)	昭和61年 (1986)	平成元年 (1989年)	平成4年 (1992)	平成7年 (1995)	平成8年 平成9年 平成10年 平成11年 1998) (1996) (1997) (1998)	F成9年	C成10年 平 (1998)	<sup>Z</sup> 成11年 平 (1999)	平成12年	平成13年 平	平成14年 平成15年 (2002) (2003)	<sup>2</sup> 成15年 甲 (2003)	平成16年 (2004)
たんぱく質エネルギー比率 13.1% 14.0% 14.6% 14.8% 14.9%	13.1%	14.0%	14.6%	14.8%	14.9%		15.2%	15.1% 15.2% 15.6% 15.6% 16.0% 16.0% 16.0% 16.0% 16.0% 15.9% 15.9% 15.1% 15.1% 15.0% 15.0%	15.6%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	15.9%	15.1%	15.1%	15.0%	15.0%
脂肪エネルギー比率     14.8%     18.9%     22.3%     22.7%     23.6%	14.8%	18.9%	22.3%	22.7%			24.5%	24.6% 24.5% 25.7% 25.5% 26.4% 26.5% 26.6% 26.3% 26.5% 26.5% 25.2% 25.2% 25.1% 25.0% 25.3%	25.5%	26. 4%	26.5%	26.6%	26.3%	26.5%	26.5%	25.2%	25. 1%	25.0%	25.3%
炭水化物エネルギー比率	72.1%	67.1%	63.1%	62.5%	_	60.3%	60.3%	58. 7%	58.9%	57.6%	57.5%	57.4%	57.7%	57.5%	57.5%	59. 7%	29.8%	60.0%	59. 7%

# の新温庫

	昭和40年 (1965年)	昭和43年 (1968年)	昭和46年(1971年) [全国:昭和45年 (1970年)]	昭和40年 昭和43年 昭和44年 [全国:昭和49年(1971年) 昭和52年(1977年) 昭和55年(1965年) (1968年) (1976年)] (1975年)] (1975年)] (1975年)]	昭和52年(1977年) [全国:昭和53年 (1978年)]		昭和58年 (1983)	昭和61年 (1986)	平成元年 (1989年)	平成4年 (1992)	平成7年 平成8年 平成9年 平成10年 平成11年 平成12年 1995) (1996) (1997) (1998) (1997) (1998)	平成8年 (1996)	平成9年	平成10年 (1998)	平成11年 (1999)	平成12年	平成13年 平成14年 平成15年 (2001) (2003)	平成14年 (2002)	序成15年 ፯	平成16年 (2004)
たんぱく質エネルギー比率	12.7%	12.8%	13.1%	14.1%	14.1%	_	14.5%	14.6%	15.0%	15.2%	15.7%			15.8%			14.5%     14.6%     15.0%     15.2%     15.7%     15.8%     14.9%     14.9%			14.9%
脂肪コネルギー比率 14.9% 17.6% 19.0% 19.6% 21.9% 23.2%	14.9%	14.9% 17.6%	19.0%	19.6%	21.9%			23.4%	24. 1%	24. 2%	24.8%			24.7%			22.4% 23.4% 24.1% 24.2% 24.8% 24.7% 23.7% 23.7%			24.3%
<b>成水化物エネルギー</b> 比率	72. 4%	%9 .69	67.9%	66.3%	64.0%	64.0% 61.7%	63.1%	62.0%	%6 .09	60.6%	59.5%			59.5%			61.4%			60.8%
																	世界 株別	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	I٠	学 巻 主 能 調 本

	□たんばく親エネルギー比等 ■難訪エネルギー比等 ■数水化物エネルギー比率		
	15.0%	59.7%	9 9 1
	15.0%	80.0%	5
	15.1%	29.8%	£ 4
	15.1% 25.2%	59.7%	E. L.
	1 <mark>5.9%</mark>	57.5%	H12
	16.0%	57.5%	Ē
	16.0%	57.7%	9 9 1
	16.0%	57.4%	9
	16.0%	57.5%	<b>£</b>
[李国]	16.0%	57.6%	2
	1 <mark>5.6%</mark> 25.5%	28.9%	<b>‡</b>
	1 <mark>5.6%</mark> 25.7%	58.7%	坚
	15.2% 24.5%	80.3%	198
	15.1%	80.3%	828
	14.9%	61.5%	865
	14.8%	62.5%	\$52 #:\$53]
	14.6%	63.1%	S46   S49   S52   [全國:S45] [全國:S50] [全國:S53]
	14.0%	67.1%	\$46 #:\$45]
			843
	13.1%	72.1%	840
	001 808 808	40% 20%	š

# H15 H14 14.9% 23.7% 81.4% H H H12 Ξ 15.8% 24.7% 59.5% H10 유 発 [新潟県] 15.7% 24.8% 4 15.2% 24.2% 80.6% Ŧ 15.0% 24.1% 뱦 14.6% 23.4% 62.0% 861 14.5% 828 15.1% 23.2% S55 | S46 | S49 | S52 | [全國:S45] | [全國:S50] | [全國:S53] 14.1% 64.0%

19.6%

13.1%

12.8%

12.7%

100% 80% 80%

86.3%

67.9%

89.69

72.4%

40% 20%

843

840

8

14.9%

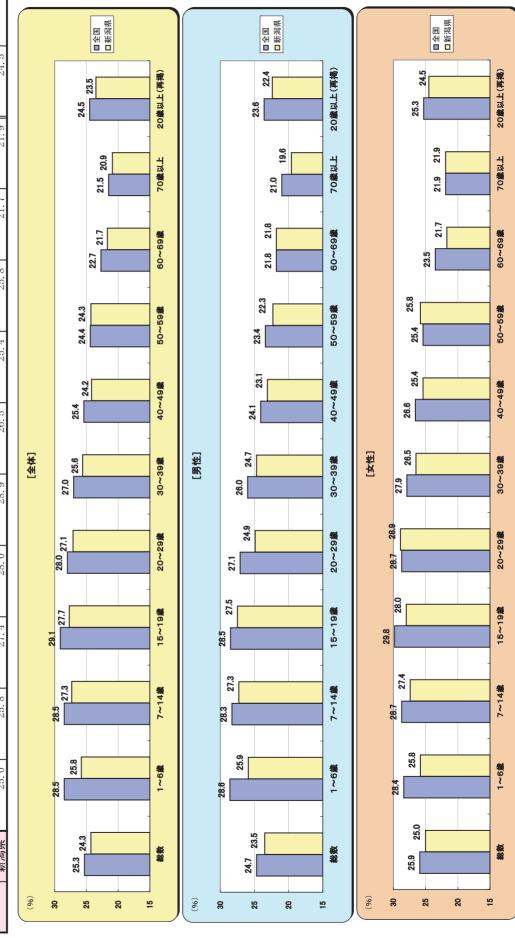
80.8%

H16

栄養

(5)脂肪エネルギー比率の性別, 年代別での全国, 新潟県の比較[平成16年]

		総数	1~6歳	7~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	20歳以上(再掲)	) 20~49歳(再掲)
#4	全国	25.3	28.5	28.5	29.1	28.0	27.0	25.4	24.4	22.7	21.5	24.5	26.7
#	新潟県	24.3	25.8	27.3	27.7	27.1	25.6	24.2	24.3	21.7	20.9	23.5	
土田田	全国	24.7	28.6	28.3	28.5	27.1	26.0	24.1	23.4	21.8	21.0	23.6	25.6
力日	新潟県	23.5	25.9	27.3	27.5	24.9	24.7	23. 1	22.3	21.8	19.6	22.4	
<b>*</b>	全国	25.9	28.4	28.7	29.8	28.7	27.9	26.6	72.4	23.5	21.9	25.3	27.7
¥ ₩	新潟県	25.0	25.8	27.4	28.0	28.9	26.5	25.4	25.8	21.7	21.9	24.5	



# (6)主食・主菜・副菜のそろった食事をしている人の割合

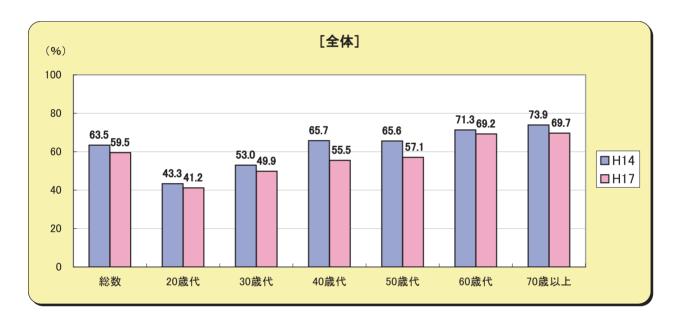
1日2回以上そろっている割合 】

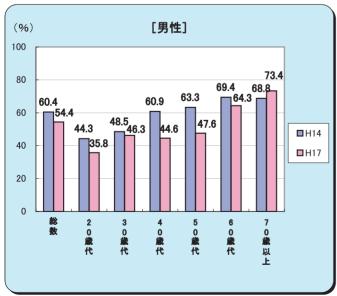
(単位·%)

		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
<b>全体</b>	H14	63.5	43.3	53.0	65.7	65.6	71.3	73.9
<u>全体</u>	H17	59.5	41.2	49.9	55.5	57.1	69.2	69.7

		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
男性	H14	60.4	44.3	48.5	60.9	63.3	69.4	68.8
ヵഥ	H17	54.4	35.8	46.3	44.6	47.6	64.3	73.4

		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
<del>左</del> 性	H14	66.2	42.4	56.1	69.8	68.5	72.3	78.8
	H17	63.7	45.7	53.3	62.6	65.2	73.5	68.2







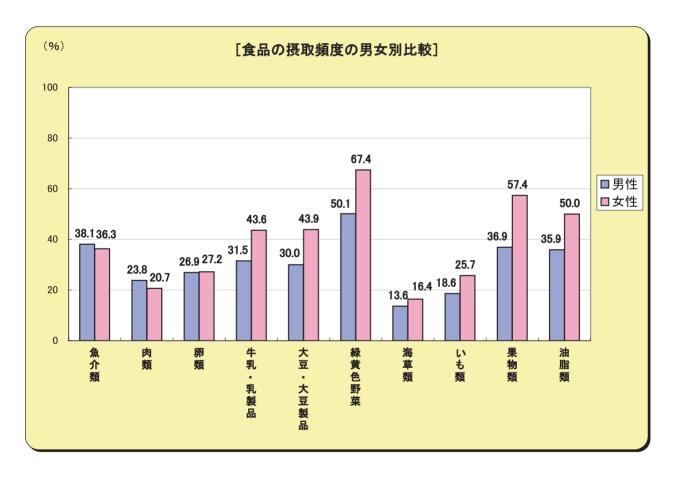
資料 : 新潟市「市民保健医療福祉意識調査」

# (7)食品の摂取頻度

# 【 ほとんど毎日食べると回答した人の割合 】

(単位:%)

			(単位:%)
	男性	女性	全体
魚介類	38.1	36.3	37.0
肉類	23.8	20.7	22.1
卵類	26.9	27.2	27.0
牛乳•乳製品	31.5	43.6	38.2
大豆·大豆製品	30.0	43.9	37.6
緑黄色野菜	50.1	67.4	59.6
海草類	13.6	16.4	15.1
いも類	18.6	25.7	22.6
果物類	36.9	57.4	48.4
油脂類	35.9	50.0	43.5



資料 : 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

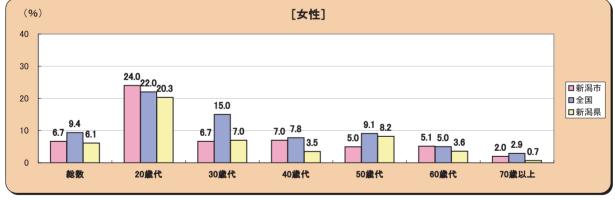
# (1)全国及び新潟県との朝食の欠食率の比較

(単位:%)

								(単位:70)
		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
	新潟市	10.4	27.3	17.5	12.5	10.4	4.9	1.7
全体	全国	11.6	27.4	20.1	12.9	9.8	4.7	2.9
	新潟県	8.0	19.3	12.9	9.2	9.1	3.4	1.7
		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
	新潟市	15.0	31.2	28.6	21.0	16.7	4.8	1.3
男性	全国	14.3	34.3	25.9	19.0	10.6	4.3	2.8
	新潟県	10.3	18.0	19.5	14.8	10.2	3.2	2.8
		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
	新潟市	6.7	24.0	6.7	7.0	5.0	5.1	2.0
女性	全国	9.4	22.0	15.0	7.8	9.1	5.0	2.9
	新潟県	6.1	20.3	7.0	3.5	8.2	3.6	0.7

※ 欠食の考え方





資料 : 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」 新潟県 「平成16年県民健康・栄養実態調査」

# (2)新潟市における朝食の欠食率の年代別比較

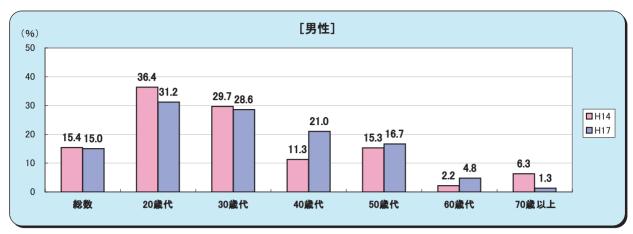
(単位:%)

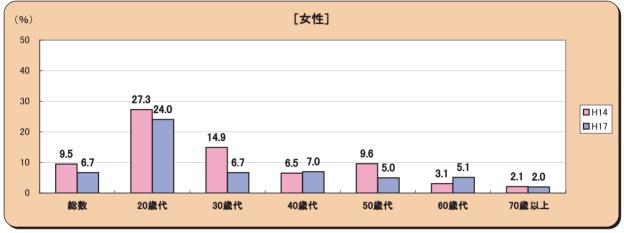
		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
全体	H14	12.2	31.6	20.9	8.7	12.4	2.7	4.1
土件	H17	10.4	27.3	17.5	12.5	10.4	4.9	1.7

		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
男性	H14	15.4	36.4	29.7	11.3	15.3	2.2	6.3
ヵഥ	H17	15.0	31.2	28.6	21.0	16.7	4.8	1.3

		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
<del>/</del> r/性	H14	9.5	27.3	14.9	6.5	9.6	3.1	2.1
) XII	H17	6.7	24.0	6.7	7.0	5.0	5.1	2.0

資料 : 「市民保健医療福祉意識調査」





資料 : 「市民保健医療福祉意識調査」

# (3)新潟市における家族構成別朝食の欠食の状況

	単身	夫婦	2世代世帯	3世代世帯	その他の世帯
ほとんど毎日食べる	72.4	90.5	82.8	87.5	82.5
週に3~4回食べる	9.2	2.7	3.6	4.5	2.6
欠食	18.4	5.3	12.6	6.9	12.3



資料:「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

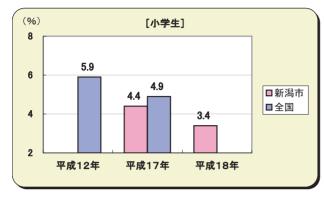
# (4)児童生徒の朝食の欠食

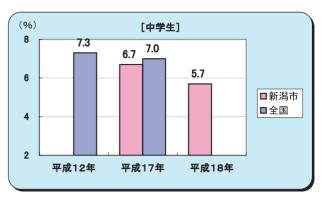
小学生

(単位:%)

	平成12年	平成17年	平成18年
新潟市		4.4	3.4
全国	5.9	4.9	

中学生			(単位:%)
	平成12年	平成17年	平成18年
新潟市		6.7	5.7
全国	7.3	7.0	





資料: 新潟市)新潟市教育委員会「学力・生活実態総合調査」(小学校5,6年生,中学校2,3年生)

※「朝ご飯は毎日食べています」という設問で、

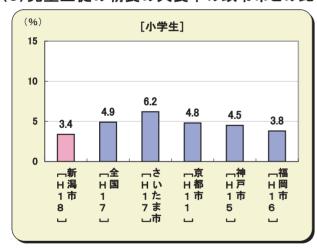
「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した児童生徒の割合

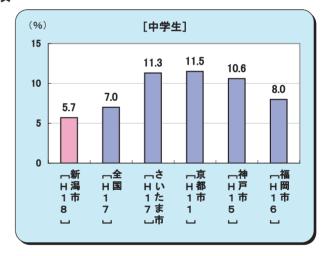
全国)独立行政法人日本スポーツ振興センター「児童生徒の食生活等実態調査」(小学校5年生,中学校2年生)

※「あなたは、毎日朝食を食べますか。」という問いに対し、

「1週間に4~5日食べないことがある」「ほとんど食べない」と回答した児童生徒の割合

# (5)児童生徒の朝食の欠食率の政令市との比較





資料: 新潟市)新潟市教育委員会「平成18年学力・生活実態総合調査」

全国)独立行政法人日本スポーツ振興センター「平成17年度児童生徒の食生活等実態調査」

その他政令市等については各市の独自調査結果より

: 各市により調査の対象学年や質問方法が多少異なっています。

# (6)朝食を1人で食べる児童生徒(孤食)の割合



資料:国立教育政策研究所「基礎体力の向上をめざす生涯にわたる健康教育の総合的研究」(H18.3中間報告書)

注1:調査対象は、4市(新潟県新潟市、大阪府茨木市、広島県東広島市、福岡県宗像市) 注2:新潟市の結果は、本市分のデータを抽出して新潟市で集計

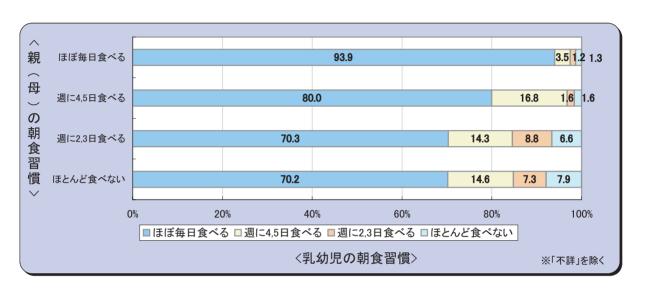
# (7)乳幼児の朝食習慣

# ① 乳幼児及びその親(母)の朝食習慣[全国]

(単位:%)

		人数(人)	ほぼ毎日食べる	週に4,5日食べる	週に2,3日食べる	ほとんど食べない
	総数	2,247	90.6	5.4	2.0	2.0
乳幼児	1歳	683	93.3	4.1	0.6	2.0
7649776	2歳	690	88.4	6.1	3.5	2.0
	3歳	874	90.3	5.9	1.8	1.9
親(母)		2,714	83.2	5.8	4.1	6.9

# ② 親(母)の朝食習慣別にみた乳幼児の朝食習慣の状況[全国]



# ③ 乳幼児の就寝時刻別にみた朝食習慣の状況[全国]



資料 : 厚生労働省「平成17年度乳幼児栄養調査」

# (8)外食の利用率

# ① 全国及び新潟県との外食の利用率の比較

(単位:%)

		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
男	新潟市	16.1	18.3	21.7	22.9	26.8	9.6	1.3
か	全国	15.9	23.0	26.9	21.7	18.1	7.2	3.0
I±	新潟県	6.2	10.5	9.4	10.2	6.7	2.2	0.9

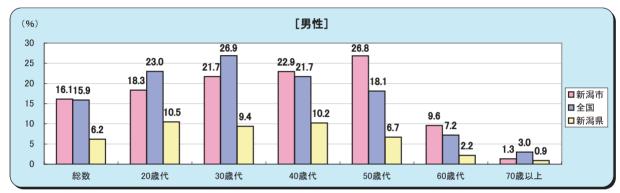
		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
+-	新潟市	4.6	13.2	11.1	5.3	4.0	1.1	0
性	全国	5.2	14.1	7.9	4.7	3.9	3.4	1.0
江	新潟県	2.5	7.4	1.1	5.6	2.7	0	0.7

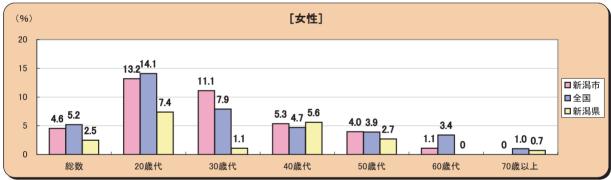
資料

新潟市 : 「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 ※「ほとんど毎日2回以上利用する」「ほとんど毎日1回利用する」を合計したもの 全国 : 厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」

新潟県: 「平成16年県民健康·栄養実態調査」

※「毎日2回以上(週14回以上)」「毎日1回以上2回未満(週7回以上14回未満)」を合計したもの

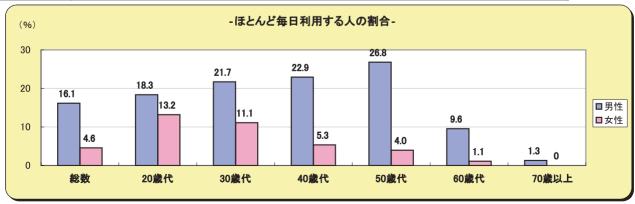




# ② 新潟市における男女別比較

(単位:%)

L		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
	男性	16.1	18.3	21.7	22.9	26.8	9.6	1.3
	女性	4.6	13.2	11.1	5.3	4.0	1.1	0
_								



資料:「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

(1)肥満者の割合の推移

## 肥満

BMI (Body Mass Index) =体重 kg / (身長 m)²

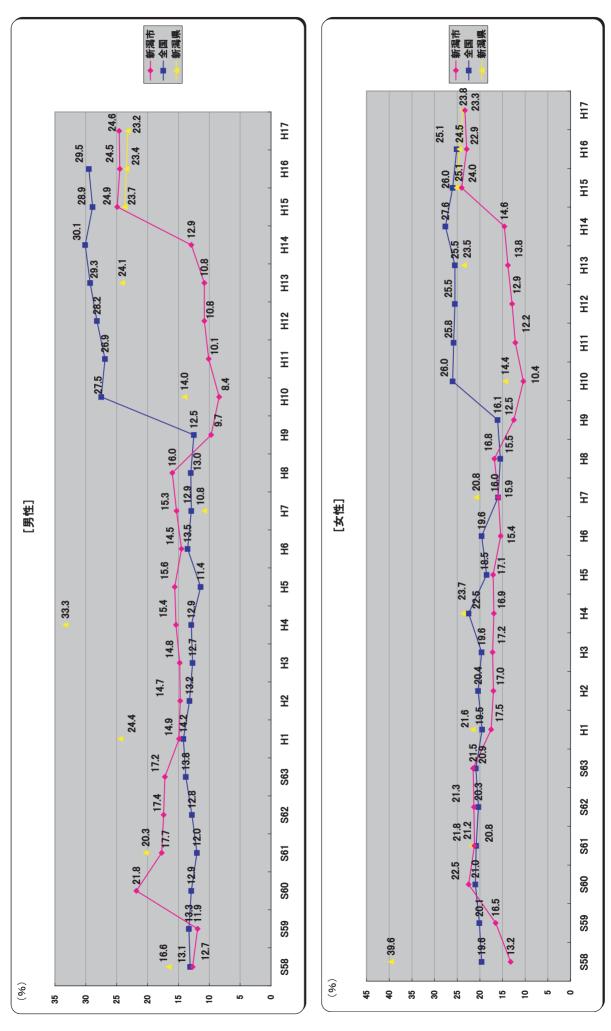
 ※ 日本肥満学会判定基準(2000年)

 判定
 低体重(やせ)

 BMI
 18.5未満

(単位:9	体別		Œ	吊性	ļ.		Г		<b>X</b> :	₩			(報(亞:3%)	性別		Е	光柱	ļ.	T		#	世			(単位:%)	性別		E	化车	1			#	〈世	
1.3 6%)	年代	40歳代	50歳代	60歳代	/0歳以上	総数	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	総数			年代	40歳代	50歳代	60歳代	/0膜以上	総数	40歳代	50歳代	50歳以下	松梨			年代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	総数	40歳代	50歳代	60歳代	(
	H17	29.7	29.8	26.9	51.9	24.6	14.7	18.4	24.3	25.6	23.3	量		H17							1			厚生労働省「国民健康・栄養調査		H17	29.9	27.2	25.4	20.1	23.2	16.2	20.2	25.4	23.8
5(記簿	H16	31.0	28.5	27.1	7.12	24.5	14.6	17.8	23.4	25.1	22.9	「新潟市基本健康診査」		H16	32.7	30.8	29.7	C.C.Z	29.5	17.9	24.1	29.9	25.1	5.侧名「国民		H16	28.2	27.0	25.6	20.4	23.4	16.2	21.0	26.4	24.5
□>BMI>= 29(肥満度被算>=	H15	30.1	30.5	27.6	21.8	24.9	13.7	19.6	24.5	26.4	24.0	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		H15	34.4	30.9	30.7	6.02	28.9	19.8	23.8	30.3	26.0	資料: 厚生労		H15	28.3	28.2	26.1	20.2	23.7	17.0	21.9	27.1	25.1
	H14	21.3	17.7	14.2	10./	12.9	9.2	12.0	12.1	15.8	14.6			H14	31.6	32.4	30.1	26.3	30.1	19.0	25.6	30.8	976	_	13.6%)	H14									
E Me : DN	H13	18.5	14.7	14.0	-:	10.8	7.9	=	15.1	14.8	13.8		3.6%)	H13	31.8	31.9	31.2	21.0	29.3	17.1	25.1	20.5	25.5	2	被解 / 二	H13	28.0	25.3	27.4	16.5	24.1	18.3	23.7	28.9	23.5
20.4, 484	H12	16.9	13.3	12.0	9.0	10.8	7.9	10.3	14.4	13.4	12.9		₩ 	H12	28.9	29.9	30.7	7.12	28.2	20.2	23.6	27.3	25.5	2	医腹膜)9	H12									
に消疫 /= ZUn(BMI後身 /= Z0.4, 像牛体星:BMIZZ) <	H H	11.8	11.6	11.9	 	10.1	8.7	9.6	13.0	13.3	12.2			H E	31.4	29.6	24.2	21.3	26.9	18.8	27.5	25.7	25.8	2	① BMI >= 25(問猶廃被律 >= 13.6%)	H H									
- 20%(DM	H10	12.9	9.8	8.7	۲.	8.4	7.1	8.2	11.8	10.7	10.4		①BMI >= 25(問選展被算 >= 13.6%)	H10	29.0	29.0	29.8	70.1	27.5	19.5	26.3	31.3	26.0	_		H10	14.8	20.8	16.7	3.6	14.0	12.7	17.7	13.1	14.4
MC/MINE /	H9	13.8	11.4	11.1	ç./	9.7	7.9	10.01	14.0	13.3	12.5	_		6H	15.0	12.3	12.9	4.	12.5	12.9	17.0	8.8	16.1	5	標準体重:BMI22) ⊕	H9									
}	완	21.9	19.8	17.9	12.3	16.0	11.4	15.2	18.6	17.2	16.8		6.4(周難)	 왕	15.0	13.6	12.2	10.2	13.0	12.4	15.6	16.0	15.5	2		 완				1					
	Н7	23.3	21.5	16.1	4.	15.3	11.0	14.5	18.4	15.1	15.9		①BMI >= 26.4(問難廃據算 >= 20%) ①	Н7	14.8	14.1	11.9	4.6	12.9	12.2	16.8	16.5	16.0	2	① 問補限 >= 20%(BMI被解 >= 26.4,	Н7	7.5	13.7	1.1		10.8	20.4	24.4	17.6	20.8
) (XX)	9H	18.8	19.4	15.6	7.0	14.5	10.7	14.7	17.2	15.1	15.4	-	Tr	9H	18.1	14.2	12.0		13.5	21.8	22.7	11.5	19.6		= 20%(BM)	9H					-			+	
及 /= 20%(係年)4里:共鴨新江/	H5	19.5	21.2	16.3	χ <u>.</u>	15.6	12.9	17.1	19.1	15.7	171			유	12.2	13.0	1.1	6.7	11.4	19.6	22.4	1111	18.5	2	> 医腹肥	H5									
いることを	H4	23.0	23.1	16.2	10.3	15.4	12.1	16.7	19.5	14.9	16.9			H4	16.4	14.4	8.6	8.5	12.9	23.3	27.6	11.9	22.5	_	Û	¥	33.0	33.3	1	+	33.3	23.4	24.1	1	23.7
	H3	18.7	20.3	15.4	ς <u>.</u>	14.8	12.4	18.1	18.8	16.2	17.2		п	23	14.0	14.7	10.4	6.6	12.7	22.3	22.6	12.3	19.6			H3				+	-				
	H2	Н	21.0	14.7	5.	14.7	12.2	16.5	19.6	15.7	17.0		^ + Tightwu +	H2	17.0	12.2	12.0	10.4	13.2	21.9	25.1	103	20.4			H2				+	_				
	Ŧ	21.1	24.0	14.8	7.01	14.9	10.8	17.7	20.7	15.5	17.5		上, 女50	Ξ	16.2	13.1	15.2	6.01	14.2	19.5	25.2	10.2	19.5	2		H	24.4			1	24.4	21.6			21.6
$\frac{1}{1}$	S63	24.9	25.7	17.8	3.	17.2	13.3	21.4	24.3	19.6	21.5		男40mm以上,女50mm以上	863	12.8	17.5	14.5	5.7	13.8	21.7	25.4	21.2	90.9	25	20%						-				
	S62 S	Ш		$\perp$	15.3	17.4	13.2				21.3		••		14.2	14.8			_			20.5	20.3		○ 問補限 >= 20% ①	Se2 s				1					
1	Se1 S	Ш		4	12.7	17.7	12.6		L	╙			皮下脂肪厚	Se1 S	13.2	14.7			4			0.02			Û	Set s	19.2	21.8	+	+	20.3	20.6	23.2	+	21.8
了 NOZ =/ 医原足	S 09S			$\perp$	_	21.8	13.7							s 09s	14.3	13.7			4	4		0.12	L			s 09S	$\left  \cdot \right $			1		1		+	
1	S 8	Ш	19.9	$\perp$	- - - - -	11.9	6.6							S 65S	15.0				4			10.9	L			S 65S		-	+	+		+	+	+	
	S58 S	Ш		$\perp$	5.0	12.7	7.0							S58 S	16.0	146		1	_			101				S58 S	19.7	13.1			16.6	39.0	40.4	+	39.6
	_			4	4		¥	#						_	-			_	4					+		H			#	4	$\dashv$	4		* 1	
	年代	40歳代	50歳代	60歳代	/0威以上	総数	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	総数	 		年代	40歳代	50歳代	60歳代	/0縣以上	総数	40歳代	50歳代	50歳以上	然数		K	年代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	総数	40歳代	50歳代	60歳代	次

(2)全国, 新潟県との肥満者の割合の比較



H15 14.2 10.7 H4 H13 H12 <u>-</u>0 Ξ H10 웃 뽀  $\overline{H}$ [男性] 9 **앞 Ŧ** 옆 6:1 무 Ξ (3) 新潟市の年代別肥満者の割合の推移 13.1 S63 **S62 S61** 27.4 21.9 21.8 20.6 S60 **S**29 S58 %) 0 35 ဓ 25 8 15 유 5

→40機代 -50機代 -60機代 -70機以上

H17

H16

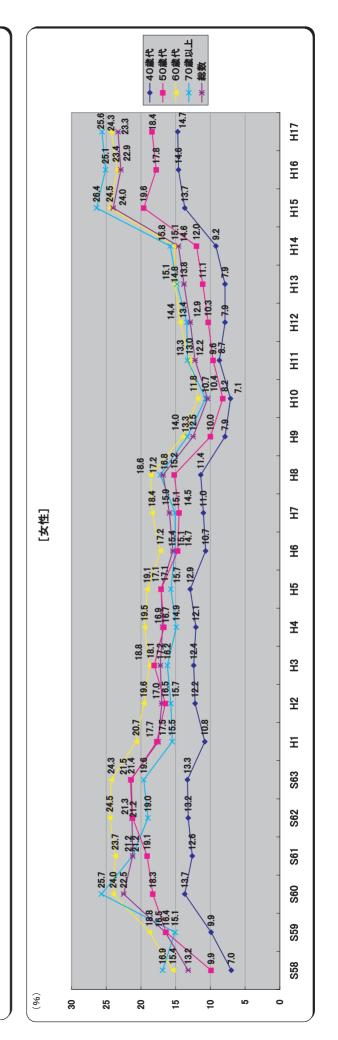
21.9

29.8

26.9

27.1

27.6



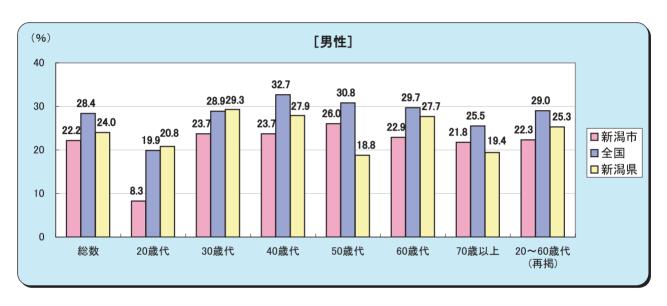
#### (4)全国, 新潟県との年代別肥満者の割合の比較

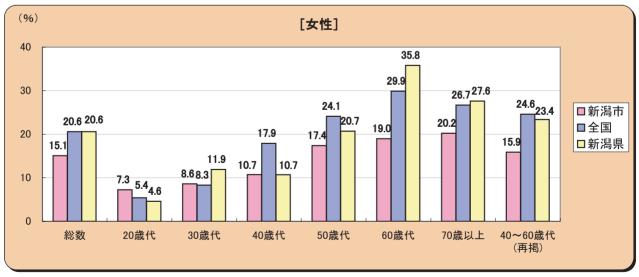
(単位:%)

		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	20~60歳代 (再掲)
	新潟市	22.2	8.3	23.7	23.7	26.0	22.9	21.8	22.3
男性	全国	28.4	19.9	28.9	32.7	30.8	29.7	25.5	29.0
	新潟県	24.0	20.8	29.3	27.9	18.8	27.7	19.4	25.3

		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	40~60歳代 (再掲)
	新潟市	15.1	7.3	8.6	10.7	17.4	19.0	20.2	15.9
女性	全国	20.6	5.4	8.3	17.9	24.1	29.9	26.7	24.6
	新潟県	20.6	4.6	11.9	10.7	20.7	35.8	27.6	23.4

資料: 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」 新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」





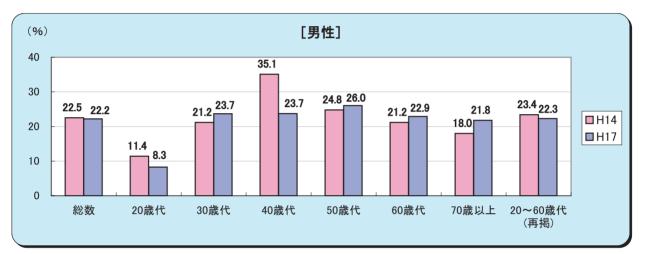
## (5)新潟市における肥満者の割合の年次比較

(単位:%)

		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	20~60歳代 (再掲)
男性	H14	22.5	11.4	21.2	35.1	24.8	21.2	18.0	23.4
ᆰᄄ	H17	22.2	8.3	23.7	23.7	26.0	22.9	21.8	22.3

		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	40~60歳代 (再掲)
女性	H14	14.1	4.1	7.5	11.6	14.0	17.9	26.5	14.6
女性	H17	15.1	7.3	8.6	10.7	17.4	19.0	20.2	15.9

資料 : 新潟市「市民保健医療福祉意識調査」





#### ※ 日本肥満学会判定基準(2000年)

٠.	- 1 WO WH	1 X 11/CT + (2000 1 /		
	判定	低体重(やせ)	普通	肥満
	BMI	18. 5未満	18. 5以上25. 0未満	25. 0以上

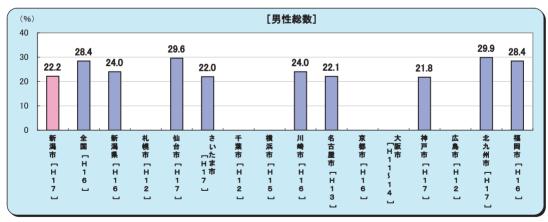
BMI(Body Mass Index) =体重 kg / (身長 m)²

## (6)肥満者の割合の政令市との比較

男性							(単位:%)	_
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	総数	]
新潟市	8.3	23.7	23.7	26.0	22.9	21.8	22.2	1
全国	19.9	28.9	32.7	30.8	29.7	25.5	28.4	1
新潟県	20.8	29.3	27.9	18.8	27.7	19.4	24.0	
札幌市	17.8	31.2	25.6	27.1	28.8	19.9		]
仙台市	18.6	30.4	32.5	34.9	28.5	27.9	29.6	]
さいたま市	10.4	23.7	36.0	25.4	23.6	18.3	22.0	]
千葉市	11.8	23.6	31.4	28.3	22.4	22.7		
横浜市	10.7	20.7	25.0	31.1	27.1	23.3		l
川崎市	15.9	23.3	31.0	27.3	22.2	27.0	24.0	l
名古屋市	12.2	31.1	25.9	25.0	21.3	14.9	22.1	
京都市			32.2	29.1	26.4	21.4	<b>%1 25.7</b>	※1 40歳以上
大阪市		20歳~	~60歳代平均	27.6				
神戸市		28.2	30.9	26.6	20.1	18.1	21.8	
広島市	16.0	25.1	28.9	26.2	22.2	14.3		
北九州市	22.1	35.3	24.2	33.1	31.4	24.8	29.9	]
福岡市	<b>※2 14.6</b>	28.2	33.5	33.7	29.7	22.5	28.4	※2 18-29歳

女性							(単位:%)	_	
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	総数		
新潟市	7.3	8.6	10.7	17.4	19.0	20.2	15.1		
全国	5.4	8.3	17.9	24.1	29.9	26.7	20.6		
新潟県	4.6	11.9	10.7	20.7	35.8	27.6	20.6		
札幌市	5.4	9.0	13.9	13.7	23.1	27.1			
仙台市	10.2	9.3	12.8	23.4	24.5	27.7	18.6		
さいたま市	4.8	6.5	12.3	12.1	21.0	16.9	13.4		
千葉市	4.9	10.2	14.7	20.5	19.4	22.2			
横浜市	8.3	9.1	16.7	19.6	11.4	15.8			
川崎市	1.9	4.6	9.8	20.5	20.2	18.4	9.7		
名古屋市	2.7	7.9	13.3	17.5	14.6	16.1	12.9		
京都市			14.3	17.4	20.9	21.5	<b>※₁19.4</b>	<b>※</b> 1	40歳以上
大阪市			40歳~	~60歳代平均	13.3				
神戸市		7.1	9.6	13.1	15.2	16.7	13.0		
広島市	2.9	7.3	13.6	20.4	25.7	16.5			
北九州市	10.8	10.7	17.1	21.1	25.4	25.5	23.3		
福岡市	<u></u> 7.3	10.5	20.1	22.8	25.3	23.9	20.5	<b>※</b> 2	18-29歳

資料: 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」 新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」 政令市等「各市の調査結果より」 注:表又はグラフの空白値について、当市において未把握のものがあります。





#### (7)全国, 新潟県との年代別低体重(やせ)者の割合の比較

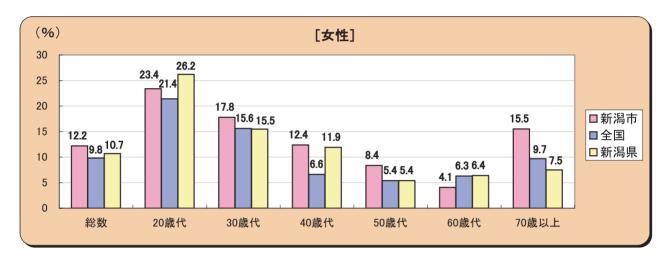
#### ① 全国, 新潟県との比較

(単位:%)

		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
	新潟市	6.6	4.6	5.8	3.8	5.3	7.5	10.7
男性	全国	4.7	8.4	3.8	2.1	2.0	3.0	9.9
	新潟県	5.9	12.5	5.3	4.7	2.4	2.1	10.7

		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
	新潟市	12.2	23.4	17.8	12.4	8.4	4.1	15.5
女性	全国	9.8	21.4	15.6	6.6	5.4	6.3	9.7
	新潟県	10.7	26.2	15.5	11.9	5.4	6.4	7.5

資料:新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」 新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」



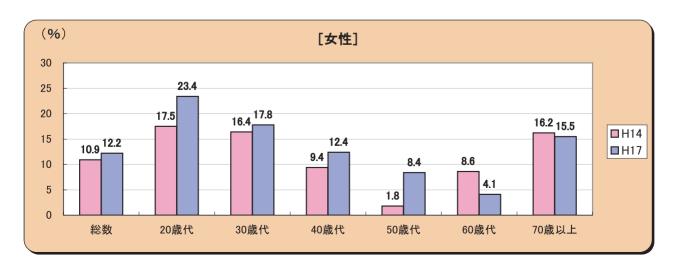
#### ② 新潟市における低体重(やせ)者の割合の年次比較

(単位:%)

		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
男性	H14	5.8	12.5	3.0	3.5	2.8	3.0	12.6
ᆔ	H17	6.6	4.6	5.8	3.8	5.3	7.5	10.7

		総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
女性	H14	10.9	17.5	16.4	9.4	1.8	8.6	16.2
	H17	12.2	23.4	17.8	12.4	8.4	4.1	15.5

資料 : 「市民保健医療福祉意識調査」



#### (8)肥満傾向児の割合の状況

#### ①肥満傾向児の割合の全国・新潟県との比較(小・中学生)[平成17年度]

(単位:%)

			男子	女子	
	新潟市	9.3	10.7	7.9	
小学生	全国	7.7	8.0	7.3	
	新潟県	10.3	11.7	8.7	
	新潟市	10.0	10.1	9.9	
中学生	全国	9.4	10.2	8.7	
	新潟県	10.6	10.8	10.3	





#### ②肥満傾向児の割合の推移(小・中学生)

(単位:%)

			H12	H13	H14	H15	H16	H17
	新潟市	10.9	9.7	10.4	10.8	10.5	9.6	9.3
小学生	全国	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	7.8	7.7
	新潟県	11.7	10.4	11.2	11.5	11.4	10.6	10.3
	新潟市	8.6	10.1	10.2	10.8	10.9	9.7	10.0
中学生	全国	9.5	9.6	9.9	10.0	9.7	9.6	9.4
	新潟県	9.6	10.1	10.7	11.1	11.2	10.8	10.6

#### ③肥満傾向児の割合の推移(幼児)

(単位:%)

								, i i— · · · ·
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
新潟市	3.7	3.2	5.1	5.5	5.2	5.6	4.7	5.6

※肥満度(%)=[実測体重(kg)-標準体重(kg)]・標準体重(kg)×100 幼児:肥満度15%以上,小・中学生:肥満度20%以上を肥満と判定

資料 : 幼児 新潟市「保育園児肥満やせ出現状況調査」

小•中学生 文部科学省「学校保健統計調査」

新潟県教育庁「定期健康診断に基づく疾病状況調査」

注: 全国の数値は、各学年の値を本市で単純平均したものである。

# 活動運動

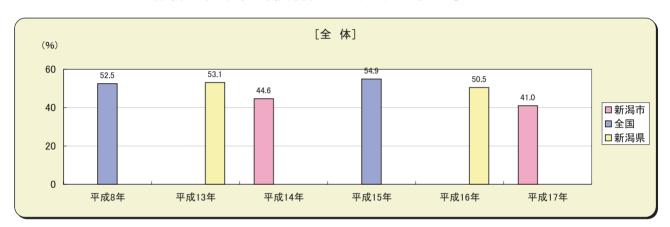
#### (1)意識的に体を動かす人の割合の推移

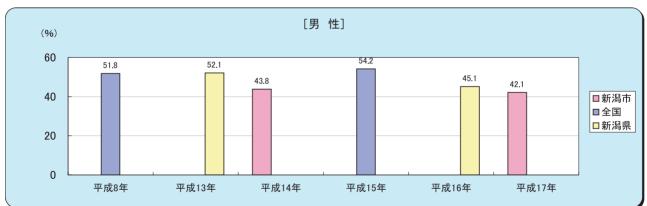
(単位:%)

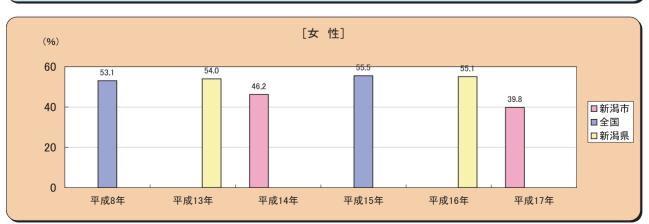
							( 7 - 7					
		実 績										
		平成8年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年					
	新潟市			44.6			41.0					
全体	全国	52.5			54.9							
	新潟県		53.1			50.5						
	新潟市			43.8			42.1					
男性	全国	51.8			54.2							
	新潟県		52.1			45.1						
	新潟市			46.2			39.8					
女性	全国	53.1			55.5							
	新潟県		54.0			55.1						

資料:新潟市「市民保健医療福祉意識調査」,

厚生労働省「保健福祉動向調査(8年)」,「国民健康・栄養調査(15年)」 新潟県「県民健康・栄養実態調査(ただし、13年は15歳以上)」







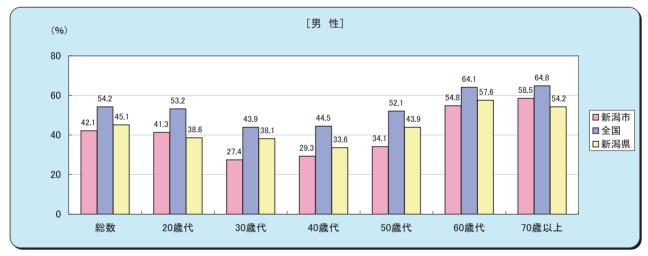
#### (2) 意識的に体を動かす人の割合(年代別)

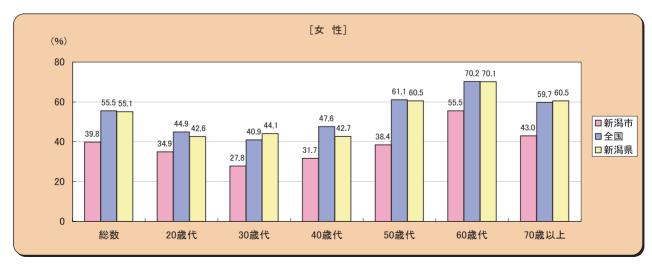
(単位:%)

		全体			男性			女性		
	新潟市	全国	新潟県	新潟市	全国	新潟県	新潟市	全国	新潟県	
総数	41.0	54.9	50.5	42.1	54.2	45.1	39.8	55.5	55.1	
20歳代	37.8	48.8	40.8	41.3	53.2	38.6	34.9	44.9	42.6	
30歳代	27.6	42.3	41.4	27.4	43.9	38.1	27.8	40.9	44.1	
40歳代	30.8	46.1	37.9	29.3	44.5	33.6	31.7	47.6	42.7	
50歳代	36.5	56.8	53.2	34.1	52.1	43.9	38.4	61.1	60.5	
60歳代	55.2	67.3	64.3	54.8	64.1	57.6	55.5	70.2	70.1	
70歳以上	49.8	61.9	57.8	58.5	64.8	54.2	43.0	59.7	60.5	

資料:新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成15年国民健康・栄養調査」 新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」







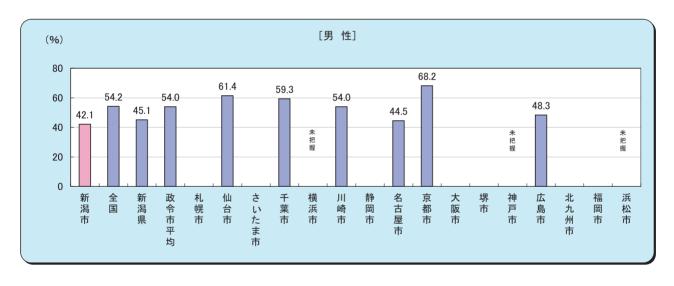
#### (3) 意識的に体を動かす人の割合の政令市との比較

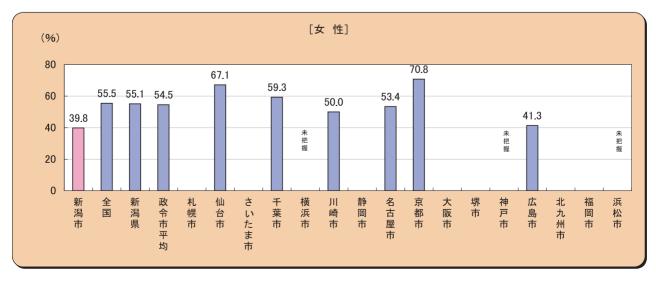
(単位:%)

		男性	女性	調査年
1	新潟市	42.1	39.8	平成17年
	全 国	54.2	55.5	平成15年
	新潟県	45.1	55.1	平成16年
	政令市平均	54.0	54.5	
2	札幌市			
3	仙台市	61.4	67.1	平成17年
4	さいたま市			
5	千葉市	59.3	59.3	平成12年
6	横浜市	-	-	未把握
7	川崎市	54.0	50.0	平成16年
8	静岡市			
9	名古屋市	44.5	53.4	平成13年
10	京都市	68.2	70.8	平成11年
11	大阪市			
12	堺市			
13	神戸市	_	_	未把握
14	広島市	48.3	41.3	平成12年
15	北九州市			
16	福岡市			
17	浜松市	-	-	未把握

資料: 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成15年国民健康・栄養調査」 新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」 その他政令市等については各市の独自調査結果より

※ 表又はグラフの空白値については、当市において未把握であるもの又は 数値はあるが調査方法や集計方法が異なるため、未掲載のものがあります。





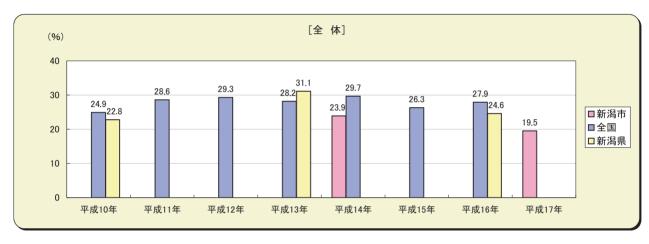
#### (4)運動習慣を身につけている人の割合の推移

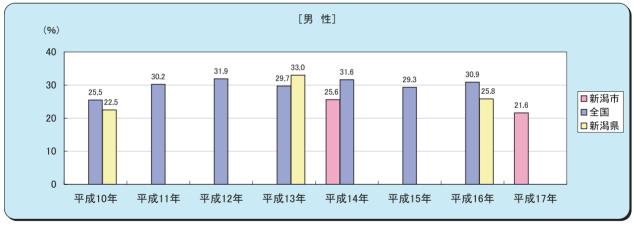
※ 1回30分以上の運動を週2日以上実施し、1年以上継続している人

(単位:%)

		(丰屋: /0/									
		実 績									
		平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年		
	新潟市					23.9			19.5		
全体	全国	24.9	28.6	29.3	28.2	29.7	26.3	27.9			
	新潟県	22.8			31.1			24.6			
	新潟市					25.6			21.6		
男性	全国	25.5	30.2	31.9	29.7	31.6	29.3	30.9			
	新潟県	22.5			33.0			25.8			
	新潟市					23.2			17.2		
女性	全国	24.4	27.5	27.4	27.1	28.3	24.1	25.8			
	新潟県	22.9			29.4	65 I.I. I.A.		23.9	- 1 1 11		

資料:新潟市「市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「国民健康·栄養調査」 新潟県「県民健康·栄養実態調査」





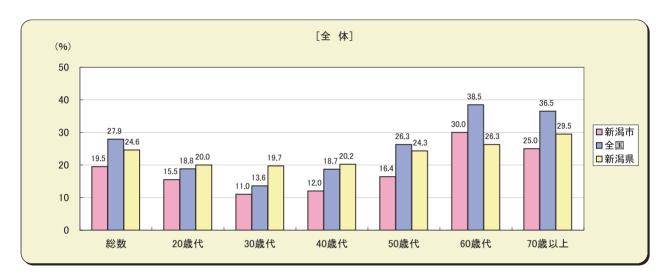


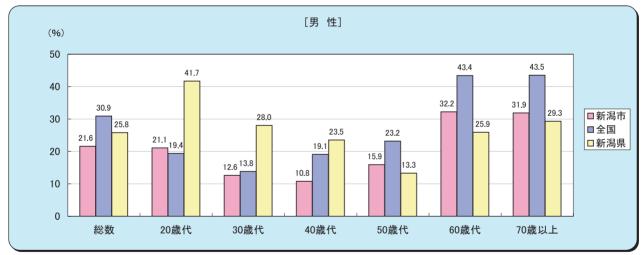
#### (5)運動習慣を身につけている人の割合(年代別)

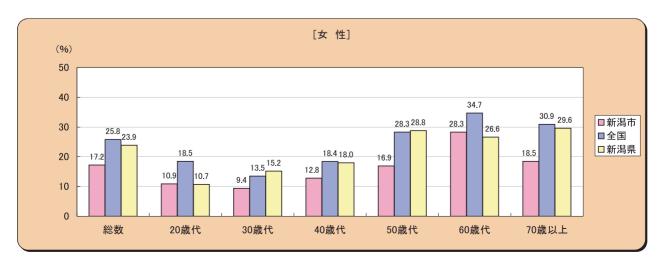
(単位:%)

									( <del>-</del>   <del>-</del>   · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
		全体			男性			女性		
	新潟市	全国	新潟県	新潟市	全国	新潟県	新潟市	全国	新潟県	
総数	19.5	27.9	24.6	21.6	30.9	25.8	17.2	25.8	23.9	
20歳代	15.5	18.8	20.0	21.1	19.4	41.7	10.9	18.5	10.7	
30歳代	11.0	13.6	19.7	12.6	13.8	28.0	9.4	13.5	15.2	
40歳代	12.0	18.7	20.2	10.8	19.1	23.5	12.8	18.4	18.0	
50歳代	16.4	26.3	24.3	15.9	23.2	13.3	16.9	28.3	28.8	
60歳代	30.0	38.5	26.3	32.2	43.4	25.9	28.3	34.7	26.6	
70歳以上	25.0	36.5	29.5	31.9	43.5	29.3	18.5	30.9	29.6	

資料:新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成16年国民健康·栄養調査」 新潟県「平成16年県民健康·栄養実態調査」







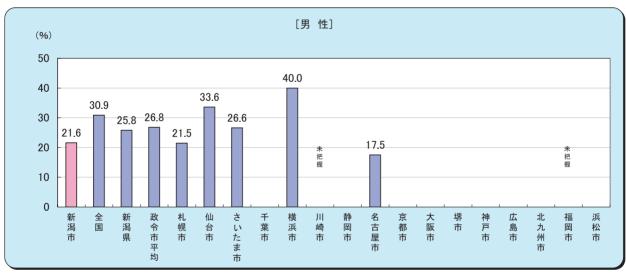
#### (6)運動習慣を身につけている人の割合の政令市との比較

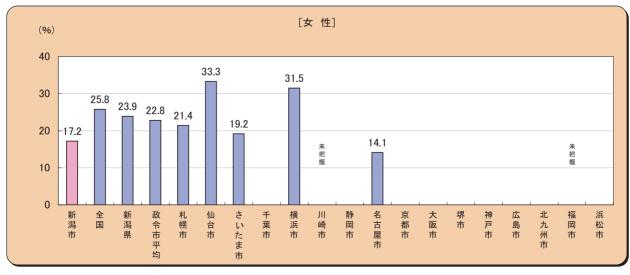
(単位:%)

		男性	女性	調査年
1	新潟市	21.6	17.2	平成17年
	全 国	30.9	25.8	平成16年
	新潟県	25.8	23.9	平成16年
	政令市平均	26.8	22.8	
2	札幌市	21.5	21.4	平成12年
3	仙台市	33.6	33.3	平成17年
4	さいたま市	26.6	19.2	平成17年
5	千葉市			
6	横浜市	40.0	31.5	平成17年
7	川崎市	-	-	未把握
8	静岡市			
9	名古屋市	17.5	14.1	平成13年
10	京都市			
11	大阪市			
12	堺市			
13	神戸市			
14	広島市			
15	北九州市			
16	福岡市	ı	-	未把握
17	浜松市			

資料: 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」 新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」 その他政令市等については各市の独自調査結果より

※ 表又はグラフの空白値については、当市において未把握であるもの又は数値は あるが調査方法や集計方法が異なるため、未掲載のものがあります。





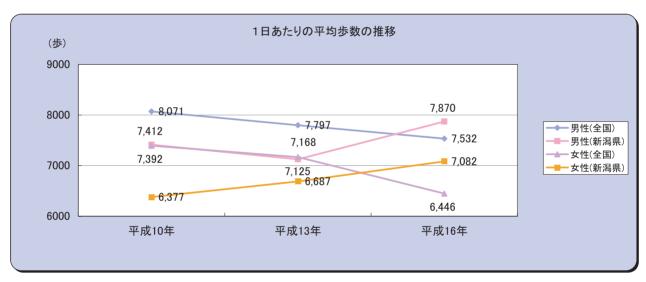
#### (7)1日あたりの平均歩数

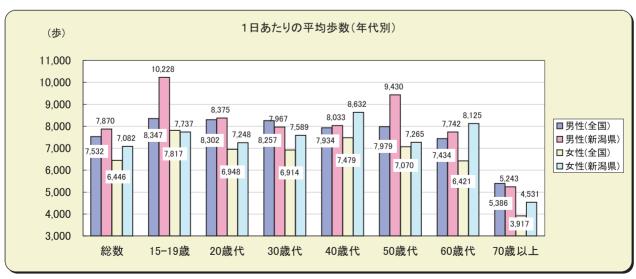
(単位:歩)

					実	<b>建</b>			
			平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
ſ	男性	全国	8,071	8,042	8,116	7,797	7,753	7,575	7,532
	力比	新潟県	7,412			7,125			7,870
	女性	全国	7,392	7,319	7,268	7,168	7,140	6,821	6,446
	文注	新潟県	6,377			6,687			7,082

	男	性	女	性
	全国	新潟県	全国	新潟県
総数	7,532	7,870	6,446	7,082
15-19歳	8,347	10,228	7,817	7,737
20歳代	8,302	8,375	6,948	7,248
30歳代	8,257	7,967	6,914	7,589
40歳代	7,934	8,033	7,479	8,632
50歳代	7,979	9,430	7,070	7,265
60歳代	7,434	7,742	6,421	8,125
70歳以上	5,386	5,243	3,917	4,531

資料 : 厚生労働省「国民健康・栄養調査」,新潟県「県民健康・栄養実態調査」





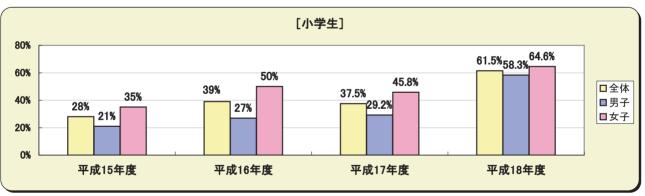
### (1)体力テスト結果全国平均を上回る項目数

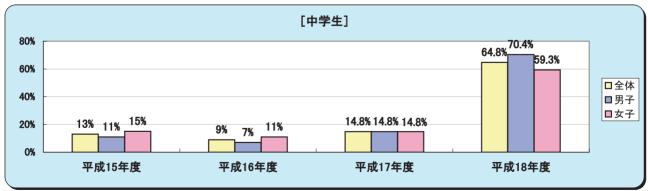
		実績						
		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度			
	全体	27	37	36	59			
小学生	男子	10	13	14	28			
	女子	17	24	22	31			
	全体	7	5	8	35			
中学生	男子	3	2	4	19			
	女子	4	3	4	16			

小学生:8項目×6学年=48項目 男女計96項目 中学生:9項目×3学年=27項目 男女計54項目

#### (2)全国平均を上回る項目割合

			実	績	
		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	全体	28%	39%	37.5%	61.5%
小学生	男子	21%	27%	29.2%	58.3%
	女子	35%	50%	45.8%	64.6%
	全体	13%	9%	14.8%	64.8%
中学生	男子	11%	7%	14.8%	70.4%
	女子	15%	11%	14.8%	59.3%

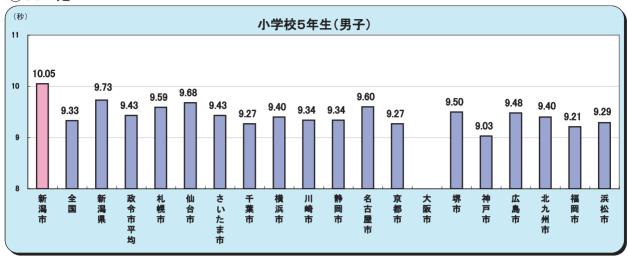




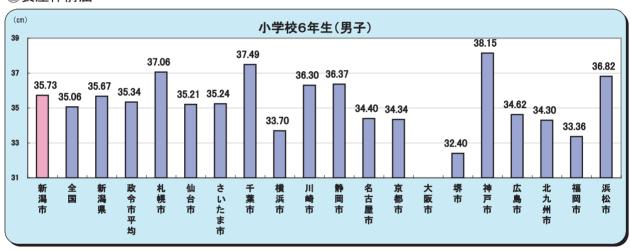
資料:新潟市「小・中学校体カテスト結果」 文部科学省「体力・運動能力調査」

#### (3)政令市との主な項目別体カテスト結果の比較

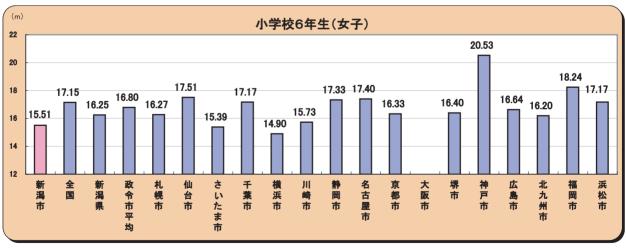
#### ①50m走



#### ②長座体前屈



#### ③ソフトボール投げ



資料:新潟市「平成17年度小・中学校体力テスト結果」

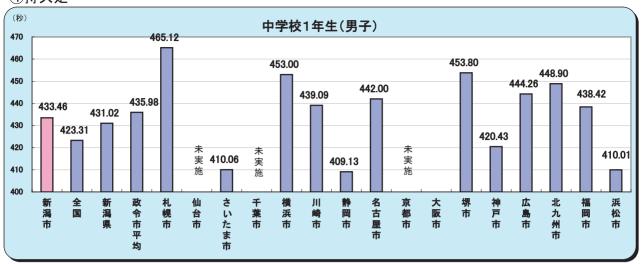
文部科学省「平成16年度体力・運動能力調査」

新潟県「平成17年度児童生徒の体力テスト結果」

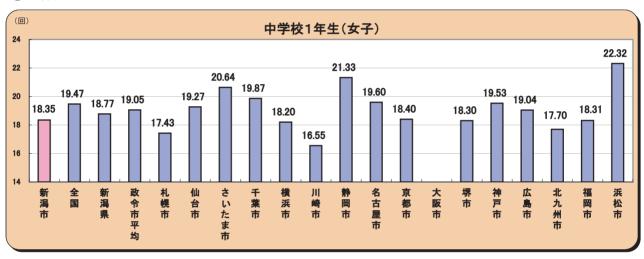
その他政令市等については各市の平成17年度体力テスト結果より

注:札幌市については平成14年度の数値,大阪市については本市において未把握

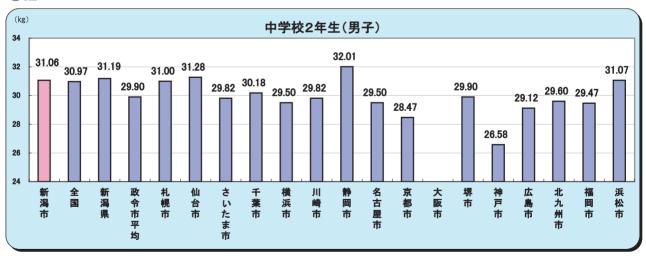
#### 4持久走



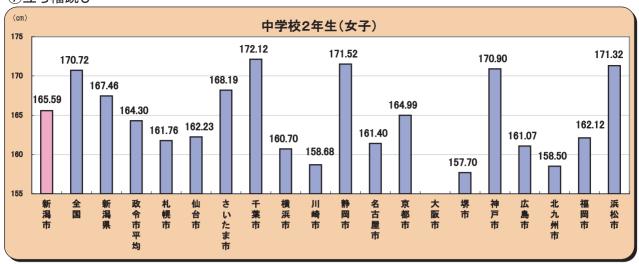
#### ⑤上体起こし



#### 6握力



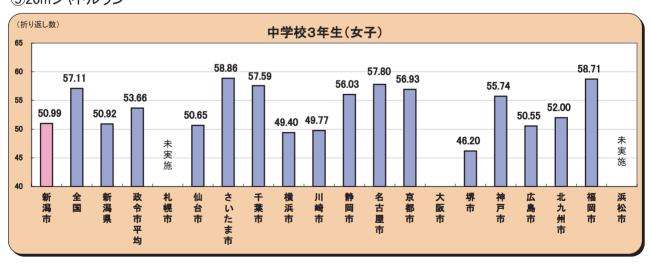
#### ⑦立ち幅跳び



#### ⑧反復横跳び



#### 920mシャトルラン



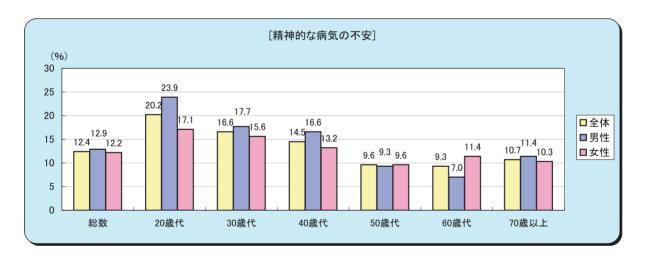
#### (1)精神的な病気・認知症に不安を感じている人の割合

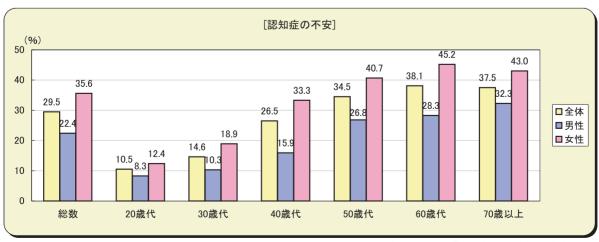
(単位·%)

			(半四./0/				
実績							
	平成14年	平成17年					
	全体	7.9	12.4				
精神的な病気の不安	男性	7.7	12.9				
	女性	8.1	12.2				
	全体	28.4	29.5				
認知症の不安	男性	20.4	22.4				
	女性	34.3	35.6				

(単位:%)

	(丰臣)								
	精神	的な病気の	不安	認知症の不安					
	全体	男性	女性	全体	男性	女性			
総数	12.4	12.9	12.2	29.5	22.4	35.6			
20歳代	20.2	23.9	17.1	10.5	8.3	12.4			
30歳代	16.6	17.7	15.6	14.6	10.3	18.9			
40歳代	14.5	16.6	13.2	26.5	15.9	33.3			
50歳代	9.6	9.3	9.6	34.5	26.8	40.7			
60歳代	9.3	7.0	11.4	38.1	28.3	45.2			
70歳以上	10.7	11.4	10.3	37.5	32.3	43.0			





資料:新潟市「市民保健医療福祉意識調査」

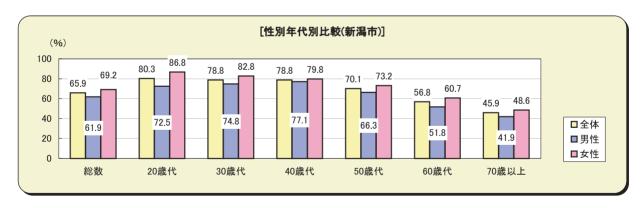
## (2)最近1ヶ月間にストレスを感じた人の割合 (単位:%)

				(平位.///				
実 績								
		平成8年	平成15年	平成17年				
	全体			65.9				
新潟市	男性			61.9				
	女性			69.2				
	全体	54.6	62.2					
全国	男性	53.0	59.0					
	女性	56.1	65.0					

(単位:%)

	¥	所潟市(H17	')	全国(H15)		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
総数	65.9	61.9	69.2	62.2	59.0	65.0
20歳代	80.3	72.5	86.8	73.6	67.9	78.9
30歳代	78.8	74.8	82.8	74.1	72.5	75.4
40歳代	78.8	77.1	79.8	73.9	73.8	73.9
50歳代	70.1	66.3	73.2	66.6	64.1	68.9
60歳代	56.8	51.8	60.7	53.1	45.7	59.7
70歳以上	45.9	41.9	48.6	41.3	36.0	45.0







資料:新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

厚生労働省 「平成8年健康づくりに関する意識調査」、「平成15年国民健康・栄養調査」

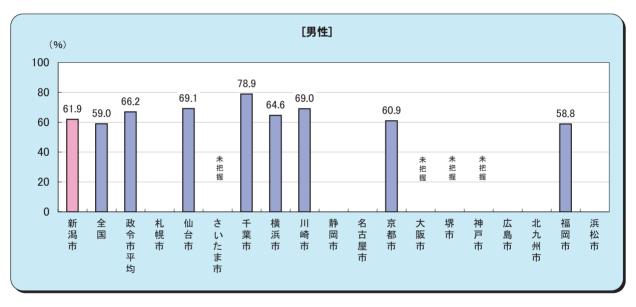
## (3)最近1ヶ月間にストレスを感じた人の割合の政令市との比較

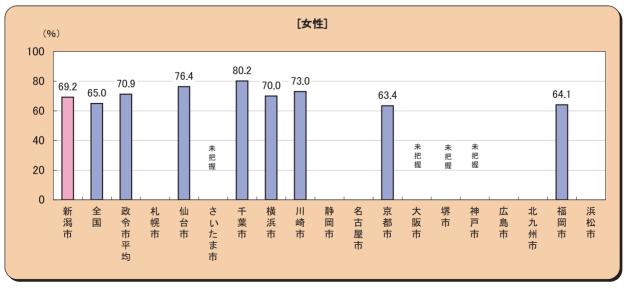
(単位:%)

				男性	女性	調査年
1	新	澙	귀	61.9	69.2	平成17年
	全		玉	59.0	65.0	平成15年
	政	令市平	均	66.2	70.9	
2	札	幌	市			
3	仙	台	市	69.1	76.4	平成17年
4	さ	いたま	市	ı	ı	未把握
5	千	葉	규	78.9	80.2	平成12年
6	横	浜	市	64.6	70.0	平成15年
7	Ш	崎	市	69.0	73.0	平成16年
8	静	畄	市			
9	名	古屋	市			
10	京	都	市	60.9	63.4	平成11年
11	大	阪	규	_	_	未把握
12	堺		市	_	_	未把握
13	神	戸	市	1	-	未把握
14	広	島	市			
15	北	九州	市	_		
16	福	岡	市	58.8	64.1	平成18年
17	浜	松	市			

資料 : 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成15年国民健康・栄養調査」 その他政令市等については各市の独自調査結果より

注:表中又はグラフの空白値については、当市において未把握であるもの 又は、数値はあるが調査方法や集計方法が異なるため未掲載のものが あります。

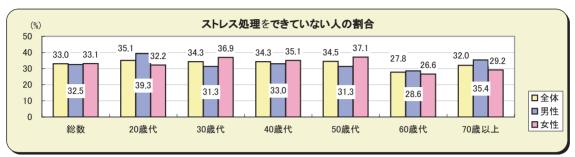




## (4)最近1ヶ月間にストレスを感じた人のストレス処理について

(単位:%)

	十分できて いる	何とかでき ている	あまりでき ていない	まったくできていない	わからない	無回答
全体	2.6	57 <u>.</u> 2	28.4	4.6	6.0	1.2
男性	3.2	56.3	27.6	4.9	6.0	2.0
女性	2.0	58.0	28.8	4.3	5.9	1.0



資料: 新潟市 「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

## (5)ストレスの対処方法

【男性】	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	(単位:% 70歳以」
人としゃべったり話を聞いてもらう	51.9	41.2	28.1	24.5	23.5	24.0
のんびりする時間をとる	34.2	24.4	24.8	36.2	26.9	21.9
テレビや映画を見たりラジオを聴いたりする	34.2	23.7	38.8	37.4	32.8	35.4
読書をする	12.7	9.9	8.3	5.5	13.4	17.7
趣味・スポーツに打ち込む	41.8	36.6	29.8	30.1	29.4	16.7
	27.8	32.1	52.1	49.1	36.1	21.9
買い物をする	15.2	13.0	6.6	3.7	7.6	9.4
夏てしまう	38.0	23.7	23.1	25.8	21.0	22.9
没階的に自分で解決する	20.3	13.7	13.2	23.3	22.7	20.8
こっと耐える	8.9	15.3	19.0	16.0	17.6	14.6
タバコを吸う	19.0	24.4	27.3	26.4	19.3	10.4
可かを食べる	10.1	16.0	6.6	0.6	3.4	4.2
	27.8	16.8	13.2	10.4	5.9	7.3
カラオケで歌う	10.1	0.8	3.3	3.1	1.7	5.2
動物と遊ぶ	6.3	6.1	7.4	6.7	6.7	3.1
デャンブル・勝負事をする	10.1	9.9	16.5	9.2	5.0	1.0
見てみぬふりをする	3.8	4.6	8.3	1.8	5.0	6.3
R C 0 7 6 3 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5	0.0	0.8	4.1	0.0	0.8	6.3
アロマテラピーを利用する	1.3	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0
その他	8.9			4.3		3.
らの他 寺になし	2.5	6.1 3.1	3.3 1.7	3.7	1.7 3.4	5.2
乗回答	0.0	ا.5 1.5	0.0	1.8	4.2	
<u>《女性》</u>	0.0	1.5	0.0	1.0	4.2	8.3
人としゃべったり話を聞いてもらう	82.1	73.8	75.8	67.0	65.5	44.9
のんびりする時間をとる	39.3	30.9	29.9	38.5	27.3	21.1
テレビや映画を見たりラジオを聴いたりする	34.8	29.5	27.8	34.4	35.2	34.
売書をする	16.1	14.8	11.3	14.5	13.9	16.0
w味・スポーツに打ち込む	25.9	23.5	14.4	16.3	21.8	12.2
要ない。 要を飲む	22.3	20.1	16.5	12.7	5.5	2.0
ョと 飲む 買い物をする	47.3	46.3	33.5	31.7	24.2	14.3
ミン・170 と する 夏てしまう	31.3	30.9	22.2	18.6	10.9	13.0
g Cしよう 没階的に自分で解決する	14.3	14.1	23.7	22.2	23.0	12.9
どっと耐える	10.7	10.7	16.0	18.6	16.4	21.8
アバコを吸う	7.1	10.7	9.3	7.7	2.4	3,4
可かを食べる	39.3	24.2	25.3	15.8	12.7	
可かを良べる 音楽を聴く						4.8
ラオケで歌う	39.3	22.1	17.5	17.6	18.2	7.5
動物と遊ぶ	10.7	4.0	2.6	5.0	3.0	2.
りかくぜい・暖色車をする	13.4	8.7	8.8	14.5	7.9	6.
がると述ぶ ドャンブル・勝負事をする 見てみぬふりをする 呆健所・医療機関などで相談する	2.7	2.7	0.5	1.8	0.0	0.7
でしかぬかりでする	1.8	3.4	5.7	3.2	5.5	8.2
未健所・医療機関などで相談する アロマテラピーを利用する	1.8	1.3	3.6	1.4	5.5	6.1
アロマアフローを利用する	5.4	4.7	2.6	1.4	0.6	0.0
その他 寺になし	4.5	7.4	4.6	5.0	4.8	2.7
守になし	0.9	1.3	1.5	1.4	3.0	8.8
無回答	1.8	0.0」 料:新潟市	0.5	2.7     市民保健	1.8	7.5

資料:新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

## (6)睡眠による休養を十分取れていない人の割合

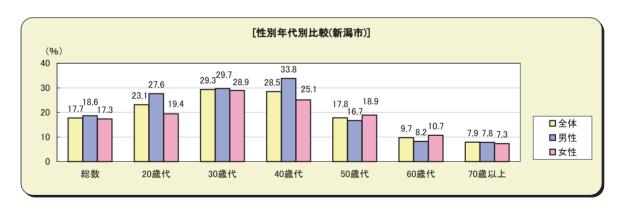
道位:%

				(単位:%)				
実 績								
		平成8年	平成16年	平成17年				
	全体			17.7				
新潟市	男性			18.6				
	女性			17.3				
	全体	23.1	21.2					
全国	男性	23.9	20.8					
	女性	22.3	21.6					

(単位:%)

	(中区: /0/									
1			潟市(H174		全国(H16年)					
		全体	男性	女性	全体	男性	女性			
	総数	17.7	18.6	17.3	21.2	20.8	21.6			
	20歳代	23.1	27.6	19.4	29.7	30.2	29.4			
	30歳代	29.3	29.7	28.9	32.9	35.0	30.9			
	40歳代	28.5	33.8	25.1	32.0	34.4	30.0			
	50歳代	17.8	16.7	18.9	18.8	16.9	20.6			
	60歳代	9.7	8.2	10.7	11.3	9.0	13.2			
	70歳以上	7.9	7.8	7.3	9.8	7.4	11.7			







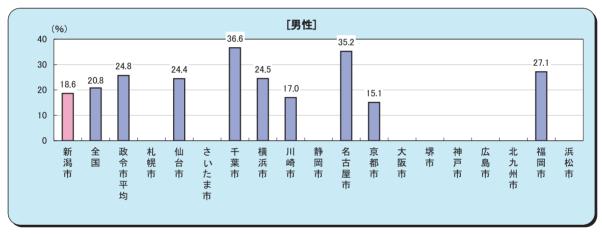
資料: 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成8年健康づくりに関する意識調査」、「平成16年国民健康・栄養調査」

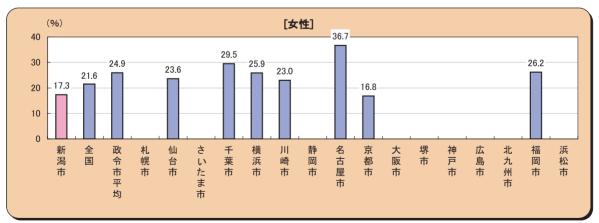
## (7)睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の政令市との比較

						(%)	
				男性	女性	調査年	i
	新	澙	규	18.6	17.3	平成17年	
全_			玉	20.8	21.6	平成16年	
政	令	市平	均	24.8	24.9		
2	札	幌	市				ĺ
3	仙	台	市	24.4	23.6	平成17年	
4	さし	ハたま	市				
5	千	葉	中	36.6	29.5	平成12年	
6	横	浜	市	24.5	25.9	平成15年	
7	Ш	崎	市	17.0	23.0	平成16年	
8	静	岡	中				
9	名	古 屋	市	35.2	36.7	平成13年	
10	京	都	市	15.1	16.8	平成11年	
11	大	阪	市				ĺ
12	堺		市				漫
	神	戸	市				
14	広	島	市				
15	北	九州	市				22
16	福	岡	市	27.1	26.2	平成18年	
17	浜	松	市				

資料 : 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」 その他政令市等については各市の独自調査結果より

注:表中又はグラフの空白値については、当市において未把握であるもの 又は、数値はあるが調査方法や集計方法が異なるため未掲載のものが あります。





#### (8)ストレスと睡眠の関係

(単位:%)

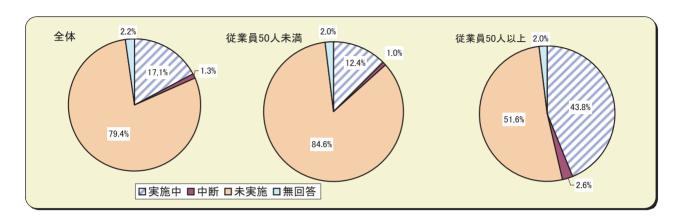
ストレス	全体	十分とれて いる	まあまあ とれている	あまりとれ ていない	まったく とれていな い	わからない
大いにある	16.4	9.3	13.8	32.6	55.9	27.3
多少ある	49.5	40.3	53.4	54.2	35.3	45.5
あまりない	28.2	37.0	29.4	11.6	8.8	18.2
まったくない	4.7	11.7	2.4	1.4	0.0	9.1
無回答	1.2	1.8	1.1	0.2	0.0	0.0

資料:新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

#### (9)職場のメンタルヘルスの現状

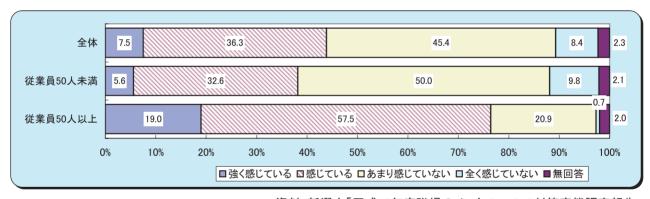
【職場で何らかのメンタルヘルス対策を行っていますか】 (単位:%)

E-190 33 C   3 3 70 C 77 C 7		7/(   13 / (		(
	実施中	中断	未実施	無回答
全体	17.1	1.3	79.4	2.2
従業員50人未満	12.4	1.0	84.6	2.0
従業員50人以上	43.8	2.6	51.6	2.0



【職場で何らかのメンタルヘルス対策は必要だと感じていますか】 (単位:%)

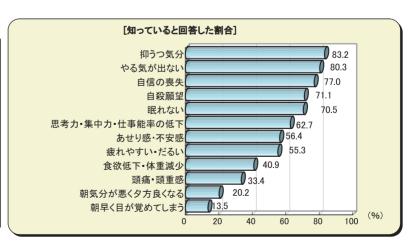
	強く感じてい る	感じている	あまり感じて いない	全く感じてい ない	無回答
全体	7.5	36.3	45.4	8.4	2.3
従業員50人未満	5.6	32.6	50.0	9.8	2.1
従業員50人以上	19.0	57.5	20.9	0.7	2.0



資料:新潟市「平成17年度職場のメンタルヘルス対策実態調査報告」

#### (10)うつ症状の認知度

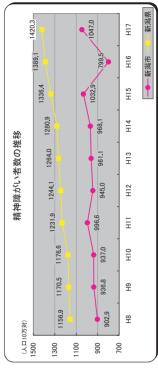
	(単位:%)
症状	
抑うつ気分	83.2
やる気が出ない	80.3
自信の喪失	77.0
自殺願望	71.1
眠れない	70.5
思考力・集中力・仕事能率の低下	62.7
あせり感・不安感	56.4
疲れやすい・だるい	55.3
食欲低下•体重減少	40.9
頭痛•頭重感	33.4
朝気分が悪く夕方良くなる	20.2
朝早く目が覚めてしまう	13.5

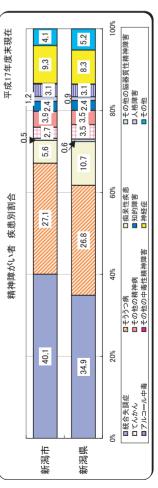


資料:新潟市「平成18年度新潟市民のメンタルヘルス(こころの健康)に関する調査」

数
い者
章が
事種
() () () ()

	その他	141	006	310	1,259	206	1,020	270	1,264	233	1,186	173	1,011	221	1,089	250	1,179	290	1,414	348	1,786
	神経症	433	3,170	503	3,449	220	3,367	505	3,324	514	3,085	479	2,919	447	2,627	518	2,811	461	2,533	789	2,869
Шd	6 争	ı	4	D.	16	10	19	9	19	15	24	6	22	6	27	7	15	9	19	œ	22
その他の中毒	有機溶	က	2	2	က	-	က	2	က	-	2	-	က	က	5	1	2	1	-	ı	2
40	総数	က	6	7	19	Ξ	22	œ	22	16	29	10	25	12	32	7	17	9	20	œ	24
44	精神病	1	1	-	2	ı	-	1	-	-	4	-	2	1	2	1	2	-	2	2	က
賞せい剤中帯	- јш	ı	-	1	-	ı	-	1	က	-	က	ı	4	1	-	1	2	1	1	-	2
中间	総数	1	-	-	ဗ	ı	2	Τ	4	2	7	-	9	1	က	1	4	_	2	ю	2
#	精神病	8	20	6	55	15	47	16	99	22	173	11	65	14	52	15	09	18	9/	22	71
ード田	存症	178	1,013	172	1,096	162	1,148	187	1,189	164	1,041	187	1,150	172	1,109	179	1,097	197	1,035	238	984
アルコ		186	1,063	181	1,151	177	1,195	203	1,255	186	1,214	204	1,215	186	1,161	194	1,157	215	1,111	260	1,055
	総数	189	1,073	189	1,173	188	1,219	211	1,281	204	1,250	215	1,246	198	1,196	201	1,178	222	1,136	271	1,084
4	人 堕 绝 害	59	176	36	221	24	246	69	297	67	254	67	293	73	298	8	319	78	282	<u>8</u>	297
	田郎	125	982	Ξ	1,006	122	1,049	126	1,032	121	696	116	917	113	891	127	863	156	821	207	845
その他	6年	254	838	188	887	196	903	267	1,021	169	926	141	842	136	878	137	818	154	991	331	1,203
ì	かんか	175	1,580	153	1,443	141	1,369	155	1,405	160	1,388	147	1,317	139	1,316	171	1,376	178	1,280	234	_
	その色	71	531	49	316	33	242	205	479	34	216	24	208	24	237	36	207	31	223	\$	212
	そのも	59	350	4	360	42	453	6	466	25	448	34	260	46	546	26	496	¥	520	61	585
	1 管型	8	1,342	79	1,209	72	1,182	82	1,285	86	1,172	9	1,190	8	1,136	8	1,161	125	1,156	125	1,035
痴呆性疾	グドンドート	8	892	54	840	8	895	91	1,00,1	121	1,230	123	1,483	123	1,702	145	1,855	179	1,991	288	2,075
	総数	193	2,584	173	2,409	204	2,530	213	2,752	244	2,850	257	3,233	249	3,384	261	3,512	338	3,667	474	3,695
	総数	264	3,115	222	2,725	235	2,772	418	3,231	278	3,066	281	3,441	273	3,621	297	3,719	369	3,890	514	3,907
1	かった派	166	6,296	1,054	6,350	1,032	6,532	945	6,776	1,149	7,463	1,267	7,735	1,254	7,903	1,446	8,706	1,588	9,228	2,313	9,269
\ +3	光 調 調 前	1,878	10,686	1,894	10,655	1,952	10,836	2,012	10,998	2,088	11,211	2,196	11,511	2,272	11,742	2,257	11,850	2,764	12,430	3,414	12,064
	人 万 万 为 本	902.9	1156.9	936.8	1170.5	937.0	1176.6	996.6	1231.9	945.0	1244.1	961.1	1264.0	968.1	1280.9	1032.9	1336.4	799.5	1389.1	1047.0	
	総数	4,479	28,816 1	4,660	29,168	4,676	29,313 1	4,978	30,629 1	4,983	30,801	5,082	31,232 1	5,126	31,561	5,474 1	32,819 1	6,260	34,005 1	8,521 1	
		<u>`</u>	県 28	<u>.</u>	県 53	<u>'</u>	県 29	<u>.</u>	高 33	<u>'</u>	温 30	Æ	温 3	<del></del>	33	<del> </del>	県 33	<del>-</del>	· · ·	<del></del>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	年度	中	臣	计	宦	平成	10年度	平成	11年度	平	色	平	臣	中政	世	中成	麼	4≥<	16年度	平成	庚







## (2)精神障害者保健福祉手帳所持者数

年度末現在

										(単位:人)
		平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
総数										
1	新潟市	313	414	522	932	1,019	1,122	1,299	2,082	2,365
	全 国	106,821	142,951	178,274	216,140	254,119	299,117	356,410	407,314	467,035
	新潟県	2,855	3,642	4,171	4,622	5,229	6,206	7,078	7,973	9,026
政	令市平均	1,625	2,271	2,869	3,442	4,088	4,737	5,283	6,060	6,539
2	札幌市	1,475	2,473	3,143	4,008	5,173	6,543	7,715	8,764	9,933
3	仙台市	1,418	1,794	2,154	2,342	2,432	2,957	3,117	3,512	3,909
4	さいたま市							1,882	2,363	3,014
5	千葉市	401	566	775	976	1,202	1,233	1,585	1,971	2,146
6	横浜市	2,794	3,938	5,094	6,111	7,421	8,953	10,867	12,915	15,163
7	川崎市	1,028	1,421	1,630	1,883	2,580	2,750	3,231	3,621	4,330
8	静岡市									2,223
9	名古屋市	3,220	3,976	4,650	5,342	6,054	6,840	7,880	9,127	9,243
10	京都市	1,181	2,182	3,201	3,879	4,568	5,223	5,989	6,809	7,741
11	大阪市	3,098	4,452	5,606	6,483	7,661	9,147	10,819	12,351	13,895
12	堺市									
13	神戸市	2,168	2,628	3,128	3,552	4,020	4,469	5,178	5,977	6,639
14	広島市	1,884	2,524	3,146	3,674	4,259	4,907	5,780	5,476	6,344
15	北九州市	1,094	1,643	2,400	3,310	4,250	4,520	5,169	5,851	6,502
16	福岡市	1,047	1,512	1,847	2,254	2,510	2,922	3,451	4,023	4,633
17	浜松市									
人口	10万対									
1	新潟市	62.9	83.0	104.5	185.9	192.7	211.9	245.1	265.9	290.6
	全 国	84.7	113.0	140.7	170.3	199.6	234.7	279.3	319.0	365.5
	新潟県	114.5	146.0	167.5	186.7	211.4	251.8	287.7	325.2	371.2
政	令市平均	108.9	148.5	186.4	222.6	262.4	302.3	343.6	387.8	429.7
2	札幌市	82.6	137.2	173.5	219.9	282.1	354.4	415.0	469.2	528.1
3	仙台市	146.3	179.9	215.0	232.3	239.8	290.2	304.7	342.3	381.3
4	さいたま市							178.2	221.9	256.2
5	千葉市	47.2	64.9	88.2	110.0	134.2	136.2	173.6	214.7	232.2
6	横浜市	84.6	116.9	150.1	178.3	214.4	256.0	308.1	363.3	423.6
7	川崎市	86.0	115.5	131.5	150.7	203.6	214.5	249.7	277.3	326.3
8	静岡市									314.3
9	名古屋市	153.7	183.9	214.6	246.0	278.1	312.9	359.3	414.5	417.3
10	京都市	84.5	149.3	218.2	264.3	311.2	356.0	408.5	465.1	524.9
11	大阪市	124.8	171.6	216.1	249.5	293.6	349.3	411.8	468.9	528.6
12	堺市									
13	神戸市	149.6	183.6	210.8	237.8	267.5	296.0	341.6	393.2	435.2
14	広島市	171.1	224.6	279.1	326.2	376.9	432.3	507.9	478.7	549.6
15	北九州市	108.5	161.9	237.2	327.2	421.2	449.3	515.4	585.1	654.4
16	福岡市	83.0	114.5	138.8	168.0	185.4	213.6	250.1	289.2	330.6
10						l				

<sup>※</sup>人口10万対は各年の10月1日現在の推計人口から算出。

<sup>※</sup>各市の数値は各年度末現在の市域である。

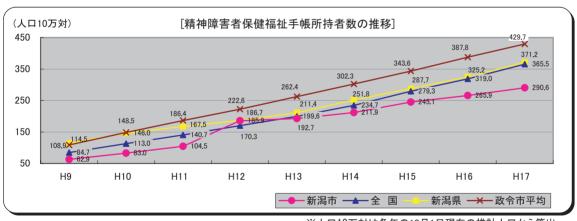
										(単位:人)
		平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
1級										
1	新潟市			143	328	316	331	339	494	533
	全 国	30,252	40,450	48,927	58,939	65,518	73,727	82,474	87,962	96,054
	新潟県	781	984	1,085	1,224	1,301	1,467	1,538	1,702	1,839
政	令市平均	389	538	611	705	796	868	897	980	1,014
2	札幌市	445	664	732	911	1,146	1,181	996	933	999
3	仙台市	632	767	871	870	779	926	921	933	955
4	さいたま市							250	330	367
5	千葉市	84	114	167	219	271	272	364	496	546
6	横浜市	742	1,023	1,269	1,460	1,698	1,906	2,181	2,464	2,791
7	川崎市	174	261	309	338	538	512	539	556	631
8	静岡市									276
9	名古屋市	276	370	456	520	588	672	764	1,014	1,050
10	京都市	336	622	777	890	970	1,019	1,108	1,192	1,271
11	大阪市	821	1,192	1,436	1,608	1,786	2,047	2,318	2,549	2,762
12	堺市									
13	神戸市	278	277	320	316	319	353	389	465	536
14	広島市	441	581	724	811	928	1,042	1,246	1,095	1,253
15	北九州市	221	299	414	515	620	647	717	760	814
16	福岡市	223	290	319	378	389	380	424	439	433
17	浜松市									
2級										
1	新潟市			331	551	646	727	891	1,438	1,672
	全 国	57,030	76,860	97,779	119,601	144,555	171,922	207,885	240,371	276,678
	新潟県	1,667	2,137	2,525	2,856	3,391	4,136	4,853	5,498	6,307
政	令市平均	969	1,377	1,659	2,020	2,456	2,860	3,199	3,650	3,943
2	札幌市	826	1,489	2,010	2,589	3,431	4,279	4,974	5,603	6,261
3	仙台市	460	609	803	953	1,127	1,358	1,467	1,807	2,086
4	さいたま市							1,268	1,572	1,989
5	千葉市	250	362	484	600	760	791	995	1,205	1,303
6	横浜市	1,393	1,981	2,627	3,196	4,008	5,025	6,035	6,926	8,152
7	川崎市	634	861	1,036	1,239	1,621	1,723	2,027	2,279	2,655
8	静岡市									1,380
9	名古屋市	1,966	2,457	2,903	3,391	3,880	4,426	5,122	5,854	5,914
10	京都市	606	1,100	1,539	1,840	2,309	2,629	2,988	3,368	3,905
11	大阪市	1,720	2,480	3,196	3,712	4,415	5,284	6,169	7,011	7,934
12	堺市									
13	神戸市	1,445	1,804	2,125	2,441	2,807	3,104	3,652	4,163	4,610
14	広島市	1,177	1,670	2,139	2,565	3,004	3,483	4,094	4,022	4,658
15	北九州市	589	877	1,297	1,829	2,380	2,509	2,911	3,306	3,684
16	福岡市	563	836	1,079	1,359	1,540	1,838	2,188	2,548	2,943
17	浜松市							•		
		V T # 10/	上中に並ん	に出土の笠	L 級別所持者	と粉の姿妙	<u> </u> #>			

※平成10年度以前の新潟市の等級別所持者数の資料なし。

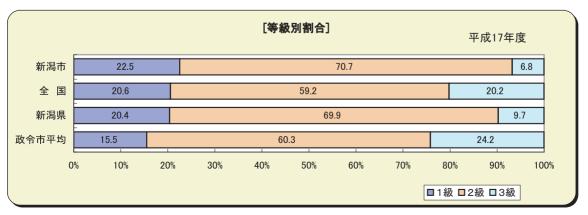
年度末現在 (単位:人)

										(単位:人)
		平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
3級										
1	新潟市			48	53	57	64	69	150	160
	全 国	19,539	25,641	31,568	37,600	44,046	53,468	66,051	78,981	94,303
	新潟県	407	521	561	542	537	603	687	773	880
政	令市平均	376	510	599	717	836	1,009	1,188	1,430	1,581
2	札幌市	204	320	401	508	596	1,083	1,745	2,228	2,673
3	仙台市	326	418	480	519	526	673	729	772	868
4	さいたま市							364	461	658
5	千葉市	67	90	124	157	171	170	226	270	297
6	横浜市	659	934	1,198	1,455	1,715	2,022	2,651	3,525	4,220
7	川崎市	220	299	285	306	421	515	665	786	1,044
8	静岡市									567
9	名古屋市	978	1,149	1,291	1,431	1,586	1,742	1,994	2,259	2,279
10	京都市	239	460	885	1,149	1,289	1,575	1,893	2,249	2,565
11	大阪市	557	780	974	1,163	1,460	1,816	2,332	2,791	3,199
12	堺市									
13	神戸市	445	547	683	795	894	1,012	1,137	1,349	1,493
14	広島市	266	273	283	298	327	382	440	359	433
15	北九州市	284	467	689	966	1,250	1,364	1,541	1,785	2,004
16	福岡市	261	386	449	517	581	704	839	1,036	1,257
17	浜松市									

資料:厚生労働省「衛生行政報告例」,新潟市「新潟市の保健と福祉」



※人口10万対は各年の10月1日現在の推計人口から算出。



## (3)精神障害者通院医療費公費負担制度 申請・承認件数

	平成9年度				平。	成10年度	Ę	平	成11年度	Ę	平成12年度			
		申請	承認	承認率										
1	新潟市	873	873	100.0%	1,169	1,169	100.0%	1,294	1,293	99.9%	1,368	1,366	99.9%	
	全 国	393,149	393,242	100.0%	294,615	294,446	99.9%	428,383	426,845	99.6%	358,057	357,829	99.9%	
	新潟県	6,314	6,314	100.0%	5,065	5,065	100.0%	7,465	7,465	100.0%	6,587	6,587	100.0%	
政	令市平均	5,252	5,289	100.7%	3,696	3,790	102.5%	5,929	5,891	99.4%	5,293	5,334	100.8%	
2	札幌市	9,302	9,758	104.9%	7,299	8,553	117.2%	9,963	9,961	100.0%	8,377	9,526	113.7%	
3	仙台市	2,641	2,641	100.0%	2,004	2,004	100.0%	2,928	2,904	99.2%	2,734	2,734	100.0%	
4	さいたま市													
5	千葉市	2,279	2,276	99.9%	1,637	1,633	99.8%	2,925	2,920	99.8%	2,471	2,470	100.0%	
6	横浜市	11,573	11,573	100.0%	2,018	2,018	100.0%	12,636	12,623	99.9%	10,888	10,888	100.0%	
7	川崎市	4,190	4,190	100.0%	2,903	2,897	99.8%	4,584	4,576	99.8%	3,507	3,505	99.9%	
8	静岡市													
9	名古屋市	5,609	5,602	99.9%	4,835	4,828	99.9%	6,532	6,529	100.0%	5,781	5,779	100.0%	
10	京都市	5,693	5,742	100.9%	4,381	4,381	100.0%	6,853	6,837	99.8%	5,183	5,178	99.9%	
11	大阪市	11,116	11,116	100.0%	10,277	10,270	99.9%	11,734	11,722	99.9%	12,929	12,848	99.4%	
12	堺市													
13	神戸市	5,488	5,483	99.9%	3,652	3,652	100.0%	6,154	6,153	100.0%	5,203	5,203	100.0%	
14	広島市	3,810	3,810	100.0%	3,015	3,015	100.0%	4,412	4,412	100.0%	3,787	3,787	100.0%	
15	北九州市	2,637	2,637	100.0%	2,218	2,218	100.0%	3,297	2,898	87.9%	2,800	2,290	81.8%	
16	福岡市	3,063	3,054	99.7%	2,645	2,630	99.4%	3,764	3,754	99.7%	3,777	3,771	99.8%	
17	浜松市													

		平月	<b>或13年度</b>	Ę	平成14年度			平月	成15年度	Ę	平	成16年度	Ę	平成17年度		
		申請	承認	承認率	申請	承認	承認率	申請	承認	承認率	申請	承認	承認率	申請	承認	承認率
1	新潟市	1,602	1,598	99.8%	1,782	1,765	99.0%	1,972	1,965	99.6%	2,023	2,015	99.6%	2,969	2,959	99.7%
	全 国	506,926	501,963	99.0%	458,788	452,577	98.6%	610,689	608,088	99.6%	591,260	588,394	99.5%	692,496	689,965	99.6%
	新潟県	8,737	8,723	99.8%	8,715	8,666	99.4%	10,931	10,731	98.2%	10,726	10,687	99.6%	11,351	11,329	99.8%
政	(令市平均	7,759	7,702	99.3%	7,013	6,957	99.2%	8,410	8,352	99.3%	8,398	8,369	99.6%	8,770	8,756	99.8%
2	札幌市	13,549	13,538	99.9%	13,442	13,395	99.7%	16,993	16,934	99.7%	15,707	15,611	99.4%	16,418	16,362	99.7%
3	仙台市	3,584	3,584	100.0%	3,709	3,705	99.9%	4,566	4,559	99.8%	4,797	4,670	97.4%	5,178	5,177	100.0%
4	さいたま市							4,892	4,892	100.0%	4,585	4,584	100.0%	5,340	5,340	100.0%
5	千葉市	3,458	3,454	99.9%	2,843	2,841	99.9%	4,194	4,190	99.9%	3,830	3,822	99.8%	4,487	4,475	99.7%
6	横浜市	14,338	14,338	100.0%	13,821	13,820	100.0%	17,823	17,818	100.0%	18,216	18,208	100.0%	23,106	23,100	100.0%
7	川崎市	5,226	5,220	99.9%	4,492	4,487	99.9%	6,105	6,097	99.9%	5,662	5,639	99.6%	7,386	7,366	99.7%
8	静岡市													2,972	2,934	98.7%
9	名古屋市	7,285	7,284	100.0%	7,493	7,487	99.9%	10,127	10,117	99.9%	10,922	10,914	99.9%	9,537	9,537	100.0%
10	京都市	7,175	7,157	99.7%	6,587	6,576	99.8%	8,698	8,675	99.7%	8,193	8,144	99.4%	8,747	8,718	99.7%
11	大阪市	23,934	23,890	99.8%	16,587	16,457	99.2%	16,661	16,595	99.6%	17,852	17,791	99.7%	18,530	18,502	99.8%
12	堺市															
13	神戸市	7,135	7,133	100.0%	7,303	7,302	100.0%	8,897	8,888	99.9%	8,819	8,810	99.9%	8,068	8,064	100.0%
14	広島市	4,979	4,979	100.0%	4,820	4,819	100.0%	6,348	6,346	100.0%	6,188	6,187	100.0%	6,295	6,294	100.0%
15	北九州市	3,914	3,267	83.5%	3,601	3,109	86.3%	4,553	3,953	86.8%	4,657	4,649	99.8%	4,862	4,856	99.9%
16	福岡市	4,694	4,688	99.9%	4,691	4,673	99.6%	5,904	5,896	99.9%	6,126	6,116	99.8%	7,660	7,652	99.9%
17	浜松市															

資料:厚生労働省「衛生行政報告例」,新潟市「新潟市の保健と福祉」



※人口10万対は各年の10月1日現在の推計人口から算出。

※新潟市の数値は、市町村合併した時点から合併市域を含んだ数値である。

## (4)精神障がい者受療実績

## ①人口10万対1日平均在院患者延べ数

(単位:人)

		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1	新潟市	460.4	449.2	441.4	437.7	410.7	416.9	413.6	411.6	333.3
	全国	267.6	265.9	263.8	262.9	261.6	260.5	258.6	256.3	254.4
	新潟県	290.1	288.9	285.3	286.3	283.4	284.2	282.3	279.3	277.2
政	令市平均	237.2	235.1	233.3	232.0	228.9	229.1	220.2	218.8	215.3
2	札幌市	388.4	392.5	396.3	395.5	388.6	382.6	377.2	368.8	369.1
3	仙台市	160.1	159.7	158.7	158.0	155.5	160.3	167.1	176.4	192.3
4	さいたま市							108.3	107.8	96.3
5	千葉市	178.0	172.7	162.8	162.8	161.3	159.1	157.4	151.9	147.5
6	横浜市	133.9	137.8	137.6	138.3	140.3	142.0	140.1	140.2	139.0
7	川崎市	100.1	98.7	103.1	104.4	105.7	107.8	106.3	104.2	102.2
8	静岡市	157.7	158.0	158.8	153.6	143.9	139.9	140.3	137.9	133.3
9	名古屋市	219.8	217.3	213.5	212.6	210.5	206.9	203.4	197.4	193.5
10	京都市	250.3	249.6	250.9	249.5	245.0	245.6	246.2	246.0	244.0
11	大阪市	10.8	10.4	10.2	9.0	8.3	7.5	7.2	6.9	6.8
12	堺市	329.6	323.0	322.2	325.2	324.3	321.6	318.1	316.1	360.1
13	神戸市	254.6	250.9	247.9	238.7	231.9	229.6	225.8	221.0	220.1
14	広島市	237.1	234.5	233.6	242.9	252.8	255.2	252.8	251.2	246.6
15	北九州市	383.5	383.1	382.1	380.7	384.9	383.8	383.5	384.9	384.7
16	福岡市	305.8	301.7	297.1	294.2	291.6	288.2	282.8	279.8	277.0
17	浜松市	225.8	222.0	216.4	209.2	207.1	218.9	214.1	217.3	213.7

②平均在院日数 (単位:日)

		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1	新潟市	524.1	498.0	490.4	496.3	486.7	508.2	499.4	480.9	435.9
	全国	423.7	406.4	390.1	376.5	373.9	363.7	348.7	338.0	327.2
	新潟県	415.9	408.8	389.2	384.3	363.8	375.3	346.4	330.9	333.7
政	令市平均	388.0	365.8	352.3	334.7	329.8	320.3	312.8	301.1	291.2
2	札幌市	385.0	371.0	350.8	349.9	352.5	332.7	330.4	320.5	315.3
3	仙台市	299.5	295.0	280.5	291.8	284.9	266.2	283.3	269.1	285.6
4	さいたま市							394.4	363.1	336.5
5	千葉市	381.8	348.1	300.1	278.7	284.1	273.3	246.5	224.6	210.6
6	横浜市	333.4	325.5	336.0	324.2	317.2	317.4	301.5	288.5	272.3
7	川崎市	380.3	339.9	280.1	247.7	240.4	244.5	247.1	247.7	213.0
8	静岡市	443.8	449.7	501.4	397.0	368.9	348.2	293.7	264.3	270.2
9	名古屋市	502.7	497.3	455.6	434.4	427.9	397.9	382.7	366.0	359.5
10	京都市	517.5	481.6	445.9	446.3	460.6	459.8	436.5	429.7	420.8
11	大阪市	123.7	93.7	81.5	82.8	77.2	64.2	62.0	62.2	63.4
12	堺市	410.0	393.0	352.6	331.7	317.4	306.0	296.0	273.2	271.3
13	神戸市	402.2	392.3	394.6	383.1	377.5	358.1	342.0	348.1	328.3
14	広島市	311.8	285.9	285.7	264.8	272.1	272.9	255.0	259.3	244.3
15	北九州市	400.5	362.7	362.7	341.7	362.5	356.2	356.7	361.1	355.3
16	福岡市	409.7	381.8	361.3	348.6	327.5	324.6	306.3	302.9	295.9
17	浜松市	381.5	337.5	357.8	335.5	318.7	293.9	284.4	257.9	271.7

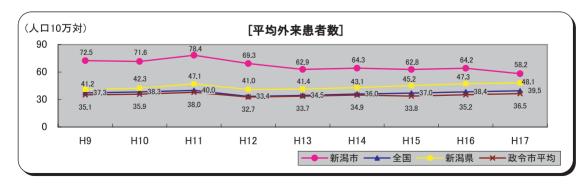
#### ③人口10万対1日平均外来患者数

/	***	11		`
- (	₩.	位		١
١.	Ŧ	127	$\mathcal{I}$	1

		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1	新潟市	72.5	71.6	78.4	69.3	62.9	64.3	62.8	64.2	58.2
	全国	37.3	38.3	40.0	33.4	34.5	36.0	37.0	38.4	39.5
	新潟県	41.2	42.3	47.1	41.0	41.4	43.1	45.2	47.3	48.1
政	令市平均	35.1	35.9	38.0	32.7	33.7	34.9	33.8	35.2	36.5
2	札幌市	66.2	68.0	70.8	63.5	67.1	69.8	72.0	79.5	85.3
3	仙台市	29.1	30.8	32.4	26.3	27.6	29.3	30.4	30.9	33.2
4	さいたま市							14.1	14.6	13.9
5	千葉市	38.3	35.2	34.5	33.0	34.5	36.2	35.8	36.6	37.4
6	横浜市	22.6	23.2	24.0	20.5	21.7	22.0	21.9	22.8	23.6
7	川崎市	28.9	28.5	29.3	24.9	25.0	23.1	22.7	23.1	23.7
8	静岡市	42.3	43.6	44.8	38.3	41.1	44.2	43.1	46.2	45.9
9	名古屋市	32.7	31.7	32.4	26.4	27.2	29.0	30.6	31.3	31.8
10	京都市	12.7	12.1	15.0	13.6	14.1	14.4	14.6	15.3	15.0
11	大阪市	ı	1	1	-	-	_	I	_	_
12	堺市	31.4	34.4	36.6	30.9	32.1	31.2	29.3	30.6	36.4
13	神戸市	29.8	30.4	33.1	26.3	26.8	28.7	29.3	28.7	29.4
14	広島市	26.7	28.1	31.9	28.0	31.2	33.1	34.9	36.5	37.1
15	北九州市	43.3	50.4	53.6	46.8	48.2	49.2	47.2	47.3	47.4
16	福岡市	23.1	22.8	24.7	20.7	23.6	24.9	27.0	28.8	30.3
17	浜松市	27.2	27.0	27.8	22.4	22.5	24.0	24.4	27.5	34.8







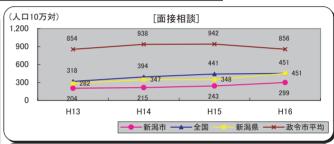
資料:厚生労働省「病院報告」 ※毎月の報告を合算して年計を算出しているため、各市の市域は報告時点の市域となる。

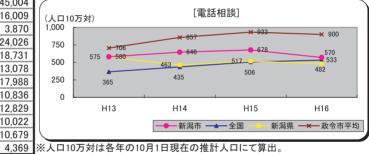
#### (5)精神保健福祉相談

①面接相談件数 (単位:人)

		平成13年度		平成1	4年度	平成1	5年度	平成1	6年度
		実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
1	新潟市	1,081	1,650	1,242	1,743	1,341	1,969	1,577	2,432
	全国	114,059	400,881	150,280	496,071	179,070	555,663	189,220	569,683
	新潟県	2,601	5,661	3,717	8,509	4,167	8,527	5,368	11,010
政	文令市平均 💮	2,888	12,071	3,058	13,325	3,346	13,451	3,219	12,274
2	札幌市	1,584	3,333	1,794	3,647	2,660	3,770	1,756	3,170
3	仙台市	1,376	3,705	2,083	4,242	1,824	4,082	2,007	5,452
4	さいたま市	91	115	703	1,371	1,398	4,390	1,433	5,129
5	千葉市	609	1,629	1,277	1,792	1,244	2,392	1,333	2,618
6	横浜市	10,272	60,810	10,696	74,886	12,617	73,745	10,767	58,117
7	川崎市	2,963	15,446	3,293	19,845	3,450	20,971	3,466	20,256
8	静岡市	822	1,346	1,170	1,522	699	1,412	695	1,221
9	名古屋市	5,738	21,669	5,020	21,666	4,639	20,423	4,743	19,157
10	京都市	4,041	15,087	3,469	10,230	3,196	9,189	3,624	10,123
11	大阪市	6,281	40,569	6,204	41,764	6,217	39,630	6,334	37,345
12	堺市	3,051	7,084	2,081	4,771	2,818	6,008	2,939	5,739
13	神戸市	3,412	16,642	3,668	18,864	3,480	20,038	3,098	18,483
14	広島市	2,770	6,462	3,419	6,387	4,369	7,797	4,146	6,677
15	北九州市	2,064	4,522	1,580	5,289	1,616	4,660	1,716	4,649
16	福岡市	2,484	4,437	3,727	7,596	4,547	7,307	4,318	6,969
17	浜松市	462	708	568	905	761	888	773	1,123

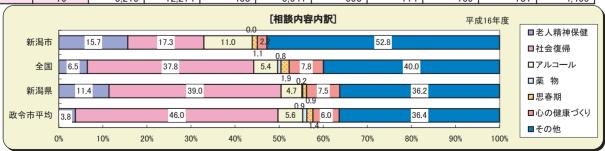
②電	話相談延	人員			(単位:人)
		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
1 新潟市		4,702	5,240	5,499	4,632
	全国	459,998	548,481	637,889	673,037
	新潟県	10,010	11,357	12,656	11,765
政	(令市平均	9,974	12,185	13,325	12,902
2	札幌市	5,389	10,376	9,958	5,563
3	仙台市	3,545	4,613	9,960	5,421
4	さいたま市	829	4,455	11,014	13,592
5	千葉市	771	1,268	2,568	2,680
6	横浜市	37,929	45,699	47,463	45,004
7	川崎市	10,651	13,821	14,546	16,009
8	静岡市	1,498	3,714	3,842	3,870
9	名古屋市	17,642	21,453	24,507	24,026
10	京都市	16,762	19,241	18,075	18,731
11	大阪市	13,601	13,294	13,053	13,078
12	堺市	12,835	16,705	15,515	17,988
13	神戸市	10,729	11,238	12,652	10,836
14	広島市	11,367	11,493	12,912	12,829
15	北九州市	9,114	10,605	10,261	10,022
16	福岡市	9,955	12,054	12,798	10,679
17	浜松市	2,247	1,882	1,895	4,369





③相談内容別件数 (単位:人)

③相談內容別件數 (單位: 人												
	実人.			延人員								
		天八貝	総数	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康づくり	その他		
	平成14年度	1,242	1,743	273	301	191	0	20	38	920		
新潟市	15	1,341	1,969	228	395	99	6	10	41	1,190		
	16	1,577	2,432	314	495	91	0	7	40	1,485		
	平成14年度	150,280	496,071	35,346	189,295	28,055	4,225	9,456	35,108	194,586		
全国	15	179,070	555,663	36,196	206,625	30,988	4,296	10,806	45,147	221,605		
	16	189,220	569,683	36,945	215,072	30,935	4,321	10,577	44,208	227,625		
	平成14年度	3,717	8,509	1,113	4,499	465	6	111	290	2,025		
新潟県	15	4,167	8,527	1,256	3,543	407	11	64	402	2,844		
	16	5,368	11,010	1,256	4,297	522	19	96	829	3,991		
	平成14年度	3,058	13,325	521	5,712	660	122	181	897	5,231		
政令市平均	15	3,346	13,451	462	5,746	734	127	198	812	5,373		
	16	3,219	12,274	463	5,641	690	114	169	731	4,465		

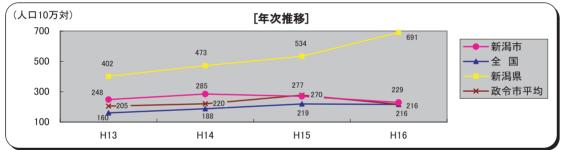


資料:厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」 ※平成19年4月1日現在の市域にて算出

## (6)精神保健福祉訪問指導

①訪問数 (単位:人)

		平成1	3年度	平成1	4年度	平成1	5年度	平成1	6年度
		実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
1	新潟市	783	2,014	724	2,312	715	2,189	727	1,863
	全国	70,233	201,934	83,386	236,560	95,257	276,861	99,829	272,916
	新潟県	3,914	9,888	4,555	11,600	5,047	13,074	9,495	16,866
政	(令市平均	919	2,896	945	3,130	1,108	3,958	1,095	3,102
2	札幌市	292	699	397	947	592	619	289	587
3	仙台市	967	2,821	1,251	3,691	2,631	18,417	1,476	3,638
4	さいたま市	49	172	234	639	405	1,360	475	1,800
5	千葉市	266	1,274	158	300	195	701	392	1,240
6	横浜市	2,498	8,239	2,050	9,351	2,386	8,735	2,366	7,832
7	川崎市	957	2,854	944	3,406	1,147	3,293	1,094	2,847
8	静岡市	292	1,562	355	1,522	333	1,039	274	648
9	名古屋市	2,132	7,001	1,801	7,493	1,991	7,924	2,435	8,567
10	京都市	1,679	4,768	1,793	4,955	1,784	4,900	2,191	5,303
11	大阪市	2,159	6,686	2,228	6,934	2,034	5,854	2,054	5,484
12	堺市	932	3,681	1,217	4,030	1,610	4,815	1,616	4,911
13	神戸市	562	1,316	606	1,272	607	1,829	625	1,924
14	広島市	713	2,341	817	1,896	813	1,774	820	1,705
15	北九州市	678	1,827	800	2,179	688	1,814	641	1,645
16	福岡市	321	1,170	373	1,499	311	1,159	313	1,430
17	浜松市	346	805	322	791	593	872	820	1,308



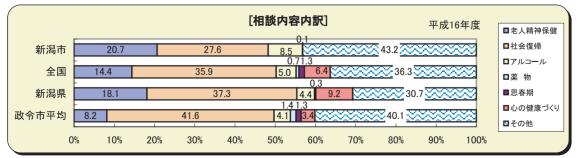
※人口10万対は各年10月1日現在の推計人口で算出。

## ②相談内容内訳

(単位:件)

		老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康づくり	その他		
	平成14年度	430	514	203	2	_	-	1,163		
新潟市	15	240	686	184	0	0	0	1,079		
	16	385	514	159	1	0	0	804		
	平成14年度	38,845	85,469	13,394	1,660	-	-	97,192		
全国	15	44,194	95,061	16,342	4,329	5,586	17,164	94,185		
	16	39,269	97,857	13,558	1,887	3,661	17,587	99,097		
	平成14年度	2,663	5,231	984	22	_	-	2,700		
新潟県	15	2,867	6,432	821	9	54	133	2,758		
	16	3,057	6,283	742	7	46	1,549	5,182		
	平成14年度	304	1,282	146	35	_	_	1,382		
政令市平均	15	386	1,328	288	202	230	302	1,310		
	16	253	1,289	126	44	47	121	1,245		

※平成14年度の統計に「思春期」「心の健康づくり」の分類なし。



資料:厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」 ※平成19年4月1日現在の市域にて算出

#### (7)施設

①精神病院・精神病床を有する一般病院数(6月末現在)

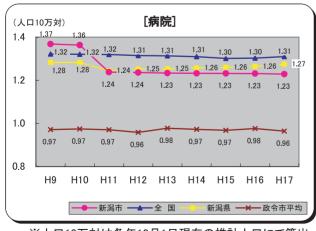
		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1	新潟市	11	11	10	10	10	10	10	10	10
	全国	1,668	1,671	1,672	1,669	1,672	1,669	1,661	1,664	1,674
	新潟県	32	32	31	31	31	31	31	31	31
政	7令市平均	13	14	14	13	14	14	14	14	14
2	札幌市	38	40	40	40	40	39	38	38	37
3	仙台市	11	11	11	11	12	13	13	15	15
4	さいたま市	5	4	4	4	4	4	6	6	6
5	千葉市	9	9	9	9	9	9	9	9	9
6	横浜市	22	23	23	23	25	25	26	27	27
7	川崎市	8	8	8	8	9	8	8	8	8
8	静岡市	5	5	5	5	5	5	5	5	5
9	名古屋市	16	16	16	16	16	16	16	16	14
10	京都市	12	12	13	13	13	13	13	13	13
11	大阪市	8	8	8	6	6	5	5	5	5
12	堺市	7	7	7	7	7	7	7	7	7
13	神戸市	12	12	12	12	12	13	13	13	13
14	広島市	15	15	15	15	15	16	14	14	14
15	北九州市	18	18	18	18	19	19	19	19	19
16	福岡市	23	23	23	23	23	23	23	23	23
17	浜松市	9	9	9	9	10	10	10	10	11

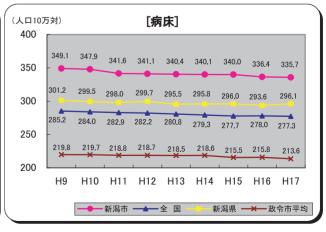
#### ②精神病床数(6月末現在)

(単位:床)

	(中国) (中国) (中国) (中国) (中国) (中国) (中国) (中国)									
		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
1	新潟市	2,806	2,806	2,759	2,759	2,759	2,759	2,759	2,732	2,732
	全国	359,778	359,159	358,449	358,153	357,385	355,966	354,448	354,927	354,296
	新潟県	7,512	7,470	7,421	7,421	7,308	7,291	7,282	7,200	7,200
政	(令市平均	3,048	3,064	3,062	3,074	3,088	3,107	3,077	3,094	3,074
2	札幌市	7,300	7,437	7,515	7,544	7,464	7,395	7,240	7,254	7,312
3	仙台市	1,734	1,734	1,778	1,778	1,777	1,985	1,985	2,228	2,324
4	さいたま市	1,338	1,274	1,249	1,221	1,213	1,222	1,222	1,265	1,261
5	千葉市	1,798	1,798	1,688	1,688	1,688	1,688	1,603	1,596	1,587
6	横浜市	5,016	5,142	5,096	5,177	5,476	5,461	5,444	5,564	5,560
7	川崎市	1,367	1,437	1,499	1,523	1,581	1,601	1,583	1,587	1,525
8	静岡市	1,205	1,205	1,205	1,205	1,135	1,135	1,135	1,132	1,132
9	名古屋市	4,996	4,996	4,975	4,948	4,932	4,920	4,842	4,807	4,524
10	京都市	3,890	3,890	3,970	3,970	3,970	3,967	3,933	3,933	3,910
11	大阪市	331	331	331	289	289	277	277	235	235
12	堺市	3,391	3,391	3,340	3,340	3,340	3,330	3,330	3,325	3,268
13	神戸市	3,858	3,840	3,836	3,836	3,753	3,753	3,732	3,732	3,677
14	広島市	2,774	2,773	2,773	3,033	3,065	3,121	3,000	3,000	3,000
15	北九州市	4,169	4,169	4,209	4,159	4,221	4,221	4,193	4,184	4,184
16	福岡市	4,122	4,141	4,105	4,095	4,095	4,095	4,095	4,086	4,086
17	浜松市	1,720	1,720	1,720	1,685	1,742	1,886	1,943	1,943	1,943

資料:厚生労働省「医療施設調査」





- ※人口10万対は各年10月1日現在の推計人口にて算出。
- ※各市平成19年4月1日現在の市域にて算出。

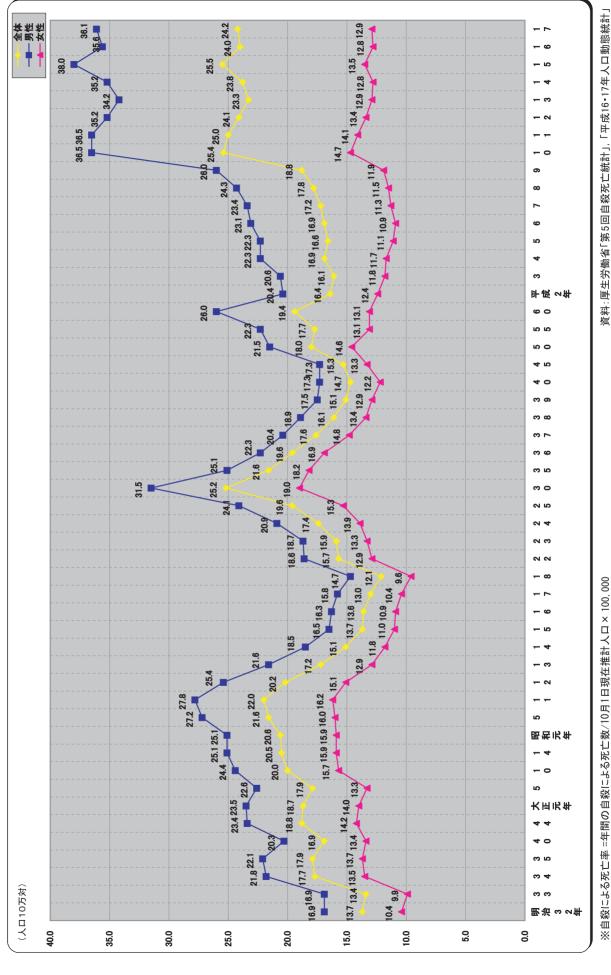
ただし、新潟市、さいたま市、静岡市、堺市、浜松市については精神病床を有する一般病院の一部が把握不能である。

# 自殺

# (1)全国自殺死亡数・死亡率(人口10万対)の年次推移

		<u>全</u> 死		全位	<u>自</u>	男性 男性	生		<u>.</u>
年	次		死亡率	<del>工!</del> 死亡数	<del>下</del> 死亡率	死亡数	工 死亡率	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	工 死亡率
		(人)	(人口10万対)		(人口10万対)		ガレ年 (人口10万対)	(人)	死亡年 (人口10万対)
1899 月	月治32年	932,087	2,147.5	5,932	13.7	3,699	16.9	2,233	10.4
1900	33	910,744	2,077.1	5,863	13.4	3,716	16.9	2,147	9.9
01	34	925,810	2,087.1	7,847	17.7	4,872	21.8	2,974	13.5
02	35	959,126	2,133.1	8,059	17.9	4,986	22.1	3,073	13.7
07	40	1,016,798	2,144.4	7,999	16.9	4,836	20.3	3,163	
11	44	1,043,906	2,094.0	9,373	18.8	5,847		3,526	
12 ナ	大正元年	1,037,016	2,050.4	9,475	18.7	5,955	23.5	3,520	14.0
16	5	1,187,832	2,220.4	9,599	17.9	6,065	22.6	3,534	
21	10	1,288,570	2,274.0	11,358	20.0	6,923	24.4	4,435	15.7
25	14	1,210,706	2,026.7	12,249	20.5	7,521	25.1	4,728	:
	召和元年	1,160,734	1,911.0	12,484	20.6	7,675	25.1	4,805	15.9
30	5	1,170,867	1,816.7	13,942	21.6	8,810	27.2	5,132	
36	11	1,230,278	1,754.7	15,423	22.0	9,766	27.8	5,657	
37	12	1,207,899	1,710.2	14,295	20.2	8,923	25.4	5,372	15.1
38	13	1,259,805	1,774.1	12,223	17.2	7,585	21.6	4,638	12.9
39	14	1,268,760	1,777.5	10,785	15.1	6,502	18.5	4,283	11.8
40	15	1,186,595	1,649.6	9,877	13.7	5,841		4,036	11.0
41	16 17	1,149,559	1,603.7	9,713	13.6	5,667	16.3	4,046	10.9
42	18	1,166,630	1,611.7	9,393	13.0	5,498	•	3,895	10.4
43 47	22	1,219,073 1,138,238	1,672.6 1,457.4	8,784 12,262	12.1 15.7	5,115 7,108	14.7 18.6	3,669	: -
48	23	950,610	1,437.4	12,753	15.7	7,106	18.7	5,154 5,422	•
49	24	945,444	1,156.2	14,201	17.4	8,391		5,422	•
50	25	904,876	1,087.6	16,311	19.6	9,820	24.1	6,491	: -
55	30	693,523	776.8	22,477	25.2	13,836	31.5	8,641	19.0
60	35	706,599	756.4	20,143	21.6	11,506	25.1	8,637	
61	36	695,644	737.8	18,446	19.6	10,333	22.3	8,113	16.9
62	37	710,265	746.2	16,724	17.6	9,541	20.4	7,183	14.8
63	38	670,770	697.6	15,490	16.1	8,923	18.9	6,567	13.4
64	39	673,067	692.6	14,707	15.1	8,336	17.5	6,371	12.9
65	40	700,438	712.7	14,444	14.7	8,330	17.3	6,114	12.2
70	45	712,962	691.4	15,728	15.3	8,761	17.3	6,967	13.3
75	50	702,275	631.2	19,975	18.0	11,744	21.5	8,231	14.6
80	55	722,801	621.4	20,542	17.7	12,769	22.3	7,773	13.1
85	60	752,283	625.5	23,383	19.4	15,356	26.0	8,027	13.1
90 2	平成2年	820,305	668.4	20,088	16.4	12,316	20.4	7,772	12.4
91	3	829,797	674.1	19,875	16.1	12,477		7,398	11.8
92	4	856,643	693.8	20,893	16.9	13,516	22.3	7,377	
93	5	878,532	709.7	20,516	16.6	13,540	22.3	6,976	11.1
94	6	875,933	706.0	20,923	16.9	14,058	23.1	6,865	10.9
95	7	922,139	741.9	21,420	17.2	14,231	23.4	7,189	11.3
96	8	896,211	718.6	22,138	17.8	14,853	24.3	7,285	11.5
97	9	913,402	730.9	23,494	18.8	15,901	26.0	7,593	11.9
98	10	936,484	747.7	31,755	25.4	22,349	36.5	9,406	14.7
99	11	982,031	782.9	31,413	25.0	22,402	36.5	9,011	14.1
2000	12	961,653	765.6	30,251	24.1	21,656	35.2	8,595	13.4
01	13	970,331	770.7	29,375	23.3	21,085	34.2	8,290	12.9
02	14	982,379	779.6	29,949	23.8	21,677	35.2	8,272	
03	15	1,014,951	804.6	32,109	25.5	23,396	38.0	8,713	13.5
04 05	16 17	1,028,602	815.2 858.8	30,247 30,553	24.0 24.2	21,955 22,236	35.6 36.1	8,292 8,317	
00	17	1,083,796	8,800	30,553 資料:厚牛労働					

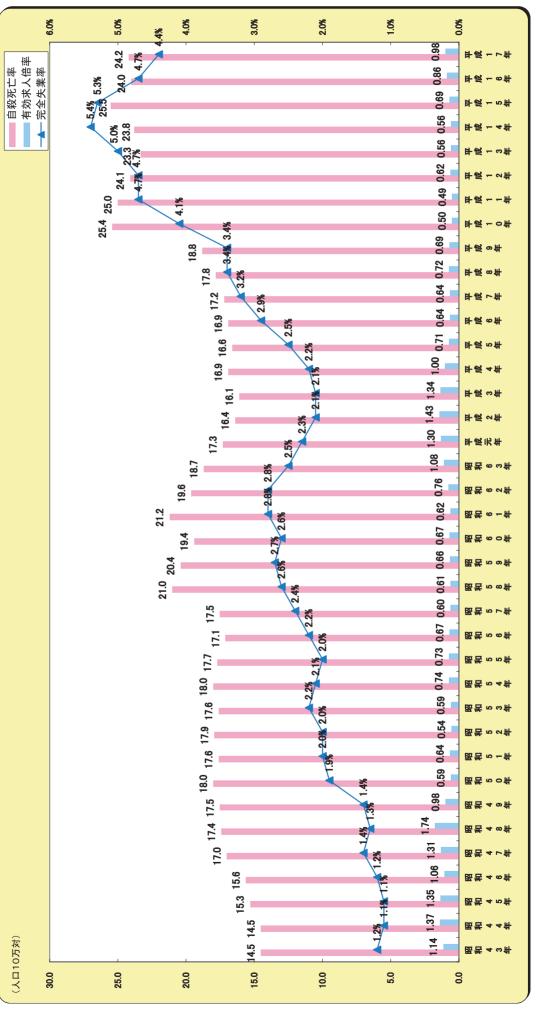
資料:厚生労働省「第5回自殺死亡統計」,「平成16-17年人口動態統計」



※自殺による死亡率 =年間の自殺による死亡数/10月1日現在推計人口×100,000

注1:有効求人倍率はパート含む全数,年度平均の値である。 注2:完全失業率の数値は年内月平均値である。(完全失業者数÷労働力人口)×100

※自殺による死亡率 =年間の自殺による死亡数/10月1日現在推計人口×100,000



(3)全国自殺死亡率(人口10万対)と有効求人倍率及び完全失業率の比較

資料:厚生労働省「第5回自殺死亡統計」,「平成16•17年人口動態統計】 総務省統計局「労働力調査」 厚生労働省職業安定局「一般職業紹介状況」

# (4)都道府県別自殺死亡率・年齢調整死亡率(人口10万対)の比較

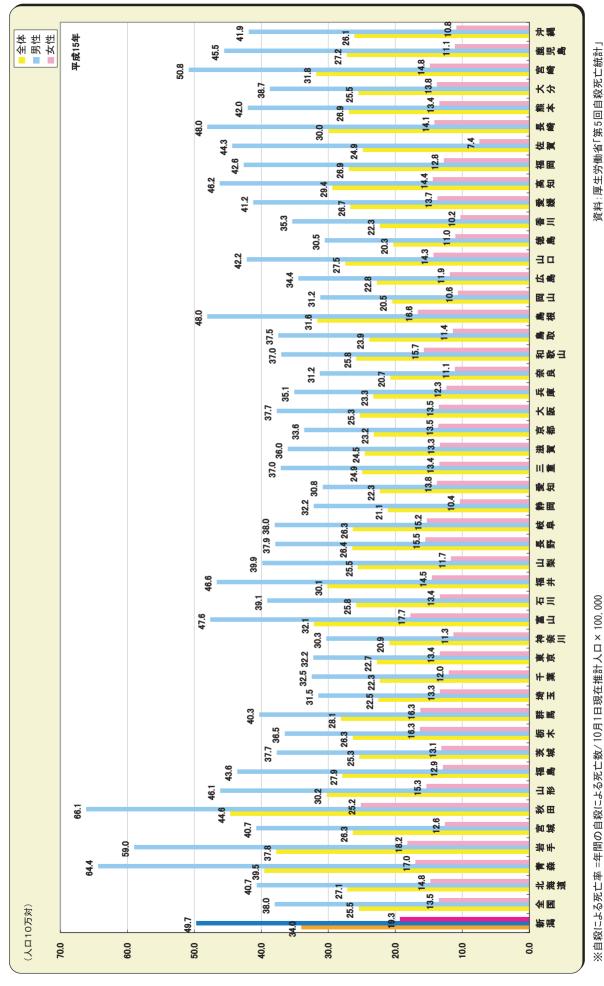
平成15年

		714	<b>子壶/1</b> 口:	10 <del></del> -	<b>4</b> /		左脸围動	듔쑤ຸ		,15年
		<u>死</u>	亡率(人口	7 COI	ህ /	7	年齢調整	: <b>%L ∟</b> <u>~</u>	率(人口10万)	<b>X)</b> /
都道府県	全体	順位スト	男性	リー 値 ス ト	女性	リー 値 ス ト	男性	リー 値 ス ト	女性	リー 値 ス ト
全国	25. 5		38. 0		13. 5		33. 2		10. 9	
4 : JIA 1/E 1/¥	07.1	4.0	40.7	0.1	14.0	- 4.4	۵۲ ۲	0.1	11 0	
1 北 海 道	27. 1	16	40. 7	21	14.8	14	35.5	21	11.9	6
2 青 森	39. 5 37. 8	2	64. 4 59. 0	2	17. 0 18. 2	5	55. 9 52. 7	2	11.6	10
3 岩 手 4 宮 城	37. 8 26. 3	22	40. 7	3 20	18. 2 12. 6	3 33	37. 1	3 19	10.0	18 35
4 宮 城 5 秋 田	44.6	1	66. 1	1	25. 2	1	56.0	19	16. 2	1
6 山 形	30. 2	8	46. 1	11	15. 3	11	40.1	11	11.4	11
7 福 島	27. 9	13	43.6	14	12. 9	31	39.3	14	10.1	34
8 茨 城	25. 3	29	37.7	28	13.1	30	33.9	26	10.3	29
9 栃 木	26. 3	21	36.5	33	16. 3	7	31. 7	33	12.6	3
10 群 馬	28. 1	12	40. 3	22	16.3	8	34. 9	23	12.3	4
11 埼 玉	22. 5	39	31.5	42	13. 3	29	27. 7	44	11. 1	19
12 千 葉	22. 3	42	32. 5	39	12. 0	35	28. 1	41	10. 2	31
13 東 京	22. 7	38	32. 2	40	13. 4	26	27. 8	42	11. 3	15
14 神 奈 川	20. 9	44	30. 3	47	11. 3	39	26. 5	47	9. 6	38
15 新 潟	34. 0	4	49. 7	5	19. 3	2	41. 9	6	12. 2	5
16 富 山	32. 1	5	47. 6	8	17. 7	4	38. 9	15	12.6	2
17 石 川	25. 8	25	39. 1	24	13. 4	27	34. 4	24	10. 9	22
18 福 井	30. 1	9	46.6	9	14. 5	15	39.6	13	11.1	20
19 山 梨	25. 5	27	39.9	23	11. 7	37	35. 6	20	9.8	37
20 長 野	26. 4	20	37. 9	27	15. 5	10	33. 1 31. 8	27	11. 2	16
21 岐   阜     22 静   岡	26. 3 21. 1	23 43	38. 0 32. 2	26 41	15. 2 10. 4	12 45	31. 8 28. 4	32 40	11. 9 8. 0	7 44
23 愛 知	22.3	43	30. 8	45	13. 8	19	27. 0	45	11.3	14
24 三 重	24. 9	31	37. 0	31	13. 4	24	32.5	28	9.8	36
25 滋 賀	24. 5	33	36 0	34	13.3	28	31. 1	34	10.1	32
26 京 都	23. 2	36	33 6	38	13.5	22	29.0	38	10 6	26
27 大 阪	25. 3	30	37. 7	29	13. 5	23	32. 1	30	11.3	13
28 兵 庫	23.3	35	35. 1	36	12.3	34	30. 4	36	10.5	28
29 奈 良	20. 7	45	31. 2	43	11. 1	40	27. 7	43	8. 9	40
30 和 歌 山	25. 8	26	37. 0	32	15. 7	9	32. 2	29	11.8	8
31 鳥 取	23. 9	34	37. 5	30	11. 4	38	32. 1	31	7. 8	46
32 島 根	31.6	7	48. 0	6	16.6	6	41.0	8	10. 7	24
33 岡 山	20. 5	46	31. 2	44	10.6	44	28. 5	39	8. 6	41
34 広 島	22.8	37	34. 4	37	11.9	36	30.0	37	9.4	39
35 山 口	27. 5	14	42. 2	16	14. 3	17	35.0	22	11.4	12
36 徳 島	20.3	47	30.5	46	11.0	42	26. 9	46	8.5	42
37 香 川	22. 3	40	35. 3	35	10. 2	46	31.1	35	7.9	45
38 愛 媛 39 高 知	26. 7 29. 4	19	41. 2 46. 2	19	13.7	21	37. 1 40. 7	18	11. 7 11. 0	9
39高知40福岡	26.9	11 17	40. 2	10 15	14. 4 12. 8	16 32	38. 2	9 17	10.6	21 27
41 佐 賀	24. 9	32	44. 3	13	7.4	32 47	41.6	7	6.1	47
42 長 崎	30.0	10	48. 0	7	14. 1	18	43. 8	5	11. 2	17
43 熊 本	26. 9	18	42. 0	17	13. 4	25	38. 4	16	10.2	30
44 大 分	25. 5	28	38.7	25	13.8	20	34. 4	25	10.9	23
45 宮 崎	31.8	6	50.8	4	14. 8	13	45. 3	4	10.6	25
46 鹿 児 島	27. 2	15	45. 5	12	11. 1	41	40.0	12	8. 4	43
47 沖 縄	26. 1	24	41.9	18	10.8	43	40.5	10	10. 1	33
咨判·厚生学働省「第56										

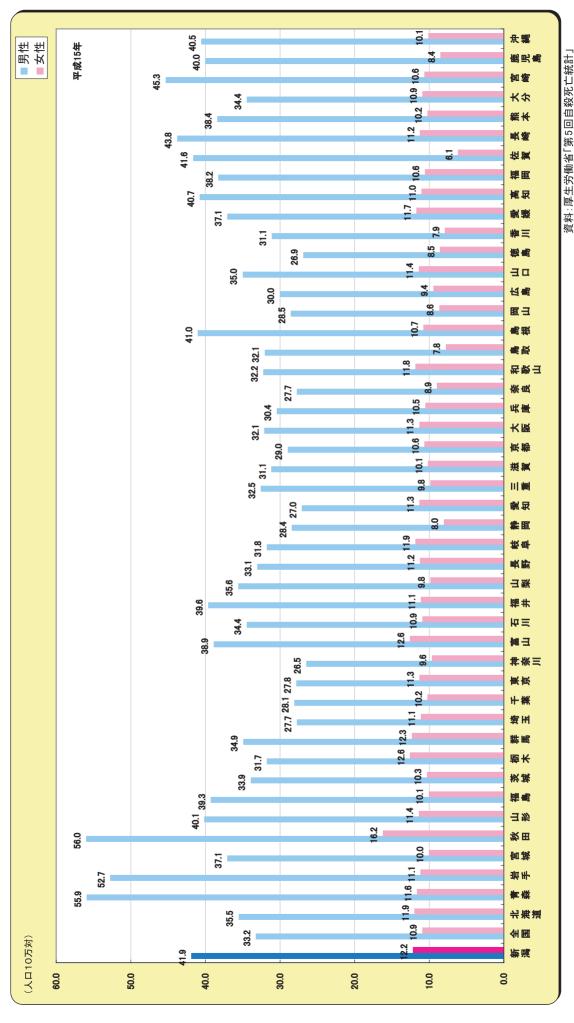
資料:厚生労働省「第5回自殺死亡統計」

注:1) 年齢調整死亡率の基準人口は、昭和60年モデル人口である。 2) 年齢調整死亡率では、自殺死亡率算出の分母に用いた人口は、全国は10月1日現在推計人口(5歳階級)の日本人人口、 都道府県は10月1日現在推計人口(5歳階級)の総人口である。



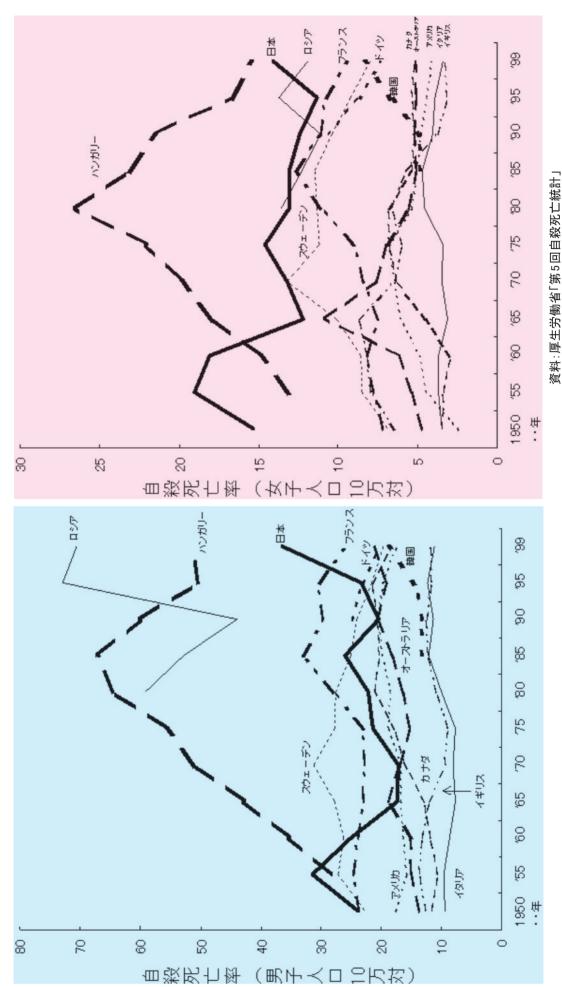


※自殺による死亡率 =年間の自殺による死亡数/10月1日現在推計人口×100,000



年齢調整死亡率の基準人口は,昭和60年モデル人口である。 年齢調整死亡率では,自殺死亡率算出の分母に用いた人口は,全国は10月1日現在推計人口(5歳階級)の日本人人口, 都道府県は10月1日現在推計人口(5歳階級)の総人口である。 芷:1) 2)

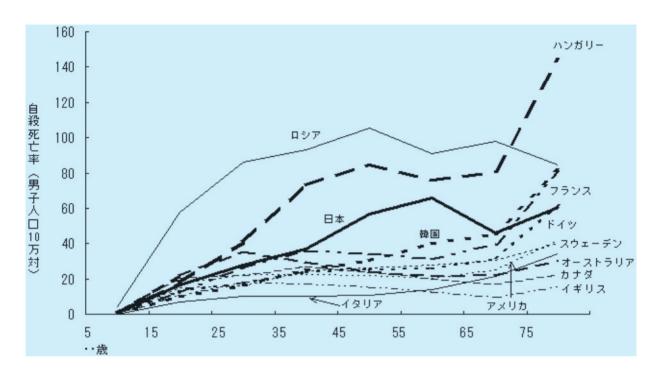
(7)自殺死亡率(人口10万対)の年次推移の国際比較

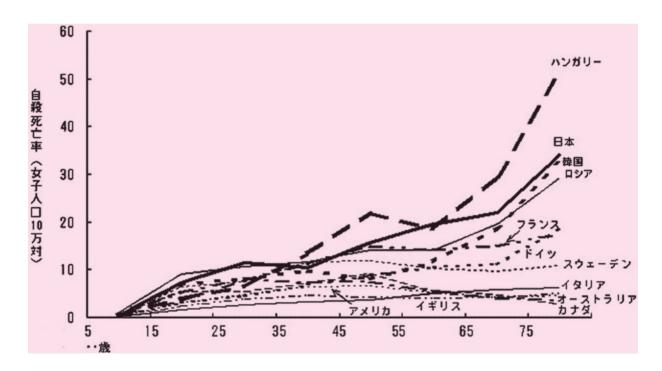


貞付:序エカ剛旬・あう凹日校光に和記し (WHO 「World Health Statistics Annual」) 注:カナダ、ハンガリー, 韓国, ロシアの1999年は2000年の数値である。

## (8) 自殺死亡率(人口10万対)の年齢階級(10歳階級)別の国際比較

-1999年-



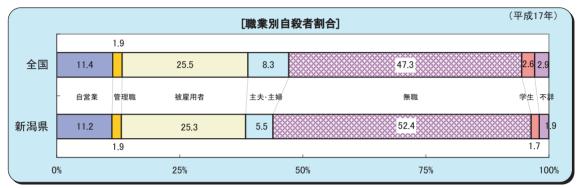


資料:厚生労働省「第5回自殺死亡統計」 (WHO「World Health Statistics Annual 1999,2000」) 注:カナダ, ハンガリー, 韓国, ロシアは2000年の数値である。

## (9)全国·新潟県職業別自殺者数

(単位:人)

		合計	自営業	管理職	被雇用者	主夫・主婦	無職	学生·生徒	不詳
	平成13年	31,042	4,149	692	7,307	2,705	14,443	749	997
	平成14年	32,143	4,089	745	7,470	2,896	15,117	673	1,153
全国	平成15年	34,427	4,215	735	8,474	2,781	16,307	788	1,127
	平成16年	32,325	3,858	654	7,893	2,690	15,463	784	983
	平成17年	32,552	3,700	629	8,312	2,705	15,409	861	936
新潟県	平成16年	820	106	16	170	70	437	14	7
利何尔	平成17年	776	87	15	196	43	407	13	15



資料:警察庁生活安全局地域課「自殺の概要資料」 新潟県警生活安全部生活安全企画課資料

#### 【職業別内訳】

(平成17年 全国)

					自営	業				
職業	医者	弁護士等	芸術 (能)家	農林・ 漁業	建築業	製造業	卸売業	小売業	風俗·飲食 店等営業	金融業
人数	90	8	22	652	372	180	84	269	376	3
構成比(%)	0.28	0.02	0.07	2.00	1.14	0.55	0.26	0.83	1.16	0.01
職業	質屋・ 古物商	不動産業	交通 運輸業	旅館業	理• 美容業	浴場業	劇場• 興行場	自動車修理· 駐車場業	その他	
人数	13	75	108	20	76	1	5	64	1,282	
構成比(%)	0.04	0.23	0.33	0.06	0.23	0.00	0.02	0.20	3.94	

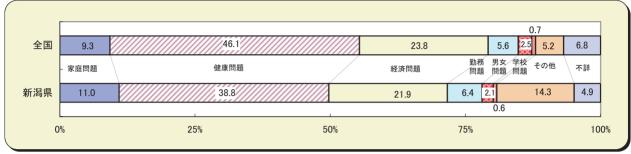
	管理	里職					被雇用者			
議員	管理職 公務員	会社・団体 の役員	会社・団体の 役員以外の 管理職	農林•漁業作業員	工員	自動車運転手	職人	労務者	風俗・ 飲食店 等従業員	教員
9	136	398	86	145	494	642	335	512	233	87
0.03	0.42	1.22	0.26	0.45	1.52	1.97	1.03	1.57	0.72	0.27
				鉄道員	銀行員	セールスマ ン・外交員	公務員等	会社員	団体職員	その他
	/			19	41	149	588	3,154	194	1,719
				0.06	0.13	0.46	1.81	9.69	0.60	5.28

	無	職			学生·生徒							
未就学児童	失業者	ホームレス	その他	小学生	中学生	高校生	大学生	予備校生	高専生	各種 学校生 等		
0	1,496	58	13,855	7	66	215	433	12	10	118		
0.00	4.60	0.18	42.56	0.02	0.20	0.66	1.33	0.04	0.03	0.36		

## (10)全国・新潟県原因・動機別自殺者数

(単位:人)

										(
		合計	家庭問題	健康問題	経済問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	不詳
	平成13年	31,042	2,668	15,131	6,845	1,756	743	227	1,542	2,130
	平成14年	32,143	2,746	14,815	7,940	1,764	732	202	1,536	2,408
全国	平成15年	34,427	2,928	15,416	8,897	1,878	735	237	1,765	2,571
	平成16年	32,325	2,992	14,786	7,947	1,772	773	214	1,554	2,287
	平成17年	32,552	3,019	15,014	7,756	1,807	809	233	1,687	2,227
新潟県	平成16年	820	100	293	188	46	9	2	152	30
利/何乐	平成17年	776	85	301	170	50	16	5	111	38

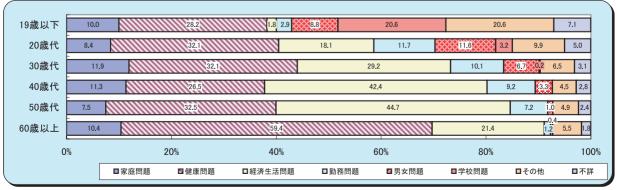


資料: 警察庁生活安全局地域課「自殺の概要資料」 新潟県警生活安全部生活安全企画課資料

#### 【原因•動機別•年齢別内訳】

(H17年 全国) (単位:人)

						遺書あり					遺書なし
		小計	家庭問題	健康問題	経済生活問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	不詳	退音なし
	全体	170	17	48	3	5	15	35	35	12	438
19歳以下	男性	109	10	22	2	4	12	23	24	12	273
	女性	61	7	26	1	1	3	12	11	0	165
	全体	976	82	313	177	114	113	31	97	49	2,433
20歳代	男性	693	53	177	157	103	64	24	77	38	1,664
	女性	283	29	136	20	11	49	7	20	11	769
	全体	1,409	168	452	412	143	95	3	92	44	3,197
30歳代	男性	1,068	114	269	384	127	64	3	74	33	2,321
	女性	341	54	183	28	16	31	0	18	11	876
	全体	1,651	187	437	700	152	54	0	75	46	3,557
40歳代	男性	1,350	136	285	658	141	32	0	58	40	2,770
	女性	301	51	152	42	11	22	0	17	6	787
	全体	2,791	209	906	1,247	200	27	0	136	66	4,795
50歳代	男性	2,256	146	584	1,146	197	21	0	106	56	3,760
	女性	535	63	322	101	3	6	0	30	10	1,035
	全体	3,351	348	1,989	716	40	13	1	185	59	7,543
60歳以上	男性	2,208	220	1,158	617	37	12	1	121	42	4,852
	女性	1,143	128	831	99	3	1	0	64	17	2,691
	全体	12	0	0	0	0	0	1	2	9	229
年齢不詳	男性	10	0	0	0	0	0	1	1	8	206
	女性	2	0	0	0	0	0	0	1	1	23

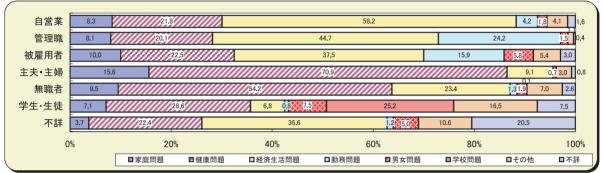


※遺書なし除く

資料: 警察庁生活安全局地域課「自殺の概要資料」

#### 【原因・動機別・職業別内訳】

【原因•	助機別・耶	<b>職業別内</b>	]訳】					(H17年	全国)		(単位:人)
						遺書あり					遺書なし
		小計	家庭問題	健康問題	経済生活問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	不詳	退音なし
	自営業	1,419	118	309	826	60	26	0	58	22	2,281
有職者	管理職	273	22	55	122	66	4	0	3	1	356
	被雇用者	2,914	292	655	1,093	463	168	0	157	86	5,398
	主夫·主婦	769	120	545	70	0	5	0	23	6	1,936
無職者等	無職者	4,558	434	2,469	1,067	61	86	4	320	117	10,851
	学生·生徒	266	19	76	18	2	20	67	44	20	595
不	詳	161	6	36	59	2	8	0	17	33	775
合	·計	10,360	1,011	4,145	3,255	654	317	71	622	285	22,192



※遺書なし除く

資料: 警察庁生活安全局地域課「自殺の概要資料」

#### (11)新潟市の自殺死亡状況

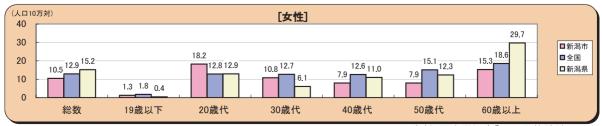
【性別年代別自殺死亡状況】

(H17年 人口10万対)

F 1 T 1/1/2 I	1 4777 1178		· <b>4</b>			(111	<u>,                                    </u>	1 10/3 /3/
		総数	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
	新潟市	24.9	2.6	23.2	23.4	27.0	46.5	28.9
全体	全国	24.2	2.3	20.7	23.7	31.3	37.6	30.2
	新潟県	29.7	2.6	23.5	19.0	34.3	43.5	44.2
	新潟市	40.4	3.8	28.2	36.1	46.3	86.3	46.9
男性	全国	36.1	2.8	28.2	34.4	49.7	60.3	45.0
	新潟県	45.0	4.7	33.6	31.4	57.0	74.1	63.5
	新潟市	10.5	1.3	18.2	10.8	7.9	7.9	15.3
女性	全国	12.9	1.8	12.8	12.7	12.6	15.1	18.6
	新潟県	15.2	0.4	12.9	6.1	11.0	12.3	29.7







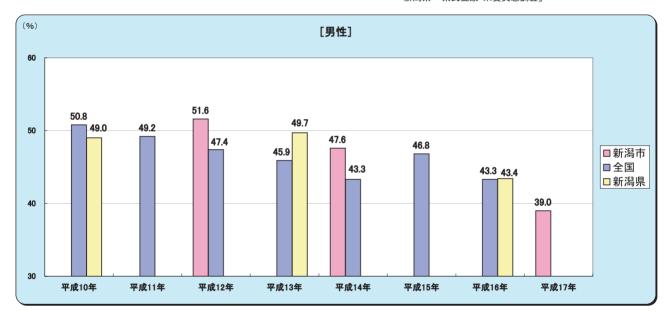
資料:厚生労働省「人口動態統計」

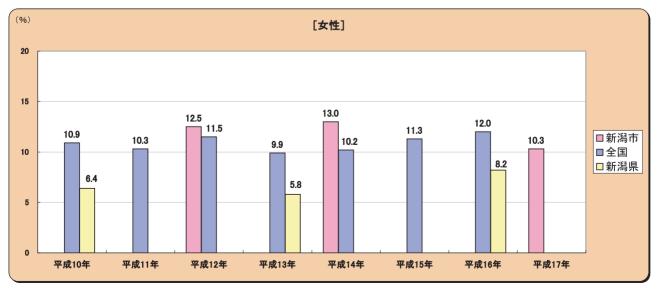
# (1)喫煙者の割合

## ① 成人(20歳以上)の喫煙者の割合の推移

$\Box$	ルスへ(とし	双火工/0/	大庄石	可口り作物	7				(単位:%)
					実	績			
		平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
	新潟市			51.6		47.6			39.0
男性	全国	50.8	49.2	47.4	45.9	43.3	46.8	43.3	
'-	新潟県	49.0			49.7			43.4	
,	新潟市			12.5		13.0			10.3
<b>女</b> 性	全国	10.9	10.3	11.5	9.9	10.2	11.3	12.0	
'-	新潟県	6.4			5.8			8.2	

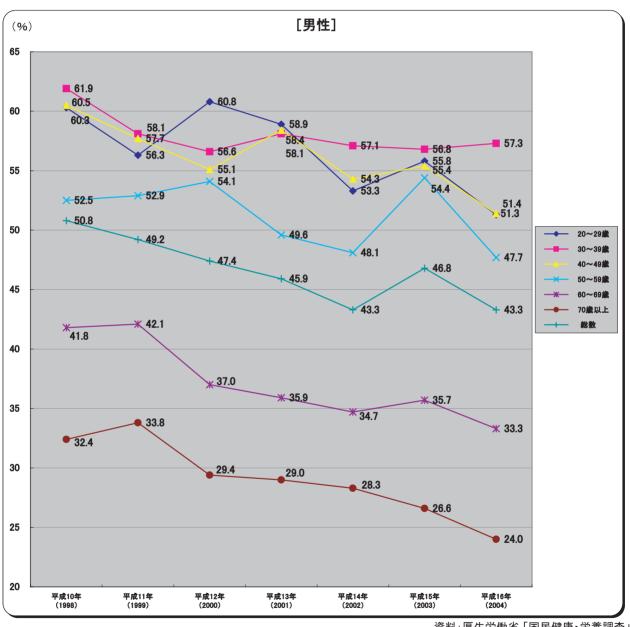
資料 新潟市「市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「国民健康・栄養調査」 新潟県「県民健康・栄養実態調査」





## ② 全国年代別喫煙者割合の推移

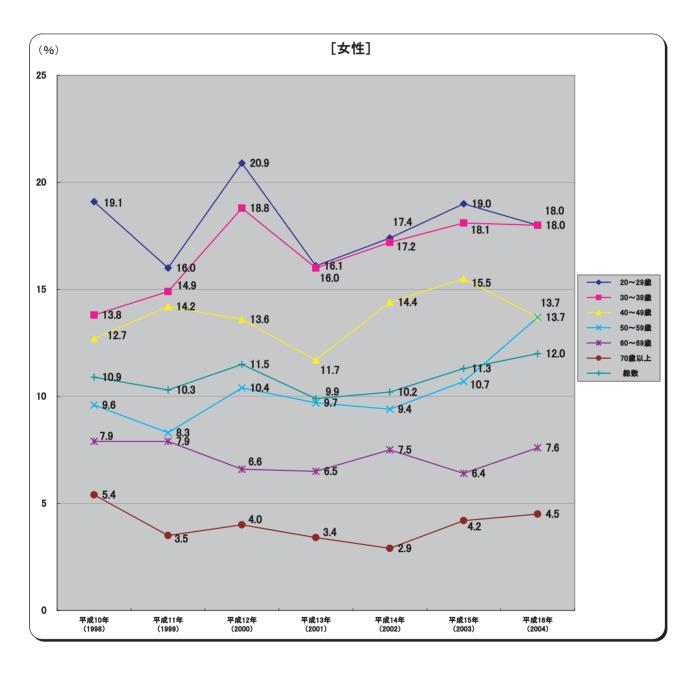
ア <u>男性</u>							(単位:%)
	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
	(1998)	(1999)	(2000)	(2001)	(2002)	(2003)	(2004)
20~29歳	60.3	56.3	60.8	58.9	53.3	55.8	51.3
30~39歳	61.9	58.1	56.6	58.1	57.1	56.8	57.3
40~49歳	60.5	57.7	55.1	58.4	54.3	55.4	51.4
50~59歳	52.5	52.9	54.1	49.6	48.1	54.4	47.7
60~69歳	41.8	42.1	37.0	35.9	34.7	35.7	33.3
70歳以上	32.4	33.8	29.4	29.0	28.3	26.6	24.0
総数	50.8	49.2	47.4	45.9	43.3	46.8	43.3



資料:厚生労働省「国民健康・栄養調査」

(単位:%) 平成10年 平成11年 平成12年 平成13年 平成14年 平成15年 平成16年

	(1998)	(1999)	(2000)	(2001)	(2002)	(2003)	(2004)
20~29歳	19.1	16.0	20.9	16.1	17.4	19.0	18.0
30~39歳	13.8	14.9	18.8	16.0	17.2	18.1	18.0
40~49歳	12.7	14.2	13.6	11.7	14.4	15.5	13.7
50~59歳	9.6	8.3	10.4 6.6	9.7	9.4	10.7	13.7
60~69歳	7.9	7.9		6.5	7.5	6.4	7.6
70歳以上	5.4	3.5	4.0	3.4	2.9	4.2	4.5
総数	10.9	10.3	11.5	9.9	10.2	11.3	12.0

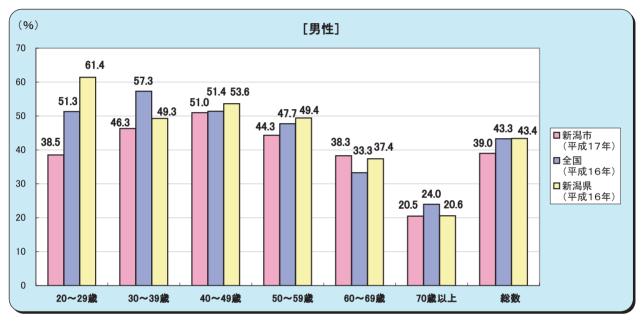


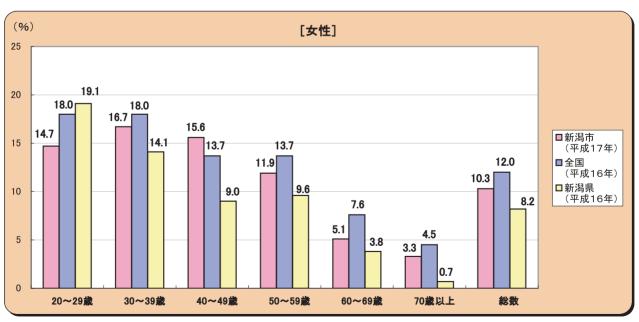
## ③ 年代別喫煙者割合の全国, 新潟県との比較

_ア 男性			(単位:%)
	新潟市 (平成17年)	全国 (平成16年)	新潟県 (平成16年)
20~29歳	38.5	51.3	61.4
30~39歳	46.3	57.3	49.3
40~49歳	51.0	51.4	53.6
50~59歳	44.3	47.7	49.4
60~69歳	38.3	33.3	37.4
70歳以上	20.5	24.0	20.6
総数	39.0	43.3	43.4

イ 女性			(単位:%)
	新潟市 (平成17年)	全国 (平成16年)	新潟県 (平成16年)
20~29歳	14.7	18.0	19.1
30~39歳	16.7	18.0	14.1
40~49歳	15.6	13.7	9.0
50~59歳	11.9	13.7	9.6
60~69歳	5.1	7.6	3.8
70歳以上	3.3	4.5	0.7
総数	10.3	12.0	8.2

資料: 新潟市「市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「国民健康・栄養調査」 新潟県「県民健康・栄養実態調査」

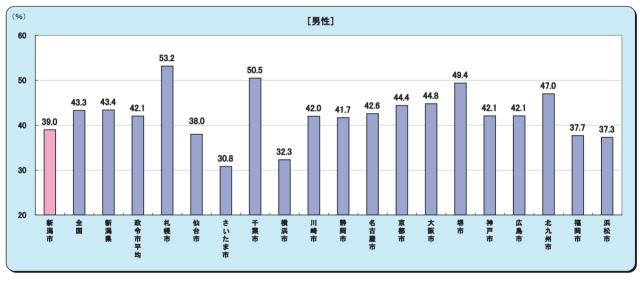




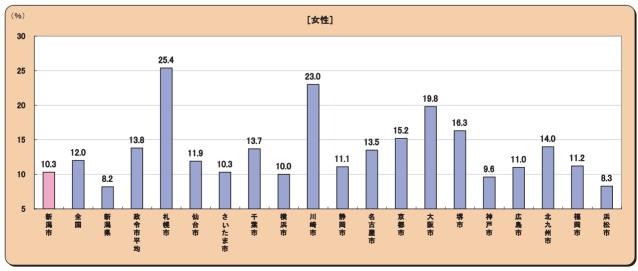
#### ④ 政令市との喫煙者割合の比較

		男性	女性	調査年		
1	新潟市	39.0	10.3	平成17年		
	全国	43.3	12.0	平成16年		
	新潟県	43.4	8.2	平成16年		
	政令市平均	42.1	13.8			
2	札幌市	53.2	25.4	平成12年		
3	仙台市	38.0	11.9	平成17年		
4	さいたま市	30.8	10.3	平成17年		
5	千葉市	集市 50.5 13.7		平成12年		
6	横浜市	32.3	32.3 10.0			
7	川崎市	42.0 23.0		平成16年		
8	静岡市	41.7	11.1	平成14年		
9	名古屋市	42.6	13.5	平成13年		
10	京都市	44.4	15.2	平成11年		
11	大阪市	44.8	19.8	平成16年		
12	堺市	49.4	16.3	平成13年		
13	神戸市	42.1	9.6	平成17年		
14	広島市	42.1	11.0	平成12年		
15	北九州市	47.0	14.0	平成10年		
16	福岡市	37.7	11.2	平成18年		
17	浜松市	37.3	8.3	平成13年		

料 :新潟市「市民保健医療福祉意識調査」 (44: 利) 向川 「川大味姓と原価和(急級制度」 厚生労働省「国民健康・栄養調査」 新潟県「県民健康・栄養実態調査」 その他政令市等については各市の独自調査結果より 注1 :各市により調査の質問方法や集計方法が多少異なっています。 注2 :静岡市については45~64歳の割合



(単位:%)



# たばこ

# ⑤ 未成年者の喫煙者の割合

<u>ア 全</u>	国			(単位:%)					
Q 「直近1ヶ月に1回以 上たばこを吸ったことが ありますか。」		実績							
ありますフ	2,° ]	平成8年	平成12年	平成16年					
	小学5年								
	中学1年	7.5	5.9	3.2					
_	2年	10.8	8.2	4.8					
男性	3年	14.4	14.0	7.3					
	高校1年	24.7	24.3	11.3					
	2年 31.0 29.5	15.4							
	3年	36.9	36.9	21.7					
	小学5年								
	中学1年	3.8	4.2	2.4					
١,	2年	5.4	5.7	3.8					
<b>女</b> 性	3年	5.5	6.9	4.8					
	高校1年	9.2	10.9	6.4					
	2年	13.3	13.0	8.5					
	3年	15.6	15.8	9.7					

資料:国立保健医療科学院「未成年者の喫煙および飲酒行動に関する全国調査	資料:国立保修	#医療科学院	「未成年者の喫煙および飲活	西行動に関する全国調査
-------------------------------------	---------	--------	---------------	-------------

イ 新	潟県		(単位:%)			
Q 「たば がありま	こを吸ったこと すか。I	実績				
		平成10年	平成16年			
	小学5年		4.2			
	中学1年					
_	2年	18.7	7.2			
男性	3年					
'	高校1年					
	2年	45.1	19.0			
	3年					
	小学5年		0.9			
	中学1年					
	2年	10.2	3.9			
女性	3年					
	高校1年					
	2年	21.7	11.1			
	3年					

資料:新潟県「健康にいがた21実行計画」

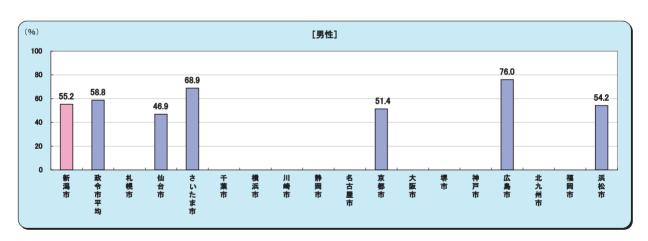
## (2)分煙の必要性を考えている人の割合

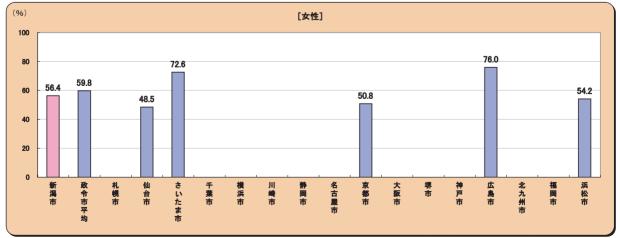
新潟市 (単位:%)								
		実績		資				
	平成12年	平成14年	平成17年					
男性	55.9	53.8	55.2	注:				
女性	66.3	62.2	56.4	]注:				

料:新潟市「市民保健医療福祉意識調査」 その他政令市等については各市の独自調査結果より1:1 :各市により調査の質問方法や集計方法が多少異なっ ています。

:広島市についてはたばこを吸わない人のうちの男女平

3 :浜松市については30歳以上男女平均値





※空白の政令市についてはすべて未把握

## (1)多量に飲酒する人の割合 【一日平均純アルコール約60g(日本酒で約3合)を超えて摂取する人】

## ① 多量飲酒者の割合の推移

(単位:%)
--------

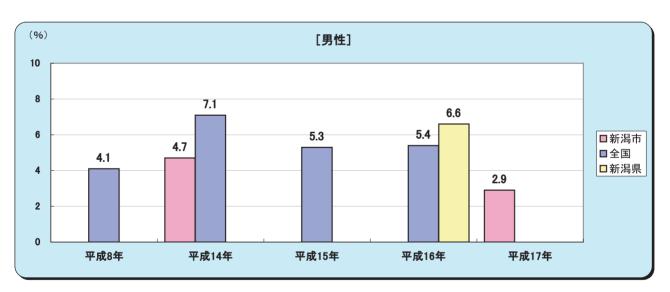
						(単位:%)
				実績		
		平成8年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
	新潟市		4.7			2.9
男性	全国	4.1	7.1	5.3	5.4	
	新潟県				6.6	
,	新潟市		0.5			0.3
女性	全国	0.3	0.3	0.8	0.7	
	新潟県				0.5	

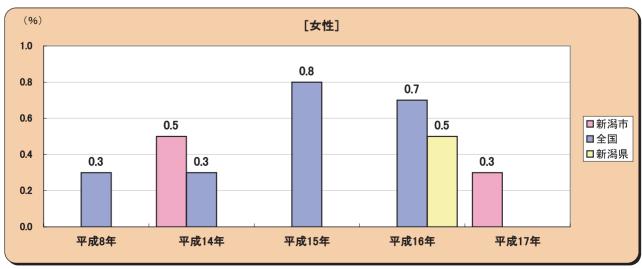
資料 : 新潟市「市民保健医療福祉意識調査」

全国H8 財団法人健康・体力づくり事業財団「健康づくりに関する意識調査」

全国H14~ 厚生労働省「国民健康·栄養調査」

新潟県「県民健康・栄養実態調査」





#### ② 政令市との多量飲酒者の割合の比較

				(単位:%)
		男性	女性	調査年
1	新潟市	2.9	0.3	平成17年
	全国	5.4	0.7	平成16年
	新潟県	6.6	0.5	平成16年
	政令市平均	7.1	1.6	
2	札幌市	7.9	2.1	平成12年
3	仙台市	9.5	0.9	平成17年
4	さいたま市	5.3	1.8	平成17年
5	千葉市	6.4	未把握	平成12年
6	横浜市	_	-	未把握
7	川崎市	9.5	1.9	平成16年
8	静岡市	9.2	3.4	平成14年
9	名古屋市	2.8	1.1	平成13年
10	京都市	10.7	2.7	平成11年
11	大阪市	6.5	1.5	平成16年
12	堺市	9.4	0.8	平成13年
13	神戸市			
14	広島市	5.5	1.1	平成12年
15	北九州市			
16	福岡市		_	未把握
17	浜松市			

※日本酒1合=

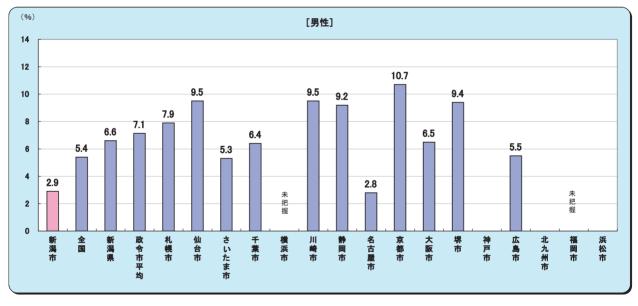
『ビール中瓶1本(500ml), ワイン2杯(120ml×2杯), ウィスキーダブル1杯(60ml), 焼酎半合(90ml)]

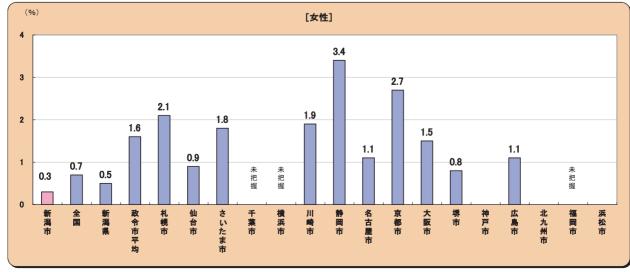
資料:新潟市「市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「国民健康・栄養調査」 新潟県「県民健康・栄養実態調査」

新潟県「県民健康・栄養実態調査」 その他政令市等については各市の独自調査結果より 注1:各市により調査の質問方法や集計方法が多少異なって います。

また、表又はグラフの空白値については、当市において 未把握であるもの、又は数値はあるが調査方法や集計 方法が著しく異なるため未掲載のものがあります。

注2:千葉市については50歳代の割合 注3:静岡市については45~64歳の割合





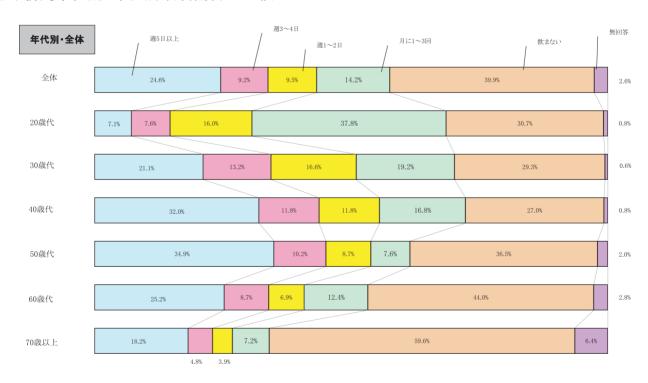
## (2)未成年者の飲酒割合

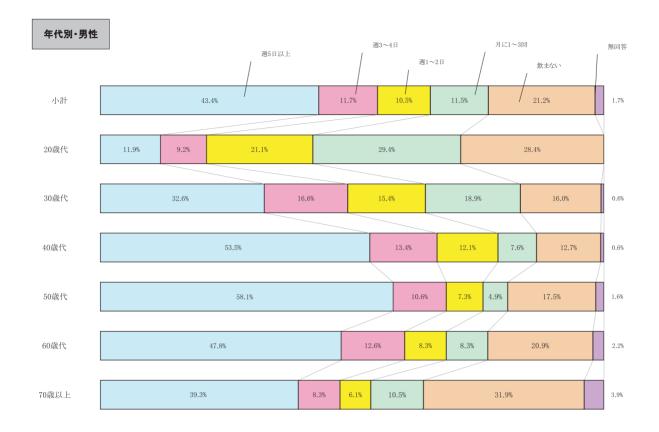
全国 平成16年度 性別学年別飲酒頻度

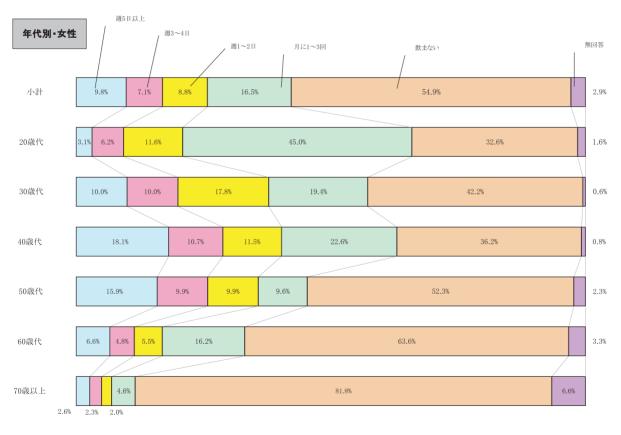
Ē	: 1 <u>2</u> 1	火ロサ	12 1-	ェ끼ナ	1 /3/3 2	V/10/25	12											
		無回	]答	飲ま	ない	年に1	-2回	月に1	-2回	週	末	週数	(O	毎	目	合計	飲酒し	ている人
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	件数	%
	中学1年	27	0.4	4,657	67.3	1,599	23.1	461	6.7	31	0.4	121	1.7	21	0.3	6,917	634	9.2
	2年	32	0.5	4,258	62.2	1,597	23.3	656	9.6	60	0.9	188	2.7	54	0.8	6,845	958	14.0
月		22	0.3	4,205	60.8	1,533	22.2	830	12.0	58	0.8	228	3.3	41	0.6	6,917	1,157	16.7
性	高校1年	33	0.3	6,258	51.1	2,806	22.9	2,192	17.9	244	2.0	623	5.1	79	0.6	12,235	3,138	25.6
	2年	21	0.2	5,170	42.2	3,012	24.6	2,795	22.8	295	2.4	866	7.1	82	0.7	12,241	4,038	33.0
	3年	30	0.3	4,117	38.0	2,533	23.4	2,816	26.0	375	3.5	855	7.9	117	1.1	10,843	4,163	38.4
	中学1年	19	0.3	4,218	67.7	1,416	22.7	443	7.1	24	0.4	97	1.6	12	0.2	6,229	576	9.2
	2年	21	0.3	4,003	64.2	1,454	23.3	563	9.0	37	0.6	138	2.2	18	0.3	6,234	756	12.1
<b>5</b>	3年	24	0.4	3,839	61.5	1,462	23.4	701	11.2	48	0.8	151	2.4	18	0.3	6,243	918	14.7
性	高校1年	35	0.4	4,887	51.0	2,400	25.1	1,701	17.8	131	1.4	385	4.0	41	0.4	9,580	2,258	23.6
	2年	26	0.3	4,040	43.5	2,547	27.4	2,088	22.5	160	1.7	399	4.3	29	0.3	9,289	2,676	28.8
	3年	27	0.3	3,436	38.7	2,578	29.0	2,170	24.4	204	2.3	414	4.7	49	0.6	8,878	2,837	32.0

資料:国立保健医療科学院「2004年度未成年者の喫煙および飲酒行動に関する全国調査」

# (3)新潟市性別・年代別飲酒割合の比較







資料 : 新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

# 19 歯の健康

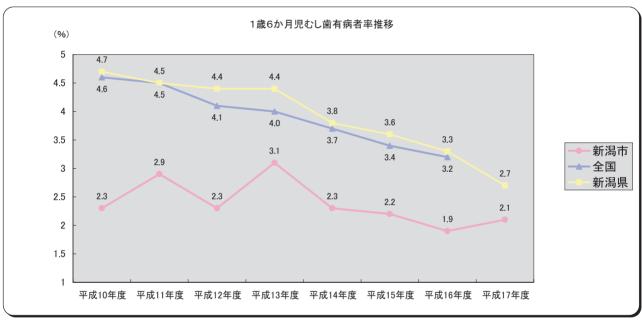
#### (1)乳児むし歯有病者率

(畄	石	%)
(+	. 1.7	/0/

										(単位:%)
			平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		新潟市	2.3	2.9	2.3	3.1	2.3	2.2	1.9	2.1
	1歳6か月児	全国	4.6	4.5	4.1	4.0	3.7	3.4	3.2	
保健所		新潟県 <b>新潟市</b>	4.7	4.5	4.4	4.4	3.8	3.6	3.3	2.7
不姓刀			35.5	34.7	30.0	29.7	28.2	25.0	23.5	23.7
	3歳児	全国	40.5	38.9	35.2	33.7	32.5	31.3	29.8	
		新潟県	42.1	40.2	36.0	36.0	33.2	30.0	28.2	26.1
		新潟市	34.3	33.5	29.6	26.4	27.0	24.3	21.1	25.4
	3歳児	全国								
		新潟県	48.0	46.4	42.1	42.1	38.2	36.0	33.4	30.9
保育園·幼		新潟市	49.6	49.7	45.4	42.3	39.3	38.1	35.9	38.5
稚園	4歳児	全国								
作区		新潟県	61.6	60.5	57.4	54.1	51.7	49.9	48.8	45.3
		新潟市	63.9	61.0	55.2	55.3	52.2	48.6	48.4	48.7
	5歳児	全国								
		新潟県	72.1	70.0	67.6	66.0	62.8	60.5	59 <u>.</u> 5	56.9

<sup>※</sup> 新潟市の数値は、平成10年度から16年度までは、旧新潟市の数値(保健所3歳児は、旧新潟市及び旧小須戸町の数値)、平成17年度は、合併市町村を含む平成19年4月1日現在の市域の数値(保育園・幼稚園は、旧巻町を除く数値)である。

資料:新潟市「歯科健康診査結果」,厚生労働省「歯科保健課調査結果」,新潟県「母子保健事業報告」





## (2)むし歯有病率及び一人平均むし歯本数の政令市との比較

むし歯有病者率

(単位:%)

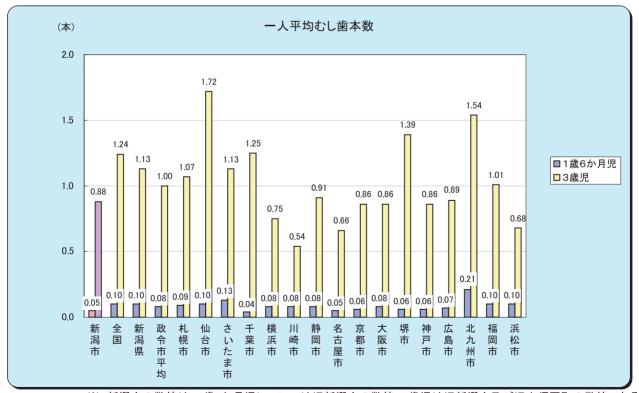
	新潟市	全国	新潟県	政令市平均	札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	横浜市	川崎市	静岡市	名古屋市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	広島市	北九州市	福岡市	浜松市
1歳6か月児	1.94	3.21	3.3	2.94	2.81	3.47	4.13	4.04	2.63	2.30	2.48	1.82	1.76	2.93	2.11	1.90	2.43	6.67	3.06	3.54
3歳児	23.50	29.84	28.2	25.79	25.46	38.59	26.67	31.50	21.14	15.38	23.15	17.56	22.88	27.77	32.49	22.26	24.80	37.37	27.68	20.20



#### ・一人平均むし歯本数

(単位:本)

	新潟市	全国	新潟県	政令市平均	札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	横浜市	川崎市	静岡市	名古屋市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	広島市	北九州市	福岡市	浜松市
1歳6か月児	0.05	0.10	0.10	0.08	0.09	0.10	0.13	0.04	0.08	0.08	0.08	0.05	0.06	0.08	0.06	0.06	0.07	0.21	0.10	0.10
3歳児	0.88	1.24	1.13	1.00	1.07	1.72	1.13	1.25	0.75	0.54	0.91	0.66	0.86	0.86	1.39	0.86	0.89	1.54	1.01	0.68



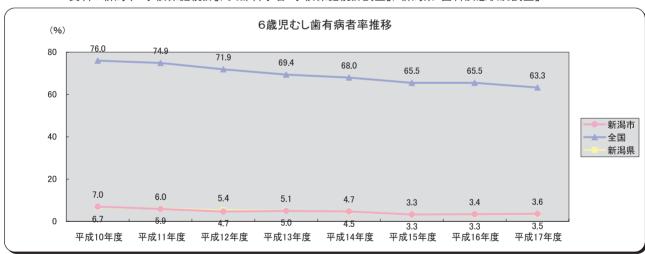
※ 新潟市の数値は、1歳6か月児については旧新潟市の数値、3歳児は旧新潟市及び旧小須戸町の数値である。 資料:新潟市「平成16年歯科健康診査結果」 厚生労働省「平成16年歯科保健課調査結果」 新潟県「平成16年母子保健事業報告」

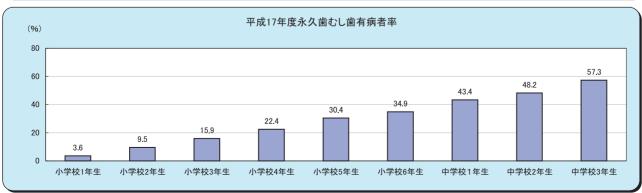
## (3)永久歯むし歯有病者率

(単位:%)

			平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		新潟市	7.0	5.9	4.7	5.0	4.7	3.3	3.4	3.6
	1年生	全国	76.0	74.9	71.9	69.4	68.0	65.5	65.5	63.3
		新潟県	6.7	6.0	5.4	5.1	4.5	3.3	3.3	3.5
		新潟市	17.0	15.7	14.7	12.5	10.4	10.1	9.1	9.5
	2年生	全国	81.3	81.4	77.9	75.7	73.9	71.8	70.7	69.4
		新潟県	17.6	16.1	13.9	12.7	10.8	9.8	8.2	8.2
		新潟市	32.1	26.5	23.1	22.0	17.9	18.1	15.4	15.9
	3年生	全国	86.0	84.5	81.7	79.7	78.5	76.4	75.5	73.0
		新潟県	31.5	27.5	23.0	21.5	17.9	17.1	15.3	13.9
		新潟市	42.1	39.6	35.2	30.7	26.9	23.7	23.7	22.4
小学校	4年生	全国	86.6	84.9	82.7	80.8	79.1	76.7	75.6	73.7
		新潟県	41.9	40.0	33.0	30.0	25.8	23.1	22.0	21.2
		新潟市	53.2	50.7	44.5	37.4	33.6	32.3	30.3	30.4
	5年生	全国	83.2	81.8	79.3	76.9	74.9	72.0	71.2	68.8
		新潟県	51.6	47.8	43.5	38.2	32.9	29.9	28.4	27.2
	6年生 「	新潟市	63.1	57.2	53.0	47.6	41.0	36.6	36.4	34.9
		全国	79.1	77.2	73.9	71.2	68.7	65.5	64.0	61.0
		新潟県	59.8	55.6	50.8	46.6	40.0	36.0	33.1	32.4
		新潟市	36.6	33.3	29.6	26.0	22.5	20.7	19.7	19.6
	全学年	全国	82.1	80.8	77.9	75.6	73.9	71.3	70.4	68.2
		新潟県	35.8	33.0	28.8	25.9	22.2	20.1	18.6	18.0
		新潟市	71.7	67.8	62.5	57.7	52.7	49.1	45.7	43.4
	1年生	全国	79.4	76.6	73.7	70.5	67.9	64.0	61.0	59.5
		新潟県	67.7	65.0	59.0	55.4	49.5	46.1	41.7	40.2
	l	新潟市	74.9	74.7	71.1	65.4	60.9	55.1	56.0	48.2
	2年生	全国	82.2	80.1	76.0	73.4	70.7	67.1	64.2	61.8
中学校		新潟県	72.3	71.3	66.8	62.0	56.5	53.6	49.5	45.8
' ' '^		新潟市	77.5	77.7	77.8	72.6	68.1	63.5	62.9	57.3
	3年生	全国	84.0	83.3	80.6	77.4	74.8	71.6	68.6	66.8
		新潟県	75.9	75.5	72.4	67.9	63.5	58.5	56.0	52.2
		新潟市	74.7	73.5	70.6	65.2	60.6	56.1	54.9	49.6
	全学年	全国	81.9	80.1	76.9	73.8	71.2	67.7	64.6	62.7
		新潟県	72.0	70.7 定 <del>求</del> + 会士	66.2	61.8	56.6	52.9	49.1	46.1

※ 全国の数値には、乳歯むし歯有病者も含まれている。 新潟市の数値は、平成10年度から16年度までは旧新潟市の数値である。 資料:新潟市「学校保健統計」、文部科学省「学校保健統計調査」、新潟県「歯科疾患状況調査」



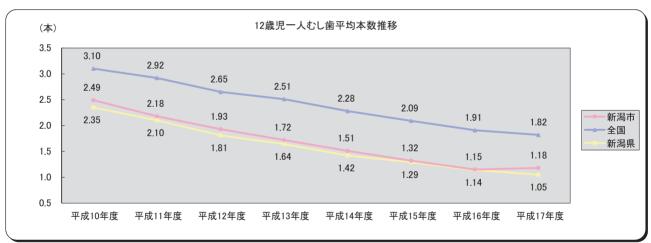


## (4)永久歯一人平均むし歯本数

(単位:本)

			立出10左左	亚出14年中	亚出10年中	亚出10左连	亚出14年中	亚出15左车	亚出16年中	(単1型: 本)   平成17年度
			平成10年度		平成12年度		平成14年度	平成15年度	平成16年度	1 171 1 122
	1.54	新潟市	0.11	0.09	0.08	0.07	0.07	0.05	0.05	0.05
	1年生	全国								
		新潟県	0.11	0.09	0.08	0.08	0.07	0.05	0.05	0.05
		新潟市	0.30	0.27	0.26	0.21	0.17	0.17	0.15	0.15
	2年生	全国								
		新潟県	0.32	0.28	0.24	0.22	0.18	0.17	0.13	0.13
		新潟市	0.66	0.51	0.44	0.44	0.31	0.33	0.28	0.28
	3年生	全国								
		新潟県	0.64	0.54	0.45	0.42	0.33	0.31	0.28	0.24
		新潟市	0.98	0.86	0.77	0.66	0.56	0.47	0.45	0.44
小学校	4年生	全国								
		新潟県	0.95	0.89	0.71	0.64	0.53	0.45	0.42	0.40
		新潟市	1.35	1.27	1.06	0.90	0.73	0.71	0.65	0,61
	5年生	全国								
		新潟県	1,30	1.18	1,05	0.88	0.73	0,65	0.61	0.56
		新潟市	1.76	1.58	1.42	1.25	1.04	0.87	0.89	0.81
	6年生	全国								
		新潟県	1.72	1.56	1.34	1,21	1.01	0.86	0.78	0.75
		新潟市	0.89	0.78	0.69	0.59	0.48	0,44	0,41	0.39
	全学年	全国								
		新潟県	0,87	0,78	0.66	0,58	0,48	0.42	0,38	0.36
		新潟市	2.49	2.18	1.93	1.72	1.51	1.32	1.15	1.18
	1年生	全国	3,10	2.92	2,65	2,51	2,28	2,09	1,91	1.82
	1 , —	新潟県	2.35	2.10	1.81	1.64	1.42	1.29	1.14	1.05
		新潟市	2.92	2.28	2.61	2.30	2.07	1.77	1.69	1.52
	2年生	全国	2.02	2.20	2.01	2.55	2.07	11,77	1.00	1.02
	-	新潟県	2.89	2.71	2,43	2.14	1,88	1,71	1.52	1,38
中学校		新潟市	3.40	3.42	3.45	2.98	2.51	2.36	2.07	2.07
	3年生	全国	0.40	0.72	0.10	2.00	2.01	2.00	2.07	2.07
	T	新潟県	3,50	3.29	3,05	2.68	2.38	2.09	1.93	1.78
		新潟市	2.95	2.83	2.68	2.34	2.04	1.83	1.64	1.59
	全学年	全国	2.90	2.03	2.00	2.34	2.04	1.03	1.04	1.08
	+ + +	新潟県	2.92	3.29	2.44	2.16	1,90	1.71	1.53	1,41
								1,/1	1,03	1.41

※ 新潟市の数値は、平成10年度から16年度までは旧新潟市の数値である。 資料:新潟市「学校保健統計」、文部科学省「学校保健統計調査」、新潟県「歯科疾患状況調査」





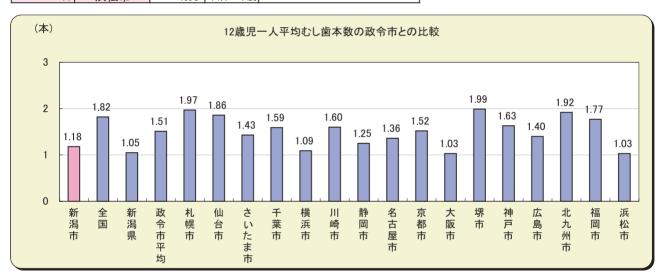
## (5)12歳児一人平均むし歯本数の政令市との比較

(単位:本)

		総数	調査年	備考
1	新潟市	1.18	平成17年度	NO 3
	全国	1.82	平成17年度	
	新潟県	1.05	平成17年度	
	政令市平均	1.51		
2	札幌市	1.97	平成17年度	抽出校平均
3	仙台市	1.86	平成17年度	
4	さいたま市	1.43	平成17年度	
5	千葉市	1.59	平成17年度	
6	横浜市	1.09	平成17年度	小6年生卒業時調査
7	川崎市	1.60	平成17年度	
8	静岡市	1.25	平成14年度	
9	名古屋市	1.36	平成17年度	
10	京都市	1.52	平成17年度	
11	大阪市	1.03	平成16年度	
12	堺市	1.99	平成12年度	
13	神戸市	1.63	平成16年度	男子1.51本, 女子1.74本の平均
14	広島市	1.40	平成17年度	
15	北九州市	1.92	平成17年度	
16	福岡市	1.77	平成17年度	
17	浜松市	1.03	平成16年度	

#### 資料

新潟市「平成17年歯科定期健康診断集計表」 文部科学省「平成17年学校保健統計調査」 新潟県「平成17年歯科疾患状況調査」 その他政令市等については各市の独自 調査結果より



## (6)80歳で20歯以上を有する人の割合(8020)

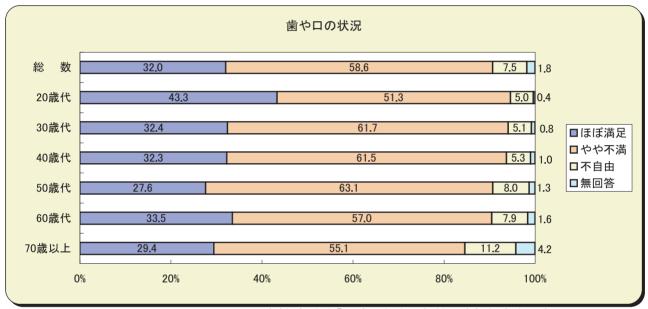
		実 績									
	平成5年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年			
全国	11.5	15.3						25.0			
新潟県		23.0					26.6				

資料:厚生労働省「歯科疾患実態調査」,新潟県「県民健康・栄養実態調査」

#### (7)歯や口の状況

(単位:%)

				<u> </u>
	ほぼ満足し ている	やや不満だ が, 日常は特 に困らない	不自由や苦 痛を感じて いる	無回答
総数	32.0	58.6	7.5	1.8
20歳代	43.3	51.3	5.0	0.4
30歳代	32.4	61.7	5.1	0.8
40歳代	32.3	61.5	5.3	1.0
50歳代	27.6	63.1	8.0	1.3
60歳代	33.5	57.0	7.9	1.6
70歳以上	29.4	55.1	11.2	4.2

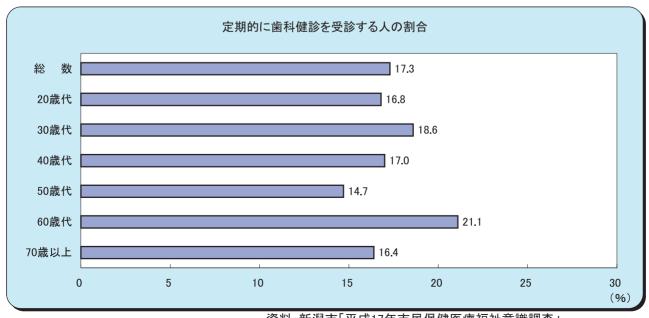


資料:新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

## (8) 定期的に歯科健診を受診する人の割合

(単位:%)

総	数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
	17.3	16.8	18.6	17.0	14.7	21.1	16.4

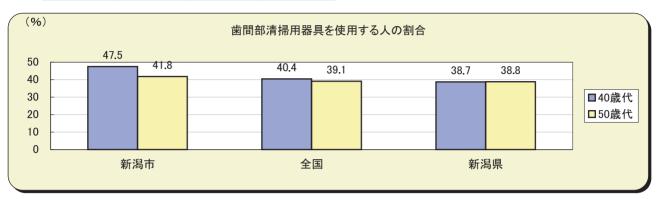


資料:新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」

## (9)歯間部清掃用器具を使用する人の割合

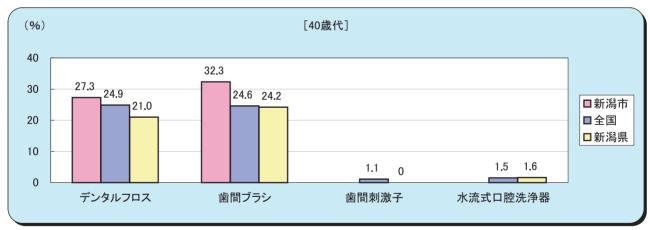
(単位·%)

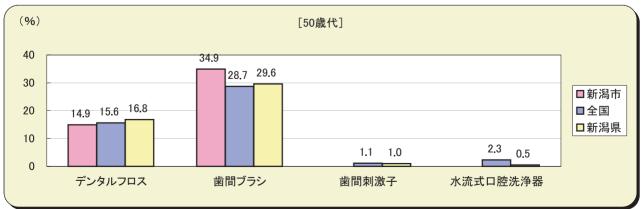
			( <del>-</del>   / 0/
	新潟市(H17)	全国(H16)	新潟県(H16)
40歳代	47.5	40.4	38.7
50歳代	41.8	39.1	38.8



(単位:%)

					( <del>+ 12 · /0/</del>
		デンタルフロス	歯間ブラシ	歯間刺激子	水流式口腔 洗浄器
新潟市	40歳代	27.3	32.3		
初/祠川	50歳代	14.9	34.9		
全国	40歳代	24.9	24.6	1.1	1.5
土田	50歳代	15.6	28.7	1.1	2.3
新潟県	40歳代	21.0	24.2	0	1.6
机何尔	50歳代	16.8	29.6	1.0	0.5



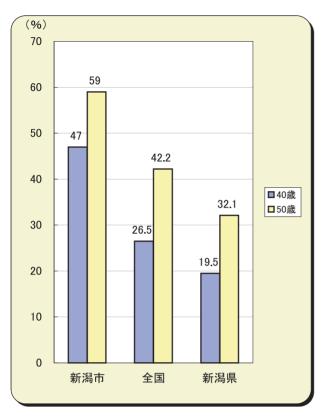


資料:新潟市「平成17年市民保健医療福祉意識調査」 厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」 新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」

## (10)進行した歯周炎を持っている人の割合

(健診で4mm以上の深い歯周ポケットがある歯周炎)

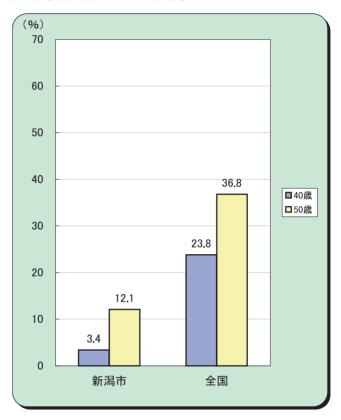
## [健診・身体状況調査による結果]



※ 全国, 新潟県の数値は, 40歳(35~44歳), 50歳(45~54歳)である。

資料:新潟市「平成17年成人歯科健診結果」 厚生労働省「平成17年歯科疾患実態調査」 新潟県「平成16年県民健康・栄養実態調査」

参考:[意識調査による結果]



※ 新潟市の数値は40歳代,50歳代,全国の数値 は35~44歳,45~54歳である。

資料:新潟市「平成18年度食育・健康づくりに関する 市民アンケート調査」 厚生労働省「平成16年国民健康・栄養調査」

# 20 健康診査

#### (1)基本健康診査

 (1)受診者数
 (単位:人) 人口比率

		平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成16年度
1	新潟市	72,561	73,752	77,283	80,961	84,202	87,943	89,817	20.2%
	全国	10,894,548	11,210,009	11,532,718	11,847,408	12,330,044	12,941,480	12,983,593	18.8%
	新潟県	280,750	286,310	293,535	298,459	306,775	313,900	314,021	22.3%
	政令市平均	71,277	80,214	82,548	89,955	95,694	102,475	104,008	14.0%
2	札幌市	79,693	91,103	101,668	112,676	128,101	145,308	153,376	15.6%
3	仙台市	77,901	77,384	84,513	89,555	91,027	96,335	100,622	20.4%
4	さいたま市				89,050	101,161	112,516	119,540	20.3%
5	千葉市	74,229	81,237	86,491	92,332	97,951	106,097	112,105	23.7%
6	横浜市	199,602	222,134	211,337	212,278	219,513	238,120	234,764	12.9%
7	川崎市	79,052	84,971	88,406	95,137	101,834	106,609	114,670	18.5%
8	静岡市	13,817	15,410	17,934	34,557	35,537	38,400	39,897	10.0%
9	名古屋市	142,705	145,046	141,408	153,346	156,013	136,792	140,236	12.3%
10	京都市	81,103	85,342	86,346	91,823	94,664	104,476	102,650	13.5%
11	大阪市	128,241	130,212	136,929	142,371	154,471	170,339	150,117	10.8%
12	堺市	32,868	35,510	38,845	48,895	57,258	62,680	66,835	15.2%
13	神戸市	67,312	72,708	71,336	74,357	74,568	80,738	84,770	10.3%
14	広島市	35,054	37,602	39,248	42,363	45,224	49,522	52,061	8.9%
15	北九州市	46,691	49,126	52,355	53,688	57,679	65,509	64,970	11.6%
16	福岡市	49,569	49,262	51,390	52,469	61,460	69,546	69,875	10.6%
17	浜松市	31,306	32,629	35,285	63,384	66,139	71,142	71,836	16.7%

※40歳以上人口は平成17年国勢調査の総人口を使用して算出。



#### ②有所見率の推移

#### 【血圧】

							(.	<u>単位:%)</u>
		H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
1	新潟市	38.1	38.4	36.9	39.6	40.4	38.1	39.6
	全国	35.0	35.2	33.2	34.3	33.6	34.1	34.0
	新潟県	34.4	33.3	33.3	33.6	34.5	33.4	35.0
	政令市平均	34.2	34.8	27.8	29.2	33.8	36.0	33.6
2	札幌市	21.8	23.9	22.6	22.9	13.8	13.5	13.5
3	仙台市	25.4	25.6	25.2	26.4	25.6	25.4	25.4
4	さいたま市				34.6	34.9	35.9	34.5
5	千葉市	54.9	55.6	26.8	27.1	28.0	57.6	33.7
6	横浜市	43.9	44.1	41.2	39.7	39.9	38.9	37.1
7	川崎市	29.2	30.0	1.5	1.4	43.5	43.5	42.0
8	静岡市	52.5	50.6	31.2	37.4	53.5	57.9	58.0
9	名古屋市	27.5	27.2	10.1	9.9	31.3	31.9	32.9
10	京都市	35.9	36.7	35.1	42.2	41.0	41.1	39.1
11	大阪市	27.4	27.8	33.1	34.8	35.7	40.2	39.3
12	堺市	34.2	37.2	36.2	37.3	34.7	40.3	39.1
13	神戸市	25.8	25.2	24.4	26.2	30.3	26.9	25.8
14	広島市	34.3	31.9	33.8	36.3	30.9	30.7	30.1
15	北九州市	32.3	31.5	32.1	31.5	37.1	36.8	35.4
16	福岡市	40.5	45.0	23.6	28.5	27.1	28.7	29.4
17	浜松市	35.8	36.2	40.6	36.0	36.7	34.6	31.2

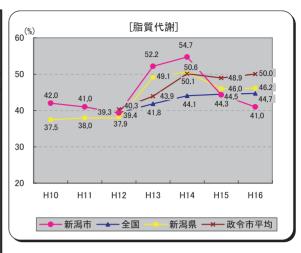


※「血圧 要指導a」以上を計上。ただし、平成14年度以降は、「軽症高血圧」以上を計上。

#### 【脂質代謝】

(単位:%)

		H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
1	新潟市	42.0	41.0	39.3	52.2	54.7	44.3	41.0
	全国			39.4	41.8	44.1	44.5	44.7
	新潟県	37.5	38.0	37.9	49.1	50.6	46.0	46.2
	政令市平均			40.3	43.9	50.1	48.9	50.0
2	札幌市			32.0	40.1	39.9	42.1	42.1
3	仙台市			39.6	29.9	50.6	48.4	47.8
4	さいたま市				45.5	50.7	54.2	52.4
5	千葉市			46.6	49.4	51.0	47.3	46.3
6	横浜市			49.7	50.7	50.7	52.2	51.7
7	川崎市			2.9	2.5	48.1	50.0	48.1
8	静岡市			36.5	55.9	55.0	56.4	56.5
9	名古屋市			23.3	23.3	25.5	23.9	48.5
10	京都市			50.1	50.8	48.9	50.4	50.1
11	大阪市			60.4	66.3	65.3	63.0	63.8
12	堺市			49.1	50.7	74.3	51.6	50.7
13	神戸市			49.9	49.5	51.4	55.9	52.5
14	広島市			57.9	62.0	58.9	56.7	56.4
15	北九州市			53.5	54.3	53.8	52.1	51.8
16	福岡市			6.2	44.6	59.4	45.4	47.4
17	浜松市			39.0	39.7	43.2	44.6	44.7

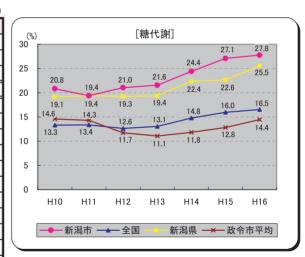


- ※「総コレステロール 要指導a」以上を計上。
- ※平成11年度以前は、地域保健・老人保健事業報告にコレステロール有所見者数データなし。
- ※新潟県及び新潟市の場合、平成13、14年度のみ総コレステロール200mg/dl以上(50歳以上の女性を除く)を要指導とし、それ以外の年は総コレステロール220mg/dl以上を要指導としている。

#### 【糖代謝】

(単位:%)

								<u> </u>
		H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
1	新潟市	20.8	19.4	21.0	21.6	24.4	27.1	27.8
	全国	13.3	13.4	12.6	13.1	14.8	16.0	16.5
	新潟県	19.1	19.4	19.3	19.4	22.4	22.6	25.5
	政令市平均	14.6	14.3	11.7	11.1	11.8	12.8	14.4
2	札幌市	12.4	12.3	19.4	12.5	8.6	11.0	11.0
3	仙台市	16.6	16.2	10.3	4.0	12.2	13.1	13.3
4	さいたま市				21.8	19.6	20.8	21.9
5	千葉市	11.1	11.3	11.3	11.8	12.4	12.8	12.7
6	横浜市	13.2	12.6	17.2	13.0	11.5	11.1	10.8
7	川崎市	14.4	14.3	0.8	0.7	13.8	14.2	14.6
8	静岡市	9.8	12.1	8.7	11.5	12.7	14.7	16.8
9	名古屋市	10.8	13.7	1.8	1.8	2.1	2.1	16.8
10	京都市	40.9	36.0	11.5	12.0	14.3	14.5	14.9
11	大阪市	10.0	10.1	10.7	10.4	10.1	10.7	13.0
12	堺市	14.7	15.6	14.5	14.8	7.9	7.2	6.4
13	神戸市	9.0	8.3	11.5	11.1	11.4	12.7	12.7
14	広島市	17.2	15.4	16.1	20.6	18.9	19.6	18.5
15	北九州市	7.0	6.0	11.3	11.2	9.1	11.9	12.6
16	福岡市	10.7	11.5	10.7	11.1	11.7	12.8	15.4
17	浜松市	13.8	13.9	9.4	10.8	11.6	12.8	12.4



※「糖尿病 要指導」以上を計上。

※新潟市及び新潟県の場合,平成14年度にヘモグロビンA1cの判定基準が,5.6%から5.5%に変更された。

資料:新潟市「新潟市の保健と福祉」

厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」、新潟県成人病予防協会「基本健康診査結果報告書」 ※各市とも平成19年4月1日現在の市域にて算出。ただし、平成12年以前の静岡市、京都市、堺市、 広島市、浜松市は平成12年4月1日現在の市域、さいたま市についてはデータなし。(以下健康診査について同じ)

#### (2) 胃がん検診

①受診者数

40歳以上(単位:人)人口比率

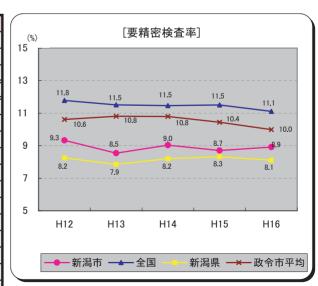
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成16年度
1	新潟市	41,665	44,074	45,275	50,957	52,642	11.9%
	全国	4,206,543	4,302,562	4,371,784	4,508,041	4,376,699	6.3%
	新潟県	158,827	160,214	160,601	169,485	166,309	11.8%
	政令市平均	26,441	30,077	31,217	32,481	31,856	4.3%
2	札幌市	42,273	44,291	46,326	50,037	49,721	5.1%
3	仙台市	45,772	48,671	51,659	54,702	57,074	11.6%
4	さいたま市		43,842	47,150	51,758	53,169	9.0%
5	千葉市	34,156	36,374	38,304	42,159	42,885	9.1%
6	横浜市	57,033	57,130	58,629	64,715	63,240	3.5%
7	川崎市	28,199	30,104	31,137	31,733	32,195	5.2%
8	静岡市	3,659	12,457	11,936	12,714	12,374	3.1%
9	名古屋市	24,943	26,530	27,497	24,772	23,684	2.1%
10	京都市	10,801	12,219	11,911	12,323	11,122	1.5%
11	大阪市	36,921	38,789	42,224	46,872	38,517	2.8%
12	堺市	8,332	9,863	9,876	10,080	8,699	2.0%
13	神戸市	30,450	32,328	31,519	12,380	9,762	1.2%
14	広島市	19,765	22,104	23,473	25,722	25,860	4.4%
15	北九州市	5,360	5,412	5,517	6,891	6,403	1.1%
16	福岡市	19,861	22,248	23,203	27,507	27,838	4.2%
17	浜松市	13,860	24,877	25,061	26,849	26,365	6.1%

※40歳以上人口は平成17年国勢調査の総人口を使用して算出。



#### ②要精密検査率

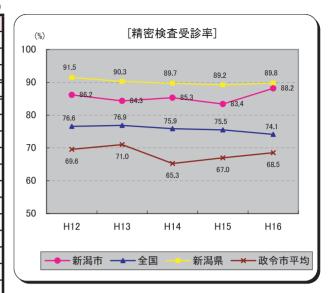
(2)要	·精密検査率					(単位:%)
		H12	H13	H14	H15	H16
1	新潟市	9.3	8.5	9.0	8.7	8.9
	全国	11.8	11.5	11.5	11.5	11.1
	新潟県	8.2	7.9	8.2	8.3	8.1
	政令市平均	10.6	10.8	10.8	10.4	10.0
2	札幌市	11.2	11.1	12.4	11.2	11.1
3	仙台市	9.8	9.6	8.9	9.0	9.1
4	さいたま市		15.9	16.5	16.3	13.8
5	千葉市	15.3	15.5	15.5	16.0	16.4
6	横浜市	10.0	9.5	9.1	8.2	8.6
7	川崎市	7.4	7.1	6.0	4.9	3.9
8	静岡市	6.8	12.3	11.1	11.5	10.6
9	名古屋市	12.5	12.0	13.1	11.8	11.4
10	京都市	16.8	17.7	16.1	17.3	16.8
11	大阪市	7.5	6.6	6.6	6.7	5.7
12	堺市	13.5	15.3	15.9	16.1	14.0
13	神戸市	12.4	11.3	12.4	11.8	12.2
14	広島市	8.2	8.4	7.9	8.2	7.5
15	北九州市	12.1	10.3	11.6	13.7	12.7
16	福岡市	9.2	8.0	7.4	7.6	6.8
17	浜松市	13.0	11.9	10.5	10.4	9.3



#### ③精密検査受診率

(単位:%)

			_			( <del>-</del>  /0/
		H12	H13	H14	H15	H16
1	新潟市	86.2	84.3	85.3	83.4	88.2
	全国	76.6	76.9	75.9	75.5	74.1
	新潟県	91.5	90.3	89.7	89.2	89.8
	政令市平均	69.6	71.0	65.3	67.0	68.5
2	札幌市	73.2	70.3	66.3	63.1	57.9
3	仙台市	91.9	92.0	90.6	92.4	88.2
4	さいたま市		72.2	59.3	58.7	68.4
5	千葉市	57.1	60.0	58.1	62.1	61.5
6	横浜市	58.2	61.5	56.6	57.6	55.2
7	川崎市	69.6	66.5	56.1	80.5	79.6
8	静岡市	88.7	60.4	44.4	51.3	58.0
9	名古屋市	75.8	71.2	68.3	75.5	79.7
10	京都市	67.8	68.5	64.7	64.2	70.6
11	大阪市	41.5	59.0	42.9	45.5	42.1
12	堺市	60.6	70.6	73.0	81.4	79.7
13	神戸市	77.4	75.5	65.7	77.6	79.6
14	広島市	74.1	75.7	64.2	69.1	67.5
15	北九州市	60.8	75.8	72.4	52.8	68.7
16	福岡市	73.4	80.6	83.0	86.6	86.9
17	浜松市	56.8	63.5	57.8	51.3	49.1



#### ④がん発見率

(単位:%)

		H12	H13	H14	H15	H16
1	新潟市	0.33	0.32	0.23	0.31	0.40
	全国	0.14	0.15	0.15	0.15	0.15
	新潟県	0.26	0.25	0.23	0.26	0.28
	政令市平均	0.14	0.16	0.14	0.16	0.15
2	札幌市	0.11	0.12	0.14	0.13	0.11
3	仙台市	0.18	0.15	0.14	0.18	0.13
4	さいたま市		0.21	0.16	0.16	0.18
5	千葉市	0.11	0.10	0.11	0.17	0.12
6	横浜市	0.08	0.08	0.10	0.11	0.12
7	川崎市	0.13	0.13	0.10	0.13	0.11
8	静岡市	0.11	0.06	0.05	0.05	0.03
9	名古屋市	0.13	0.14	0.18	0.17	0.22
10	京都市	0.14	0.17	0.08	0.07	0.06
11	大阪市	0.10	0.14	0.12	0.07	0.01
12	堺市	0.10	0.13	0.14	0.13	0.09
13	神戸市	0.12	0.16	0.15	0.19	0.06
14	広島市	0.12	0.19	0.12	0.17	0.14
15	北九州市	0.04	0.07	0.18	0.19	0.16
16	福岡市	0.22	0.29	0.31	0.37	0.34
17	浜松市	0.12	0.09	0.08	0.06	0.06



資料: 厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」 新潟県成人病予防協会「がん検診報告書」

## (3)肺がん検診

①受診者数

40歳以上 (単位:人) 人口比率

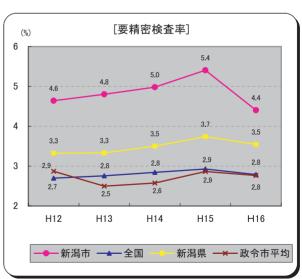
		亚出10年度	亚代10年度	亚出14年年	亚代15年度	亚代16年度	ませんた歯
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成16年度
1	新潟市	50,851	50,908	51,197	51,540	51,713	11.7%
	全国	7,267,718	7,412,212	7,490,412	7,841,092	7,769,635	11.2%
	新潟県	322,184	319,029	318,673	321,541	315,778	22.4%
	政令市平均	28,378	35,821	36,708	38,220	40,704	5.4%
2	札幌市	16,920	18,862	17,900	17,540	16,929	1.7%
3	仙台市	62,195	66,211	69,217	73,958	77,241	15.7%
4	さいたま市		68,458	76,710	86,289	91,420	15.5%
5	千葉市	35,210	36,524	37,807	40,312	44,612	9.4%
6	横浜市	8,415	7,485	6,961	7,826	7,327	0.4%
7	川崎市	8,928	9,119	8,734	4,966	4,867	0.8%
8	静岡市	27,230	60,775	60,404	60,457	56,915	14.2%
9	名古屋市	76,566	75,408	67,563	53,723	84,269	7.4%
10	京都市	51,658	52,730	51,673	53,160	50,346	6.6%
11	大阪市	16,599	19,318	21,546	22,664	20,991	1.5%
12	堺市	6,754	7,839	7,846	6,974	7,720	1.8%
13	神戸市	8,855	5,065	10,928	12,199	12,573	1.5%
14	広島市	30,753	35,253	38,269	42,382	44,802	7.7%
15	北九州市	16,003	16,405	17,339	18,311	16,924	3.0%
16	福岡市	_	_		_	-	_
17	浜松市	8,737	42,778	43,231	59,225	62,614	14.5%

※40歳以上人口は平成17年国勢調査の総人口を使用して算出。



#### ②要精密検査率

					(	(単位:%)
		H12	H13	H14	H15	H16
1	新潟市	4.6	4.8	5.0	5.4	4.4
	全国	2.7	2.8	2.8	2.9	2.8
	新潟県	3.3	3.3	3.5	3.7	3.5
	政令市平均	2.9	2.5	2.6	2.9	2.8
2	札幌市	5.5	5.9	4.4	2.6	2.7
3	仙台市	1.8	2.3	2.1	2.2	2.4
4	さいたま市		2.9	2.3	2.3	2.0
5	千葉市	2.8	3.3	2.9	3.3	2.9
6	横浜市	21.4	19.1	18.6	14.1	12.4
7	川崎市	2.0	1.3	8.0	0.7	0.5
8	静岡市	4.7	1.9	2.4	2.7	3.1
9	名古屋市	0.6	0.4	0.6	0.6	2.4
10	京都市	0.2	0.3	0.3	0.4	0.2
11	大阪市	5.0	3.8	4.7	5.4	5.1
12	堺市	1.5	1.5	1.9	1.9	1.8
13	神戸市	3.8	7.4	3.9	3.7	3.5
14	広島市	4.0	3.7	3.2	3.3	3.7
15	北九州市	2.9	3.0	3.3	3.6	2.2
16	福岡市	_	_	_	_	
17	浜松市	0.9	2.3	1.7	3.6	2.8

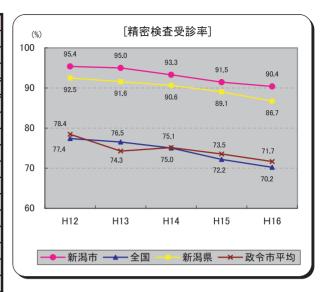


2.2 | ※平成14年度以前は要精密検査者の実数が把握できないた - め, 概数として胸部レントゲンの精密検査者と喀痰検査の精 2.8 | 密検査者を合算し, 受診者で除した。

#### ③精密検査受診率

(単位:%)

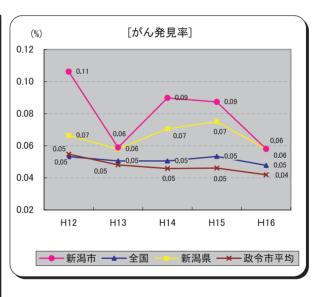
		H12	H13	H14	H15	H16
1	新潟市	95.4	95.0	93.3	91.5	90.4
	全国	77.4	76.5	75.0	72.2	70.2
	新潟県	92.5	91.6	90.6	89.1	86.7
	政令市平均	78.4	74.3	75.1	73.5	71.7
2	札幌市	81.3	81.5	73.4	78.4	81.9
3	仙台市	86.1	88.0	87.9	86.2	84.8
4	さいたま市		66.0	50.8	47.1	54.6
5	千葉市	52.8	61.9	67.2	66.1	60.8
6	横浜市	79.5	81.0	90.2	93.4	92.9
7	川崎市	94.9	87.6	84.5	75.7	87.0
8	静岡市	90.6	89.1	92.3	92.6	97.0
9	名古屋市	81.0	93.5	70.2	82.5	52.5
10	京都市	74.2	17.9	90.3	78.0	82.4
11	大阪市	33.9	46.6	30.7	31.3	33.8
12	堺市	72.4	57.5	75.0	80.7	48.9
13	神戸市	60.4	58.4	58.2	54.7	58.3
14	広島市	76.3	77.2	66.9	71.8	73.7
15	北九州市	75.2	57.3	73.1	76.0	37.2
16	福岡市	_			_	_
17	浜松市	90.8	84.9	83.6	70.6	75.7



#### ④がん発見率

(単位:%)

		H12	H13	H14	H15	H16
1	新潟市	0.11	0.06	0.09	0.09	0.06
	全国	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
	新潟県	0.07	0.06	0.07	0.07	0.06
	政令市平均	0.05	0.05	0.05	0.05	0.04
2	札幌市	0.07	0.02	0.05	0.09	0.05
3	仙台市	0.04	0.04	0.03	0.04	0.05
4	さいたま市		0.05	0.03	0.02	0.03
5	千葉市	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
6	横浜市	0.30	0.37	0.24	0.10	0.08
7	川崎市	0.01	0.04	0.02	0.00	0.00
8	静岡市	0.01	0.04	0.02	0.02	0.02
9	名古屋市	0.04	0.05	0.05	0.07	0.05
10	京都市	0.03	0.01	0.05	0.04	0.05
11	大阪市	0.08	0.17	0.06	0.02	0.02
12	堺市	0.03	0.04	0.10	0.04	0.03
13	神戸市	0.03	0.04	0.03	0.05	0.05
14	広島市	0.08	0.07	0.06	0.06	0.08
15	北九州市	0.05	0.04	0.04	0.02	0.01
16	福岡市	_	_	_	_	_
17	浜松市	0.11	0.04	0.04	0.06	0.05



※平成14年度以前はがんであったものの実数が把握できないため、概数として胸部レントゲン検査からがんを発見されたものと喀痰検査からがんを発見されたものを合算し、受診者で除した。

資料:厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」 新潟県成人病予防協会「がん検診報告書」

## (4)大腸がん検診

①受診者数

40歳以上 (単位:人) 人口比率

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成16年度
1	新潟市	47,271	52,099	53,776	56,714	58,251	13.1%
	全国	5,480,593	5,755,703	6,052,473	6,403,659	6,430,450	9.3%
	新潟県	146,490	162,882	168,188	178,050	178,294	12.7%
政令市平均		28,012	34,346	37,170	40,367	41,962	5.7%
2	札幌市	46,613	50,162	55,849	61,108	62,664	6.4%
3	仙台市	33,734	39,115	44,403	54,850	60,413	12.3%
4	さいたま市		67,893	74,061	80,949	84,602	14.3%
5	千葉市	28,853	33,144	36,655	41,300	45,196	9.6%
6	横浜市	55,877	61,307	68,118	78,201	89,603	4.9%
7	川崎市	5,014	5,241	4,670	4,914	5,008	0.8%
8	静岡市	11,507	15,745	16,210	17,078	17,414	4.4%
9	名古屋市	38,800	41,170	43,907	40,152	43,500	3.8%
10	京都市	11,252	13,313	15,622	16,275	15,349	2.0%
11	大阪市	56,524	59,666	65,437	71,012	61,672	4.4%
12	堺市	15,132	18,012	21,185	21,295	22,768	5.2%
13	神戸市	22,412	23,173	23,730	24,406	25,012	3.0%
14	広島市	22,026	24,485	26,309	28,779	31,283	5.4%
15	北九州市	4,430	4,880	4,765	4,521	4,857	0.9%
16	福岡市	20,172	21,462	22,871	25,799	26,067	4.0%
17	浜松市	28,567	53,016	54,324	58,878	59,691	13.9%

※40歳以上人口は平成17年国勢調査の総人口を使用して算出。



#### ②要精密検査率

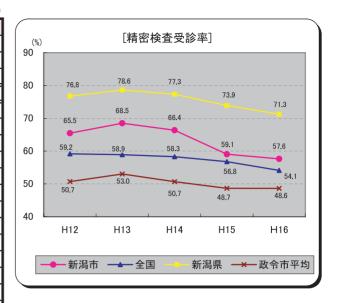
②要精密検査率 (単位:%)										
		H12	H13	H14	H15	H16				
1	新潟市	6.9	6.6	7.0	6.9	7.3				
	全国	7.2	7.2	7.1	7.3	7.0				
	新潟県	5.6	5.7	6.1	6.1	6.0				
	政令市平均	7.9	7.6	8.2	7.9	7.4				
2	札幌市	12.0	11.2	11.0	9.3	8.3				
3	仙台市	3.7	3.3	7.4	6.5	5.9				
4	さいたま市		7.7	8.6	8.4	7.8				
5	千葉市	8.5	8.5	8.2	8.5	8.0				
6	横浜市	6.4	5.8	5.6	5.4	5.5				
7	川崎市	7.9	6.6	7.4	6.7	5.9				
8	静岡市	6.2	7.2	5.7	6.7	7.1				
9	名古屋市	7.0	6.6	6.9	6.7	7.4				
10	京都市	6.5	9.1	9.3	8.5	7.8				
11	大阪市	8.8	9.3	9.3	10.1	9.2				
12	堺市	9.1	8.1	8.9	7.7	6.9				
13	神戸市	6.2	5.5	5.9	5.9	5.5				
14	広島市	7.4	7.3	8.3	8.4	8.0				
15	北九州市	17.1	16.3	16.7	17.7	13.8				
16	福岡市	9.2	7.7	9.0	8.8	8.6				
17	浜松市	6.8	5.5	6.7	7.5	7.2				



#### ③精密検査受診率

(単位:%)

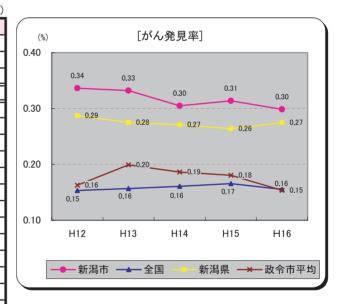
	(+12					
		H12	H13	H14	H15	H16
1	新潟市	65.5	68.5	66.4	59.1	57.6
	全国	59.2	58.9	58.3	56.8	54.1
	新潟県	76.8	78.6	77.3	73.9	71.3
	政令市平均	50.7	53.0	50.7	48.7	48.6
2	札幌市	68.0	63.3	59.3	51.6	44.1
3	仙台市	76.5	85.1	85.6	78.7	73.9
4	さいたま市		54.7	46.9	42.6	47.7
5	千葉市	43.7	44.3	44.0	46.2	45.4
6	横浜市	27.6	28.7	31.2	30.2	30.3
7	川崎市	37.2	43.2	40.0	49.1	46.4
8	静岡市	79.1	49.5	62.5	49.8	54.7
9	名古屋市	57.1	57.6	50.5	59.5	59.6
10	京都市	67.2	57.1	62.9	54.8	59.1
11	大阪市	26.3	42.0	28.9	29.7	34.2
12	堺市	28.3	29.5	31.8	33.4	35.0
13	神戸市	76.4	77.8	79.2	63.6	74.7
14	広島市	55.3	63.9	51.4	50.8	52.8
15	北九州市	46.8	56.7	62.1	47.0	50.6
16	福岡市	72.1	74.8	72.5	92.4	68.1
17	浜松市	21.6	38.0	40.1	34.5	31.5



#### ④がん発見率

(単位:%)

		H12	H13	H14	H15	H16
1	新潟市	0.34	0.33	0.30	0.31	0.30
	全国	0.15	0.16	0.16	0.17	0.16
	新潟県	0.29	0.28	0.27	0.26	0.27
	政令市平均	0.16	0.20	0.19	0.18	0.15
2	札幌市	0.14	0.18	0.17	0.15	0.12
3	仙台市	0.24	0.22	0.30	0.23	0.15
4	さいたま市		0.25	0.20	0.20	0.22
5	千葉市	0.10	0.17	0.16	0.18	0.12
6	横浜市	0.11	0.12	0.13	0.14	0.14
7	川崎市	0.06	0.11	0.11	0.10	0.12
8	静岡市	0.30	0.18	0.17	0.15	0.21
9	名古屋市	0.17	0.17	0.13	0.17	0.16
10	京都市	0.18	0.30	0.26	0.19	0.21
11	大阪市	0.09	0.22	0.11	0.09	0.03
12	堺市	0.09	0.08	0.21	0.26	0.18
13	神戸市	0.22	0.13	0.16	0.10	0.16
14	広島市	0.17	0.27	0.26	0.21	0.21
15	北九州市	0.20	0.27	0.13	0.11	0.12
16	福岡市	0.42	0.39	0.43	0.48	0.23
17	浜松市	0.02	0.07	0.07	0.06	0.06



資料:厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」 新潟県成人病予防協会「がん検診報告書」

#### (5)子宮がん(頸部)検診

①受診者数

30歳以上 女子人口 比率

①党	:診者数					(単位:人)	比率
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度※1	平成16年度
1	新潟市	19,462	21,790	21,007	22,551	23,554	8.0%
	全国	3,577,540	3,825,670	3,863,380	4,087,444	3,957,219	8.6%
	新潟県	82,887	89,471	87,614	91,566	90,001	10.0%
	政令市平均	34,361	37,210	38,353	40,475	40,876	8.1%
2	札幌市	71,944	78,625	84,095	88,240	89,382	13.0%
3	仙台市	54,845	57,912	57,111	59,704	61,606	18.0%
4	さいたま市		25,290	28,640	31,822	32,318	8.1%
5	千葉市	34,009	37,563	40,552	42,675	54,509	17.2%
6	横浜市	86,574	90,818	90,772	95,249	94,011	7.7%
7	川崎市	17,402	19,650	20,329	22,040	21,449	5.0%
8	静岡市	7,760	13,370	13,184	14,801	12,799	4.9%
9	名古屋市	42,144	45,898	48,987	49,009	46,384	6.1%
10	京都市	17,025	18,779	18,801	17,764	18,765	3.6%
11	大阪市	53,430	59,357	63,990	66,694	65,705	7.0%
12	堺市	20,674	23,945	25,724	28,927	26,902	8.9%
13	神戸市	33,994	34,245	34,259	32,973	32,406	5.8%
14	広島市	24,938	27,741	24,860	32,789	32,814	8.1%
15	北九州市	16,516	15,501	16,337	16,725	16,028	4.2%
16	福岡市	34,354	36,642	37,812	40,004	41,086	8.7%
17	浜松市	14,705	25,452	25,533	26,109	25,177	8.9%

※1:平成16年度から対象者が20歳以上となったが比較のため30歳以上を計上した。 ※30歳以上女子人口は平成17年の国勢調査の総人口を使用して算出。



#### ②要精密検査率

(2)要	精密検査率				(	(単位:%)
		H12	H13	H14	H15	H16
1	新潟市	0.3	0.4	0.4	0.8	1.0
	全国	0.9	1.0	1.0	1.1	1.2
	新潟県	0.3	0.4	0.4	0.6	0.8
	政令市平均	1.2	1.3	1.3	1.6	1.6
2	札幌市	1.2	1.2	1.4	2.1	2.0
3	仙台市	0.9	0.8	0.7	0.8	0.9
4	さいたま市		1.0	0.9	1.3	1.1
5	千葉市	0.6	0.6	0.5	0.6	0.5
6	横浜市	1.1	1.1	1.1	1.4	1.7
7	川崎市	1.2	1.2	1.0	1.0	1.6
8	静岡市	0.6	0.6	0.9	0.7	1.2
9	名古屋市	1.8	1.7	1.7	1.7	2.1
10	京都市	8.0	1.0	1.1	1.1	1.1
11	大阪市	2.9	3.1	3.0	3.9	3.8
12	堺市	0.7	1.0	1.0	1.5	1.3
13	神戸市	0.7	0.7	8.0	0.7	0.8
14	広島市	1.2	1.2	1.3	1.1	1.3
15	北九州市	1.2	1.1	1.0	1.3	1.1
16	福岡市	1.3	1.5	1.3	1.6	1.5
17	浜松市	0.5	1.1	0.7	1.4	1.1



#### ③精密検査受診率

(単位:%)

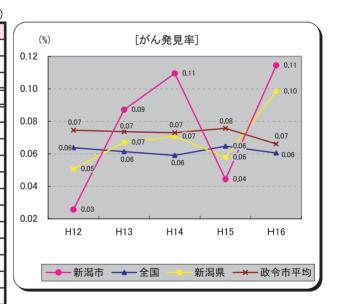
	(十日://						
		H12	H13	H14	H15	H16	
1	新潟市	60.9	87.8	83.1	32.0	58.4	
	全国	67.7	68.2	67.3	65.0	62.5	
	新潟県	73.1	80.5	71.2	64.4	65.1	
	政令市平均	47.5	51.4	46.6	46.2	46.7	
2	札幌市	22.8	21.6	20.1	17.8	17.2	
3	仙台市	98.4	80.5	90.0	94.0	95.7	
4	さいたま市		71.3	56.6	63.9	64.5	
5	千葉市	65.8	62.5	62.8	57.8	42.4	
6	横浜市	35.7	34.1	35.0	30.8	26.3	
7	川崎市	71.5	41.8	60.8	62.3	57.5	
8	静岡市	39.1	89.4	47.5	64.2	63.7	
9	名古屋市	55.3	57.3	46.4	51.2	47.6	
10	京都市	61.7	71.0	64.3	55.2	79.0	
11	大阪市	33.6	48.5	34.8	42.6	45.1	
12	堺市	30.9	39.3	42.2	41.9	35.5	
13	神戸市	46.1	83.9	79.8	88.7	89.7	
14	広島市	66.6	75.1	66.1	68.9	65.2	
15	北九州市	35.0	62.1	75.0	65.7	69.2	
16	福岡市	75.8	63.1	79.5	75.0	80.5	
17	浜松市	28.2	66.4	52.7	44.7	37.3	



#### ④がん発見率

(単位:%)

		H12	H13	H14	H15	H16
1	新潟市	0.03	0.09	0.11	0.04	0.11
	全国	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
	新潟県	0.05	0.07	0.07	0.06	0.10
	政令市平均	0.07	0.07	0.07	0.08	0.07
2	札幌市	0.05	0.07	0.05	0.05	0.05
3	仙台市	0.05	0.03	0.04	0.04	0.05
4	さいたま市		0.06	0.07	0.09	0.03
5	千葉市	0.01	0.01	0.02	0.01	0.02
6	横浜市	0.07	0.07	0.07	0.10	0.07
7	川崎市	0.10	0.06	0.06	0.10	0.09
8	静岡市	0.05	0.10	0.11	0.07	0.06
9	名古屋市	0.10	0.11	0.08	0.10	0.10
10	京都市	0.12	0.17	0.14	0.10	0.18
11	大阪市	0.10	0.10	0.07	0.08	0.01
12	堺市	0.04	0.05	0.07	0.10	0.09
13	神戸市	0.09	0.09	0.07	0.05	0.07
14	広島市	0.15	0.08	0.13	0.08	0.12
15	北九州市	0.04	0.05	0.07	0.05	0.06
16	福岡市	0.16	0.11	0.17	0.14	0.14
17	浜松市	0.01	0.03	0.02	0.02	0.02



※平成15年度から統計表の分類が変更し、頸部検診のみの結果の実数が取れなくなったため、平成15年度 以降は体部検診の結果も含む。

> 資料:厚生労働省「地域保健·老人保健事業報告」 新潟県成人病予防協会「がん検診報告書」

#### (6)乳がん検診

①受診者数

40歳以上

40歳以上 女子人口 (単位:人) 比率

	(年位: ス)						ルー
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成16年度
1	新潟市	13,866	13,258	13,761	15,602	16,426	6.9%
	全国	3,093,798	2,814,204	2,843,061	2,944,730	2,698,947	7.4%
	新潟県	66,018	63,014	63,533	68,217	69,057	9.2%
	政令市平均	24,178	20,684	20,866	21,022	19,499	5.0%
2	札幌市	44,414	42,264	43,468	45,212	44,736	8.3%
3	仙台市	44,217	40,139	33,068	31,258	33,165	12.7%
4	さいたま市		18,028	20,552	23,892	24,370	8.1%
5	千葉市	23,355	21,747	23,113	16,455	16,516	6.8%
6	横浜市	66,880	45,640	31,906	33,046	32,983	3.6%
7	川崎市	10,024	9,176	9,580	9,573	9,394	3.0%
8	静岡市	7,257	8,975	9,517	9,885	3,084	1.5%
9	名古屋市	26,685	22,279	23,456	20,776	5,930	1.0%
10	京都市	17,728	15,049	15,814	15,465	16,005	3.8%
11	大阪市	29,924	15,824	30,409	32,764	31,970	4.4%
12	堺市	12,983	12,929	13,351	13,629	11,853	5.0%
13	神戸市	20,478	17,680	16,896	17,198	17,483	3.9%
14	広島市	22,900	18,978	19,296	21,396	21,892	7.1%
15	北九州市	9,648	8,661	9,208	8,848	8,472	2.7%
16	福岡市	21,189	17,538	17,844	18,438	17,435	4.9%
17	浜松市	15,299	23,456	23,475	23,939	19,773	8.8%

※平成15年度まで対象者は30歳以上であったが比較のため40歳以上を計上。

ただし、平成12年度の新潟市分が40歳以上で分けることができないため、平成12年度分は30歳以上で計上。

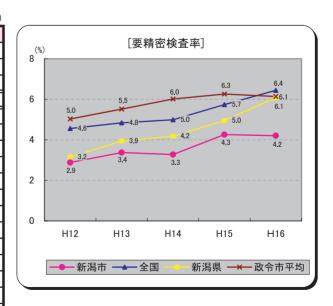
※40歳以上女子人口は平成17年国勢調査の総人口を使用して算出。



#### ②要精密検査率

(単位:%)

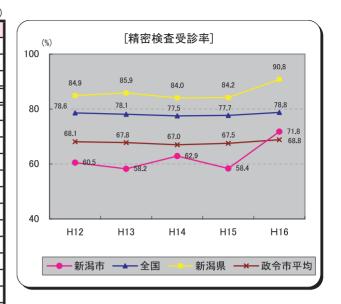
		H12	H13	H14	H15	H16
1	新潟市	2.9	3.4	3.3	4.3	4.2
	全国	4.6	4.8	5.0	5.7	6.4
	新潟県	3.2	3.9	4.2	5.0	6.1
	政令市平均	5.0	5.5	6.0	6.3	6.1
2	札幌市	5.8	6.2	6.6	6.8	7.1
3	仙台市	2.8	5.0	6.0	5.4	6.1
4	さいたま市		3.9	3.1	4.1	4.7
5	千葉市	7.8	8.4	10.4	12.4	15.8
6	横浜市	6.0	9.7	10.3	10.0	7.0
7	川崎市	6.0	6.6	7.1	7.9	8.7
8	静岡市	5.7	6.3	3.4	4.6	7.1
9	名古屋市	4.7	4.4	5.3	5.6	12.1
10	京都市	2.9	2.6	5.3	5.5	4.5
11	大阪市	7.3	3.6	7.6	7.2	3.3
12	堺市	4.6	4.7	4.8	5.2	7.8
13	神戸市	6.0	6.2	6.0	6.6	6.5
14	広島市	4.5	4.0	4.0	3.8	4.3
15	北九州市	4.8	5.2	4.6	5.9	5.3
16	福岡市	3.1	3.5	3.3	4.1	3.6
17	浜松市	3.2	2.8	3.0	3.2	3.9



#### ③精密検査受診率

(単位:%)

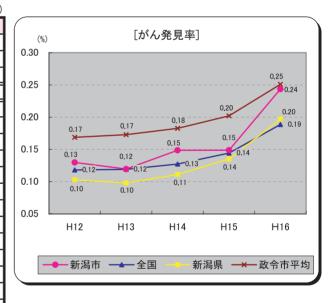
	(4/2://					
		H12	H13	H14	H15	H16
1	新潟市	60.5	58.2	62.9	58.4	71.8
	全国	78.6	78.1	77.5	77.7	78.8
	新潟県	84.9	85.9	84.0	84.2	90.8
	政令市平均	68.1	67.8	67.0	67.5	68.8
2	札幌市	65.3	64.8	66.7	62.8	55.4
3	仙台市	91.4	91.5	95.1	96.0	94.7
4	さいたま市		66.8	48.8	51.7	55.7
5	千葉市	76.5	78.0	75.3	78.3	77.2
6	横浜市	66.2	70.7	58.9	61.3	79.5
7	川崎市	75.9	60.0	70.4	82.0	76.5
8	静岡市	36.5	27.0	55.9	41.7	80.0
9	名古屋市	63.7	61.5	52.9	71.8	70.7
10	京都市	86.8	76.7	81.0	85.3	83.4
11	大阪市	62.5	54.9	67.9	70.5	57.4
12	堺市	60.7	56.7	62.3	66.0	61.0
13	神戸市	63.2	37.1	36.7	20.0	16.0
14	広島市	81.3	85.4	78.7	82.9	82.2
15	北九州市	41.9	56.8	60.9	60.0	70.0
16	福岡市	78.3	83.4	79.6	82.8	73.9
17	浜松市	52.9	57.6	57.7	54.4	68.2



#### ④がん発見率

(単位:%)

	(十日:					
		H12	H13	H14	H15	H16
1	新潟市	0.13	0.12	0.15	0.15	0.24
	全国	0.12	0.12	0.13	0.14	0.19
	新潟県	0.10	0.10	0.11	0.14	0.20
	政令市平均	0.17	0.17	0.18	0.20	0.25
2	札幌市	0.25	0.22	0.28	0.30	0.38
3	仙台市	0.12	0.15	0.24	0.24	0.25
4	さいたま市		0.11	0.08	0.10	0.15
5	千葉市	0.11	0.10	0.17	0.32	0.45
6	横浜市	0.17	0.15	0.19	0.20	0.22
7	川崎市	0.25	0.22	0.26	0.25	0.39
8	静岡市	0.14	0.05	0.08	0.07	0.26
9	名古屋市	0.22	0.23	0.19	0.27	0.44
10	京都市	0.12	0.11	0.18	0.22	0.24
11	大阪市	0.15	0.38	0.21	0.13	0.05
12	堺市	0.26	0.14	0.24	0.27	0.31
13	神戸市	0.27	0.22	0.10	0.11	0.09
14	広島市	0.12	0.16	0.08	0.17	0.24
15	北九州市	0.24	0.31	0.22	0.27	0.57
16	福岡市	0.16	0.29	0.27	0.26	0.37
17	浜松市	0.03	0.04	0.06	0.05	0.08



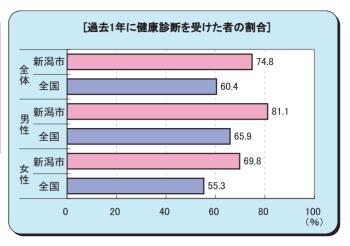
資料: 厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」 新潟県成人病予防協会「がん検診報告書」

#### (7)健康診断に対する市民の意識

【過去1年間の健診状況】

1	***	14	0/1

122		( <del>+</del>   <del>2</del> : /0/	
		健診を受けた	受けていない
全体	新潟市	74.8	23.7
王14	全国	60.4	36.1
男性	新潟市	81.1	17.7
ヵㄸ	全国	65.9	30.9
女性	新潟市	69.8	28.5
ᆺᄄ	全国	55.3	41.0



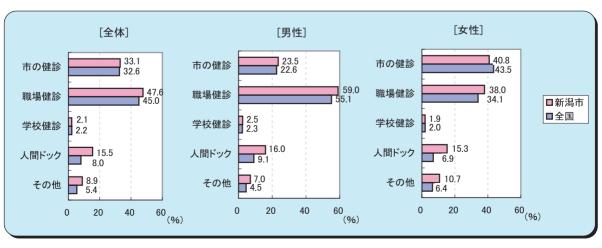
#### 【性別·年代別健康診断受診者割合】



#### 【受診機会別健康診断受診者内訳】(複数回答)

(単位:%)

		市町村で行 う健診	職場におけ る健診	学校におけ る健診	人間ドック	その他
Δ/t	新潟市	33.1	47.6	2.1	15.5	8.9
全体	全国	32.6	45.0	2.2	8.0	5.4
男性	新潟市	23.5	59.0	2.5	16.0	7.0
五江	全国	22.6	55.1	2.3	9.1	4.5
女性	新潟市	40.8	38.0	1.9	15.3	10.7
ᆺ	全国	43.5	34.1	2.0	6.9	6.4

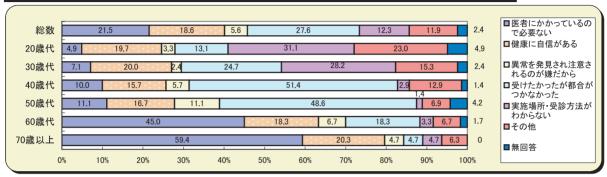


資料:新潟市「平成18年度食育・健康づくりに関する市民アンケート調査」 厚生労働省「平成16年国民生活基礎調査」

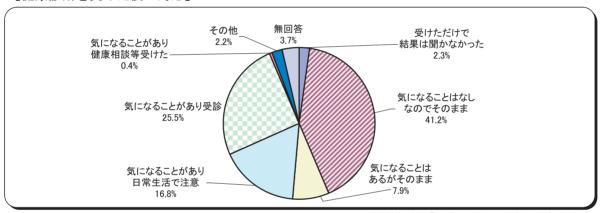
#### 【健康診断を受けない理由】

/ 22/			013
(単	77	٠	U/2
(+	1.7		/U.

	医者にかかって いるので必要な い	健康に自信がある	異常を発見され 注意されるのが 嫌だから	受けたかったが 都合がつかな かった	実施場所・受 診方法がわか らない	その他	無回答
総数	21.5	18.6	5.6	27.6	12.3	11.9	2.4
20歳代	4.9	19.7	3.3	13.1	31.1	23.0	4.9
30歳代	7.1	20.0	2.4	24.7	28.2	15.3	2.4
40歳代	10.0	15.7	5.7	51.4	2.9	12.9	1.4
50歳代	11.1	16.7	11.1	48.6	1.4	6.9	4.2
60歳代	45.0	18.3	6.7	18.3	3.3	6.7	1.7
70歳以上	59.4	20.3	4.7	4.7	4.7	6.3	0.0



#### 【健康診断を受けた後の対応】



資料:新潟市「平成14年市民保健医療福祉意識調査」

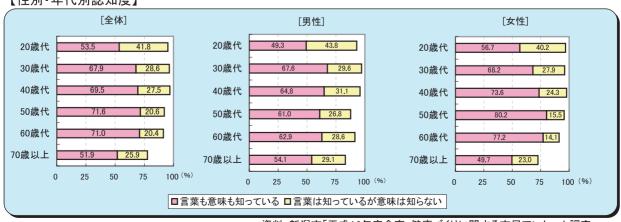
#### (8)内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の状況

#### (1)内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の認知度

(単位:%)

	, ды.,	-~	
	全体	男性	女性
言葉も意味も知っている	65.0	60.4	68.6
言葉は知っているが意味は知らない	25.9	30.3	22.4
言葉も意味も知らない	7.1	7.9	6.5

#### 【性別・年代別認知度】



資料:新潟市「平成18年度食育・健康づくりに関する市民アンケート調査」

#### ②内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の状況

(単位:%)

		全	体			男	性			女	性	
	予信	<b></b>	該当者		予備群		該	当者	予信	<b></b>	該当者	
	全国	新潟県	全国	新潟県	全国	新潟県	全国	新潟県	全国	新潟県	全国	新潟県
総数	13.7	15.1	14.5	11.2	22.6	24.4	23.0	17.9	7.8	9.5	8.9	7.1
20歳代	5.0	5.3	2.0	2.6	12.7	16.7	5.1	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	6.2	12.1	2.9	1.5	13.6	36.4	7.4	4.6	2.3	0.0	0.6	0.0
40歳代	14.3	17.3	8.1	4.0	25.9	37.9	16.5	10.3	8.6	4.4	4.0	0.0
50歳代	15.0	10.4	12.0	8.3	27.8	11.1	22.1	18.5	7.6	10.1	6.2	4.4
60歳代	17.1	17.6	19.9	16.8	26.2	22.2	27.4	16.7	10.1	14.1	14.1	16.9
70歳以上	15.8	18.8	25.9	18.8	20.9	22.8	34.4	29.8	11.5	16.1	18.8	11,1

資料:厚生労働省「平成16年国民健康·栄養調査」 新潟県「平成16年県民健康·栄養実態調査」

#### (9)子どもの健康診断

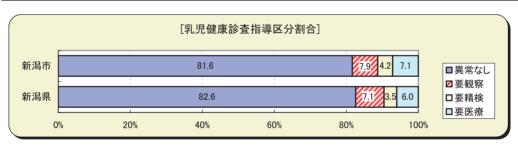
#### ①乳幼児健診

#### 【乳児健康診査】

本市の事業名:股関節検診, 乳児集団健康診査, 乳幼児健康指導事業

(単位:人)

	│ □ │ 対象 │ 受診者数 │ □		巫参索	発育状況			指示区分					
	回数	者数	実人員	延人員	受診率	やせ	ふつう	肥満	異常なし	要観察	要精検	要医療
** **3 - <b>!</b> -					07.00	688	4,738	497	4,839	420	246	422
新潟市	99	6,797	5,855	5,927	87.2%	(11.6%)	(79.9%)	(8.4%)	(81.6%)	(7.1%)	(4.2%)	(7.1%)
立(251)日	1.015	00.000	17.005	01.410	0.4.40/	879	19,195	1,328	17,681	1,681	760	1,279
新潟県	1,015	22,693	17,395	21,412	94.4%		(89.6%)	(6.2%)	(82.6%)	(7.9%)	(3.5%)	(6.0%)



#### 【乳児一般委託健康診査】(医療機関に委託して実施した健診)

本市の事業名: 乳児一般健康診査(3ヶ月ころ、10ヶ月ころの2回) (単位: (人)

					(平位:八)		
			指示	区分	分		
	受診者数	異常なし	要訪問	受診機関の 治療・指導	要精密 健康診査		
*C:E	10.040	11,487	4	496	55		
新潟市	12,042	(95.4%)	(0.0%)	(4.1%)	(0.5%)		
立に2日1日	05.000	24,490	39	1,149	318		
新潟県	25,996	(94.2%)	(0.2%)	(4.4%)	(1.2%)		

資料:新潟市「平成17年度母子保健年報」 新潟県「平成17年度母子保健事業報告」

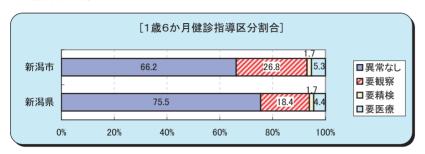
※新潟市の数値は平成19年4月1日現在の市域の数値である。

#### 【1歳6か月児健康診査】

(単位:人)

۳.	120 C 7 J	(1) 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1													
ı		回数	対象	受診	:者数	受診率	Š	<b>発育状</b> 源	7		指示	区分			
ı		凹致	者数	実人員	延人員	、貝	やせ	ふつう	肥満	異常なし	要観察	要精検	要医療		
ı	新潟市	198	6.663	6,385	6,385	5 95.8%	61	6,117	201	4,225	1,713	108	338		
ı	利何リ	190	0,003	0,365	0,365		(1.0%)	(95.8%)	(3.1%)	(66.2%)	(26.8%)	(1.7%)	(5.3%)		
ı	新潟県	065	20,165	10 205	10.401	96.2%	167	18,302	813	14,643	3,573	326	857		
	机/向氘	803	20,100	18,365	19,401	90.2%	(0.9%)	(94.3%)	(4.2%)	(75.5%)	(18.4%)	(1.7%)	(4.4%)		

※新潟市の数値は母子保健法第12条による健康診査を計上したものであり、新潟県の数値は、各市町村独自で実施する健康診査も含まれる。



資料:新潟市

「平成17年度母子保健年報」

新潟県

「平成17年度母子保健事業報告」

《参考》1歳6か月児健診 受診率の経年変化

(単位:%)

		H13	H14	H15	H16			H13	H14	H15	H16	
1	新潟市	93.2	95.0	94.9	95.9	8	静岡市	95.7	95.4	94.1	94.0	
	全国	91.1	91.4	91.9	91.9	9	名古屋市	94.6	95.6	96.0	95.2	
	新潟県	95.1	95.6	96.4	96.1	10	京都市	91.4	92.2	93.1	92.9	
	政令市平均	90.9	91.9	92.1	92.3	11	大阪市	81.7	83.5	86.3	87.7	
2	札幌市	89.4	91.8	86.7	87.1	12	堺市	94.9	94.3	95.4	93.7	
3	仙台市	93.9	93.4	94.0	95.4	13	神戸市	94.2	95.4	96.6	96.8	
4	さいたま市	87.9	90.1	91.3	90.1	14	広島市	89.1	89.8	90.4	90.3	
5	千葉市	91.2	91.2	91.4	91.0	15	北九州市	87.8	91.3	92.1	92.1	
6	横浜市	93.0	93.8	94.1	94.3		福岡市	92.6	93.9	92.5	92.8	
7	川崎市	87.9	88.2	88.7	88.6	17	浜松市	93.5	94.8	95.1	95.1	
5	千葉市	91 <u>.</u> 2 93.0	91.2 93.8	91.4 94.1	91.0 94.3	15 16	北九州市 福岡市 浜松市	87.8 92.6	91.3 93.9 94.8	92.1 92.5	92 92	

資料:厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」

【3歳児健診】

(単位:人)

	IN DE INCHES													
I		同米佐	対象	受診者数		亚沙亚	受診率 発育状況				指示	区分		
		回数	者数	実人員	延人員	又的华	やせ	ふつう	肥満	異常なし	要観察	要精検	要医療	
	新潟市	168	6.161	5.729	5,729	02.0%	21	5,440	235	4,287	670	574	198	
	机阀川	100	0,101	0,729	5,729	93.0%	(0.4%)	(95.0%)	(4.1%)	(74.8%)	(11.7%)	(10.0%)	(3.5%)	
I	新潟県	012	10.012	10 662	18,730	04.5%	140	17,282	728	14,789	2,065	1,286	590	
	机/何尔	013	19,012	10,002	10,730	94.5%	(0.7%)	(92.3%)	(3.9%)	(79.0%)	(11.0%)	(6.9%)	(3.2%)	

※新潟市の数値は母子保健法第12条による健康診査を計上したものであり、新潟県の数値は、各市町村独自で実施する健康診査も含まれる。



資料:新潟市

「平成17年度母子保健年報」

新潟県

「平成17年度母子保健事業報告」

《参考》3歳児健診 受診率の経年変化

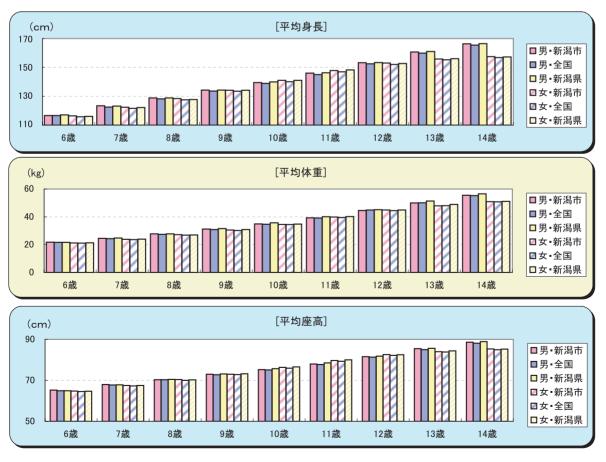
(単位:%)

112	*右 // 3 尿 児 15	生砂 又	砂平り	<u>秤年发</u>	-						(年12.70)
		H13	H14	H15	H16			H13	H14	H15	H16
1	新潟市	91.2	92.8	92.6	93.3	8	静岡市	91.6	92.6	97.8	91.0
	全国	87.6	87.9	88.5	88.5	9	名古屋市	88.7	89.4	90.2	89.5
	新潟県	93.8	94.2	91.0	94.2	10	京都市	85.8	87.0	86.9	89.0
	政令市平均	84.6	86.4	87.5	87.7	11	大阪市	71.8	73.4	76.1	78.9
2	札幌市	87.9	87.5	87.5	87.1		堺市	85.6	86.1	86.3	86.3
3	仙台市	85.3	85.6	86.3	88.5	13	神戸市	92.5	95.6	96.6	99.5
4	さいたま市	63.7	80.4	80.8	80.0	14	広島市	74.5	76.1	76.4	77.1
5	千葉市	87.8	87.8	87.9	88.2	15	北九州市	80.0	80.5	85.3	83.8
6	横浜市	91.2	91.8	92.5	93.2	16	福岡市	89.8	90.3	91.9	91.2
7	川崎市	88.4	89.7	90.1	90.1	17	浜松市	82.0	83.8	86.7	84.5

資料:厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」

# ②小中学校における健康診断【身長・体重・座高の平均値】

		世 座高の千		\	/ <u>/</u> - 7			7成17年度
	- 1	区分	身長(				座高	
			男	女	男	女	男	女
	6	新潟市	117.2	116.4	21.8	21.3	65.0	64.7
	歳	全国	116.6	115.8	21.6	21.1	64.9	64.5
	///火	新潟県	117.1	116.1	21.7	21.3	64.9	64.7
	7	新潟市	123.2	122.3	24.6	23.9	67.9	67.5
	歳	全国	122.5	121.7	24.3	23.6	67.7	67.3
	/ijyC	新潟県	123.2	122.2	24.8	23.9	67.8	67.5
	8	新潟市	129.0	128.1	28.0	27.0	70.6	70.1
小	歳	全国	128.2	127.5	27.4	26.8	70.3	70.0
学	<b>师</b> 义	新潟県	128.9	127.8	27.8	26.9	70.5	70.2
校	9	新潟市	134.4	134.4	31.4	30.7	72.9	73.4
TX.	歳	全国	133.6	133.5	30.9	30.2	72.7	72.8
	<b></b>	新潟県	134.3	134.2	31.5	30.9	73.1	73.2
	10	新潟市	139.7	141.0	35.1	34.9	75.3	76.3
	歳	全国	139.0	140.1	34.7	34.4	75.1	75.9
	<b>师</b> 处	新潟県	139.9	141.0	35.7	34.8	75.7	76.6
	11	新潟市	145.9	147.8	39.3	39.8	77.8	79.7
	歳	全国	145.1	146.9	39.1	39.5	77.7	79.3
	<b>所</b> 处	新潟県	146.3	148.3	40.1	40.2	78.5	80.0
	12	新潟市	153.5	152.6	44.9	44.6	81.8	82.5
	歳	全国	152.5	152.0	44.9	44.4	81.3	82.2
		新潟県	153.4	152.7	45.2	44.9	81.8	82.5
中	13	新潟市	160.7	155.9	49.9	48.3	85.2	84.2
学	歳	全国	159.9	155.2	50.1	48.0	85.0	83.8
校	<b>师</b> 义	新潟県	161.0	156.0	51.4	49.0	85.6	84.4
	14	新潟市	166.3	157.4	55.3	50.7	88.6	85.2
	歳	全国	165.4	156.8	55.3	50.8	88.1	84.9
	<b></b>	新潟県	166.5	157.2	56.5	51.1	88.9	85.2



資料:新潟市「平成17年度新潟市学校保健統計」

【主な疾病・異常の被患率】

(単位:%)

LAKIN A	1,- 1,1, 1,1	小学校					中学校					
	新》			围		舄県	新洲			国	新》	
	男	女	男	女	男	女 」	男	女	男	女	男	女
視力低下 (裸眼視力1.0未満)	26.66	30.80	23.80	29.24	27.25	30.97	53.52	60.20	44.28	51.43	41.19	43.90
耳疾患	4.96	4.80	4.59	4.37	3.49	3.35	2.36	1.64	3.23	2.30	1.71	1.20
鼻•副鼻腔 疾患	23.46	14.35	13.78	8.45	17.31	9.94	13.95	8.60	12.12	9.00	14.02	10.85
口腔咽喉頭 疾患·異常	0.44	0.34	2.04	1.68	0.73	0.29	0.09	0.02	1.44	1.04	0.83	0.45
心臓疾病・ 異常	1.74	1.30	0.62	0.60	0.66	0.61	2.85	2.21	0.66	0.62	0.95	1.13
腎臓疾患	0.48	0.84	0.11	0.11	0.06	0.16	0.58	0.72	0.16	0.20	0.19	0.34
脊柱• 胸郭異常	0.68	0.57	0.28	0.28	0.50	0.16	1.06	1.37	0.48	0.70	0.93	1.08
喘息	10.01	6.58	3.91	2.60	6.79	4.02	7.49	4.34	3.15	2.17	4.27	2.47

資料:新潟市「平成17年度新潟市学校保健統計」

新潟県「平成17年度学校保健安全等統計資料集」

#### ③生活習慣病健診

#### 【概要】

対象者:中学校1年生の希望者

健診会場: 新潟市医師会メジカルセンター, 石山・坂井輪・中地域保健福祉センター, 白根・豊栄地域保健センター 検査項目: 身長, 体重, 血圧測定, 血液検査(総コレステロール, HDLコレステロール, LDLコレステロール) 家族歴(両親, 祖父母の狭心症, 心筋梗塞, 脳卒中, 糖尿病, 高血圧, 高脂血症等の有無)

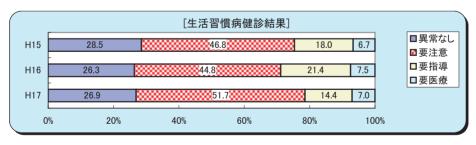
#### 【受診者・受診率の推移】

(単位:人)

			(キロ・バ	
区分	対象者数	受診希望者数	受診者数	受診率
平成12年度モデル健診	339	153	135	39.8%
平成13年度モデル健診	481	154	128	26.6%
平成14年度モデル健診	1,134	108	99	8.7%
平成15年度	4,647	310	284	6.1%
平成16年度	4,649	340	281	6.0%
平成17年度	5,784	373	327	5.7%

【健診結果】 (単位:%)

ı		異常なし	要注意	要指導	要医療
ı	平成15年度	28.5	46.8	18.0	6.7
ı	平成16年度	26.3	44.8	21.4	7.5
ı	平成17年度	26.9	51.7	14.4	7.0



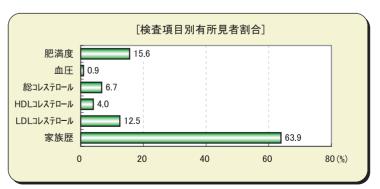
#### 【検査項目別結果】

家族歴

平成17年度

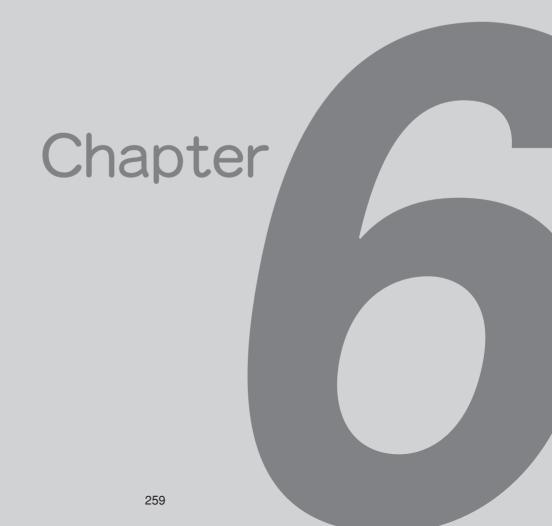
63.9

(.	単位:%)
	異常あり
肥満度	15.6
血圧	0.9
総コレステロール	6.7
HDLコレステロール	4.0
LDLコレステロール	12.5



資料:新潟市「平成17年度新潟市学校保健統計」

# 第6章



## 健康づくり数値目標一覧

	新潟市	「健康づく」	<b>り推進基本計</b> 画	町)			
	指標			超	見状値		平成23年度 (2011年) の目標値
			 小学生	3.4%	 H18学力•生活実態		
			中学生	5.7%	····総合調査	$\triangleright$	0%
	●朝食を欠食する人の割合		20歳代男性	31.2%			
			30歳代男性	28.6%	 H17市民保健医療 福祉意識調査	$\triangleright$	15%以下
			20歳代女性	24.0%			
栄養	●主食・主菜・副菜のそろった食事をしている人の 【1日2回以上の割合】		59.5%	H17市民保健医療 福祉意識調査	$\triangleright$	70%以上	
養・食生活	●脂肪エネルギー比率 【1日当たりの平均摂取比率】 20~40歳代			参考值 26.7%	H16国民健康·栄養 調査	D	25%以下
/4	●肥満者の割合	20~60歳	 :代男性	22.3%	 H17市民保健医療	$\triangleright$	15%以下
	●応編者の割合 【BMI25以上】	40~60歳代女性		15.9%		$\triangleright$	10%以下
	●低体重(やせ)者の割合 【BMI18.5未満】	20歳代女性		23.4%	H17市民保健医療 福祉意識調査	D	15%以下
		幼児(肥満度	 到5%以上)	5.6%	 H17保育園児調査	$\triangleright$	5%以下
		小学生(肥満度20%以上)		9.3%	H17定期健康診断に		
		中学生(肥満)	度20%以上)	10.0%	基づく疾病状況調査		7%以下
	●意識的に体を動かす人の割合		男性	42.1%	H17市民保健医療 福祉意識調査	$\triangleright$	63%以上
<b>é</b> .		女性 		39.8%			
<b>身</b> 体	●運動習慣を身につけている人の割合		男性	21.6%	H17市民保健医療	$\triangleright$	39%以上
活動	【1日 30分以上,週2回以上,1年以上継続】		女性	17.2%	福祉意識調査		35/1 <b>以</b> 工
到 •	●体力テスト項目で、市内の児童生徒が前年度平	区内を	 小学生	77.1%	H18小•中学校体力		
運動	上回った項目の割合	~,~	<b>カタモ</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		テスト結果	$\triangleright$	70%
圳				参考値·······			0.400 IF IN I
	●1日あたりの平均歩数		男性  女性	7,870歩	··· H16県民健康•栄養· 実態調査		8,400歩以上 7,400歩以上
	●最近1ヶ月間にストレスを感じた人の割合			65.9%	H17市民保健医療 福祉意識調査	$\triangleright$	49%以下
休養	●睡眠による休養を十分にとれていない人の割合			17.7%	H17市民保健医療 福祉意識調査	$\triangleright$	10%以下
•		精神的な病気の不安		12.4%		$\triangleright$	8%以下
こころ	●精神的な病気・認知症に不安を感じている人 の割合	認知症の	男性	22.4%	 H17市民保健医療 福祉意識調査	$\triangleright$	20%以下
ろ		不安	女性	35.6%		$\triangleright$	34%以下
	●自殺による死亡率(人口10万対)	24.9	H17人口動態統計	$\triangleright$	20以下		

※国や県の計画に本市の計画と同一の指標はないが類似の指標があるものはその指標を掲載した。また、指標はないが現状値が把握できているものについては参考値として記載した。

国	(健康日本21)		新潟県(健康にいがた21)			
策定時の現状値	中間実績値	平成22年度 (2010年) の目標値	策定時の現状値	実行計画の現状値	平成22年度 (2010年) の目標値	
中学·高校生 6.0%	中学·高校生 6.2%	0%	7~ 男子3.9% 14歳 女子1.9%	O%	Ο%	
32.9% H9国民栄養調査 20.5% H9国民栄養	25.9%	15%以下	26.3% H13県民栄養 実態調査 18.5% H10県民栄養 実態調査	18.0% H16県民健康・ 栄養実態調査 19.5%	15%以下	
15.9% 問題民来養調査 ○1日当たりの穀類エネルギー比	<b>22.0%</b> 茲( <b>松</b> 数)	目標設定なし	17.2%  実態調査	20.3% 家(成人)		
40.6% 〇1日当たりの野菜摂取量(成人	42.0%	目標設定なし	43.5% 〇1日当たりの野菜摂取量(成人	44.2%	50%	
292g 〇1日当たりの野菜摂取量(成人)(こ	267g 栄養調査	350g以上	340.7g 〇1日当たりの野菜摂取量(成入)(こ	316. 8g 栄養実態調査	350g以上	
98g	89g	120g以上	97.8g H13県民栄養 実態調査	95.0g	120g以上	
27.1% H9国民栄養調 企業	26.7% H16国民健康• 栄養調査	25%以下	20歳代27.0%	27.1% 25.6% H16県民健康・ 栄養実態調査 24.3%	20%以上30%未満 20%以上 25%未満	
24.3% <sub>H9国民栄養調</sub>	29.0% H16国民健康•	15%以下	25.6% H13県民栄養	25.3% H16県民健康・		
	24.6% 栄養調査	20%以下	23.9% 実態調査	23.4% 栄養実態調査	15%以下	
23.3% H9国民栄養調 查	21.4% H16国民健康・ 栄養調査	15%以下	20.2% H13県民栄養 実態調査	26.2% H16県民健康・ 栄養実態調査	20%以下	
	 項目なし			 項目なし		
児童・生徒 H9国民栄養調 10.7% 査	児童·生徒 H16国民健康· 10.2% 栄養調査	7%以下	************************************	参考値 10.6% H16定期健康 参考値診断に基づく 10.8% 疾病状況調査	目標設定なし	
51.8% 日8保健福祉	54.2% H15国民健康・		51.1% H13県民栄養	45.1% H16県民健康・	61%	
51.8% H8保健福祉 53.1% 動向調査	55.5% 栄養調査	63%以上	54.1% 実態調査	55.1% 栄養実態調査	64%	
28.6% H9国民栄養調 24.6% <sup>查</sup>	30.9% H16国民健康・ 25.8% 栄養調査	39%以上 35%以上	22.5% H10県民栄養 22.9% 実態調査	25.8% H16県民健康・ 23.9% 栄養実態調査	33%	
	項目なし		○体力テストで全国平均以上の (8~17歳)	項目数の割合 H16新潟県児 21.1% 童生徒の体力 テスト結果	100%	
8,202歩 H9国民栄養調	7,532歩 H16国民健康・	9,200歩以上	7,412歩 H10県民栄養	7,870歩 H16県民健康・	8,400歩以上	
7,282歩 <sup>查</sup>	6,446歩 栄養調査	8,300歩以上	6,377歩 実態調査	7,082歩 栄養実態調査	7,400歩以上	
ロの海底ペクリ		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
H8健康づくり 54.6% に関する意識 調査	62.2% H15国民健康· 栄養調査	49%以下		項目なし		
H8健康づくり 23.1% に関する意識 調査	21.2% H16国民健康• 栄養調査	21%以下	_	29.8% H10県民栄養 実態調査	16%	
	項目なし			項目なし		
31,755人 H10人口動態 統計	H17人口動態 30,539人 月報年計 (概数)	22,000人以下	ワースト2位 (人口10万対 H13人口動態 (人口35対 統計 34.2)	ワースト7位 (人口10万対 H16人口動態 (人口30万対 統計(概数) 31.4)	ワースト10位か らの脱出	

	新潟市(健康づく	り推進基本計	画)			
	指標		型	見状値		平成23年度 (2011年) の目標値
た	●喫煙者の割合	 男性	39.0%	H17市民保健医療	$\triangleright$	30%以下
ばこ	● 快座省の割占	女性	10.3%	福祉意識調査	$\triangleright$	5%以下
<u>:</u>		 男性	55.2%	H17市民保健医療		
アル	●分煙の必要性を考えている人の割合	女性	56.4%	福祉意識調査	$\triangleright$	100%
구	●多量に飲酒する人の割合	 男性	2.9%	 H17市民保健医療	$\triangleright$	2%以下
ル	【一日平均純アルコール約60g(日本酒で約3合)を超えて摂 取する人】	女性	0.3%	福祉意識調査	$\triangleright$	0.2%以下
	●むし歯のある幼児の割合	3歳児	23.7%	H17歯科健康診査 結果	$\triangleright$	20%以下
	●永久歯一人平均むし歯本数	中学校1年生	1.18本	H17歯科定期健康 診断集計表	$\triangleright$	1本以下
	●振り口の比較に注口! マハフ ! のや! ^	40歳代	32.3%	 H17市民保健医療		400/101-1
歯	●歯や口の状態に満足している人の割合	50歳代	27.6%	福祉意識調査	$\triangleright$	40%以上
の健		40歳代	17.0%			
康	●定期的に歯科健診を受診する人の割合	50歳代	14.7%	H17市民保健医療 福祉意識調査	$\triangleright$	30%以上
		40歳代	47.5%	H17市民保健医療		
	●歯間部清掃用器具を使用する人の割合	50歳代	41.8%	…		50%以上
	●進行した歯周炎(健診で4mm以上の深い歯周ポケット)を	40歳	47%	H17成人歯科健診	$\triangleright$	40%以下
	持っている人の割合 	50歳	59%	···· 結果 ······	$\triangleright$	50%以下
	●健康診断を受ける人の割合	20歳以上	74.8%	H18食育・健康づく りに関するアンケー ト調査	$\triangleright$	80%以上
	●内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)を 認知している人の割合	20歳以上	65.0%	H18食育・健康づく りに関するアンケー ト調査	$\triangleright$	80%以上
	<b>●中時時中产屋業//与学15</b> 2.3.12g / / / <b>●</b>	 該当者	··· 参考値 ·············· 11.2%	111.0月日		 H19の調査の該
健	●内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の 該当者・予備群	予備群	15.1%	H16県民健康·栄養 実態調査	$\triangleright$	当者·予備群から 15%減少
健康管理		 目がん	55.830人		<u> </u>	72.000人以上
理	1	肺がん	40,868人		<u> </u>	53,000人以上
	●市が実施するがん検診の受診者数	大腸がん	60,567人	 H18新潟市の保健と 福祉	$\triangleright$	78,000人以上
		子宮がん	11,590人	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	$\triangleright$	15,000人以上
		 乳がん	6,522人		$\triangleright$	8,000人以上
		 胃がん	80.4%		$\triangleright$	90%以上
		 肺がん	85.0%		$\triangleright$	95%以上
	●市が実施するがん検診の精密検査受診率	大腸がん	58.2%	···· H18新潟市の保健と 福祉	$\triangleright$	75%以上
		子宮がん	67.1%		$\triangleright$	80%以上
		乳がん	90.7%		$\triangleright$	95%以上

<u> </u>	(健康日本21)		新潟県	【(健康にいがた21)	
策定時の現状値	中間実績値	平成22年度 (2010年) の目標値	策定時の現状値	実行計画の現状値	平成22年度 (2010年) の目標値
52.7% <sub>H9</sub> 国民栄養調 参考値 11.6% 査	参考值 43.3% H16国民健康。 参考值 12.0% 栄養調査	目標設定なし	49.0% H10県民栄養 6.4% 実態調査	43.4% H16県民健康・ 8.2% 栄養実態調査	39% 5%
	項目なし			項目なし	
4.1% H8健康づくり に関する意識 0.3% 調査	5.4% H16国民健康• 0.7% 栄養調査	3.2%以下 0.2%以下	_	参考值 6.6% H16県民健康・ 0.5% 栄養実態調査	目標設定なし
40.5% H10 歯科健康 診査結果	H15 3歳児歯 31.3% 科健康診査結 果	20%以下	〇1人平均むし歯数 1.8本 H11母子保健 事業報告	1.23本 H15母子保健 事業報告	1本以下
2.9本 H11学校保健 統計調査	1.9本 H16学校保健 統計調査	1本以下	1.8本 H12歯科疾患 状況調査	1.14本 H16歯科疾患 状況調査	1本以下
○歯や口腔の悩み事がない人の 	割合 24.2%		○歯や口腔の悩み事がない人の		
<u>—</u>	24.2% 参考值	目標設定なし	46% H11県民歯科 疾患実態調査	51.7% H16県民健康・ 栄養実態調査	60%
○定期的な歯科健診の受診者 16.4% H5保健福祉動 向調査		30%以上	〇定期的に歯石除去や歯面清掃 4% H11県民歯科 4% 疾患実態調査	を受けている人の割合(1歳以上 7.8% H16県民健康・ 光養実態調査	20%
40歳 (35~44歳) 19.3% 50歳 (45~54歳) 17.8% 向調査	39.0% H16国民健康• 40.8% 栄養調査	50%以上	(15歳以上) (15歳以上) 19%	35.6% H16県民健康・ 栄養実態調査	40%
32.0% H9~10富士宮	26.6% H16国民健康•	22%以下	31% H11県民歯科	19.5% H16県民健康・	25%
	42.2% 栄養調査	33%以下	42% 疾患実態調査	32.1% 栄養実態調査	35%
H9健康・福祉 4,573万人 関連サービス 需要実態調査	5,850万人 H16国民生活 基礎調査	6,860万人 以上	〇基本健康診査受診率 H12地域保健・ 42.2% 老人保健事業 報告	H15地域保健 44.5% 老人保健事業 報告	(H20の目標値) 50%
_	_	80%以上 (生活習慣病の 認知度を基に設 定)		項目なし	
<u> </u>	参考値 男性1,400万人 H16国民健康・ 女性 560万人 栄養調査	(H27の目標) H20の該当者・ 予備群から25% 減少	<u> </u>	11.2% 参考值	目標設定なし
1,401万人	1,777万人	2,100万人以上	· 〇がん検診受診率 22.5%	23.1%	(H20の目標値) ·· 30%
 1,023万人 H9健康・福祉 関連サービス	1,100万人	1,540万人以上		 44.7% H15地域保健•	53%
1,231万人 需要実態調査 ************************************	1,100万人 1,432万人 H16国民生活 基礎調査	1,850万人以上	20.2% 老人保健事業	23.6% 老人保健事業	28%
1,241万人 <sub>受診者</sub>	1,056万人	1,860万人以上	15.9% <sup>‡K □</sup>	16.8% <sup>‡k ದ</sup>	26%
1,064万人	842万人	1,600万人以上	12.4%	14.8%	23%
76.6% 77.4% H12地域保健 考 59.2% 老人保健事業	参 74.1% 70.2% H16地域保健・ 考 54.1% 老人保健事業 ###	目標設定なし	92.7% 94.0% H12地域保健・ 79.6% 老人保健事業	90.2% 92.0% H15地域保健・ 76.3% 老人保健事業 	100%
	62.5% 値 78.8%		87.9% The last of	84.2% 85.5%	

## 新潟市健康づくり推進委員会

### 1|健康づくり推進委員会設置要綱

#### 新潟市健康づくり推進委員会設置要綱

(設置)

- 第1条 生涯を通じた健康づくりの推進に関し、必要な事項を調査検討するため、新潟市健康づくり推進委員会(以下「委員会」という。)を設置する。 (所掌事務)
- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を調査検討する。
  - (1) 健康づくり推進計画(以下「推進計画」という。)に関すること。
  - (2) 推進計画の円滑な推進のための総合調整及び評価に関すること。
  - (3) その他推進計画に係る事項に関すること。

(組織)

- 第3条 委員会は、委員22人以内で組織する。
- 2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。
  - (1) 学識経験のある者
  - (2) 関係団体の職員
  - (3) 教育関係者
  - (4) 市民
  - (5) その他市長が適当と認める者

(委員の任期)

- 第4条 委員の任期は、委嘱した年度の末日までとする。ただし、委員に欠員 を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

- 第5条 委員会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。
- 2 会長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、副会長がその職務を 代理する。

(会議)

- 第6条 委員会の会議は、会長が招集し、その議長となる。
- 2 委員会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、企画財政局食育・健康づくり推進室において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるものほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附則

この要綱は、平成18年6月1日から施行する。

(平成19年3月31日現在) 敬称略,委員50音順

		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	氏名	団体·役職名等
会長	鈴木 宏	新潟大学大学院医歯学総合研究科教授
副会長	木滑 孝一	新潟市医師会理事 木滑内科医院長
委員	伊藤 志津子	民生委員
委員	大江 謙作	新潟市立舟栄中学校長
委員	角谷 ヒロ子	新潟県栄養士会新潟市支部長
委員	後藤 雅博	新潟大学医学部保健学科教授
委員	小林 量作	新潟医療福祉大学医療技術学部理学療法学科助教授
委員	駒形 節子	公募委員
委員	佐藤 知子	新潟日報社人事部次長
委員	塩田 英俊	公募委員
委員	篠田 邦彦	新潟大学教育人間科学部助教授
委員	関 奈緒	新潟大学医学部保健学科教授
委員	高橋 茂吉	明美ヶ丘幼稚園長
委員	田辺 直仁	新潟大学大学院医歯学総合研究科助教授
委員	鶴田 邦子	公募委員
委員	二木 ちどり	新潟市食生活改善推進協議会長
委員	村山 清一	新潟市シルバー人材センター理事
委員	村山 伸子	新潟医療福祉大学医療技術学部健康栄養学科教授
委員	吉田 久美子	母子保健推進員
委員	葭原 明弘	新潟大学大学院医歯学総合研究科助教授
委員	渡辺 千代子	公募委員

## 健康づくり関係課

名称	健康づくりに関する内容	電話番号
文化スポーツ部スポーツ振興課	スポーツ振興施策の企画・調整・総括	
健康福祉部健康福祉総務課	健康福祉施策全般の企画・調整	
保育課	保育園の保健衛生指導	
障がい福祉課	精神保健福祉施策の企画・調整・総括	025-
高齢介護課	高齢者福祉・介護保険事業等の企画・調整・総括	228-1000
保健所健康衛生課	歯科保健・健康診査・栄養相談等保健事業の企画・調整	(代表)
保健所保健管理課	地域医療・人材育成・栄養指導などの企画・立案	
教育委員会事務局学校支援課	子どもの体力向上等学校体育・健康教育の指導	
保健給食課	学校保健の計画・管理・指導	

## 健康づくり相談窓口一覧

※市外局番がないものは市外局番(025)を省略しています。

生涯学習センター	区	名称	所在地	電話番号
北 地域保健福祉理		ころの健康センター	中央区川岸町 1-5 7-1	232-5560
北地域保健福祉センター   北区松浜1-7-1   259-733   東区役所健康福祉課   東区古川町4-12   286-445   273-993   286-445   中地域保健福祉センター   東区松島2-4-7   273-993   中央区役所健康福祉課   中央区学校町通1-602-1   223-724   中央区役所健康福祉課   中央区学校町通1-602-1   223-724   中央区役所健康福祉センター   中央区新和3-3-1   285-237   285-237   243-531   中央地域保健福祉センター   中央区明石2-3-25   243-531   中央地域保健福祉センター   中央区関屋下川原町1-3-11   266-517   266-517   27南区役所健康福祉課   江南区泉町3-4-5   382-431   385-211   285-235   243-531   285-235   243-531   285-235   243-531   285-235   243-531   285-235   243-531   285-235   243-531   285-235   243-531   285-235	生	涯学習センター	中央区礎町通3-2086	224-2088(代)
東区役所健康福祉課 東区古川町 4-12 250-235 724 11 11 11 12 250-235 724 11 11 12 250-235 724 12 273-993 12 273-993 12 273-993 12 273-993 12 273-993 12 273-993 12 273-993 12 273-993 12 273-993 12 273-993 12 273-724 12 273-724 12 273-724 12 273-724 12 273-724 12 273-724 12 273-724 12 273-724 12 273-724 12 273-724 12 273-724 12 273-993 12 285-237 12 285-2	北	北区役所健康福祉課	北区葛塚3197	387–1340
東区   石山地域保健福祉センター 東区石山 1 - 1 - 1 2 273-993	区	北地域保健福祉センター	北区松浜 1-7-1	259-7332
中地域保健福祉センター 東区松島 2 - 4 - 7		東区役所健康福祉課	東区古川町 4-12	250-2350
中央区役所健康福祉課 中央区学校町通 1-6 0 2-1 223-724	東区	石山地域保健福祉センター	東区石山 1 - 1 - 1 2	286-4450
中央区 南地域保健福祉センター 中央区新和3-3-1 285-237 243-531 243-531 中央地域保健福祉センター 中央区関屋下川原町1-3-1 1 266-517 21 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	_	中地域保健福祉センター	東区松島2-4-7	273-9932
東地域保健福祉センター 中央区明石 2 - 3 - 2 5 243-531 266-517 1 266-51		中央区役所健康福祉課	中央区学校町通 1-6 0 2-1	223-7246
東地域保健福祉センター 中央区明石 2-3-2 5 243-531		南地域保健福祉センター	中央区新和3-3-1	285-2373
江南区役所健康福祉課   江南区泉町 3-4-5   382-431	区	東地域保健福祉センター	中央区明石 2-3-2 5	243-5312
横越地域保健福祉センター   江南区横越中央 1 - 1 - 1   385-215		中央地域保健福祉センター	中央区関屋下川原町1-3-11	266-5172
対験   対策区役所健康福祉課   対策区程島2009   0250-25-5   120   120   0250-25-5   120   120   0250-25-5   120   02		江南区役所健康福祉課	江南区泉町3-4-5	382-4316
大学区内にはははは、		横越地域保健福祉センター	江南区横越中央1-1-1	385-2111
区小須戸地域保健福祉センター秋葉区小須戸1200250-25-8南区役所健康福祉課南区白根1235372-682味方地域保健福祉センター南区時月湯535372-692西区役所健康福祉課西区寺尾東3-14-41264-743黒埼地域保健福祉センター西区大野町2843-1264-743西地域保健福祉センター西区内野町471262-340西浦区役所健康福祉課西浦区巻甲2690-10256-72-8岩室地域保健福祉センター西蒲区西中8600256-72-8西川地域保健福祉センター西蒲区旗屋585-10256-72-8	秋	秋葉区役所健康福祉課	秋葉区程島2009	0250-25-5686
南区味方地域保健福祉センター南区味方 1 5 4 4372-682月潟地域保健福祉センター南区月潟 5 3 5372-692西区役所健康福祉課西区寺尾東 3 - 1 4 - 4 1264-743黒埼地域保健福祉センター西区大野町 2 8 4 3 - 1264-743西地域保健福祉センター西区内野町 4 7 1262-340西蒲区役所健康福祉課西蒲区巻甲 2 6 9 0 - 10256-72-8岩室地域保健福祉センター西蒲区西中 8 6 00256-72-8西川地域保健福祉センター西蒲区旗屋 5 8 5 - 10256-72-8		小須戸地域保健福祉センター	秋葉区小須戸120	0250-25-5731
R   P   P   P   P   P   P   P   P   P		南区役所健康福祉課	南区白根1235	372-6385
月潟地域保健福祉センター南区月潟535372-692西区役所健康福祉課西区寺尾東3-14-41264-743黒埼地域保健福祉センター西区大野町2843-1264-743西地域保健福祉センター西区内野町471262-340西蒲区役所健康福祉課西蒲区巻甲2690-10256-72-8岩室地域保健福祉センター西蒲区西中8600256-72-8西浦区地域保健福祉センター西蒲区旗屋585-10256-72-8		味方地域保健福祉センター	南区味方1544	372-6820
西区黒埼地域保健福祉センター西区大野町2843-1264-747西地域保健福祉センター西区内野町471262-340西蒲区役所健康福祉課西蒲区巻甲2690-10256-72-8岩室地域保健福祉センター西蒲区西中8600256-72-8西浦西浦区旗屋585-10256-72-8	_	月潟地域保健福祉センター	南区月潟535	372-6920
区     無埼地域保健福祉センター     西区入野町2843-1     264-747       西地域保健福祉センター     西区内野町471     262-340       西蒲区役所健康福祉課     西蒲区巻甲2690-1     0256-72-8       岩室地域保健福祉センター     西蒲区西中860     0256-72-8       西浦     西浦区旗屋585-1     0256-72-8		西区役所健康福祉課	西区寺尾東3-14-41	264-7433
西地域保健福祉センター西区内野町471262-340西蒲区役所健康福祉課西蒲区巻甲2690-10256-72-8岩室地域保健福祉センター西蒲区西中8600256-72-8西浦西浦区旗屋585-10256-72-8		黒埼地域保健福祉センター	西区大野町2843-1	264-7474
岩室地域保健福祉センター 西蒲区西中860 0256-72-8 西川地域保健福祉センター 西蒲区旗屋585-1 0256-72-8 0256-72-8	_	西地域保健福祉センター	西区内野町471	262-3405
西川地域保健福祉センター 西蒲区旗屋 5 8 5 - 1 0256-72-8		西蒲区役所健康福祉課	西蒲区巻甲2690-1	0256-72-8380
		岩室地域保健福祉センター	西蒲区西中860	0256-72-8814
		西川地域保健福祉センター	西蒲区旗屋 5 8 5-1	0256-72-8752
区   海界地域体)傾値で ノダー     四浦区ニカ Ⅰ                      0250− / 2−6	浦区	潟東地域保健福祉センター	西蒲区三方 1	0256-72-8862
中之口地域保健福祉センター 西蒲区中之口626 0256-72-8		中之口地域保健福祉センター	西蒲区中之口626	0256-72-8912
巻地域保健福祉センター 西蒲区巻甲4363 0256-72-7		巻地域保健福祉センター	西蒲区巻甲4363	0256-72-7100

## 新潟市健康づくり推進基本計画 スマイル新潟ヘルスプラン

発行 平成19年9月

新潟市食育・健康づくり推進本部 食育・健康づくり推進課

〒956-8601 新潟市秋葉区程島2009番地 秋葉区役所庁舎5階

電話:0250-25-5590 FAX:0250-24-2811

E-mail:shokuiku@city.niigata.lg.jp

ホームページアドレス: http://www.city.niigata.jp/info/shokuiku/



生涯健康で いきいき暮らせるまち にいがた

